

第二十二條 會員其ノ持分ヲ讓渡サントスル場合ニ於テ讓受人カ會員ナルトキハ會長ノ意見ニヨリ之ヲ承認シ會員ニアラサルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

第二十三條 會員脫退セントスルトキハ事業年度末十ヶ月前ニ其ノ旨ヲ會長ニ豫告スルヲ要ス

第二十四條 死亡ニヨリ脫退シタル會員ノ相續人カ直ニ會員タラントスルトキハ加入金ヲ差出スコトヲ要ス

第二十五條 會員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニヨリ除名ス

一 出資ノ拂込貸付金ノ辨濟又ハ利息ノ拂込ヲ怠リ期限一ヶ月以内ニ履行セザルトキ

二 本會ノ事業ヲ妨クル處爲アリタルトキ

三 犯罪其ノ他ノ處爲ニヨリ信用ヲ失ヒタルトキ

但シ除名セラレタルモノハ小作地ヲ返還セシムルコト

第二十六條 會員脫退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込出資額ニ止ムルモノトス

但シ死亡禁治産其ノ他會長ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニヨリ脫退シタル會員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

第二十七條 本會解散シタルトキハ會長其ノ清算人トナル

### 稻垣專八氏ト興農會

員 辨 郡 阿 下 喜 村

▲米作獎勵 米質ノ改良ヲ圖ル爲明治十九年度ヨリ良米ヲ納メタルモノニ對シ褒賞米ヲ授與引續キ四十一年迄實行シ大ニ改良ノ實ヲ擧ク又同四十二年ヨリ善良ナル種子ヲ購入シ無償分與シ來リシカ大正二年ヨリ米麥作ノ採種田ヲ設ケ其ノ得ル收穫ヲ原種トシ無償貸與シツ、アリ

▲種子鹽水撰麥黑穗豫防 米麥作種子鹽水撰並ニ麥黑穗豫防ヲ獎勵セシタメ自ラ器具ヲ執リ小作人全部ノ種子ヲ撰擇シ將來一般ニ鹽水撰及麥黑穗豫防ヲ必行セシムヘク努力シツ、アリ

▲農具ノ改良獎勵 農具ノ改良ヲ圖リ深耕法ヲ普及セシメンタメ大正四年ヨリ肥後犁改良唐箕及改良金篩ヲ購入セントスルモノニ對シ其ノ價格ノ二割ヲ補助獎勵シツ、アリ

▲農事視察 農事ノ改良ヲ圖ランカ爲メ一村農家ヲ六區ニ分チ一區一人ヲ撰拔シテ旅費ヲ支給シ自ラ引卒左記視察要項ニ基キ縣外農事ヲ視察セシム

- 一 段當玄米收量
- 一 肥料ノ種類及施肥法
- 一 植付時期
- 一 一坪株數並植付本數
- 一 夜業ノ時間及種類
- 一 農家ノ娛樂
- 一 副 業
- 一 農家夜業ノ狀態

▲畜牛獎勵 小作人ニシテ畜牛ヲ購入飼育シ能ハサルモノニハ之ヲ購入貸付シ或ハ其ノ資金ヲ低利貸與シツ、アリ

▲小作人獎勵表彰 小作人ヲ精勵セシムル爲毎年時々米麥作田圃ヲ巡視シ其ノ勉勵者ヲ撰拔シ之ヲ表彰ス尙明治四十四年ニハ同一ノ土地ヲ百年以上小作シ農業ニ勉勵シ小作人ノ模範タルヘキモノ九名ニ對シ賞品ヲ贈リ勤勞ヲ表彰シタリ

▲興農會 小作人ヲ一團トシ興農會ヲ組織シ毎年一回自宅ニ集合セシメ農事改良談話會ヲ開キ左ノ事項ヲ實行ス

- 一 肥料共同購入資金ノ不足スル者ニハ該資金ヲ貸與ス
- 二 會員一般ニ競争作ヲ行ハシメ大正二年度ヨリ向フ十ヶ年間之ヲ品評審査シ褒賞ヲ授與ス
- 三 試験田ヲ設置シ米麥作ノ試作ヲナシ其ノ成績ヲ會長ニ報告シ又會員ノ請求ニ依リ各種ノ試験ヲ行フ

### 岡田吉次郎氏ノ施設

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- ▲畜牛代貸付 一町歩以上ヲ小作スル者ニ對シ畜牛一頭代ヲ無利息ニテ貸與シ賣拂ノ際現金ノミ返付セシム現今貸付人員二人金額百圓ナリ
- ▲肥料代貸付 小作人ノ希望ニヨリ一反歩ニ付金三圓ツ、ヲ肥料購入資金トシテ次期ノ收穫期迄無利息ニテ貸付ス
- ▲飯米代貸付 小作人中貧困ナル者ニ對シ飯米代トシテ次期收穫期迄一反歩ニツキ金二圓五十錢ツツ無利息ニテ貸付ス
- ▲小作優良米納付者ニ賞與 小作米全部産米検査規程ニ依ル一等米ヲ納付セル者ニハ一人ニ付油粕一枚ツ、ヲ賞與ス

### 市川理須計氏ノ施設

員 辨 郡 大 泉 村

- ▲小作米品評會 明治四十一年二月以來小作人ヲ獎勵シ併セテ産米ノ改良進歩ヲ圖ランタメ年々小作米品評會ヲ開催シツ、アリ即チ毎年小作米納付ノ際俵米ヨリ若干ノ刺米ヲ袋入トナシ出品ス而シテ審査ハ之ヲ米穀検査所主事及産米検査員ニ囑託シ嚴密ナル審査ヲ經其ノ結果ニ依リ左ノ賞與金ヲ給シツ、アリ
  - 優等 金 五十 錢
  - 一等 金 三十 錢
  - 二等 金 二十 錢
  - 三等 金 十五 錢
- ▲畜牛獎勵 飼畜ヲ獎勵シ併セテ其ノ繁殖ヲ圖ランタメ小作人中之ヲ購入シ得サルモノニハ牝犢ヲ貸與シ成育後分曉スルニ至リ其ノ仔牝ナレハ母牛ヲ牝ナレハ其ノ仔牝牛ヲ賣却シ代金ノ全部ヲ貸主ニ提供セシメ以テ購入資金ノ償還ニ充テシム而シテ利益ノ分配法ハ賣却代金ヨリ購入原價ヲ差引キ殘額ノ十分ノ四ヲ貸主ノ所得トナシ十分ノ六ト生産セル仔牛一頭ヲ借主ニ飼育費トシテ附與シ獎勵シツ、アリ現在貸付總數十五頭ニシテ價格三百餘圓ナリ又小作人ニシテ畜牛ヲ購入シ得サルモノニ對シテハ其ノ資金ヲ低利貸與ス

- ▲堆肥舎建設貸與 明治四十一年四月ヨリ堆肥獎勵ノタメ十ヶ年繼續事業トシテ私費ヲ投シ堆肥舎(巾二間長三間此建設費一棟金三十圓)ヲ建設シ農事熱心ニシテ淀米十俵以上納付スルモノ、内ヨリ撰拔シタル小作人ニ無償貸與ス而シテ現在六棟ヲ有ス
- ▲共同苗代獎勵 明治四十二年以來共同苗代ノ有益ナルヲ認メ之ヲ普及セシメンタメ自費ヲ投シ小作人ヲシテ二反歩餘ノ共同苗代ヲ設置セシメ以テ其ノ範ヲ示シ大ニ之ヲ獎勵シツ、アリ
- ▲改良農具ノ獎勵 農具ノ改良ヲ圖リ深耕法ヲ普及セシメンタメ小作人中改良持立犁ヲ購入使用スルモノニハ相當ノ補助金ヲ給シ之ヲ獎勵シツ、アリ
- ▲土地ノ改良 小作地ノ改良ヲ圖ランタメ客土法ヲ獎勵シ野外ニ於ケル肥土ヲ小作地ニ容ル、者ニ對シテハ實地調査ノ上一荷(一立方尺)ニ對シ金二錢ノ割ヲ以テ勞費ヲ給シツ、アリ

### 天春文衛氏ノ施設

三 重 郡 保 々 村

- ▲小作米品評會 産米改良小作人獎勵ノ爲毎年小作米品評會ヲ催シ出品ニ對シ乾燥、調製及俵裝等ヲ細密ニ審査シ優等ニ支米三升代ヲ標準トシ以下等級ニ應シテ賞品ヲ授與ス其ノ額年々百三四十圓ニ達ス且當日ハ一般小作人ヲ召集シ辨當及手拭等種々ノ物品ヲ與ヘ種々ノ餘興ヲ催シテ一日ノ娛樂ヲ取ラシム
- ▲飯米ノ貸與 數十年前ヨリ糶藏ト稱シ倉庫一棟ヲ設ケ常ニ糶百俵ヲ貯藏シ凶作ニ備フルト共ニ八月以降小作人飯米缺乏ノモノニ貸與シ十二月以降ニ至リテ返却セシム其ノ際鼠喰蟲害ノ爲メ捕足トシテ糶一俵ニ對シ一升五合ヲ添付セシムルノミニテ別ニ利子米ヲ徴收セス
- ▲畜牛獎勵 畜牛獎勵ノ爲年々五頭乃至十頭ノ犢牛ヲ購入シ之ヲ小作人ニ貸與飼育セシメ其ノ利益ノ半額ヲ小作人ニ與ヘ家畜

地主ノ農事ニ關スル施設事例

飼養ノ有利ニシテ必要ナルヲ知ラムシ

▲肥料購入資金低利融通 肥料購入資金トシテ年五朱弱ノ低利資金年々一千圓内外ヲ融通シ米收穫後ニ於テ返済セシム  
▲堆肥勵獎 堆積肥料獎勵ノ爲堆肥ヲ施用セシ小作人ニ對シ百荷(一荷約十五貫)ニ付金五十錢ツ、ヲ交付シツ、アリ

### 田中善助氏ノ施設

阿山郡上野町

氏ハ小作人保護及農事改良勝願ノ爲々種ノ事業ヲ施設經營シ成績亦頗ル顯著ナルモノアリ今其ノ重ナルモノニ付別記スレハ  
ノ如左シ

▲中尾谷溜池ノ増築 本郡中瀬村大字西明寺中尾谷溜池ハ水量甚タ乏シク爲ニ旱害ヲ受クルコト屢々ナルヲ憂ヒ明治三十年私費一千五百八十餘圓ヲ投シテ堤防ヲ増築シ其ノ水量ヲシテ殆ト三倍ノ多キニ達セシメタリ之ニ依リテ其ノ附近ノ水田ハ爾來旱害ヲ免ル、モノ十町餘加之畑地ヲ水田ニ變行シ或ハ山麓ヲ開墾シ水田トナスモノ續出スル等溜池増築ノ効果頗ル甚大ナルモノアルニ至レリ

▲長樂池ノ開墾 上野町ノ東端ニ當リ畑地百數十町歩アリ俗ニ之ヲ野畑ト稱シ東西ニ傾斜セル平坦ノ高地ニシテ舊藩主藤堂氏ハ上野町民ノ爲ニ特ニ免租地トナセシモノナリ爾來數十年田畑ノ荒蕪ニ委スルモノ尠カラス有志或ハ水源ヲ遠ク本郡友生村大字高山ニ求メントシ或ハ移住民ノ計畫ヲ立テシモノアリト雖モ遂ニ成效スルニ至ラス茲ニ於テ氏ハ百方考慮ヲ繞ラシ遂ニ一大溜池ヲ設クヘキ場所ヲ發見シ明治三十一年友生村ノ境界字勝田谷ノ地ヲトシテ溜池開墾ノ舉ヲ企テ同年工事ニ着手シ同三十二年十二月竣工ス之ヲ名ケテ長樂池ト云フ堤防長二百七十尺直高三十九尺貯水面積一町六反八畝歩水量百七十萬立方尺ヲ得タリ而シテ其ノ水路ハ延長一千五百九十六尺ニ及ヒ中間八百七十尺ノ隧道ヲ穿ツ此ノ總工費七千八百五十六圓ハ悉ク私財ヲ以テセリ

▲耕整理ト農事改良 長樂池ノ完成ト共ニ前記野畑ノ畑地並ニ原野荒蕪地ヲ買収又ハ交換シ獨力以テ耕地整理ヲ企圖シ明治三十五年工事ニ着手シ同三十七年竣工ヲ告グルニ至レリ而シテ之ニ要セシ工費總額六千餘圓其ノ間幾多ノ支障ト迫害トニ遭遇シタルモ聊カ素志ヲ挫折スルナク長ク委棄セラレタル荒野ヲシテ遂ニ十六町歩ノ良田ニ化セシムルヲ得タルノミナラス正條植共同苗代、共同採種、綠肥栽培、堆肥製造、害蟲驅除稻架乾燥等ニ付テハ小作人ヲシテ卒先整理田ニ於テ之ヲ實行セシメ常ニ優良ナル成績ヲ收メタルヲ以テ附近農家ニ一大刺戟ヲ與ヘ上野町ノ農事ヲシテ著シク改良ノ實績ヲ舉クル端緒タラシムルニ至レリ

▲小作人ノ移住 前記耕地整理ニ於テ移住小作ノ計ヲ立テ先ツ同地ニ寺院ヲ創建シ家屋ヲ建築シ以テ小作人ヲ永住セシメ別紙規則ニヨリ之ヲ保護獎勵シ地主ト小作人トノ關係ヲ親密ナラシムルニ至レリ  
▲小作米品評會 明治三十六年以來毎年小作米品評會ヲ開催シ技術者ヲ聘シテ審査ヲ乞ヒ優等ノモノニハ夫々金品ヲ授與ス當日ハ小作人全部ヲ招キ農事ニ關スル講話會ヲ開キ且ツ酒肴ヲ饗シテ修養ト慰安トヲ與フルヲ常トス

### 田中整理地移住小作規則

- 第一條 當整理地小作ハ移住者又ハ將來移住ノ契約ヲナスモノニ限ル
- 第二條 移住契約證及ヒ小作證ハ二名以上ノ證人ヲ差入ルヘシ  
但シ移住者間又ハ小作人間ニ於テ其ノ證人トナルコトヲ許サス
- 第三條 移住者ニハ左ノ田畑ヲ永小作トシテ貸與ス
  - 一 正方形七畝十五歩ノ整理田五反歩以上
  - 一 畑二反歩以上

### 第四條 移住者ニハ家屋ヲ貸與ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

但シ貸與料ハ別ニ之ヲ定ム

第五條 前條ノ家屋ハ年賦償還ノ方法ヲ以テ之ヲ讓渡スヘシ

第六條 年賦償還ニ係ル家屋ノ修繕ハ移住者負擔スヘシ

第七條 移住者自ラ家屋ヲ建設スルトキハ其ノ敷地ハ二十年間無料ニテ貸與ス

第八條 小作料ハ田一反歩ニ付一ケ年米一石畑一反歩ニ付一ケ年米二斗以上三斗以下トス

但シ荒畑地ニ限リ一ケ年又ハ二ケ年間小作料ヲ免ス

第九條 小作料ハ地租増徴アルニ非サレハ變更セス

第十條 田地ニハ五ケ年間地主ニ於テ施肥ノ補助ヲナスヘシ

第十一條 害虫驅除ニ要スル器具材料ハ地主ニ於テ支給ス

第十二條 天災ニ罹ル凶作ハ附近ノ比較ヲ以テ小作料ヲ減スルコトアルヘシ

第十三條 宅地貸與料ハ最低畑地小作料ニ準ス

第十四條 移住者ニハ田畑ノ外山林若干ヲ貸與ス

但シ貸與料ハ立木ノ多少ニヨリ之ヲ定ム

第十五條 池水ノ引入ハ水番ニ於テ擔當セシメ小作者擅ニ灌排スルコトヲ許サス

但シ水番ノ給料ハ當分地主ヨリ支辨スヘシ

第十六條 小作米ヲ地主ニ納付スヘキ期限ハ毎年十一月十五日限リトス

第十七條 移住者ハ當區創設新寺ノ檀家トナリ家族モ同一ノ佛教徒タルヘシ

第十八條 移住者ハ専ラ左ノ副業ヲ勉ムヘシ

促成栽培、水産、果樹、機業、牧畜、養蠶、養鶏、菓細工其ノ他適當ナル有益事業ヲ起シ其ノ設計確實ナルモ

ノニハ獎勵ノ方法ヲ設ケ保護ヲ與フヘシ

第十九條 農繁期節ニ妨アル商工業ヲ營ムヘカラス

第二十條 移住者ニ於テ家畜又ハ山林ヲ買求メントスルトキハ地主ノ見込ニヨリ年賦償還ノ方法ヲ立テ低利資金ヲ融通スヘシ

第二十一條 移住者ハ相互親睦ヲ旨トシ喧嘩口論ヲナスヘカラス

不生産の事業ニ従事スヘカラス

賭博、窃盜其ノ他刑事ニ觸ルヘキ不正ノ行爲アルヘカラス

交際上形式的虚禮ヲ廢シ冗費ヲ省クコト早魃又ハ害虫發生ニ際シ神佛ニ祈願ヲナスカ如キ所爲アルヘカラス他人ノ畑地ヲ小作スルコトヲ許サス

第二十二條 移住者ハ専心農事ノ改良進歩ヲ圖リ左ノ事項ヲ實行スヘシ

共同苗代

共同採種

共同撰種

播種

肥料ノ配合

綠肥栽培

堆肥ノ製造

農具改良

害虫驅除

稻架

其ノ他改良スヘキ諸件

第二十三條 當區移住者ニ對シ毎年一回小作米品評會ヲ開設スルト同時ニ講習會ヲ開キ斯道學者ノ出演ヲ請フ事但シ其ノ入費ハ地主ヨリ支出ス

第二十四條 農事上教師招聘ヲ要スルトキハ地主其ノ入費ヲ負擔シ尙農事ニ有益ナル雜誌或ハ書籍ヲ時々貸與又ハ給與スヘシ

第二十五條 移住者自己ノ都合ニヨリ退去セントスルトキハ其ノ期間ノ小作料其ノ他後日地主ニ損害ヲ及ボサ、ル様洩ナク引繼ヲナスニアラサレハ退去スルコトヲ得ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第二十六條 將來移住者及地主間又ハ小作者間ニ生スル共有金品等ハ小作解約住解除ノ節其ノ分配ヲ受クルノ權ナキモノトス

第二十七條 移住者ノ行狀正實ニシテ農業ニ勵精シ其ノ効績ノ顯著ナルモノニハ地主ヨリ相當ノ賞與ヲ與フ

第二十八條 小作人ニシテ耕地ヲ荒廢シ小作米納付ノ見込ナキモノハ直ニ小作契約ヲ解除スルハ勿論移住者タル

コトヲ解約シ退去ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ異議ヲ申立ルコトヲ得ス

第二十九條 移住者ニシテ兵役ノ爲入營又ハ應召セルモノアルトキハ其ノ留守中農繁ニ際シ移住者相互ニ於テ勞力ノ補助ヲ爲スヘシ

第三十條 移住者ニシテ兵役ノ爲入營又ハ應召セルモノアルトキハ其ノ家族ニ對シ地主ヨリ相當ノ保護ヲ爲ス

### 永濱氏ト小作米品評會

多架郡神戶村

永濱家ニ於テハ祖先以來家憲トシテ小作人ニ對シ優等米ヲ納付シタルモノニハ夫々賞品ヲ授與シ作人一般ニ米一升ツ、ヲ贈與シ居リタリシカ明治三十九年三重縣米穀検査規則施行ニ際シ亡父ノ遺志ヲ繼キ會則ヲ設定シ明治三十九年度ヨリ引續キ品評會ヲ開催シツ、アリシカ四十一年度ヨリ規則ヲ改正シ褒賞ヲ一等ヨリ六等迄ニ區分シ左記ノ通り授與シ其ノ賞與金ハ總テ貯金預リ帳ニ依ル夫々貯金ヲ爲サシメツ、アリ

一等賞 金二圓      二等賞 金一圓      三等賞 金五十錢      四等賞 金三十錢

五等賞 金二十錢      六等賞 金十錢

小作人數約百五十名其ノ納米俵數六百俵餘ナリ審査ハ本縣米穀検査規則ニ依リ採點ヲナシ優等ナルモノニ對シ賞與ヲ授與セリ而シテ費用ハ可成雜費ヲ節約シテ賞品ヲ多クシ小作人ヲシテ品評會ノ趣旨ヲ了知セシムルノ方法ヲ採レリ毎年ノ費額百二十圓

内外ナリ逐年成績良好ニシテ米質其ノ他ノ點ニ於テ他地主ニ比シ優良ナルヲ認ム

以上ノ外獎勵方法トシテ小作人ニ對シ肥料其ノ他農具買入資金ヲ貸與シ其ノ利子ヲ以テ獎勵費ニ充用シツ、アリ而シテ毎年ノ

貸付金ハ約一千二百圓ナリ

### 永瀛家小作米品評會々則

第一條 本會ハ小作人ヲ獎勵シ小作米ノ改良發達ヲ計ルヲ以テ目的トス

第二條 會長ハ多架郡農會長ニ審査員ハ斯業ニ經驗アル技術者ニ之ヲ囑託ス

第三條 小作人ハ小作米納付ノ際各種ニツキニ合ツ、ヲ保留シ置キ之ヲ出品スルモノトス

第四條 出品物ハ布袋其ノ他適當ノ容器ニ入レ小作人ノ住所氏名納付シタル俵數ヲ記入シ置クモノトス

第五條 出品ハ凡テ審査シ各等差ニ依リ褒賞ヲ授與ス

第六條 審査ノ標準ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 米質審査、米質審査ハ乾燥調製色澤形狀及品質等ヲ考查シ佳良ナルモノニ百點ヲ附ス

一 俵數及俵裝審査ハ納付シタル俵數ノ多少及俵數ノ良否ヲ考查シ滿點三十點ヲ附ス

一 納期及土地ノ保護ハ耕作セル土地ヲ愛護シ小作米ノ納期ヲ誤ラサルモノニ滿點二十點ヲ附ス但シ本項ハ地主之ヲ

評定ス

第七條 審査ノ決定ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第八條 褒賞ヲ分テ左ノ四種トス

一等賞      二等賞      三等賞      褒狀

第九條 農事ニ勉勵シ小作米ノ納期ヲ誤ラス他ノ模範トナルモノニハ特ニ表彰スルコトアルヘシ

第十條 左ノ各項ニ該當スルモノハ第八條褒賞ヲ授與セサルモノトス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- 一 種々ノ口實ヲ設ケ控米ノ減額ヲ請求スルモノ
  - 二 他人ヲ煽動シ地主ニ不利益ヲ蒙ラシメタルモノ
- 第十一條 本會ハ毎年一回適當ノ時期ニ於テ之ヲ開設シ出品物ヲ陳列シテ公衆ニ觀覽セシム

### 藤田謙氏ノ施設

員 辨 郡 梅 戸 井 村

藤田謙氏ハ産米ノ改良ヲ圖ル目的ヲ以テ明治四十年度以來小作米品評會ヲ開キ左ノ種別ニ依リ授賞セリ

第一種 買取米出品	
等 級	賞 與 金
一 等	一俵ニ付 二十錢
二 等	同 十八錢
三 等	同 十三錢
四 等	同 十 錢
第二種 竹成米、神力米、錦米出品	
等 級	賞 與 金
一 等	一俵ニ付 十八錢
二 等	同 十五錢
三 等	同 十 錢
四 等	同 五 錢

又畜産獎勵ノ目的ヲ以テ畜牛組合ヲ設ケ農工銀行ヨリ資金ノ融通ヲ受ケ自ラ兵庫縣ニ出張シテ畜牛二十五頭ヲ購入シ小作人ニ分配シ尙自己ニ於テ種牡牛一頭ヲ購入シ小作人ニ於テ飼育スル牝牛ニハ無料ヲ以テ種付ノ計畫ヲ爲シツ、アリテ斯業獎勵上他ノ範ヲ示セリ

其ノ他小作人ニ資金ヲ融通シ尙肥料農具日用品ヲ購買シ共同的利益ヲ圖ラン爲信用購買組合組織ノ必要ナルコトヲ唱導シ遂ニ其ノ設立ヲ見ルニ至ラシメタリ

### 愛 知 縣

#### 神野富田殖産合名會社ノ施設

名古屋市中區鐵砲町

同會社ノ所有スル土地ハ主ニ渥美郡牟呂吉田村ニ於ケル神野新田ニシテ其ノ面積一千一百町歩ニ及フ小作人保護並ニ農事獎勵ノ爲施設スル事業中見ルヘキモノ尠シトセス其ノ狀況左ノ如シ

▲耕地整理 當新田ハ元來海面ヲ埋立テタル地ニシテ用悪水路ノ關係ニ甚シキ困難アリ年々莫大ノ費用ヲ投シ之カ浚渫ヲ計ラサルヘカラサリシ爲第一期計劃トシ字磯邊大崎ニ接スル百七十一町歩ヲ着手シ第二期ハ五百三十二町トシ漸次整理完成スル計畫ヲ以テ去ル第四十二年度ヨリ工事ニ着手シツ、アリ

▲農民保護及風紀肅整 當新田ニ移住シ來レルモノハ伊勢、美濃、尾張及西三河地方ノ農民ニシテ其ノ郷里ニ於テ志ヲ得ス貧窶ニ迫リ已ヲ得ス移住シ來ル者多クシテ農事ノ改良或ハ風紀ノ作興ヲ圖ルハ甚タ至難ナリシカ地主ハ茲ニ着眼スルアリ左記ノ計畫ヲ爲シ宗教ト教育トノ二方面ヨリ彼等ヲ統率セリ

一 神社ヲ新設シ我瑞穂國ノ皇祖大神ヲ奉祀シ以テ皇統連綿タル君主ヲ崇敬シ併セテ報國敬神ノ念ヲ起サシムルコト

二 學校ヲ設置シ學藝ヲ獎勵シ學齡兒童ヲ驅ツテ悉ク就學セシメ傍ラ教員ヲシテ蒙昧ナル農民ノ爲ニ戸籍其ノ他ニ關スル願  
書屆書類等ヲ周旋セシメ尙衛生上ノ注意ヲナサシムルコト

三 寺院ヲ建立シ高德ノ僧ニ乞ヒテ住職タラシメ日夜民ノ寸暇ヲ利用シ一堂ニ會セシメ應報因果ノ道理ヲ説キ善惡正邪ノ分  
別ヲ教ヘ尙國法德義ノ何モノナリヤ及地主ト小作人ノ關係等ヲ聽カシメ以テ老若男女ノ遷善感化セシムルコト

右ニ關シ第一着ニ三ヶ所ニ神社ヲ新築シ内宮、外宮ヲ奉祀シ次テ村立神野尋常小學校ノ設立ノ允許ヲ得全教育費ヲ寄附シタリ  
シカ其ノ後村治上ノ關係ヨリシテ休校スルニ至リ住民ノ子弟モ止ムナク本村小學校ニ通學シ爾來高師、牟呂新田ノ兩村ニ毎年  
數百圓ヲ教育費トシテ寄附シ居レリ又二千百坪ノ敷地ヲ定メ圓龍寺ヲ建設シ三十六年四月竣工セリ

斯クノ如ク風紀ノ刷新ニ努力スル所アリシカ今ヤ時勢ノ要求ハ更ラニ進ンテ青年ノ教育ヲ促ス切ナルモノアルヲ認メ新田内ノ  
中央ニ一會場ヲ建設シ一部ハ教員住宅ニ充テ農閑期ニハ夜學校ヲ開キ専ラ青年ノ品性ヲ陶冶シ兼テ處世上ノ智識ヲ授ケ他ハ娯  
樂場ニ充テ各會員ニ一冊宛ノ日記帳ヲ渡シ置キ見聞、思想、作業ノ順序其ノ他後學ノ爲トナルヘキ事項ヲ記載セシメ毎年度末  
ニ至リ之カ品評會ヲ開催シ或ル項目ニツキ審査ヲ行ヒ批評ヲ加ヘ以テ表彰スル方針ナリト

▲高齡者保護方法 小作人ノ高齡者ヲ保護シ時ニ壯年者ヲシテ年長者ヲ尊敬スル美風ヲ養成セシムル爲七十歳以上八十歳以上  
九十歳以上百歳以上トニ區別シ各保護金ヲ養老金ト稱シテ惠與ス

▲信用組合ノ設立 小作人ヲシテ貯蓄ヲナサシムルニハ或ル一定ノ規程ニヨリ束縛シ生活上必要以外ノ途ニ依リテ得タル收利  
ノ蓄積ヲナサシメント明治三十一年組合方法ヲ立案シ最初ハ小作者カ一日ノ業務ヲ終リタル後夜業トシテ一把ノ繩又ハ一足  
ノ草鞋ヲ作ラシメ一箇月末ニ至リ之ヲ購求シテ其ノ半額又ハ一部ヲシテ一定ノ限度以上ノ金額ヲ貯蓄セシメタルニ起因シ後  
明治三十五年産業組合法ニ依リ無限責任神野新田信用組合(後四十一年有限ニ變更)ヲ組織セリ  
目下貸付ハ主トシテ肥料購入資金ニ利用サレ其ノ方法極メテ便利ナリ即チ希望者ニハ特ニ之カ約定證ヲ徵シ保證人二名ヲ連署

セシメ最高降度ヲ定メ其ノ範圍内ニテ各組員ヨリ小切手ヲ振り出サシメ其ノ小切手ニ支拂ノ保證ヲナシ之ヲ以テ直チニ豊橋  
地方各肥料店ヨリ買入ヲナスト同時ニ此ノ切手ヲ肥料買入ノ用途以外ニ使用スルコトヲ防クノ法ナリ爾來細農モ容易ニ所用ノ  
施肥ヲナスヲ得貸付金ノ償還豫定ノ如ク良成績ニシテ契約通りニ履行セラレツ、アリ其ノ成績顯著ナルモノアルヲ以テ明治四  
十四年四月産業組中央會ヨリ表彰セラレタリ

▲農事試驗場ノ設置 明治三十九年ヨリ該新田中央ニ水田九反歩一畑反三畝歩ヲ劃シ經費六百五十餘圓ヲ投シ試驗場ヲ設立シ  
農作物全部ニ涉リ該新田ニ適スルヤ否ヤヲ試驗シ若クハ肥料耕作ノ方法ヲ調査シ同時ニ模範田ヲ作り小作人ニ示シツ、ア  
リ

▲講事ノ設備 收音講ヲ設ケ耕耘ニ使用ノ牛馬買入資金ノ運用ニ供セシメ舟講ヲ設ケ作物運搬及海草其ノ他天然肥料採收ニ供  
スル小舟買入又ハ改造ノ資金ニ充テシメ地主ハ此ノ講事ノ取締ニ付嚴重ナル監督ヲナシツ、アリ

▲小作人心得書 農事獎勵法 明治二十七年神野新田開拓以來農事獎勵若クハ産米改良等種々ノ方法ヲ施設シ來リシカ明治三  
十九年八月左記獎勵法ヲ設定シ是ニ依リ農事ヲ獎勵シツ、アリ爾來日淺キヲ以テ効果著シカラスト雖モ堆積肥料獎勵ノ如キ  
大ニ見ルヘキモノアリ

小作人心得書

(一)事務取扱方 當事務所ハ數百人ノ小作人其他カ相手テイロノノ取引カアリマスユヘ何事モ偏頗ノナイ様ニ取扱  
ツテオリマスカ是カラハ農事獎勵法カイロノノ出來又改良スル事ナト澤山アリマスカラマスノ「エコヒイキ」ナ  
ク又規則ヲ堅ク行ヒマノカラ諸氏ハ此ノ心得書ニアル事ヤ當事務所ヨリ話シタル事ニハ間違ハヌ様注意シナサイ  
僅カノ不注意テ諸氏ノ損ニナル事カアリマス

(二)事務 ハ毎日取扱ヒマスカ格別急ク用事ノ外ハ毎月一日十一日二十一日カ雨カフル日ニオイテナサイ其ノ日ニハ  
大概各事務員カアリマス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- (三) 勘定拂日 毎月十一日二十一日ノ外ハ支拂ヒ又ハ貸付シマセン
- (四) 肥料金 ハ毎年四月中ニ其年度内ニ各自借入レル金額ヲ申出ナサイ諸氏ノ小作反別ト信用ニヨリ相談ノ上定メ約定證ニ保證人二名ノ加判ヲシテ差入ルレハ入用ノ時ハ帳面ト實印ヲ持參スレハ貸シマス  
此ノ約定ノ金高ノ外ニ借入タキ人ハ入用ノ道ヲ申出相談ノ上別ノ證書ニ保證人二名ノ加判カイリマス  
約定ノ金テモ中途ニ不信用ノ事ヲシタリ又ハ小作人ノ心得書ニ反キタル人ニハ金ヲ貸シマセン
- (五) 撰種 粳種ハ毎年四月二十日ヨリ三十日マテノ間ニ麥種ハ十二月十日ヨリ三十日マテニ苦鹽撰種ヲセネハナリマセヌ其ノ時ニハ當事務所カラ立會マス
- (六) 苗代 ハ規定及獎勵法ニヨリ共同シテ作ラネハナリマセヌ共同以外ノ苗代ニハイロノノ特別扱ヤ褒美ヲ受ケル事ハ出来マセン
- (七) 田植 ハ毎年舊六月「チウ」三日前ヨリ「ハンゲ」三日下リマテニ植付ノ日割ヲシテ告示シマスカラ其ノ日限中ニ植付ヲセヌト不作ヲモ定免ヨリ引キマセン  
字々ノ日割ニ植付ヲセヌト用水ヲカケル事カチキヌ時カアリマスユヘ成ルヘタ日割ニ植付ナサイ  
田ノ繩張ハ成ルタケ田ノ縦ニスヘシ  
田植ノ繩張モセヌ人ハ不作ヲモ定免ヨリ引キマセン
- (八) 畦 今年カラ地界ニハ必ラス畦ヲツク事ニシマシタカラ舊冬中ニツクヘシ  
畦ノ巾ハ地界ヲ中心トシテ巾一尺高サ五六寸位トス  
初メテ畦ヲツク時ハ兩方ニテ半分ツク、ツクヘシ例ヘハ二十間ノ地界ニハ一方ニテ十間ツク、ツクヘシ  
畦ノ無イ田ニ裏作ヲスル人ハ半分畦ヲツクキ殘リノ半分ハ畦土ヲ殘シ置クヘシ畦ノ草ハ互ニ成タケキレイニ刈リ隣ノ地ノ迷惑ニナラス様シナサイ

- (九) 除草 田ノ草ハ植付ノ日割後二十日目ニ一度其ヨリ十日目毎ニ三度及ヒ秋草ヲ二度廻リマヌユヘ三度以上草取ノワルキ田ハ不作ヲモ定免ヨリヒキマセン  
取草ハ道ヤ畦ヘ上ケル事ハ堅ク禁シマス此ノ草ヲ田ノ中ヘ踏込ムト田肥ニナリマス若踏込ムトワルイ草カアレハ家ヘ運ンテ堆肥ニシナサイ
- (十) 浮塵子驅除 浮塵子ハ二番草三番草ノ時分ニハ一株ニ大概二三匹位ヒ居リマヌユヘ其ノ頃ニ除蟲液ニテ驅除スレハ手數モ樂テ油モ澤山入りマセン  
土用明頃ニ浮塵子カフエマシタラ二番目ノ驅除ヲシナサイ若其ノ時ニ驅除ノ知ラセヲシテモ驅除セヌ人ハ不作ヲモ定免ヨリ引キマセン
- (十一) 用水 其ノ他ノ都合テ或區域タケ共同驅除スル事カアリマス其ノ費用ハ反別ニ割付マスユヘ支拂ハルヘシ
- (十二) 作道 作道ヤ又ハ車道ノフチニ豆ヲ植ル事ハ今年ヨリサシ止マス  
作道ヲケツリ畑ソヒノ道ヲセハメヌ様注意シナサイ若道ヘ作物ヲシタラアラサレテモ苦情ハイヘマセン  
用惡水ノ堤防ヤ道クロニアル木ノ枝ハ九月中ニ作地續キノ之カ幹ヲイタメヌ様ニ切り薪ヤ堆肥ニスヘシ立木ハ「ハザカケ」ニ使ツテモ差支ヘアリマセン
- (十三) 稻ノ種類 毎年各々ノ作地稻ノ種類ヲ十月十五日迄ニ一筆毎ニ口頭ヲ届ケルヘシ
- (十四) 小作控米 ハ毎年十二月十日マテニ日割ヲシラセマスカラ間違ハヌ様當事務所ヘ又ハ指圖シタ所ヘ納メルヘシ  
控米ニ左ノ米ハ納リマセンユヘ持參シテモ取替ヘサセマス
  - 一 二番挽ヤ三番挽ヲ混セタル米
  - 一 乾燥カワルクテ蟲害ノ憂ヘカアル米
  - 一 外皮カ古俵テアルカ又内皮カ新藁ノ俵テアルトキ

地主ノ農事ニ關スル施設事例



- 一 不動繩力規定通りカ、ラヌ俵
- 一 糶カ一サシニ四粒以上アルカ又ハ碎米ヤ粉米ノアル米
- (四) 引方、沙出ノ爲メニ不作ノ人ハ毎年十月十五日迄ニ届ケ出ナサイ検見ノ上引方イタシマス期日マテハ申出スト引方シマセン

今年ヨリハ不耕作ノ爲メ不作ノ田ハ引方シマセンユヘ成ヘク丹精シテ作リナサイ

多勢不作引方ノ爲メ寄合ヲナシ又ハ引方勘辨ニ付大勢當事務所ヘ強迫カマシキ願ヒ出等ハ堅ク禁シマス

若一般ノ人ニ引方シテモコノキマリニ反キタル人ハ定免ヨリ引キマセン

- (十五) 農事獎勵、堆肥綠肥獎勵法、共同苗代規定及獎勵法、小作米改良獎勵法、正條植獎勵、竈ノ改良獎勵、競作試驗、肥料試驗法等ヲ定メ本年カラ行ヒマスユヘ獎勵ノ主旨ニ從ヒ成丈丹精シテ下サイ追々時宜ニ應シテ尙改良ノ方法ヲ告示シマス

(六) 農事試驗場、試驗場ハ農事ノ改良ヲスル方法ノ研究ト又諸氏ニ見セル爲メニ當事務所カ澤山ノ費用ヲ使ツテ模範田一坪ノ株數試驗、肥料試驗、種類試驗、肥料施用季試驗ヲイタシ其ノ外畑作物ノ試驗モオイノイタシマスカラ

- 諸氏ハオソリノ見廻リニオイテナサイ不審ノ事ハイツモ試驗場員カクワシクハナシテアケマス

堆肥綠肥獎勵法

當新田ハ開拓シテカラ十三年ニナリマスカマタ七八年前迄ハ汐氣ノアルノテ米ノ收穫セス田カ餘程アリシカ此ノ頃ハ大概沙枯ノセヌ様ニナリタリ其ノカハリ鹽分ノ作用ノタメニ海ノ時ノ肥ハ殘ラス吸上ケラレシ故此ノ二三年ハ純粹ノ無肥料地トナリマシタ是カラ諸氏ノ丹精テ追々土地ノチカラカ出來米ノ收穫モ増シマス時代ニナリマシタ然ルニ金肥ハ年々高クナリ又一年毎ニ増シテ入レネハ効能カ見ヘマセヌユヘ米ヲ澤山收穫シテモ勘定ニ合ハヌ様ニナリマスカ其ユヘ金ノカ、ラヌ肥ヲ作リ其ノ補ヒニ金肥ヲ使フヨリ致方アリマセヌ此ノ度金ノカ、ラヌ堆肥ヤ綠肥ヲ栽培スル獎勵法ヲ設ケテ三年間續ケテイロノ諸氏ニ補助シ

マスカラ成タケ勉強シテ下サイ然ルニ當新田ニ居住ノ小作ハ外々ト違ヒ作地カ割合ニ多イノテスカラ逆モ堆肥テハ出來ヌ人モアリマス其ユヘ堆肥ノ足ラヌ所ヘハ綠肥ヲ入レルノテス紫雲英ヲ作リマスカ一一反歩ニ出來タ紫雲英カ上出來ナレハ三反歩中位テモ二反歩ノ肥ニハナリマスカ足ラヌ所ヘハ藁ノ外積ヲシテ一番打ノ前ニ振ツテ鋤込ム様ニシ成ヘク金肥ノ入ラヌ工夫ヲシサイ堆肥、綠肥、泥肥ナトハ其ノ年ニ効ク殘リカニ割位ハアリマスカ其ノ年ニ効クタケカ金肥ニクラヘルト骨折ヲ勘定シテモ餘程安クツキマス

堆肥及堆積肥料小屋建設補助

- 一 堆肥ヲ作ル人ニハ毎年五月ト十月ニ届出シタイ檢査シテ千貫目ニ(藁ナレハ凡百束位)金二圓ツ、補助シマス併シ出來工合ニヨリ補助ノ金ニ差ヒカアリマス
- 一 堆肥小屋ヲ新シク建ル人ニハ木、竹、瓦ノ代金ヲ作り方ニヨリ三年ヨリ七年迄ノ間ニ返金スル無利足年濟法ニテ貸シマス
- 一 金ヲ借タル人ハ借金十五圓ニツキ堆肥千貫目ツ、積マネハナリマセヌ積マヌ人ハ年一割ノ利足ヲ取りマス
- 一 金ヲ借タル人ニハ普通ノ半額ヲ補助シマス

附リ

- 一 新田ニ居住セヌ人ハ新田ノ中ニ小屋ノアル人ニ限リ補助シマス又新田ノ中ニ小屋ヲ建ル人ニハ金ヲ貸シマス

綠肥栽培補助

- 一 田ノ裏作ニ紫雲英青刈大豆ヲ作ル人ニハ藪付ル種ヲアケマス
- 一 紫雲英ヲ作ル田ノ肥料トシテ藪場一反歩ニ金一圓五十錢又ハ其ノ代金ニ當ル肥料ヲ補助シマス
- 一 青刈大豆ヲ麥作ノ無イ田ニ作ル人ニハ藪場一反歩ニ七十錢又ハ其ノ代金ニ當ル肥料ヲ補助シマス麥ノ間作ニ作ル田ニハ肥料ヲ補助シマセン

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- 一 補助ノ肥料ヲ入レル時ハ當事務所ヨリ立會マスユヘ其ノ二三日前ニ肥料ノ金品ヲ受取ニ來テ施肥ノ日時ヲ申出ナサイ
- 一 紫雲英ヲ作ル人ハ八月中ニ青刈大豆ヲ作ル人ハ二月中ニ其ノ田ノ字番ト反別ヲ申出ナサイ
- 一 紫雲英ヲ作リタル人ノ内丹精ノ人ヲ選ミ賞與ヲアケマス

附リ

一 小麦ヲ裏作ニ作ルコトハ田ノ植付耕作カ遅レマスユヘ今年ヨリハナルヘク止メルヘシ小麦ノ間作ニハ青刈大豆ノ種ハアケマセン

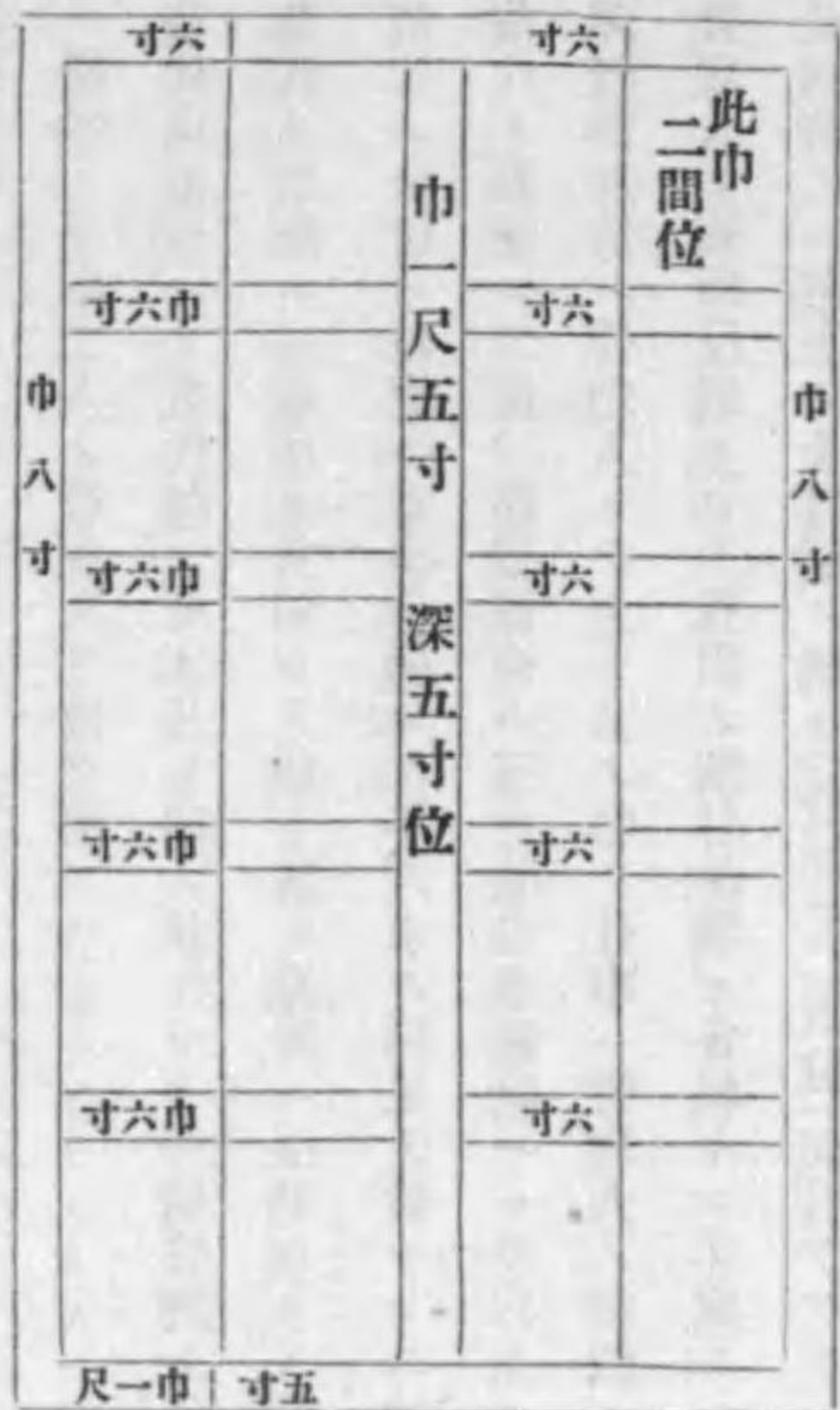
栽培法

一 紫雲英

- (一) 蒔種 ハ秋彼岸入ヨリ十五日間位ノ内一反歩ニ三升位ヲ蒔付ルコト
- (二) 蒔法 稻ノ穂首カタレテカラ水ヲ干シテ一二日間ヲ置キ種ヲ一晚水ニ入レテフクラマシ藁灰ト混セテ蒔ケハ量カフヘテ蒔ニ樂テ又芽ヲヨクキリマス
- (三) 作方 蒔付ヲシテカラハ必ス水ヲ引入レテハナリマセン又稻ヲ刈タレハ直ニ雨水ノ溜ラヌ様圖ノ如キシケ拔ヲ堀リ水落ヲヨクセネハナリマセヌ尙十一月中ニ霜ヨケノ爲ニ藁ニ三十束ヲ三ツ切ニシテフルヘシ
- (四) 肥料 一反歩ニ付過磷酸五貫目、藁灰十五貫目位、人糞尿四五荷、藁灰ハ藁ヲフル前ニ朝露ノ葉ニナイ時フルヘシ此ノ時ニ堆肥カ土肥ヲ混セテフレハ尙ヨイノテス
- (五) 刈時 刈時ハ花ノ盛リカヨロシ日和ヲ見テ一二日乾シテ「ヲシギリ」ニテ六寺位ツ、ニ切り直ニ鋤込ムヘシ

糞尿ハ三月中頃(彼岸前)五六倍ニノハシ過磷酸ヲ入レテカケルヘシ

總巾五十間至十間



水吐口

一 青刈大豆

- (一) 蒔種 麥作ノ無イ畝ニハ春ノ彼岸入前後ニ麥ノ間作ニハ彼岸過ヨリ二十日間位ノ内ニ蒔付ルヘシ
- (二) 蒔法 麥ノ畝ニソツテ凡ソ一尺間ニ孔ヲ明ケ種ヲ四五粒ツ、入レ田土ト堆肥カ又ハ藁灰ヲ混セテ孔ヲウメルヘシ
- (三) 肥料 種蒔ノ時ニ堆肥ヲ少ツ、入レ芽ヲ出シテカラ過磷酸ヲ蒔場一反歩ニ五貫目位施スヘシ
- (四) 刈取 麥ヲ刈リテカラ少ナクモ一週間位過キテ根コキニシ日和ニ一二日乾シテ鋤込ムヘシ

屋外堆肥補助

- 一 藁ト土トヲ外ニ積ミ堆肥トシテ田ニ入レル人ニハ藁十束ニ付掟米一升(二十束ナレハ二升)ヲ定免ヨリ引マス其ノ上肥泥ノ乗賃トシテ土一坪ニ金七十錢宛補助シマス
- (一) 泥土ハ春夏ノ中ニノリ土シテ田ノソハニテ乾シアケ冬ノ寒氣ニアテ二三月頃ニ藁ヲハサミテ積ムヘシ
- (二) 積場ハ田ヨリ高キ處ニテ成ヘク杭ヲ打チ藁カ藁ニテカコフヘシ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- (三) 切返シヲスル時ニハ米糠又ハ麥糠ナトヲ入レマスレハ上等テス
- (四) 一番積ノ儘テ切返シノ出來ヌ人ハ泥土ヲ澤山使ハヌトイキリカツヨ過キテ肥料分カニケマス
- (五) 田ニフルニハ水ノ無イ時ニシテ直ニ鋤込ムヘシ入レタ儘ニシテ置クトイクラカ肥料分カ流レマス

共同苗代規定及獎勵法

苗代ハ農業ノ技術ニシテ又農家ノ最モ大切ナル作物テアリマス苗ノ太イト長イ短イトヲ揃ヘ極加減ノヨイ育チニ作ルコトハナカ／＼六ヶ敷事ナレトモ又苗ノ出來カ不十分ナルトキハ收穫ニ大ヘンノ異イカアリ甚シキトキハ汐氣ノアル處ヤ水カフリノスル處ハ丸テ枯レタリ腐リタリシテ皆無ノ事カ時々アリマス誠ニ苗代ヲ作ル事ハ諸氏ノ第一ニ注意セネハナリマセン依テ此ノ度當事務所ニ於テ共同苗代ノ定メヲ設ケ各組々共同シテ苗代ノ改良ヲスル事ニ致シマシタユヘ此ノ規定ニ記サヌ事ハ組々テ定メヲ作リ決シテ我儘ノ事ヲセヌ様ニ互ヒニ補ケ合フテ改良ノ出來ル様ニツトメラルヘシ

- (一) 一ニナヘニニハコヤシニ三手入レ四ニ蟲トレハイツモ豊年
- (二) 共同苗代ハ一區ノ内一號地以上ニ限リマス
- (三) 一組毎ニ正副二人ノ管理人ヲ置ク事
- (四) 苗代地指ヘヨリ苗代跡ノ肥入及ヒ田ノ耕作マテ一切管理人ノ指圖ニヨルヘシ
- (五) 苗代ノ堆肥ハ一場所ニ共同シテ積ミ其ノ原料ハ反別ニヨリ割付ケル事
- (六) 苗代ノ金肥ハ特別ニ當事務所ヨリ年六米ノ利足テ貸シマス故管理人ヨリ申出ルヘシ
- (七) 苗代ノ蟲捕ニ二度、點燈蟲捕ハ三度除蟲液驅除ハ一度以上ナスヘシ
- (八) 灌溉排水等ハ管理人ニテナシ其ノ他ノ仕事ハ管理人ノ指圖ニヨリメイ／＼共ニ行フヘシ
- (九) 管理人ノ報酬反別ニヨリ費用ノ割付法等ハ各組々ニテ定ムヘシ

共同苗代ハ審査ノ上丹精ノ組ニ(各區ニ二組位)褒賞ヲアケマス

但シ反別ト人數ニヨリ褒賞ノ差ヒカアリマス

- (十) 苗ノ植付後ノ比較試驗ヲシマスユヘ各組ヨリ苗ヲ三十把ツ、六月二十四日ニ當事務所試驗場迄持參スヘシ

注意

- 一 苗代ノ共同堆肥ヲスル小屋ノ竹、木、瓦ハ補助シマス

小作控米改良獎勵法

當新田ハ新開地ナレトモ砂質壤土ニシテ而カモ旱田テスカラ産米ノ原質ハ善良ナルヘキハツナル上ニ數年小作米品評會ヲ催シテ米質ノ改良ヲ獎勵シ諸氏又熱心ニ改良セラレオイ／＼宜シクナリマシタカ其ノ乾燥ニ至リテハ未タ他ノ産米ニ及ヒマセン殊ニ此ノ兩三年俵裝ノ方法大ニ惡クナリ甚シキハ古俵ヲ使ヒマスカラ是ヲ市場ニ出ス時ハ俵ノ造リ直シテセネハナリマセマ其ノ外改良スヘキ事カ澤山アリマス故今回控米改良ノ獎勵ヲ改正シタルニ付諸氏ヨリ此ノ方法ヲ讀ンテマス／＼改良セラル、ヤウ望ミマス

乾燥

- 一 乾燥ヲ十分ニセヌ米ハイロ／＼損カアリマス其ノ二三ヲ記セハ
  - 第一 夏マテ貯ヘ置キマスト蟲カワイテ八九月頃ニハ一俵テ一升位甚シキハ二升モ樹ヘリカシマス
  - 第二 白摺ノ時粹米ヤ粉米カ澤山出來テ米ノ收穫カヘリマス此ノ損ハナカ／＼大シタモノテアリマス
  - 第三 白摺シテ米ト糲トヲ別ケルニハタイヘン手間カカ、リマス其ノ上十分ニ別ル事カ出來マセヌ故ユリ箱テユラネハナリマセヌ乾キカヨケレハ千石カ萬石テ立派ニ出來アカリマス
  - 第四 米ノ光澤カナイト米粒ニトフスレカシテ米ノ品質カタイヘン惡クナリマス
- 右等ノ損ハナカ／＼小サクアリマセン故諸氏注意シテ左ノ方法ニヨリ乾燥スヘシ乾燥ノ惡イ米ハ控米ニ納リマセン若納リマシ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

テモ割増米ヲ取立テマス

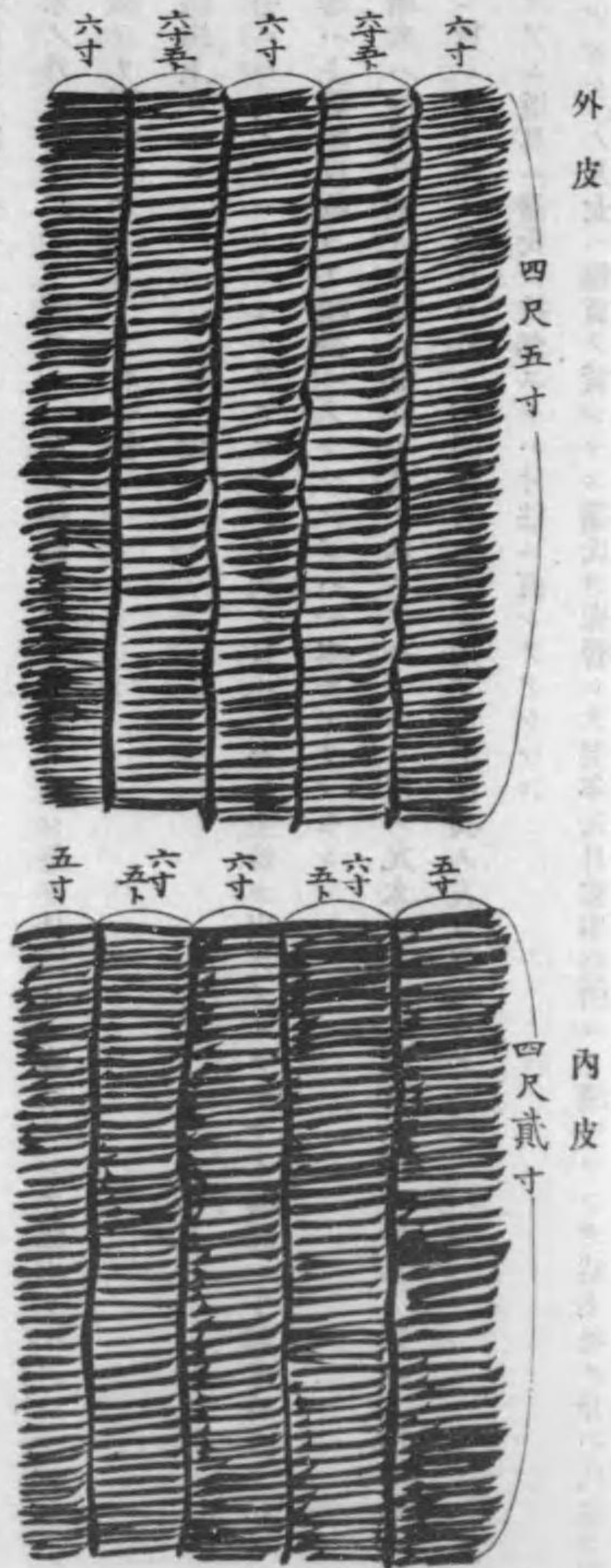
- 一 ハザガケ 稲ヲ刈取ルト直ニハザガケニナシ日和積キナレハ一週間位雨天カアレハ十日間位カケテ扱落スヘシハサカケノ杭ヤ丸太ハ早稻中稻晚稻ト順番ニ使ヘハ澤山ニ入ラヌモノテス
- 一 ムシロホシ ハザガケヲシタル稻ハ一日カ二日若シハザガケセサル稻ハ必ス三日干ニシテ一晝夜位扱ニ越ヲキセテネカシタル上白摺スヘシ

調製

- 一 粳、ヌキ 粳ノ多イ米ハ白米ニ搗上テモ十分粳カトレス食スルニ困リマス故粳カ米一サシニ四粒ヨリ多イモノハ控米ニ納リマセン
- 一 碎米、ヤ粉米、ヌキ 碎米ヤ粉米ハ何程米ニ入タイテモ樹量ハフエマセン故十分「トフミ」カ粉米ドフシニテスケハ其タケ利益テス其ノ上碎米ヤ粉米カアルト米質カ悪ク見エマス
- 一 二番挽ヤ三番挽ノ米ヲ混シマスト控米ニ納リマセン

俵装

- 一 米ノ俵装カ悪イト中ノ米カ悪ク思ヘマス古諺ニ「馬子ニモ衣装」ト申シマス故俵装ヲヨクセネハナリマセヌ殊ニ當新田ハ所々ヨリ移住シテ來タ人テスカラ各自手馴タル造リ方ノ俵ヲ一定シテオラス運搬ヤ扱ヒニ困リマヌユヘ此度俵ノ拵ヘ方ヲ定メマシタ
- (一) 外皮 ハ新俵ヲ用ヒル事(成ヘク古葉カヨロシ)古皮ハ納リマセン
- (二) 内皮 ハ古葉俵ヲ用ヒル事(古俵ニテモヨロシ)新葉俵ハ納リマセン
- (三) 俵ノ編方 ハ此圖ノ寸法ニ造ルヘシ



- (四) 横繩 ハ二重カケニテ内外トモ五ヶ所結トスル事
- (五) 不動繩 ハ俵ヲ十字形ニカケ横繩一ヶ所ニ四ヶ所ツ、總體十二ヶ所引掛ケ横繩ノ動カヌ様ニスル事
- (六) 繩ノ太サ ハ横繩ハ徑二分五厘以上不動繩ハ徑四分以上トナシ凡テスリ繩トスル事(内皮ノ繩ハ並ノモノニテヨロシ)

此ノ規定ニ反キタル俵ハ納リマセン

- 一 ハマイ 端米ヲ納メル時ハ必ラス左ノ定メヲ注意シテ持參スヘシ
  - 一斗五升以上 内皮一枚
  - 二斗五升以上 内皮外皮共二枚
  - 三斗五升以上 内皮外皮ノ外ニ繩共

賞罰

地主ノ農事ニ關スル施設事例

是迄ノ小作米品評會審査ノ方法ヲ改メテ掟米ヲ納メル時一俵毎ニ米質ト俵裝トヲ審査シ賞罰ヲ行ヒマス

- (一) 一等ヨリ三等マテヲ合格米トシ一等二等ニ賞米ヲ與ヘマス
  - 一等 賞米 一俵ニ付米七合
  - 二等 賞米 同 二付米三合
- (二) 四等五等ヲ不合格米トシ割増米ヲ取立マス
  - 四等 割増米 一俵ニ付米二合
  - 五等 割増米 同 二付米五合
- (三) 賞與米ハ翌年ノ掟米ヲ納メル時ニ渡シマス
- (四) 賞與米ヤ福引ノ籤札ヲ受クヘキ人ハ當事務所ヨリ通知シタル日限ニ納メタル人ニ限リマス其外ノ日ニ比參シタル米ニハ賞與ハ出シマセン
- (五) 賞米ノ外ニ一、二、三等米ニハ左ノ俵數ニヨリ籤札ヲ渡シ舊正日三日ニ籤引ヲシテ福引ヲイタシマス
  - 一 三俵ヨリ五俵マテ 札一枚
  - 一 五俵以上コトニ 札一枚
- (六) 福引ニハ女ノホシカルモノヲアケルカラ其ノ日ニハセヒ主婦カ出テオイテナサイ時間ハ午前十時カラ始メマス
- (七) 一等ハ上等絹反物ヨリ順番ニテカラクジハ一本モアリマセン
- (八) 割増米ハ掟米ヲ納メル時ニ取立テ其ノ米ニテハザガケ用ノ丸太カ其ノ外改良米用ノ農具ヲ買入レ割増米ヲ納メタル人ニ貸シマス此ノ農具ハ五ヶ年間保管シテ使用サセタ後其ノ人ニ與ヘマス
- (九) 俵ヲアム道具ハ諸氏カ持參スレハ寸法ニ直シテアケマス
- (十) 「ハザガケ」ノ丸太ハ無賃テ貸シマス諸氏カ保管シテ翌年九月當事務所ヨリ調ヘマシタ時不足ノ分ハ代金ヲ取立

マス

注 意

- 一 俵裝ノ見本トシテ一俵ツ、各區長ノ宅ニ備ヘテアリマスカラヨク見テ其ノ様ニ拵ヘテクダサイ
- 一 ハザガケノ丸太ヲ無賃テ貸ス事ハ新田ノ住民ニ限リマス

農事各種獎勵法

- 一 正條植獎勵 田植ヲ定規植ニシテ一坪ハ四十二株以上植ル人ニハ一反步ニツキ金十五錢ツ、補助シマス
  - (一) 定規植ハ一二年手間取マスカ、馴レハ格別手間取マセン
  - (二) 定規植ヲスルト風通リカヨク根元ヘ日カヨク射シマス
  - (三) 定規植ヲスルト田ノ草取ニ器械カ使ヘマスノト手取テモハカ、ユク得カアリマス
- 一 竈ノ改良獎勵 改良竈ヲ築ク人ニハ煉瓦、「サナ」ト竈築職人ヲ補助シマス改良竈ニ使フ薪ノ買入代金ニ貸セル金ハ一圓ニ付月五厘ノ利息ヨリ取マセン
  - (一) 改良竈ヲ築テ堆肥ノ原料ニスル藁ヤ麥殼ヲ成タケ焚カヌ様ニシナサイ
  - (二) 改良竈ハ普通ノ竈ヨリ焚物カ四割ヨリ二割位減シマス
  - (三) 改良竈ハ二ツ焚ケハ三ツノ釜カ煮ヘマス
- 一 競作試験
  - (一) 一場所三反步ヲ十人ニ分ケテ一人ニ三畝步ツ、作ラセマス
  - (二) 一場所毎ニ審査シテ丹精ノ人三名ニ褒美ヲアケマス
  - (三) 賞與ハ一等ニ米半俵、二等ニ米一斗、三等ニ米五升マテアケマス

一 肥料試験

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- (一) 一區内ニテ諸氏ノ内カラ正直ニシテ而カモ農事ニ丹精ノ人ヲ一名ツ、選ミ其ノ人ニ肥料試驗ヲサセマス
- (二) 試驗田ハ一二反歩ニ十種位ツ、作ラセマス其ノ肥料ハ當事務所ヨリ補助シマス
- (三) 試驗田ハオリノ諸氏見廻リテ翌年ノ稻作ヲスル參考ニシナサイ

### 伊藤次郎左衛門氏ノ施設

名古屋市西區茶屋町

其ノ所有地タル海西郡飛鳥村ニ地主會ヲ設ケ時ニ講話會ヲ開催シテ専ラ地主ト小作人間ノ融和ヲ圖リ或ハ農事獎勵ノ目的ヲ以テ小作人ヲシテ縣立農事試驗場ヲ參觀セシメ或ハ産米品評會等ヲ開設シテ優等者ニ賞品ヲ授與スル等ノ方法ヲ採レルモ一般小作人ハ舊慣ヲ固守シ收益上不利尠カラサルヲ以テ假令ハ綿作ノ如キ輸入品ニ壓セラレテ殆ント顧ミルノ値ナキモノニ對シテハ利益アル蔬菜等ニ替ヘシメ或ハ畑地ヲ變シテ米田ニナサシムル等専心産業ノ發達ヲ圖リ又一面ニ於テ信用購買組合ヲ組織シ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムル等着々其ノ効果ヲ奏シツ、アリ

### 大野松藏氏ノ施設

西春日井郡北里村

- 夙ニ意ヲ農村ノ改善及農事ノ獎勵ニ注キ拮据經營其ノ治績ノ見ルヘキモノ尠カラス其ノ重ナル事業ヲ擧ケンニ左ノ如シ
- 一 萬難ヲ排シテ排水工事ヲ竣工シ一毛作田ヲ二毛作ノ良田ニ變化セシコト
  - 二 村内經濟ヲ調査シテ村民ノ經濟思想ヲ涵養セシコト
  - 三 綠肥栽培ヲ獎勵シテ肥料經濟ヲ補フコト
  - 四 信用購買組合ヲ組織シテ貯蓄ヲ獎勵スルト同時ニ資金ノ融通ヲ圖リ或ハ物品ヲ格安ニ購買シテ之ヲ組合員ニ分配スルコト
  - 五 青年夜學會ヲ組織シテ學術ヲ授クル傍勤勞主義ヲ鼓吹シテ會員ニ夜業ヲ爲サシメ或ハ試作田地ノ肥培ニ從事セシムル等總テ言語ヨリモ實行ヲ先ニシ着々向上發展ノ途ヲ講シツ、アリ

### 安井甚衛門氏ノ施設

海東郡富田村

米作蔬菜果樹其ノ他農作物ノ改良獎勵ノ爲メ善良ナル種苗ヲ購入シ之カ試作ヲ爲シ成績佳良ナルモノハ之ヲ小作人ニ分與シ又夙ニ稻ノ正條補ヲ實行シテ小作人ニ其ノ利益ヲ知ラシムル等小作人ノ保護及農事ノ獎勵ニ盡瘁スル所尠カラス又明治三十七年有限責任富永購買組合ヲ設立シ着々其ノ歩ヲ進メテ今ヤ模範組合タルニ愧テサル實績ヲ擧ケツ、アルハ一ニ同氏カ熱誠ノ結果ニ外ナラス

### 大寶陣氏ト排水機設置

海西郡飛鳥村

大寶陣氏所有ノ土地ハ卑濕ニシテ年々收穫ノ減少スルコト尠カラサル爲小作人ノ生計ニ苦痛ヲ與フルヲ憂ヘ明治三十八年獨力四千餘圓ヲ支出シ四十六馬力ノ排水機ヲ設置シ昔日ノ水害ヲ除キ小作人ニ便宜ヲ與ヘ又一面ニハ大寶信用購買組合ヲ設立シ諸般ノ便宜ヲ與ヘ居レリ

### 佐野治郎氏ト排水機設置

海西郡鍋田村

同大字ハ他字ニ比シ控米少カラサル爲メ地主ハ年々之カ減額ノ要求ヲ受ケサルハナシ同氏ハ之畢竟地主不徳ノ致ス所ト反省シ去ル明治三十七年自ラ四千餘圓ヲ投シ十二馬力ノ排水機ヲ設置シ排水ノ便ヲ得タルヨリ爾來水害ヲ被ムルコトナク從テ控米減額ノ要求ヲ爲ス者ナク今ヤ小作人ハ諸般ノ作業大ニ利便ヲ得餘念ナク作業ニ汲々タリ同氏ハ又稻作改良ニ付テ大小トナク種々ノ試験ヲ爲シ直接間接ニ公益ヲ與ヘツ、アリ

### 石川錦一郎氏ト小作米品評會

蠮 豆 郡 平 坂 村

從來三河米ナル名聲カ東京市場ニ喧傳セラレ特ニ控米ニ至リテハ三河藏米ト稱シ一層好評ヲ博シツ、アリシカ漸次聲價消滅シテ今ヤ殆ント三河米ナル呼稱タニ絶ツニ至レリ是實ニ地主對小作人ノ道義關係ノ頹廢ヨリ調製乾燥等ノ粗雜ニ失スルニ起因スルモノトナシ茲ニ小作人保護ト米質改良トヲ目的トシテ獨力小作米品評會ヲ起シ明治三十六年二月其ノ第一回ヲ開催シ出品點數五百七十二點ニ達シ郡内ノ老農數名ヲ聘シテ之カ審査ヲ依頼シ優等七十二點ニ對シテ賞品ヲ授與シ爾來年々實施シテ其ノ効果頗ル見ルヘキモノアリ爲ニ各地ニ於テ之ヲ模倣シ以テ産米ノ改良ト地主小作人ノ關係ヲ圓滿シラシメ延イテ地方ノ繁榮ヲ計ラントスル者漸次増加ノ狀況アリ殊ニ該品評會ノ賞品ハ必ス翌年ノ控米ニ於テ各等級ニ應シ夫レノ各減額スルコト、爲シタルハ小作人ノ保護獎勵トシテ頗ル當ヲ得タルモノト謂フヘシ尙ホ四十一年三月大船ヲ海上ニ浮ヘ小作人數百名ヲ之ニ搭乘セシメ談笑寢食ヲ共ニ伊勢山田市ニ至リ農業館及耕地整理等ヲ視察セシメタリト

### 田村善藏氏ノ施設

渥 美 郡 二 川 町

同氏ハ田畑反別十町餘歩ヲ有シ之カ小作人五十餘名中一俵以上ヲ納ムル者現今四十七人アリ明治三十五年ヨリ毎年米品評會ヲ

開キ米拵ノ改良ヲ圖ルト共ニ地主對小作人ノ圓滿ヲ企圖シ成績頗ル見ルヘキモノアリ他ノ地主亦之ニ倣フ者アルニ至リシヲ以テ進ント全町地主連合小作米品評會ヲ開催セント主唱シツ、アルモ未タ其ノ機ニ至ラス今既往ニ於ケル狀況ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一 小作米納付ハ約三日間トシ豫定ノ期日ニ持參セシメ一名ニ付米二台ツ、取除キテ審査用ニ供シ納米ハ總テ升量シ保米袋ヲ與ヘテ之ニ入レ俵裝セシメ受渡ヲナスヲ例トス
- 二 小作米ノ缺點種々アリト雖モ乾燥ノ不充分ナル爲メ貯藏中風化米トナリ或ハ害蟲ニ罹リ一割以上ノ減耗ヲ見ルハ敢テ珍シカラス依テ乾燥ニ重ヲ置キ左ノ如ク附點ス而シテ審査員ハ小作人ヨリ二名他ヨリ二名ヲ依頼シ同氏之カ審査長トナリ處理ス

#### 附點標準

- 乾燥 米 質 俵 裝 特 點
- 七十點 二十點 十點 一俵ニ付一點ヲ附加ス
- 三 褒賞授與式ハ毎年一月休日ヲ利用シテ同氏ノ居宅ニ開キ審査品ハ一室ニ陳列シ之ニ附點表ヲ貼附シテ縱覽ニ供シ當日ハ午前九時ニ小作人一同ヲ招待シテ農事改良上ニ就キ談話研究ヲナシ晝食ヲ饗應シテ倦怠ナカランメ各等級ニ應シテ賞與ヲナシ午後四時ニ閉會ス此ノ費額約三十圓トス而シテ農事改良ノ事タルヤ婦女子ノ注意ヲ惹クニアラサレハ効果ヲ奏シ難キヲ認メ賞品トシテ婦女子ノ好ム日用ノ家具又ハ半襟等ヲ授與セシカ年ヲ累スルニ從ヒ同一ノ賞品ヲ再ヒ與フルカ如キ嫌ヒアリシニヨリ昨年ヨリ現金ニ變更セリト云フ
- 以上ノ施設ニヨリ小作米ノ品位ヲ向上セシメ高價ニ販賣シ得ルノミナラス商店ヲシテ信頼セシムルニ至レリ其ノ他同氏ハ常ニ報徳主義ヲ鼓吹シテ農事ノ改良ヲ獎勵シ去ル明治三十五年ヨリ小作人并ニ有志ヲ糾合シ苗代ハ苗代ニテ一役ヲ終ヘタルモノナレハ苗代田ヨリ收穫シタル米ハ貯蓄スルモ差支ナシト説キ一戸ニ付米一升五合ツ、ヲ貯蓄ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

ルノ方法ヲ定メ之ヲ賣却シテ利殖ヲ圖リ日露戰役ニ際シ國庫債券ヲ募集セラル、ニ至リ金百圓ヲ應募セリ尙別ニ毎月金十錢ツ、ヲ貯金シ此ノ金額ヲ以テ堆肥舍ヲ新築スル者ニ金十圓ヲ貸與シ五ヶ年賦(毎年二圓)ニテ返済セシメ六  
 年目ニ金二圓ヲ報恩金トシテ提出セシムルノ方法トナシ既ニ十人ニ實行セリ然レトモ農家ハ毎月ノ收入金少ナキヲ  
 以テ昨年ヨリ例月貯金ヲ廢シ換フルニ二毛作田地ヨリ穫タル小麥ヲ賣却シテ一時ニ金一圓二十錢ヲ貯金スルコト、  
 ナシ貯穀法ト合セ今日ニ至ル組合員二十戸貯蓄總額五百圓ニ達セリ

### 寶樹寺住職麻蒔義嶽氏ノ施設

渥美郡田原町

同氏ハ資性温厚常ニ公共心ニ富ミ檀徒ノ信仰最モ篤シ寺有田畑反別三町三反九畝歩アリ之ヲ三十餘人ニ小作セシメ米八十俵  
 内外ヲ收納ス而シテ逐年米拵ノ粗惡ニ流ル、ヲ憤慨シ之ヲ矯正スルニハ小作米品評會ヲ開催スルニ如カスト認メ明治三十一年  
 隣村ノ老農兩三名ニ審査ヲ囑託シテ小作米品評會ヲ開キ總數ノ内優レルモノ三割ヲ撰拔シ更ニ之ヲ五等ニ分チ褒賞トシテ農具  
 ヲ授與シタルヲ初メトシ以後引續キ毎年開催シテ本年第十一回ニ及ヘリ  
 昨四十二年一月品評會第十周年紀念トシテ小作人并ニ附近ノ有力者ヲ招待シテ祝賀會ヲ開催セリ  
 以上施設ノ効果トシテ見ルヘキモノハ從來米拵ノ粗惡ナリシモノモ漸次精良トナリ初年ニ五階級ニ品評セシモ近年三階級ニ止  
 メ賞與數ヲ増加スルニ至レルハ品位ノ稍々均一トナリタルモノニシテ總テ高價ニ販賣シ得ルノミナラス小作人トノ關係ヲシテ  
 益々親密ナラシムルニ至レリ

### 廣中素介、山内元平兩氏ノ施設

渥美郡田原町

田原町大字浦二沖新田ト稱シ田反別二十九町步ノ一地區アリ右ノ内廣中氏ノ所有地六町四反六畝歩山内氏ノ所有地七町七反五  
 畝歩アリ此ノ小作人百五十餘名ニシテ通常收ムル小作米二百俵内外トス而シテ兩名共通シテ土地支配人ヲ置キ小作米ノ受渡ヲ  
 ナサシム新田米ハ一俵ニ付十錢乃至二十錢安價ナルヲ普通トシ小作米ノ調製粗惡ナルヲ常トス茲ニ於テ明治三十八年一月聯合  
 小作米品評會ヲ獎勵スルノ適當ナルヲ認メ町村農會其ノ他精農ニ依囑シテ審査ヲナシ優等者ニ授賞セリ以後引續キ本年ニ至ル  
 之カ成績トシテ認ムヘキハ米質ヲ改良シ調製ニ注意ヲ拂フ爲メ隨テ高價ニ販賣スルニ至レリ

### 大角俊太郎氏ノ施設

中島郡平和村

氏ハ同地ノ大地主ニテ最モ勸農ニ熱心ニシテ意ヲ小作人ノ愛撫督勵ニ致シ優良者ヲ表彰シ貧民罹災者ハ之ヲ救助シ農閑ヲ利用  
 シテ講話會ヲ開キ小作人ノ農業智識發展ニ努ムル等熱心農事ノ改良發達ニ努メツ、アリ今其ノ施設事業ノ大要ヲ擧クレハ左ノ  
 如シ  
 ▲小作米品評會 大正元年本縣ニ於テ米穀改良事業實施ニ當リ深ク小作者保護獎勵ノ必要アルヲ認メ第一着トシテ自家小作米  
 品評會ヲ開催スルコト、シ爾來毎年二月ニ於テ開會ス小作者總人員百三十一名中三俵以上ノ納米ヲナスモノヨリ出品セシメ  
 郡農會ヨリ技術員ノ派遣ヲ受ケ審査ヲ行フ其ノ出品點數及授賞點數等左ノ如シ

年 度	出 品 點 數	一 等 賞	二 等 賞	三 等 賞	四 等 賞
大 正 元 年	七	二	四	八	一
大 正 二 年	八一	二	四	〇	二
大 正 三 年	五七	二	五	一	一

尙賞品ニハ鍬、鋤、箕、鎌等ノ農具ヲ與フルモノトス

地主ノ農事ニ關スル施設事例



▲講話會ノ開催 小作米品評會褒賞授與式後引續キ一般小作者ヲ集メテ講話會ヲ開キ農事改良及精神修養ニ關スル講話ヲ聽講セシム

▲獎勵米交付 大正元年度ヨリ納米一俵ニ付左ノ通り獎勵米ヲ交付セリ

- 一等米 三升
- 二等米 二升
- 三等米 一升
- 四等米 金五升
- 合格米 金五錢

右ノ如ク等級ニ應シテ交付スル獎勵金穀ハ毎年金二十五圓玄米一石以上ニ達セリ

▲印刷物配布 大正二年度ニ於テ肥料及稻作栽培ニ關スル印刷物ヲ小作者一同ニ配布セリ

▲米穀貸與 小作者中貧困ナルモノニハ米穀ヲ無利息ニテ貸與シ翌年控米納入ノ際返納セシム

▲罹災救助 大正元年度ニハ暴風被害ノ爲他ノ地主ニ卒先シテ控米ノ二割七分(他ノ地主ハ二割五分位)ヲ救助トシテ減額セリ其ノ他火災水難等ノ場合ハ其ノ被害程度ニ應シ相當見舞ヲ贈レリ

### 關戸經匡氏ノ施設

中島郡大和村

氏カ小作者ニ對スル獎勵救済ノ施設事業ノ大要次ノ如シ

▲四石會及採種田設置 大正二年御大典紀念事業トシテ稻作多收穫研究ノ目的ヲ以テ組織シタルモノニシテ現今會員數八十名ニ達シ會員一名ニ付一ヶ所ノ設作田ヲ出品セシメ審査ノ結果左ノ獎勵金ヲ交付シ居レリ

- 一等賞 十五圓
- 二等賞 十圓
- 三等賞 五圓

尙本縣農事試驗場又ハ國立試驗場畿内支場等ヨリ良種子ノ配布ヲ得テ小作者中ノ精農者ヲシテ採種田ヲ設置經營セシメ以テ水稻良種子ヲ四石會員一般へ實費配付セリ

▲肥料購買組合 一口二圓五十錢一組合員數十五人以上ヲ以テ組織シ現在七組合ヲ設立セシメタリ而シテ組合ニ必要ナル資金ハ組合名義ニテ之ヲ貸與シ肥料購入ノ際ハ斡旋ノ勞ヲ採リ組合ノ便宜ヲ圖リツ、アリ是カ爲肥料購入ノ便ヲ得從ツテ農家經濟ノ圓滑ヲ見一面協同一致ノ精神ヲ深カラシムルニ至レリ

▲罹災者救助 凶作ノ際ニハ他ノ地主ニ卒先シテ控米ノ歩引ヲ斷行スル等小作者救済ノ策ヲ講シ居レリ

▲資金融通 小作者ノ貧困ニシテ農業資金ナキ爲充分ノ活動ヲ成シ能ハサル者ニ對シテハ金錢又ハ肥料等ヲ無利息ニテ貸與シ便利ヲ與ヘ居レリ

▲獎勵米ノ交付 小作米一俵ニ對シテ左ノ如ク獎勵米ヲ給與セリ

- 一等米 三升
- 二等米 二升
- 三等米 一升
- 四等米及檢査合格米 金五錢

▲出版物ノ配付 米麥作ノ研究ニ關スル書籍並ニ印刷物ヲ郡内青年會へ寄贈シ農家ヲシテ學理ノ應用ヲナサシメツ、アリ

### 内藤傳祿氏ト内藤家農會

知多郡内海町

氏ハ小作人ノ保護及農事獎勵等ノタメ自家ノ小作人百五十名ヲ網羅シテ明治四十一年十一月内藤家農會ナルモノヲ組織シ本部ヲ自家ニ支部ヲ内海町大字山海、河和町大字河和、東浦村大字藤江ニ置キ之ヲ機關トシテ其ノ目的ヲ達センコトニ努メ居レリ其ノ狀況大要左ノ如シ

▲積立貯金 明治四十一年以來積立貯金トシテ農會員各戸山海支部ハ玄米三升河和町支部ハ五升ツ、積立ツルコト、シ本人ヨリ二石八斗ツ、ヲ補助シテ獎勵シ居レリ

▲山海支部ハ明治四十三年河和町支部ハ同四十四年前項積立金ヲ拂込資金ニ充當シ各支部毎ニ産業組合ヲ組織セシメタリ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

▲**俵米品評會** 明治四十一年以來毎年俵米品評會ヲ開催シ優良ナルモノニハ賞與ヲ與ヘ居レリ其ノ經費ハ其ノ都度之ヲ定メ一定セサレトモ全部同氏之ヲ支出セリ

▲**農事視察** 明治四十一年以來農會幹事ヲシテ農事ノ改良ニ資セシムル目的ヲ以テ自ラ經費ヲ支出シ毎年一回以上農林學校、農事試驗場等ヲ視察セシメツ、アリ

▲**小作共進會** 明治四十二年ヨリ毎年一回小作共進會ヲ開催シ酒、壽司、甘酒、餅等ノ模擬店ヲ設ケ又福引ヲ催シテ小作人ヲ樂マシム此ノ一回ノ經費約五十圓ヲ要ス

▲**敬老會** 明治四十二年以來毎年七十七歳以上ノ老人ヲ招キ敬老會ヲ開キ紀念菓子トシテ一人ニ付二十五個人饅頭一箱ツ、ヲ與ヘツ、アリ

▲**表彰** 明治四十二年以來毎年本會ノ趣旨ニ副フヘク誠心以テ努力シ其ノ功顯著ナルモノ五六名ツ、ヲ善行者トシテ表彰シ一人ニ付キ金一圓乃至二圓ノ物品ヲ與ヘツ、アリ

又小作人中ヨリ他ノ模範トナルヘキ者ヲ選拔表彰ス

▲**獎勵金交付及積立** 大正元年以來毎年採米ノ合格米一俵ニ付金十錢ツ、ヲ獎勵金トシテ與ヘ之ヲ徒ラニ消費セシメサル爲タメ合格米精獎積立貯金トシテ之ヲ産業組合ニ貯金セシメ居レリ此ノ總計金額大正四年三月末日調ヘテ金二百三十圓餘ニ達セリ

▲**家畜獎勵** 大正元年ヨリ小作人ニシテ幼牛ヲ購入スル者ニ對シ資金ヲ貸與シ且堆肥ノ普及獎勵ニ努メツ、アリ

### 蟹江史郎氏ト共樂園遊會

海 部 郡 鍋 田 村

鎌島新田ハ鍋田村ノ北部ニ位スル戸數五十四戸ノ一部落ニシテ何レモ蟹江家ノ小作者ナルカ同人ハ明治二十二年海東郡蟹江町

ヨリ同新田ニ居ヲ移シ理想郷ヲ終生ノ事業トシ以テ今日ニ至ル然ルニ其ノ當時同部落ハ風俗頹廢シ道義全ク地ニ墜チ益々其ノ惡風ノ高潮ヲ呈シ瀾蔓シ度シ難キニ至ラントスル状態ヲ憂ヒ大ニ餘弊ノ刷新ヲ加ヘントシタルモ永年浸潤セル惡習ナレハ容易ニ脱離スヘクモアラサリシカ明治二十七年先以テ部落民ノ共同心ヲ涵養センタメ肥料ノ共同購入ヲ開始シ其ノ資金ハ蟹江家ニ於テ融通シ年々春季ニ於テ之ヲ行ヒツ、アリシニ去ル明治三十三年三月産業組合法ノ發布セラレタルヲ見之ヲ鎌島新田ニ於テ施設スルハ最モ機宜ニ適セルヲ感直ニ定款ヲ作製シテ同月二十二日附設立許可申請ヲナスニ至リタルカ其ノ定款ハ信用、生産、購買、販賣ノ四種ヲ兼ルモノナリシモ當時ノ組合法ハ兼營ヲ許サノリシヲ以テ一旦却下セラレタルハ更ニ單純ナル信用組合ニ變更シ設立許可ノ申請ヲナシ明治三十五年三月二十六日附以テ之ヲ許可セラレタリ爾來此組合ヲ中心トシテ小作者ノ保護獎勵ニ力ヲ注キ從テ又組合ハ其ノ成績年ト共ニ良好トナリ殆ント模範組合トシテ社會ニ喧傳セラレ、ニ至レリ今其ノ組合ヲ中心トシテ施行シツ、アル事業ノ重ナルモノニ付キ方法ノ概要ヲ舉クレハ左ノ如シ

▲**農事改良ト貯金ノ獎勵** 小作者ノ福利ヲ増進スル爲小作米品評會ヲ開キテ産米ノ優劣ヲ查覈シ其ノ優等ナルモノヲ選拔シ之ニ賞ヲ與ヘ又二毛作ヲ獎勵シテ其ノ作付反別ノ多寡ニ應ジ賞ヲ與ヘ以テ之カ改良發達ヲ圖レリ而シテ其ノ賞與ハ組合ノ發行スル据置貯金切手ヲ與フルコト、シ之ヲ組合ニ預入レシメ同時ニ信用組合ノ發達ヲ圖リツ、アリ而シテ又小作者間ニ出產シタルモノアルトキハ從來祝儀トシテ物品(反物等)ヲ授與シ居リシモ組合設立後ハ之ヲ改メ据置貯金切手ヲ授與スルコト、セリ之ヲ授與スル際ハ其ノ出生シタルモノ、爲ニ年々分相應ノ貯金ヲナスヘキ旨ヲ諭シテ之ヲ實行セシメ(此貯金名稱)其ノ出生シタルモノ、婚禮迄之ヲ引出サ、ルコト、シテ保護ヲ加フルト同時ニ組合ノ資金充實ヲ圖リツ、アリ

▲**共樂園遊會** 部落民則チ信用組合員ノ友誼厚情ヲ圖ルト共ニ農村生活ノ趣味快樂ヲ自覺セシメ各自ノ胸襟ヲ開キ一圓ノ下ニ團樂シテ部落住民ハ將來一家族ノ如ク利ニ關シ害ニ係リ起居進退ヲ共ニスヘキ理想ニヨリ毎年四月花期ヲ選ヒ小作米品評會褒賞授與式舉行ト同時ニ部落民ヲ老幼男女ノ別ナク悉ク自家ノ家庭果樹園ニ會合セシメ有德者官憲等ノ賓客ヲ招キ園内ニ於テ模擬店ヲ設ケ蓄音機福引等ノ餘興ヲ加ヘ一日ノ清遊ヲナサシム而シテ之ニ會合セルモノハ恰モ訥朴無邪氣ナル小兒ノ昔ニ

歸シタル如ク歡樂ヲ盡シ宛然現實セル極樂境トモ云フヘク其ノ無形ノ間ニ享クル利益ハ蓋シ甚大ナルモノアラシ  
 ▲月末會 毎月末ニ於テ信用組合員ヲ來集セシメ部落内各般ニ關スル協議ヲナシ或ハ前月ニ起リタル特種ノ事項及肥料ノ開答  
 種子ノ撰擇法、播種法、耕耘肥培等各自ノ實驗談ヲ交換シ時々又德望家有志家ヲ聘シ有益ナル講話會ヲ開キ此ノ際規定ノ月  
 末貯金ヲ必ス持參セシムルコト、シ農事改良並ニ組合ノ發達ヲ圖リツ、アリ

### 竹内式郎氏ト小作米品評會

碧海郡刈谷町

素封家ニシテ夙ニ地其ノ改良及小作人愛護ノ念深ク屢々自費ヲ投シテ二毛作及綠肥栽培者ニ賞金ヲ與ヘ又畜牛購入者ニシテ資  
 金乏シキ者ニハ無利子ニシテ其ノ資金ヲ貸與シ又ハ貧困者ニ金穀ヲ惠ミテ救助シ且去ル明治四十年同志ト謀リ産業組合ヲ設立  
 シ其ノ設立成ルヤ同組合ハ金一百圓ヲ寄附セリ尙米價騰貴ノ際細民ノ困窮ヲ察シ豫テ備荒貯蓄トシテ積立テタル資金ノ一部ヲ  
 支出シ刈谷、知立ノ兩町ヘ各金一百圓ヲ寄贈シ以テ貧困者ヲ賑ハシ其ノ他小作人ノ愛護ニ付テ施設セル所ヲ觀ルニ明治四十年  
 小作人六十有餘人ヲ招待シ種々ノ慰安ヲ與ヘ終日小作人ヲ樂マシメタリ又産米ノ調製ニ付テハ婦女ノ力與ツテ大ナルヲ思ヒ其  
 ノ勞ヲ慰セシムルカ爲メ小作人ノ婦女ヲ集メ婦人慰勞會ヲ開會シ鄭重ニ響應シ名士ヲ聘シテ講話ヲ請ヒ尙餘興トシテ福引、義太  
 夫、蓄音機等ノ催シヲナス尙名古屋市ニ於テ第十回關西府縣聯合共進會開催ノ際ハ小作人ノ婦女二十有餘名ヲ伴ヒ觀覽セシメ  
 世ニ後レ勝ノ婦人ニ新智識ヲ與ヘ往復旅費及土産物ノ費用モ亦悉ク之ヲ負擔セリ

### 渡邊平内治氏ト親子和同會

寶飯郡下地町

小作人愛護ノ念厚ク且報德教誨吹者タリ其ノ事業ノ概要左ノ如シ

▲親子和同會 明治三十六年ノ創設ニ係ルモノナリ平素自己所有ノ耕地ヲ精耕シ今日アルハ一ハ小作人一同ノ加力ニ依ルモノ  
 トシ小作人亦地主ノ爲メニ生計ノ資ヲ得ルカ故ニ其ノ關係恰モ親子ノ如キヲ以テ毎年小作人一同ヲ招キ響應シ次テ名士ノ講  
 演ヲ求メ尙各人ノ納米ヲ以テ品評會ヲ開催シテ褒賞ヲ授與シ快樂ノ一日ヲ送ルヲ例トス

▲特殊積立金 明治四十一年以降實施ス稻作栽培其ノ當ヲ得規定ノ納米ヲナシ得ルモノハ勤耕ヲ獎勵スル爲メ特ニ納米ノ二十  
 分一ヲ割引シ時價ニ見積リ地主ニ於テ保管シ十ヶ年後ニ於ニ其ノ四分ノ一ヲ各自ニ配分シ産業ノ資ニ供セシメ餘ハ他日産業  
 組合設立ノ資ニ充テシメントス

### 松井源吉氏ト桑園貸付

南設樂郡新城町

▲桑園ノ貸付 氏ハ明治三十七年自家桑園一反步下田某ニ試作セシメ從來當日ハ無給ト定メ其ノ得タル總收量ノ五分ノ一ヲ手  
 數料トシテ下男ニ下付セシニ自他共ニ大ニ利スルヲ知リ三十八年ヨリ同町ノ四人ノ者ニ左ノ方法ニヨリ桑園約一町五反步ノ  
 耕耘手入ヲ一任シタリ

- 一 各人擔當ノ桑樹ハ比較的多數ヲ得ル様各自周到ニ耕耘手入ヲナスコト
- 二 施肥ノ際ハ親作及子作立會ノ上施用スルコト(地主ヨリ施肥ス)
- 三 收益分配手段トシテ委託全面積ヲ春蠶時ニ於テ便宜五區トナシ抽籤ノ上其ノ一區分ヲ與ヘ以テ年内其ノ區域内ヨリ生

産セラル、桑葉ハ自由ニ收穫シ得ル權利ヲ附與ス即チ手數料トシテ小作人ハ總收穫ノ五分ノ一ヲ取得スル理ナリ

▲私設養蠶傳習所 明治四十一年度ヨリ私設養蠶傳習所ヲ開設シ傳習生ヲシテ左記方法ニヨリ自動的活動ヲナサシメツ、ア  
 リ

- 一 初齡ヨリ飼育蠶量ヲ擔當セシメ夫レヨリ得タル全收穫高ノ五分ノ一ヲ傳習生ニ報酬トシテ交付スルコト

地主ノ農事ニ關スル施設事例

### 梅岡惣平氏ト小作米品評會

南設樂郡東郷村

明治二十年三河米穀改良組合ナルモノヲ組織セシコトアリシモ年ナラスシテ自然消滅ニ歸シタルヲ大ニ遺憾トシ同氏ハ奮然トシテ立チ郡下米穀商ト協商シ米穀改良ヲ企テントセシモ時機未タ至ラス事成ラサルヲ憤慨シ自分一個人ナリトモ米穀ノ改良ヲ遂行セント志シ明治二十一年ヨリ部下ノ小作人ハ農事獎勵手續トシテ小作米品評會ヲ開設シ出品中優良ナル者數十種ニ對シ農具又ハ日用品ヲ下付シ今日迄既ニ二十餘年間繼續施行シ大ニ兩者間ノ調和ヲ計リ効果尠カラズ其ノ方法ヲ概述スレハ毎年十二月二十五日限リ小作米全部ヲ納付セシメ其ノ際各人納付米ヨリ一升宛ヲ審査用トシテ控除シ冬期農閑ヲ利用シテ郡農會長ニ稟申上審査長ノ出張ヲ請ヒ審査ヲ爲シ四月三日神武天皇祭ニ褒賞授與式ヲ舉行ス而シテ其ノ審査標準ハ性質、形狀、色澤乾否、調製ニ分チ又納付米高ヲモ加フルコトアリ

### 加藤太郎氏ト果樹栽培獎勵

海西郡立田村

同地方ハ木曾川長良川ニ圍ルル一小島ナレハ稻作ハ年々水害ヲ蒙ル事多ク收穫ニ影響スルコト尠カラズ爲ニ十ヶ年平均收穫二石ヲ出テスト云フ此ノ如キ土地ナレハ隨テ採米ヲ定ムルコト能ハス故ニ地主加藤太郎氏ハ稻作拜見トテ毎年收穫前ニ當リ坪刈ヲナシ而シテ後採米ヲ定ムルト云フ又採米ニ付テモ他ト少シク異ナル處アリテ收穫高ノ三分ノ二ヲ地主ニ納メ三分ノ一ヲ小作者ノ利益トナスカ例ナリ故ニ肥料モ又三分ノ二ハ地主ヨリ與フルト云フ  
氏ノ住居地ハ地味果樹ノ栽培ニ適シ以前桃ノ栽培盛ニナリシモ近年害蟲ノ爲ニ枯死スルモノ多ク年々減少シ現今ニテハ殆ント

其ノ跡ヲ斷タントスル有様ナレハ茲ニ於テ加藤氏ハ小作者一般ニ其ノ小作一反歩ニ對シ密柑苗十五本ツ、ヲ分與シ之ヲ各戸ニ植付ケシメ今ヨリ十年乃至十五年ハ密柑ノ收穫ヲ以テ小作料ニ充テシムル見込ナリト云フ

尙ホ同氏ハ堆肥獎勵ノ必要ヲ感シ堆肥舍獎勵ノ爲メ建築費全部ヲ無利子ニテ貸與シ十箇年間位ノ年賦ニテ償却セシムル計畫ナリト云フ

此ノ如キ有様ナレハ小作者ニ於テモ一人トシテ地主ニ對シ苦情ノ申出ヲナスモノナク地主小作間ノ關係頗ル圓滑ナリ

### 武田彦氏ト小作米品評會

愛知郡日進村

武田彦氏ノ施設事業ハ小作者ノ獎勵及果樹園ノ開設トス其ノ施設概要ヲ述フレハ

▲小作米品評會 明治三十六年以來繼續ノ施設ニ係リ専ラ地主小作人間ノ親密ヲ期シ併セテ農事改良ノ原動力タラシメトシ致々トシテ經營スル所アリ爲ニ地主小作ノ關係極メテ圓滿ナルアリ

現在百三十有餘人ノ小作人ヲ有シ毎年採米納入ノ際各小作人ノ持參セル米俵ニ就キ一俵ヨリ各三ヶ所(即チ上、中、下)ニ金刺シヲ入レ凡ソ五勺ノ米ヲ抜き取り各人納入ノ多寡ニ應シ之ヲ一々保米袋用紙ニテ作製セル審査用小袋ニ納メ番號ヲ附シ採米納入ノ順序ニ依リ領收證ニ番號ヲ記入シ之ヲ小作人ニ渡シ斯クテ各人ノ完納後ニ於テ之ヲ品評審査シ優等者ヲ選賞シツ、アリ僅々未タ數箇年來ノ施設ニ過スト雖モ同地一帶米質ノ改良ニ頗ル注目スヘキモノアリ尙ホ納米ノ數量即チ石數ニヨリ之ヲ甲、乙、丙及丁ノ階級ニ別チ之ヲ三等マテ賞與ヲ與ヘ、賞品ハ甲一等五十錢、二等四十錢、三等二十錢乙二等四十錢、二等三十錢、三等十五錢、丙一等二十錢、二等十五錢、三等十錢、丁農具二十錢以內ト定メ尙ホ連年受賞者ニハ特別賞トシテ改良農具其ノ他紀念品ヲ贈ルコト、セリ

往年同地方農家石灰ノ濫用甚タシカリシカハ氏大ニ之ヲ憂ヒ懇切ニ小作人ヲ説諭シ以テ利害得失ヲ涼知セシメ目下斯ル弊害ハ全ク脱却スルヲ得タリ又共同苗代普及ニ盡瘁シ模範堆肥舎ヲ建設シテ自給肥料ノ製造ヲ奨導シ改良農具ヲ率先購入使用シ良種苗ヲ撰擇配付スル等農事ノ改良ニ盡ス所尠カラズ

▲戦捷記念果樹園ノ創設 明治三十九年初メテ果樹園ノ新設ヲ爲シ卒先地方ニ範ヲ示セリ之即チ戦捷記念果樹園ナルモノナリ即チ字南山ナル山林ヲ開墾シ玆ニ數町歩ノ園地ヲ設ケントシ既ニ三十九年春季ニ於テ柑橘類及桃樹ヲ栽植シ其ノ數千二百有餘本ニ及ヘリ

### 坂勘一氏ト共同苗代組合

知多郡上野村

愛知縣知多郡上野村ノ大地主坂勘一氏ハ専ラ小作ノ保護獎勵ニ努メツ、アリ嘗テハ産業組合ヲ設置シ更ニ共同苗代ヲ設置シテ小作人ノ利益ヲ圖リツ、アリ共同苗代ハ既ニ二毛作ノ作付シアル小作人ノ土地ヲ豫メ相シ置キ同郡農業技手ノ指導ノ元ニ設計測量ヲ了シタル上小作人ヲ召集シテ共同苗代ノ必要ヲ説キ彼等ニ賃錢ト晚餐トヲ與ヘテ竣工セシメタルヲ以テ一人ノ異議者ナク何レモ満足シテ地主ノ意ニ從ヒタリ尙坂氏ハ苗代掟米ノ半額、小作者立毛品評會費及害蟲驅除器具藥劑ヲ給與スルヲ以テ小作人ハ此ノ良地主ヲ得タルヲ誇リツ、アリト今左ニ規約ヲ擧ケン

#### 知多郡上野村大字名和、名和前共同苗代組合規約

- 第一條 本共同苗代地ハ坂勘一ノ設置提供シタル知多郡上野村名和字六番割ノ一部田面ヲ以テ之ニ充ツ
- 第二條 本組合員ハ互ニ協力シ勤勉ニシテ德義ヲ守リ農會諸法令規則各官廳ノ指揮諭告ヲ遵守シ決シテ利己ノ沙汰アルヘカラス
- 第三條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一 組合長 一名                      二 苗代管理人 五名                      三 評議員 十名

第四條 組合長ハ苗代提供者自ラ之ニ當リ共同苗代一切ノ事業ヲ總覽ス

第五條 苗代管理人ハ組合員ノ選舉スル處ニシテ各擔當區苗代一切ノ管理事務ニ從事ス

第六條 評議員ハ組合員ノ選舉スル處ニシテ組合長ノ諮問ニ應ジ共同苗代一切ノ評議ヲナス

第七條 組合長苗代管理人評議員ハ各名譽職トシ苗代管理人及評議員ハ兼務スルコトヲ得

第八條 組合長ノ任期ハ永久トシ苗代管理人評議員ノ任期ハ各一ケ年トス

但シ再選ヲ妨ケス

第九條 管理人ニシテ其ノ事業執行上必要アル時ハ組合長ノ承認ヲ經テ組合員ヲシテ補助ヲナサシムルコトヲ

得但シ此ノ場合ニ於テ相當ノ實費ヲ給ス當分ノ中一日一人金四十錢トス

第十條 組合員ハ正當ノ理由ナクシテ前條ノ補助ヲ拒ムコトヲ得ス

第十一條 本組合ノ行フ事業大略左ノ如シ

- 一 種稻共同採取毎年秋季役員會ヲ開會シ翌年度作付スヘキ稻ノ種類(早、中、晚、通シテ七種類以下)ヲ選定シ組合員所有ノ本田稻作ニ付キ立毛品評會ヲ開催シ優等者ヲ選抜シテ種稻ニ充ツ優等者ニハ賞與ヲ與フ
- 二 前項各役員會ニ於テ種稻ヲ決定シタル時ハ希望ノ種類及數量ヲ申出ツヘシ
- 但シ新種若クハ良種ニシテ試作ヲ要スルモノハ組合ニ於テ適宜ノ方法ヲ以テ試作スルコトアルヘシ
- 三 前項種稻用ニ選抜セラレタルモノハ苗代管理人立會ノ上調製シテ之ヲ組合長ニ差出シ組合長之ヲ保管ス種稻ハ各自申込數量ニ應ジ之ヲ米ニ換算シ掟米收納ノ際組合長ニ差出スヘシ此ノ場合ニ於ケル米ノ換算額ハ種稻一升ニ對シ玄米六合トス
- 四 苗代地ハ寒中數回犁起シ早春第一回ノ施肥ヲナスヘシ

- 五 撰種 組合長ノ貯藏シタル種籽ハ翌年四月下旬ニ至リ共同鹽水撰ヲナス
- 六 浸漬 前項撰種シタルモノハ七日間浸漬ス
- 七 苗代拵、施肥整地及施肥ハ苗代管理人監督ノ下ニ共同シテ之ヲ行フ
- 八 播種量ハ坪五合以内トシ管理人ニ一任ス
- 九 管理、灌溉、排水其ノ他管理一切ノ事ハ管理人ニ一任ス
- 十 害蟲驅除、雜草拔取ハ期日ヲ定メ管理人監督ノ下ニ之ヲ行フ
- 十一 苗ノ分配植付三日前役員検査ノ上組合員申込數量ニ應シ抽籤ヲ以テ分配ス
- 第十二條 苗代費用ハ左ノ如キ割合ヲ以テ之ヲ行フ
  - 一 地主苗代拵米ノ半部 品評會費用 害蟲驅除器具及驅除劑
  - 二 組合員苗代拵米ノ半部 前記ノ外諸費用
- 第十三條 前條第二項ノ費用ハ組合員播代面積ニヨリ賦課ス
- 第十四條 苗代跡作ハ共同耕作トシ其ノ收益ハ組合長保管ノ下ニ之ヲ積立テ利殖シテ組合ノ積立金トナス  
但シ當分ノ内從來ノ小作者ニ作付セシム
- 第十五條 組合員ニシテ共同事業ヲ妨クル所爲アリト認ムルトキハ苗代地提供者ノ提案ニヨリ評議員會ノ決議ヲ經テ除名スルコトアルヘシ
- 第十六條 除名サレタル組合員及自ラ脱退シタル組合員ハ同時ニ一切ノ權利義務ヲ有セサルモノトス
- 第十七條 本組合ニ左ノ帳簿ヲ備フ
  - 一 組合員名簿
  - 二 苗代臺帳
  - 三 拵米取立帳
  - 四 會計簿
  - 五 組合員勞働簿
  - 六 日記

附 則

第十八條 本組合同規約ハ明治四十年四月十八日決議組合員各自本規約ヲ承認シ署名捺印スルモノナリ

組合長 坂 勘 一  
管理人、評議員、以下全員記名捺印

山田佑一氏ノ施設

東春日井郡志段味村

東春日井郡志段味村諏訪原新田ハ中島郡稻澤町ノ富豪山田佑一氏ノ所有ニ係ル土地ナルカ小作人ハ多ク美濃地方水害地ヨリ移住シタルモノニシテ地主不在勝チナルタメ人情風俗共ニ亂レテ言語ニ絶スルモノアルヲ慨キ奮然立ツテ改革ニ着手セシハ四十四一年四月ナリキ其ノ後施設着々成効シ地主小作人間ノ關係頗ル圓滑ナリ今其ノ施設ノ大要ヲ舉クレハ

▲技術者ノ招聘 四十一年四月改革ニ着手スルヤ直ニ縣立農事試驗場在勤ノ技術者ヲ招聘シ諸種ノ計畫ノ任ニ當ラシメ又實農者ニシテ他ノ模範トスルニ足ルモノ一人ヲ雇入レテ小作人ノ指導セシメ以テ農事ノ改良ヲ圖レリ

▲共濟會ノ創立 小作人ニ對スル施設ノ第一着手トシテ別記會則ノ共濟會ヲ組織シテ夜業、共同耕作地方カ人夫ヲ使用スル際他ヨリ増加シテ雇入レタル場合ニハ其ノ勞銀ノ幾部分及其ノ他特殊ノ事業ノタメ得タル利益ヲ積立テ地主ハ特ニ組織ノ年ヨリ五ヶ年間ノ毎年拵米ノ八歩以内ヲ寄附シ是等ヲ積立テ善種金トシ既ニ其ノ額數百圓餘ニ達ス而シテ其ノ善種金ハ精農者ノ表彰、孝子節婦ノ賞與金、貧民ノ救濟、品評會ノ賞品等ニ使用シツ、アリ又一面ニ於テ備荒貯蓄トシテ小作人ヨリ拵米ノ五分地主ヨリ收納米ノ五分ヲ蓄積セリ之ノ金額ハ凶作ノ際規定ノ拵米ヲ收納シ能ハサル場合又ハ地主小作ノ共有地購入ノ際ニ使用スルモノトス

▲信用購買組合ノ設置 明治四十二年有限責任諏訪原新田信用購買組合ヲ組織シ地主及小作人ヲ組合員トシ其ノ員數七十六

地主ノ農事ニ關スル施設事例

八、出資口數百三十九、ニシテ出資拂込三百五十三圓九十五錢、貯金額千八百八十五圓十三錢八厘購買品ハ生計品ニシテ其ノ價格八百三十五圓餘ニ達シ着々事業ノ成績ヲ舉ケツ、アリ

▲和協館ノ建設 氏ノ所有地ニ二十四坪ノ和協館ヲ建築シ小作人ノ娛樂場ニ充テ年數回園遊會ヲ催ス當日ハ小作人及其ノ家族ハ招待券ト引換ニ得タル各種ノ券ヲ以テ好ム處ノ美味ニ鼓腹シ以テ一日ノ歡樂ヲ共ニス

▲公木園ノ設置 諏訪原ノ山林ヲ開拓シ和協館ト對立シテ八反歩餘ノ果樹園ヲ開キ公木園ト名ツケ各種ノ果樹ヲ栽培シ果樹栽培ノ模範ヲ示セリ

▲柿園組合ノ經營 明治四十三年ヨリ柿園組合ヲ設ケ二町歩ノ土地ヲ小區劃ニ分チ抽籤ノ方法ヲ以テ之ヲ小作人ニ分チ地主ヨリ一反歩ニ付十圓ツ、ノ開墾料ヲ各小作人ニ與ヘ悉ク柿衣紋種ヲ植付ケタリ其ノ柿ヨリ得ル收益ハ結果後二箇年目ヨリ收益ヲ地主小作人間ニ折半スルノ契約ニシテ目下間作トシテ收穫スル蕎麥等ハ全ク小作人ノ餘分ノ收益トナレリ  
今左ニ共濟會規約及其附屬柿園組合規約ヲ舉クヘシ

東春日井郡志段味村諏訪原新田共濟會規約

本會ハ農家ノ道徳ヲ振揮シ親睦協和ヲ旨トシ善ヲ積ミ地主小作協力シテ土地永安ノ法ヲ立ツルヲ以テ目的トス

第一條 本會ハ東春日井郡志段味村諏訪原新田共濟會ト稱ス事務所ヲ同郡同村大字中志段味九十六番戸ニ置ク

第二條 本會ハ志段味村地主山田家及同家關係小作人ヲ以テ組織ス

第三條 本會ハ組織ノ日ヨリ滿二十箇年ヲ以テ一期トス

但シ滿期ニ至リ總會ノ決議ヲ以テ更ニ繼續ノ方法ヲ議定スルコトヲ得

第四條 本會ノ基本金ヲ分チテ左ノ二種トス

善 種 金 備 荒 貯 金

第五條 善種金

會員ノ共作ニ依ツテ得タル利益並ニ各自ノ餘業ヨリ得タル金錢、物品其ノ他特種事業ヨリ得タル利益ヲ篤志ヲ以テ寄附ス

地主ハ特ニ組織ノ年ヨリ五ケ年間掬米ノ八歩以内ヲ寄附ス

第六條 善種金ハ協議員會ノ決議ニヨリ左ノ各號ニ支拂フモノトス

一 善行賞

二 救助

三 公共事業ニ對スル寄附

四 養老

五 冠婚葬祭

六 會ニ要スル費用

第七條 前條支拂殘金ハ年々積立置クモノトス

第八條 備荒貯金

小作ハ毎年平年作ニアリテハ掬米ノ二歩以上ヲ分度外トシテ積立ツ地主ハ夫レト同額ヲ積立テ組織ノ年ヨリ滿五ケ年ヲ一期トシ備荒貯蓄トナシ滿期後ノ積立方法ハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム

第九條 積立米ハ毎年十二月限り會長ニ申告シ理事ニ預ケ入ル、モノトス

第十條 會長ハ理事ノ收入報告ヲ調査シ領收證ヲ本人ニ附與ス

第十一條 會長ハ三月限協議員會ニ於テ業務報告、財産報告及ヒ決算報告ヲナシ認定ヲ經タル上更ニ總會ニ報告スルモノトス

第十二條 備荒貯蓄ハ左ノ場合ニ限り協議員ノ評決ニヨリ使用ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- 一 一般凶作ニシテ定ノ掬米ヲ納入シ能ハサル場合
  - 二 地主小作共有ノ土地ヲ購入スル場合
  - 三 小作人ニシテ若シ掬米ヲ不納シタル場合
- 第十三條 第十二條第一項ノ場合協議員ノ評決ニヨリ一定ノ額ヲ定メ會長ノ承認ヲ經テ現耕作反別ニ應シ會員ニ給與スルモノトス
- 但シ掬米ノ一割以内ニ於テ之ヲ定ム
- 本會ノ財産ニ對スル會員ノ權利ハ一半ハ地主トシ他ノ一半ハ各會員ノ現在小作反別ニ應スルモノトス
- 第十四條 地主若シ他ニ土地ヲ賣却スル場合ト雖第八條ノ貯蓄金ハ拂戻ヲ請求スルヲ得ス
- 小作人自己ノ耕作地ヲ離ル、時モ亦同シ
- 第十五條 會長ハ第八條ノ收入金ヲ協議員會ノ決議ヲ以テ産業組合若シクハ信用アル銀行ヘ預ケ入ル、モノトス
- 第十六條 満期ニ際シテハ地主小作共有ノ土地ヲ買ヒ入ル、カ或ハ確實ナル銀行ニ預ケ入レ永遠凶荒ノ變ニ備フルモノトス
- 第十七條 總會ハ毎月一日之ヲ開キ協議員會ハ必要アルトキ之ヲ開ク
- 但シ招集ハ開會三日前ニ會長之ヲ通知ス
- 總會及ヒ協議員會ハ出席者半數ニ達セザルトキハ開會セス採決ハ起立又ハ投票ニヨリテ之ヲ定ム
- 但シ規約ノ變更ハ會員三分ノ二以上出席ヲ要シ其ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス
- 第十八條 總會ノ節評議研究スヘキ事項左ノ如シ
- 一 勤儉ヲ行ヒ窮民ヲ救済シ共同救護ノ方法
  - 二 農事改良ニ關スル研究

- 三 風俗ヲ淳良ナラシメ德義ヲ篤フナス等ノ事
  - 四 家庭教育ヲ進歩セシムル等ノ事
  - 五 業務報告、財産報告及ヒ決算報告等ノ事
- 第十九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- |    |    |    |    |     |     |
|----|----|----|----|-----|-----|
| 會長 | 一名 | 理事 | 二名 | 協議員 | 十七名 |
|----|----|----|----|-----|-----|
- 第二十條 會長ハ地主之ニ任シ理事ハ會長之ヲ推薦シ會員之ヲ認定ス協議員ハ會員投票ヲ以テ之ヲ定ム
- 第二十一條 本會ハ顧問ヲ推戴スルコトヲ得
- 第二十二條 會長ハ總會及協議員ノ議長トナリ役員勤怠ヲ調査シ本會ニ關スル一切ノ事務ヲ總理ス事故アルトキハ理事ヲ以テ代理セシム
- 第二十三條 理事ハ會計事務ヲ掌リ議案報告ヲ整理ス
- 第二十四條 顧問ハ本會ニ關スル一切ノ相談役トナル但シ本會ニ對シ會員ノ有スル義務及權利ヲ有セス
- 第二十五條 協議員會ニ於テ決議スヘキ事項左ノ如シ
- 一 會計出納ヲ検査スル事
  - 二 業務報告、財産報告及決議報告ヲ認定スルコト
  - 三 財産ノ處分ヲ決議スルコト
  - 四 其ノ他凡テ本會ニ關スル件ヲ處理ス
- 第二十六條 前條ノ役員ハ凡テ名譽職トシ三年ヲ以テ満期トス
- 但シ再撰妨ケナシ
- 第二十七條 本會ノ會計ハ毎年三月一日ヨリ翌年二月末日ヲ以テ一箇年トス



第二十八條 會員若シ重罪ノ處分ヲ受ケ又ハ規約ニ違反スルモノハ協議會ノ決議ニヨリ會長之ヲ除名ス  
諏訪原新田共濟會附屬柿園組合規約

第一條 本組合ハ共濟會員ニシテ諏訪原新田一反歩以上ヲ耕作スル者ヲ以テ組織ス

第二條 本組合ハ滿二十ヶ年ヲ以テ一期トシ總會ノ決議ニヨリ更ニ繼續ノ方法ヲ議定スル事ヲ得

第三條 本組合ノ作付反別ハ五畝及一反ノ二種トシ位置ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 開墾費ハ會長ノ負擔トス

但シ開墾費ハ一畝一圓トシ土地ノ狀況ニヨリ差等ヲ附ス此ノ差等ハ評議員ニ一任ス

第五條 割付ケラレタル反別ハ組合員各自ニ開墾シ會長ヨリ附與セラレタル開墾費ハ全部貯蓄スルモノトス

第六條 苗木代ハ會長ノ負擔トシ植付當年ヨリ向五箇年間一反歩ニ付一圓五十錢乃至二圓五十錢ノ範圍内ニ於テ

施肥ノ補助ヲ爲ス

但シ其ノ等級ハ會長及評議員之ヲ決定ス

第七條 施肥、耕作、病蟲豫防驅除、剪定及販賣等一切ノ勞働ハ組合員之ヲ行フモノトス

但シ販賣ハ會長ノ承諾ヲ經ルヲ要ス

第八條 收穫金ハ一反歩ニ付肥料代トシテ金五圓ヲ控除シタル殘額ヲ會長及組合員ニテ等分スルモノトス

第九條 組合員ノ資格ヲ失シタル時ハ現狀ノ儘之ヲ會長ニ還附シ勞力其ノ他ノ損害ヲ請求シ能ハサルモノトス

第十條 管理ハ總テ會長ノ指揮ヲ受クルモノトス組合員ニシテ管理惡シキトキハ會長ニ於テ返地ヲ請求スルコト

アルヘシ

但シ前條第二項ヲ適用ス

第十一條 間作ハ柿樹ノ成育ニ差支ナキ範圍内ニ於テ行フ事ヲ得

第十二條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 技術員 一名 評議員 若干名

第十三條 會長ハ地主之ニ任シ技術員ハ會長之ヲ囑托シ評議員ハ組合員ノ投票ヲ以テ定ム

靜岡縣

望月睦三郎氏ノ施設

庵原郡江尻町

個人トシテ左記ノ方法ニ依リ小作人ノ保護及農事獎勵ヲ實施スルコト十年間爲ニ小作人ノ地主ニ對スル感情恰モ親子ノ間ニ均シク最モ圓滿ニ經過セリ

▲小作米ノ表彰 毎年一月中小作人中平素品行方正業務勤勉ニシテ他ノ模範トナル者ニ賞品ヲ贈與シ以テ小作精勤ヲ表彰ス

▲小作米ノ審査 小作米納入ノ際納付米一合ヲ取り小作人ノ姓名ニ代フルニ記號ヲ以テシ各小作人ヲシテ審査セシメ等差ヲ

附シテ賞品ヲ贈與ス

▲資金ノ貸與 小作人ニシテ肥料購入資金ニ差支ヲ生スルトキハ地主ハ無利息ニテ資金ヲ貸與シ收穫後ニ至リ返金セシム

▲種苗ノ配布 地主ハ各地ニ於テ最モ良好ナリトノ公評アル種苗ヲ購求シ各小作人ニ配付シ試作セシメ成績佳良ナルトキハ

種苗ノ改良ヲ爲サシム

田村善藏氏ノ施設

濱名郡二川村

▲共同苗代 明治三十五年初メテ畦畔整理ヲナセル自己所有地四反六畝二十六歩ヲ舉ケテ苗代ノ共同ヲナサシメ今尙ホ繼續中ナリ加盟者二十六名本郡ニ於ケル共同苗代ノ嚆矢ニシテ成績良好ナリ

▲貯穀組合ノ設置 苗代ハ共同ニ設置シ後作ハ各自ニ耕作セシメ其ノ收穫ハ各自ノ勤勞ノ賜モノトシ貯穀スル事トナシ既ニ百九十七圓餘ヲ積立タリ尙ホ農繁ノ期ヲ除クノ外ハ毎月十五日、三十日ノ兩夜同氏邸宅ニ小作人ヲ集合シテ報德談話及農業上ノ實驗談ヲナスノ際各自五錢ツ、貯金ヲ爲サシメ之ヲ會員中ニ無利息貸付シ堆肥舍ノ建設、農具、肥料ノ購入費等ノ農業上資金トシテ融通シツ、アリ而シテ之ニ關シテ細密ナル規則ヲ設クル事ナク唯一冊ノ通帳ニヨリ記載シ之ヲ田村氏保管シ獎來ハ之等ノ貯金ヲ以テ産業組合ヲ組織シ小作人ノ産業經濟ノ發達ニ資セントス

▲小作米品評會 米作改良ノ一手段トシテ小作米品評會ヲ開催シ地主小作相互間ノ利益ヲ周知セシムル目的ヲ以テ自己ノ小作者ニ限リ左ノ方法ニヨリ小作米品評會ヲ繼續施行シツ、アリ

審査ハ乾燥ノ良否ニ最モ重キヲ置キ種類、俵裝、俵數ノ多少ノ三項目トナシ掟米納付當時ニ於テ審査員四名内二名ハ小作者以外ヨリ舉ケテ審査セシメ褒賞授與式ニ當リ小作人ヲ招待シ酒肴ヲ饗シ其ノ席上ニ於テ地主ノ農業談ヲ開カシメ且小作人ノ希望ヲ述ヘシメ相互胸襟ヲ開キテ談笑スルヲ例トス而シテ賞品ハ一等ヨリ四等迄トシ其レ以下ハ凡ヘテ褒狀ノ代ハリ手拭ヲ與ヘツ、アリ

### 村上令一氏ト村上農場

志 太 郡 和 田 村

農業ノ改良發達ヲ期セン爲明治三十六年村上農場ヲ設立シ爾來研究ノ下ニ各種ノ試驗及改良ノ模範ヲ示シ小作人ヲ指導獎勵シ小作人ニ對シ智力ト資力トヲ供給シ充分農業上ニ學理ヲ應用セシメ共同一致シテ農業ノ改良發達ヲ圖ラントシ左ノ事業ヲ實施シツ、アリ

#### ▲試驗場設置

現今小作人中農學校或ハ農事試驗場等ニ於テ示セル農業上有益ナル研究ノ結果ヲ獨力利用スルモノ稀ナルヲ見小作人ノ容易ニ實行シ得ル程度ニ於テ農産上増殖改良ニ關スル事項ニ就キ應用試驗ヲ爲シツ、アリ即チ左ノ如シ

##### (一) 種藝部

- 一 水 稻 種類試驗外十五種百八十四區
- 二 同 葉枯病試驗九十六區
- 三 麥 作 種類試驗外十一種百十區
- 四 綠 肥 刈豆種類試驗外四種六十一區
- 五 馬 鈴 薯 種類試驗十區

##### (二) 園藝部

- 甲 蔬 菜
  - 一 大 根 種類試驗外三種二十五區
  - 二 葉 菜 種類試驗外一種十七區
  - 三 蕪 菁 肥料試驗外一種八區
  - 四 菜 豆 種類試驗六區
  - 五 南 瓜 種類試驗外一種十區
  - 六 茄 子 種類試驗外二種十四區
  - 七 越 瓜 同價肥料試驗七區
- 乙 果 樹
  - 一 柑 橘 種類試驗外一種十五區

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- 二 柴 種類試驗外二種七十二區
- 三 桃 種類試驗外一種二十二區
- 四 芋 果 種類試驗外一種十七區
- 五 葡萄、柿、枇杷、李、杏、巴旦杏、無花果等ノ種類試驗

▲模範農場設置 試驗部ニ於ケル成績良好ナル事項ヲ應用シ一般小作者ノ出來得ル範圍ニ於テ地方ニ適應セル經濟的經營法ニ依リ實地栽培模範ヲ示シ一面收支計算ノ結果ヲ詳細發表シテ參考ニ資ス

甲ノ部	耕	作地面積 <small>田</small> 一町歩
	種	作地面積 <small>田</small> 二町歩
副業	畜業	兼營組織
	事業種類	米麥作園藝養蠶 <small>養蠶外副業</small>
勞働人數		男一人 女一人 少年一人 馬一頭

乙ノ部耕種組織 事業種類(米麥作外穀菽類) 勞働人數(男一人 女一人)

右ノ組織ニテ可成小作經營タラシメンカ爲メ肥料ハ購入資金無キモノト看做シ組合ニテ購入シ收穫物モ組合ニ於テ適當ニ販賣シ勞力モ出來得ル限り節約シ餘暇ヲ副業ニ利用セシム

▲耕地整理ノ施行 近時生活費ノ増加ト淺耕ノタメ地方漸次減退シ又有機質肥料ノ施用少キ爲メ益々瘠薄ニ赴キ肥効少キ高價ノ金肥ノ施用ト相俟テ收支債ハス又一方綠肥麥作等裏作ノ栽培ヲ等閑ニ付シ勞力ノ分配ヲ不平均ナラシムル等憂フヘキモノアリシヲ以テ第一着ニ村内有志ト協力シ耕地整理ヲ斷行シ耕地區劃ノ改正排水ノ改善等農事改良ノ基礎ヲ造レリ

▲牛馬耕獎勵 技術者ヲ聘シテ傳習會ヲ開催シ勞力ノ節約ト深耕トヲ獎勵ス

▲糞ノ改良 堆肥ノ好材料タル藁稈ハ當地方ニ於テハ燃料不足ノ結果ソノ大部分ヲ燃料ニ供セラル、ノ慣習アリ故ニ糞ヲ改造シテ大ニ燃料ヲ節約シ藁ノ殆ント全部ヲ堆肥ニ使用セサル可カラストナシ專門教師ヲ聘シ數回傳習會ヲ催フシ多大ノ効果ヲ見タリ

▲肥料ノ購入 當地方小作人ハヤ、モスレハ割高ノ肥料ヲ購入シ且其ノ使用法ヲ誤リ居ルモノ多カリシヲ以テ試驗部ニ於テ研究ノ結果最モ有効ニシテ廉價ナルモノヲ撰定シ同時ニソノ使用方法等ヲモ一般小作者ニ知ラシムルト共ニ一方共同購入ノ方法ニ依リ肥料ヲ購入シ以テ便益ヲ與フ

▲裏作獎勵 同村ノ如キ良好ノ乾田ヲ一毛作ノミニテ之ヲ裏作ニ利用セサルハ農業經營上最モ不利益ナリ故ニ試驗部ニ於テ之ヲ研究ヲ爲サシメ其ノ結果ニ鑑ミ秋耕後綠肥麥作等ヲ極力獎勵シ農家經濟ヲ良好ナラシメタリ

▲農事改良同盟會ト青年研究會 村上家代々ノ小作者中農事ニ熱心ト認メタルモノ及青年子弟ヲ選抜シ二種ノ團體ヲ組織シ卒先各種ノ施設ヲ實行セシメ以テ小作農業者一般ニ模範ヲ示シ本場ノ目的ヲ達スルニ便益ナラシムルト共ニ會員ノ幸福ヲ増進セントス其ノ規程左ノ如シ

村上家農事改良同盟會々則

- 一名 稱 本會ハ村上家農事改良同盟會ト稱ス
- 二 事務所 本會事務所ヲ村上農場研究室ニ置ク
- 三 會員 本會々員ハ左記三種トス
- 一 村上家譜代

地主ノ農事ニ關スル施設事例

二 村上家小作

三 特殊農事熱心家

四 目的

本會ハ農業者相互ノ交誼ヲ以テ其ノ團結力ヲ強固ニシ村上家ノ保護ト資力トヲ仰キ村上農場ノ指導助力ニ信賴シ農藝上ノ發達ト利益トヲ圖リ智徳ヲ練磨シ風俗ヲ矯正シ共同一致農事改良ノ實績ヲ舉クルヲ以テ目的トス

五 方法

本會ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ方法ヲ實行ス

一 村上農場ノ事業一切ニツキ常ニ助力ノ責ヲ全スル事ヲ第一トシ又時々必要ニ應ジ會員集會協議ヲナス事

二 農事ハ總テ村上家監督指導ノ下ニ常ニ農場試驗成績實行方法ノ研究ヲナシ各作地ノ土壤ヲ調査シ是ニ適應スル肥料種類用量施用其ノ他ノ栽培法ヲ實行スルハ勿論夜間及休日ヲ利用シ農事講習會ヲ開催シ農業ニ關スル講話及各種試驗ノ模範農事ノ實際各種設計書日誌原簿收支計算書標本圖書等ヲ實地觀察シ之カ詳細ノ説明ヲ乞ヒ一方ハ相互ノ意志ヲ發表協議シ智識ヲ交換シテ德義ノ向進ヲ謀リ學理熟練ヲ有スル新農家ヲラン事ヲ期スル事

三 村上農場試驗ノ成績ニ依リ有勸廉價ノ肥料其ノ他必要品ヲ選定シ村上家ヨリ特別低利ノ資金ヲ仰キ共同購入ヲ願ヒ一方收穫ノ預入ヲナシ時期ヲ計リ販賣ヲ乞ヒ其ノ益金ハ積立他日産業組合設立ノ資金トナスト共ニ協同一致ノ效果ヲ自覺セシムルモノトス

但シ賣買ノ都度會員一同協議ノ上決議ヲ申請スル事

四 試驗ノ結果有望良種ト認ムル種苗ノ配布又ハ交換ヲ乞フ事

五 右ノ外必要ノ事項ハ會員協議ノ上施行スルコト

六 役員

本會諸般ノ事務ヲ處理スル爲會員ノ互選ヲ以テ世話係二名ヲ置キ任期ヲ一ケ年トス

七 開催

本會研究會ハ農閑ノ時期及重要農事ノ施行前ニ便宜可成夜間ヲ利用シテ開催ス但シ開會ハ日時ヲ定メテ其ノ都度世話係ヨリ通知スルモノトス

八 經費

本會ニ要スル經費ハ一切村上家ニ負擔ヲ願フ

九 入會及退會

本會ニ入會セントスル者ハ世話係迄願出會員ノ評決ヲ經テ村上家ノ許諾ヲ乞フモノトス

本會員ハ正當ノ理由ナクシテ退會スル事ヲ得ス

十 附則

本會則ヲ修正加除セント欲スル時ハ會員三名以上ノ同意ヲ得テ申出總會ノ決議ヲ經ルモノトス

村上農場青年研究會規程

一 名稱

村上農場青年研究會ト稱ス

二 事務所

村上農場研究室ノ一部ヲ借用シテ之ニ充ツ

三 會員

會員ハ左記ノモノヲ以テ組織ス

一 村上家小作者ノ青年

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- 二 一色一區在住者中農業ニ熱心ナル壯丁者
- 三 別ニ區内ノ有力者ヲ仰キ賛助員トシテ助成ヲ請フモノトス

四 目的

農業ノ改良進歩ヲ謀ルタメ村上農場指導ノ下ニ農事上ノ智識ト技術トヲ研究シ傍ラ風教ノ改善ニ意ヲ注キ會員相互ノ人格ヲ高ムルヲ以テ目的トス

五 方法

前項ノ目的ヲ達スル爲ニ左ノ方法ヲ實行ス

- 一 村上農場ノ試験地ニ就キ屢々巡視觀察シテ研究ノ材料ニ供シ其ノ長ヲ採テ各自ノ耕地ニ實地ニ施シ成績ヲ舉クルモノトス
- 二 休日又ハ夜間ヲ利用シテ集會ヲ催シ老農者ノ講話ヲ請ヒ若クハ其ノ指導ヲ仰クモノトス
- 三 會員ハ共同團結ノ力ヲ強固ニスルタメ相互ノ意志ヲ發表協議シテ智識ノ交換ヲナス又誠實ニ責善ノ實ヲ舉クルモノトス
- 四 會員ハ時期ヲ見計ヒ運動會ヲ兼テ本縣農事試驗場若クハ他部落ノ農況ヲ觀察スルモノトス
- 五 夜學部ヲ設ケテ會員自ラ研習シ若クハ後進子弟ノ指導ヲ爲スモノトス
- 六 役員
  - 諸般ノ事務ヲ遂行スルタメ左ノ役員ヲ置クモノトス
  - 部長 一名
  - 副部長 一名
  - 世話係 六名(内三名ノ主任者ヲ撰出シテ會議等ノ整理ヲナスモノトス)

但シ役員ノ決定ハ場主ノ指名ヲ仰クモノトス

七 集會

農閑ノ時期及重要農事ノ施行季前集會ヲ催シテ前項ノ方法ヲ實行ス

八 經費

經費ハ一切場主ノ恩惠ニ浴スルモノトス

九 入會及退會

入會セントスル者アル時ハ幹部ノ協議ニ依リ場主ノ承諾ヲ待テ許否ヲ決スルモノトス  
又正當ノ理由ナクシテ猥リニ退會ヲ諾サス  
但シ本會ノ體面ヲ損スルカ如キ行爲アルモノハ退會ヲ命スルコトアルヘシ

金原明善氏ト金原家農會

濱名郡和田村

金原家農會ヲ設ケ明治四十四年五月其ノ發會式ヲ舉ク會員ハ金原家ト其ノ小作人ニシテ小作人ニ資金ノ融通ヲ計リ又小作米品評會ヲ開キ小作ヲ獎勵シ地主ト小作人ノ關係ヲ親密ニシ其ノ他精表者ヲ獎勵ス其ノ會則左ノ如シ

金原家農會々則

- 第一條 當農會ハ金原家所定ノ手續ヲ履行シ小作誓約セル小作人及其ノ關係者ヲ以テ組織シ之ヲ金原家農會ト稱ス
- 第二條 當農會ニハ會長一名幹事技師各一名賛成會員若干名特別會員普通會員準會員數名ヨリ成立ス
- 第三條 金原家小作人ハ等シク農會員タリト雖モ小作反別一反歩未滿ノモノ並ニ誓約成立後二ケ年ニ滿サルモノハ準會員トシ他ハ普通會員ニ組シ特別會員ハ金原家ニ對シ特別ノ關係ヲ有スルモノ小作反別比較的多キモノ特ニ精勤セルモノヲ選ヒ賛成會員ハ農會ノ主旨ヲ賛成セラル、人ニシテ役員會ノ決議ニヨリ推薦ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第四條 當農會ハ地主小作人相互間ノ意志疏通圓滿ヲ謀リ農業ノ改良發達ヲ促シ家産増殖ノ途ヲ講シ併テ公共的自治ノ精神涵養ニ努ム

第五條 前條ノ目的ヲ遂行スル爲當農會ハ試作地ヲ附屬特設シ會員諸氏ノ參考ニ當テ技師幹事ヲシテ常ニ作地ヲ巡視セシメ栽培施肥ヨリ害蟲驅除ニ至ル總テノ相談ニ應セシメ信用アル會員ニ對シテハ特ニ農業資本融通ノ途ヲ開キ生産品ニ對シテハ之カ確實ナル仕向先ヲ示シ圖書ヲ開放シ會員ノ縱覽ヲ自由ニシ機關雜誌ヲ發行シテ一般の智識ノ向上ニ努メ時ニ應シ知名氏ヲ招キテ講話會ヲ開催シ品評會ヲ催シ米種米質ノ改良ヲ謀ラン爲ニ左ノ諸設備ヲナス

イ 農會ハ其ノ必要ニ應シ試作地ヲ設ケ之ヲ開放シ質問ニ應スト雖モ長時間ニ渡リ作業ヲ妨ケアルモノハ夜間若シクハ毎月一日十五日ノ午後ヲ以テ其ノ應答ノ日トナス

ロ 農會ハ經濟狀態並ニ相互道德ノ程度如何ニ依リ貸付ノ設備ヲナシ農業資本融通ノ途ヲ開ク

融通ノ目的ハ土地改良作物改善種子肥料購入費副業費等ニシテ使途確實ニシテ信用程度ノ強固ナルモノ若クハ價值アル抵當物權提出セルモノニ限ル

融通期間ハ滿二ヶ年以内ト定メ利率ハ其ノ種類ノ如何期間ノ長短其ノ他ニ依リ異ニスト雖モ五分乃至一割五分以内トシ年四期(三、六、九、十二)月ヲ利息納入期トス

ハ 當農會ハ會員諸氏ノ希望ニヨリ種子肥料ノ共同購入ノ便宜ヲ與フ

ニ 當農會ハ其ノ必要ノ時機ニハ名士ヲ招キ宗教道德社會實業ニ關スル講話會ヲ開キ圖書ヲ開放シ年四期ニ分チ農會獨特ノ機關雜誌ヲ無代頒布シ精神ノ修養經濟の觀念ノ發達ニ務ム

ホ 農會ハ確實ナル會員並ニ精勤者ニ對シ農會賞狀ヲ授與シ其ノ善行ヲ表彰ス

ヘ 農會ハ米質米種ノ改良ヲ圖リ收穫多量ヲ促サン爲毎年歲米品評會ヲ開催シ會員ハ必ス納入米ノ内ヨリ米五

合ヲ出品スヘキ義務ヲ有スルモノトス

一 金原家所有土地小作人ハ何人モ金原家農會々員タルノ特權ヲ有スルト雖モ納米總高二俵未滿ノモノハ當分藏米品評會出品資格ヲ有セサルモノトス

二 當農會ハ第五條(ニ)依リ納入シタル出品米ハ之ヲ紙袋ニ入レ番號ヲ附記シ翌年一月三日午前九時觀覽審査セシム

三 審査標準ハ種類、形狀、品質、色澤及ヒ乾燥トス

四 審査ノ方法ハ投票ヲ以テ其ノ優劣ヲ評定セシムルモノニシテ各出品人ニ當日赤白ノ二票ヲ交附シ各人各自審査ノ結果番號ヲ附記シ優等米ト認メタルモノハ白票ヲ劣等米ト認メタルモノハ赤票ヲ當場備付投票箱ニ投入シ午後三時之ヲ開函シ票數ヲ點檢シ現場ニ之ヲ公示シ優等者ニハ農會賞狀ニ左ノ賞品ヲ添ヘ之ヲ附與ス

一等賞 一人 農具ニシテ價格一圓位

二等賞 二人 同上 七十錢位

三等賞 四人 同上 四十錢位

四等賞 六人 同上 二十錢位

五等賞 八人 同上 十五錢位

五 優等賞三ヶ年間繼續シタルモノニ對シ一等級上位ノ賞品ヲ授與ス

六 賞品授與ノ機ニ至リ納額(金員)三分ノ二ニ滿タサルモノハ此ノ特權ヲ失フモノトス

七 出品米ハ審査後之ヲ交付スルモノトス

第六條 農會ハ春陽四月ヲ以テ總會ヲ開キ經過成績發表進行上ノ打合精勤者當選者ニ賞品ヲ授與シ後園遊會ヲ開

地主ノ農事ニ關スル施設事例

催ス

第七條 當農會ハ會員ニシテ小作誓約ヲ無視シ農會々則ヲ犯シ又ハ義務不履行者ハ即時解約シ會員ノ籍ヲ脱シ氏名ヲ農會備付掲示板ニ告示シ其ノ履行ヲ強請スルモノトス

山 梨 縣

若尾民造氏ノ施設

甲 府 市 山 田 町

氏ハ大地主ニシテ其ノ地所部ニ於テハ小作人心得書其ノ他ノ規定ヲ設ケ小作人ヲシテ勤勉力行ノ美風ヲ馴致シ進ンテ農業ノ改良ヲ圖リ土地ノ利用ヲ増進シテ利益ヲ増加シテ小作料ノ納付ニ溢滞ナカラシメ兼テ其ノ生計ニ困難ナカラシメン事ヲ期シツツアリ而シテ之カ爲ニハ常ニ小作人ニ接觸シテ誘掖指導ノ任ニ任リ苟モ相互ノ意志ニ疎隔ナカラン事ヲ以テ最肝要トナセリ今同氏地所部ノ施設ノ狀況ヲ舉クレハ次ノ如シ

▲小作人心得書 小作人心得書ハ小作人ノ遵守スヘキ條項ニシテ小作契約ニ附帶スル條件ナレトモ土地ノ利用等ニ關シテハ毫モ之ヲ檢束セサルノミナラス寧ロ之ヲ獎勵助成セント欲スルモノニシテ多クハ此ノ方針ヲ以テ規定シタリ其ノ全文別記ノ如シ

▲小作人入附 小作人入附則チ小作契約ノ締結ハ毎年春期植付前ニ於テ之ヲ行フモノトシ入附ノ場所ハ地所部本店外六箇所ノ出張所ニ於テ之ヲ爲ス

當日招集ノ小作人集合シタルトキハ地所部主任ヨリ其ノ年度ニ於ケル必要ノ心得方ヲ説示シタル後到着番號ニヨリテ順次小作證書ニ調印セシメ調印ノ終リタルモノハ之ヲ宴席ニ案内ス此ノ宴席ハ無禮講ナルヲ常トシ少クモ一年ノ勞苦ヲ慰藉スルニ

足ルヘク十分ノ歡ヲ盡サシムルヲ以テ目的トシ猶其ノ家庭ヘモ何等カノ土産物ヲ携帶セシムルヲ例トセリ

本店ノ入附ハ四日間出張所ハ各一日ヲ以テ終ル

▲米作改良 若尾地所部ニ於テ農業改良ノ事業ニ着手シタルハ明治三十一年福島縣ノ老農林遠里翁ノ門下檜崎延造氏ヲ聘シテ農業教師トシ巡回講話並ニ試作田ノ設置ヲナシタルヲ手初メトシ爾來引續キ今日ニ於テモ各方面ニ水稻試作場ヲ設置シ専ラ耕耘施肥ノ模範ヲ示シ併セテ良種ノ紹介ヲナスニ努メ居レリ但シ現時ハ専門ノ農業技師ヲ置カス地所部員各自執務ノ餘暇ヲ以テ農事上ノ智識ヲ習得シ全員舉ケテ農業指導ノ任ニ當ル事トシ試作場ノ經營ハ地所部員指揮ノ下ニ其ノ部落ノ老農之ヲ擔當セリ

▲小作米品評會 此ノ種ノ施設ハ明治三十八年ニ苗代品評會ヲ開催シタルニ始マリ明治四十二年ニハ稻作立毛品評會ヲ開設シタルカ各部落毎ニ其ノ事情ヲ異ニスルノミナラス區域廣汎ニシテ統一シ難キモノアリタレハ明治四十四年ニ至リ之ヲ小作米品評會ニ改メ爾來毎年之ヲ續行セリ

其ノ會長ニハ若尾家主人ヲ以テ充テ審査長ハ縣ノ技術官ヲ聘シ審査員ニハ縣下ノ老農數名ヲ囑託シ審査結了シタルトキハ日ヲ定メテ陳列並ニ褒賞授與式ヲ行フ陳列ハ數日間ニ亘リ一般ノ縱覽ニ供スルモノトス

褒賞授與式ニハ地方長官以下官民數百名ノ來賓ヲ招待シ出品人一同ヲ招集ス式序ハ形ノ如ク賞品ニハ金員又ハ農具等各差等アリ此ノ日出品人一同ニハ審査報告書ヲ頒チ晝飯菓子並折詰等ヲ分配ス毎回集合スルモノ二千名頗ル盛況ヲ呈ス

▲米ノ品種改良獎勵金 由來本縣ノ米作ハ改良ノ事績猶甚タ幼稚ニシテ就中品種改良ノ如キ百方ノ勸説未タ實際奏功スルニ到ラス仍テ地所部ハ現在ノ各品種中赤毛高砂ヲ以テ最モ優良品種ト認メ明治四十三年ヨリ此ノ品種ヲ栽培スルモノニハ一俵ニ付金十錢宛ノ獎勵金ヲ交付スル事トナシタルニ成績頗ル見ルヘキモノアリタレハ爾後引續キ此ノ方法ヲ實行セリ

▲肥料資金無利子貸付 小作人施用ノ肥料資金ハ可成廣ク之ヲ貸付スル方針ナルカ就中成績ノ良好ナル部落ニ對シテハ其ノ部落全體ノ小作人ニ對シテ肥料資金ノ利子ヲ免除スル事トナシ毎年之ヲ續行セリ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

各個人ニ據ラスシテ部落ヲ標準トナスハ隣保提携相助共勵ノ風習ヲ養ハント欲スルモノニシテ此ノ方法ニヨリ無利子貸付ノ肥料資金ハ年額一萬五千圓乃至二萬圓トス肥料ハ可成練肥ヲ獎勵スル方針ヲ採リ貸付ハ其ノ部落ノ事情ノ許ス限リ大豆粕等ノ現品ヲ以テシツ、アリ

▲罹災救助 小作人心得書ノ一條項ニ示スカ如ク小作人中萬一不慮ノ災害ニ罹リタルモノアリタル時ハ其ノ事情ヲ酌量シ金員又ハ物品ヲ惠與シツ、アリ

▲勸農部ノ設置 前各項ノ事業總テ小作獎勵ノ趣旨ニ外ナラスト雖其ノ施設散漫ニシテ未ダ以テ完全ニ其ノ目的ヲ達シ能ハサルノ憾アリトナシ大正二年十一月新ニ若尾勸農部ヲ設置シ所屬小作人ヲシテ各部落毎ニ一ノ組合ヲ設置セシメ勸農部ハ之等ノ組合ヲ統率シテ最堅實ニ農事獎勵ノ目的ヲ遂行スルコト、ナシタリ

勸農部ノ事業ハ獨リ所屬組合ノ指揮監督ニノミ止マラス從來地所部ノ事業トシテ經營シタル農事獎勵ノ施設ハ漸次是ヲ勸農部ニ移スヘク其ノ計畫中ナリ

▲農事組合 勸農部所屬ノ組合ハ若尾勸農部所屬何々(部落名)組合ト稱シ一部又ハ隣接部落ヲ以テ一地區トシ一地區毎ニ一ノ組合ヲ設ケ相助共勵專ラ農事ヲ改良ヲ圖リ勤儉ノ美風ヲ養成スルヲ目的トシ其ノ結合ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル爲ニ一定ノ積立金ヲ爲サシムルモノトス大正三年三月其ノ趣旨並ニ模範規約ヲ發表シタルニ各部落爭フテ之ヲ計劃シ忽チ六十七組合ノ成立ヲ見ルニ到リタレハ獎勵ノ爲勸農部ヨリ金一萬圓ヲ支出シ其ノ組合員數並小作料額ヲ標準トシテ各組合ニ配當シ之ヲ組合積立金ノ基本ト爲サシメ猶各組合ノ所要帳簿等ハ凡テ勸農部ヨリ一定様式ノモノヲ交付スル事トナシタリ爾後各組合ノ事業ハ着々進行シテ既ニ本年度兩種ノ積立ヲ完了シタルモノ多シ組合ノ現況左ノ如シ

- 一 組合員數 六十七
- 二 組合員數 二百十七人
- 最多數ノ組合員ヲ有スル組合小笠原組合 百二十八人
- 最少數ノ組合員ヲ有スル組合板組合 八人

平均

三十一人五分

三 第一年度決算前大正四年六月末積立金

總積立金一萬四千八百九十四圓九十五錢五厘

內 義助積立金一萬二千六圓八十二錢五厘

內 譯

勸農部交付金 九千二百三十七圓三十七錢五厘

加入金 二千百十七圓

其ノ他 六百五十二圓四十五錢

內 自助積立金二千八百八十八圓十三錢

但シ一組合當 金二百二十二圓三十錢

組合員一人當 金七圓三錢

▲組合ノ事業 組合ノ農事改良第一歩トシテ部落內交通便利ニシテ人目ニ觸レ易キ場所ヲ選ヒテ水稻共同耕作場ヲ設置シ組合ノ總會ニ於テ其ノ施設ニ付研究協議ヲ凝シ耕作ノ行事ヲ定メタルモノヲ本トシ更ニ組合員中ノ篤農家數名ヲ實務員ニ擧ケ經費其ノ他總テ其ノ請負トシテ模範耕作ヲ爲サシムル事トセリ

勸農部ハ學術經驗アル審査員ヲ囑託シテ立稻並收米ノ綿密ナル審査ヲ爲サシメ收量品種經濟等ノ科目ニ涉リ審査上成績優良ナルモノニハ出品組合ニ對シ一等ヨリ三等迄ニ賞金又ハ賞品ヲ授與シ或ハ優賞旗ヲ授與シ獎勵ノ實ヲ擧ゲシメン事ヲ計劃セリ本年一定ノ規約ノ下ニ競作田ヲ經營スルモノ、數五十三箇所ニ及ヒタリ

組合模範規約

第一條 本組合ハ若尾勸農部所屬組合ト稱ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例





- 第十五條 本組合ニハ組合長一名、副組合長一名、理事三名監事二名ヲ置ク
- 第十六條 組合役員ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ選舉ス役員ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス
- 第十七條 組合長ハ組合一切ノ事務ヲ總理シ副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ之ヲ代理ス
- 第十八條 理事ハ組合ノ事務ヲ分掌ス
- 第十九條 監事ハ組合ノ事務ヲ監視ス
- 第二十條 本組合ハ組合員名簿並積立金臺帖其ノ他主要ナル帳簿ヲ備付ケ置クモノトス
- 第二十一條 組合長ハ毎期ノ總會ニ於テ積立金ノ成績及收支決算ノ報告ヲ爲スヘシ
- 第二十二條 組合員ハ何時ニテモ組合帳簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得
- 第二十三條 本組合ハ毎年三月中ニ通常總會ヲ開キ左ノ場合ハ臨時總會ヲ開ク
  - 一 組合長ニ於テ必要ト認メタル時
  - 二 組合員五分ノ一以上ノ請求アリタルトキ
  - 三 監督者ノ要求アリタルトキ
- 第二十四條 總會ハ組合員半数以上出席スルニ在ラサレハ開會スルコトヲ得ス
- 第二十五條 總會ニ於テ決議スヘキ事項左ノ如シ
  - 一 積立金ニ關スルコト
  - 二 役員選舉ニ關スルコト
  - 三 組合規約變更ニ關スルコト
  - 四 事業成績及決算報告ニ關スルコト
  - 五 肥料ノ共同購入及資本供給ニ關スルコト

- 六 次年度事業進捗ニ關スルコト
  - 七 組合員除名處分ニ關スルコト
  - 八 以上ノ外役員ニ於テ必要ト認メタル事項
  - 第二十六條 總會ノ議事ハ出席者過半数ノ同意ニヨリ之ヲ決ス  
總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及監事之ニ署名スヘシ
  - 第二十七條 本組合ハ若尾勸農部ノ監督ヲ受ケ決議事項ハ總テ其ノ承認ヲ經テ之ヲ施行スヘキモノトス
  - 第二十八條 本組合ニ於テ事務執行ニ關スル細則ヲ設ケタルトキハ若尾勸農部ノ承認ヲ受クルモノトス
  - 第二十九條 本組合存立期限滿了ノ時義助積立金ヲ配分スルニハ自助積立金ヲ標準トス
  - 第三十條 本組合解散ノ場合ハ理事其ノ精算人トナル
- 若尾勸農部對所屬組合規約
- 勸農部對組合ハ相互ノ代表者ヲ以テ左記五箇條ヲ締約ス
- 一 勸農部ハ所屬組合規約ヲ承認スルト共ニ之ヲ統理シ指導ノ任ニ當リ監督ノ責ヲ有ス
  - 二 勸農部ハ所屬組合ノ預金ヲ保管シ最善ナル方法ヲ以テ之カ利殖ヲ計ルヘシ
  - 三 組合ハ勸農部監督ノ下ニ其ノ規約ニ基キテ終始一貫目的ニ向ツテ進行シ聊カモ過意アラサルヘシ
  - 四 組合ノ役員ニ於テ事務ニ執行上規約ヲ無視シ故意ニ組合ニ損失ヲ及ボス行爲アリタル時ハ勸農部ハ監督權ヲ以テ其ノ責任者ヲシテ組合ニ負ハシメタル損害ノ賠償ヲ爲サシムル事ヲ得
  - 五 勸農部對組合ノ規約ハ其ノ責任者ノ異動ニ依テ變ル事ナシ

組合執行細則

- 一 積立金ニ關スルコト
- 地主ノ農事ニ關スル施設事例

- (イ) 自助積立金ハ毎年 月 日迄ニ理事ニ於テ之ヲ徴收スヘシト雖可成ハ組合員ニ於テ進ンテ之ヲ拂込ム事ヲ要ス
- (ロ) 組合長ハ積立金徴收名簿ニ依リテ徴收シタル金額ヲ組合員拂込期限後十日以内ニ徴收名簿並預金通帳ヲ添ヘテ若尾勸農部ニ送附シ其ノ認證ヲ求ムヘキモノトス
- (ハ) 組合規約第七條第三項ノ利息分ハ年一割二分ノ割合ヲ以テ計算シ元金返済ト同時ニ拂込ムヘキモノトス
- 二 帳簿ノ取扱ニ關スルコト
  - (イ) 組合長ハ毎年春季ニ於テ各組合員ノ小作料ヲ標準トシ自助積立金ヲ積算シ之ヲ積立金臺帳ニ記入シ別ニ徴收名簿ヲ作成シ五月三十日迄ニ若尾勸農部ニ持參シ檢印ヲ受クルモノトス
  - (ロ) 組合長ハ組合員ヨリ自助積立金ノ納入アリタルトキハ徴收名簿並積立金通帳ニ記入シ證印ヲ捺シテ組合員ニ交付スルモノトス通帳ハ組合員ノ都合ニ依リ便宜上其ノ保管ヲ組合長ニ供託スルコトヲ得
  - (ハ) 若尾勸農部ヨリ交付セル預金通帳ニ依リ勸農部對組合間ノ金銀出入ヲ明ニシテ且其ノ證トナスモノトス
- 三 經費ニ關スルコト
  - (イ) 組合ノ經費ハ組合役員ニ於テ豫算ヲ編製シ毎年通常總會ノ協議ニ附シ決議直ニ組合長ニ於テ徴收スルモノトス
  - (ロ) 組合役員ハ總テ名譽職トス

若尾地所部小作人心得書

第一章 小作人契約ニ關スル件

- 第一條 當部ノ地所ヲ小作セント欲スル者ハ必ス當部ノ規定ニ依リ小作契約ヲ爲スヘキモノトス
- 第二條 當部ノ小作契約期限ハ一箇年ナルヲ以テ毎歲更新スルモノトス
- 但シ特別契約アルモノハ此ノ限ニアラス
- 第三條 每春耕作着手前ニ於テ小作契約執行期日ノ通知ヲ受ケタル時ハ實印携帶指定ノ場所ニ必ス參集スヘキモノトス
- 第四條 相當理由ニ因リ當部ヨリ小作地引揚ノ通告ヲ受ケタルトキハ速ニ返地シ決シテ押シ作リスヘカラス
- 第五條 小作人ハ當部ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ借地權ヲ讓與シ又ハ之ヲ轉貸スルコトヲ得ス
- 第六條 借地ノ全部若クハ幾分ヲ他人ニ移サント欲スルモノハ其ノ地番地目小作料及其ノ理由ヲ詳記シ双方連署ノ上其ノ年ノ一月十五日迄ニ當部ニ申出スヘシ
- 第七條 小作人カ前條ノ規定ニ反シ第三者ヲシテ借地權ノ使用又ハ收益ヲ爲サシメタルトキハ當部ハ契約解除ノ手續ヲナスヘシ
- 第八條 小作契約後ト雖モ小作人カ家資分散或ハ失踪其ノ他ノ事情ニ因リ小作料ヲ完納シ能ハサルモノト豫知セシ時ハ直ニ小作契約ヲ解除シ猶損害ノ生シタル場合ハ速ニ辨償セシムルモノトス
- 第九條 小作上ノ事ニ付奸策ヲ以テ他人ヲ煽動シ私利ヲ謀リ當部ノ收益ヲ減殺セントノ惡意ヲ有スルモノハ直ニ小作契約ヲ解除スルモノトス

第二章 小作地ニ關スル件

- 第十條 當部ノ小作人ハ各自其ノ小作地ノ境界ヲ正シク相守ルヘシ
- 第十一條 耕耘ノ便利ヲ謀ラン爲メ畦畔溝渠等増設或ハ除去セント欲スルモノハ必ス當部ニ申出テ指揮ヲ受クヘシ

第十二條 隣地ノ爲メ境界ヲ亂サル、カ或ハ竹木建設物等ノ爲ニ障害セラル、カ如キ事アルトキハ遲滞ナク當部ニ届出ヘシ

第十三條 小作地ニハ普通農作物ヲ栽培スヘシ其ノ以外ニ使用セントスルモノハ豫メ當部ノ承諾ヲ求ムヘシ

第十四條 耕作上ノ利益ヲ謀リ收利ノ目的ヲ以テ小作地ノ地目ヲ變更セント欲スルモノハ其ノ事由ヲ詳記シ當部ニ申出承諾ヲ求ムヘシ

第十五條 山林原野池沼及荒地等ヲ開墾セント欲スルモノハ目論見書ニ經費豫算書ヲ添へ當部ニ申出ツヘシ

第十六條 灌溉排水ヲ便ナラシメ或ハ悪水ヲ防禦セシム爲メ土功ヲ要スルトキハ目論見書ニ經費豫算書ヲ添へ當部ニ申出ヘシ

第十七條 田畑ノ地盤床上ケ若クハ床下ケ又ハ洪水地ノ田方ヘ耕土ヲ容レ收穫ヲ増進セント欲スルモノハ當部ニ申出ヘシ

第十八條 前三ヶ條ニ於ケル土地改良經理ニ關スルモノハ實地踏査ノ上其ノ工事ノ難易ニ依リ經費ヲ貸付シ或ハ經費ノ幾分若クハ全額ヲ補助シ又ハ年期ヲ定メテ小作料ヲ低減スルコトアルヘシ

第三章 耕耘ニ關スル件

第十九條 土地耕作法ハ舊習ニ安ンセス努メテ改良法ヲ講究シ以テ收穫ノ増進ヲ計ルヘシ

第二十條 稻作ノ種類ハ善良ニシテ且其ノ地方風土ニ適當セルモノヲ選擇シ猥リニ珍奇ヲ好ンテ播種ス可カラス

第二十一條 破堤又ハ洪水旱魃其ノ他事故ノ爲メ植付後レノ虞レアルトキハ其ノ實況ヲ當部ニ申出テ指揮ヲ受クヘシ

第二十二條 小作人不慮ノ災厄ニ罹リ又ハ疾病ノ爲メ耕耘シ能ハサルモノハ其ノ事情ヲ申出テ當部ノ助力ヲ請フヘシ

第二十三條 肥料ヲ購求セント欲スルモ自己ノ資力ノミニテ購入シ能ハサル時ハ當部ニ申出ヘシ現品若クハ現金ヲ貸付シ補助スル事アルヘシ

第四章 蟲水旱害ニ關スル件

第二十四條 害蟲發生ノ兆アリ又ハ發生シタルトキハ當部並ニ官衙農會等ノ指揮ニ遵ヒ遲滞ナク豫防驅除スヘシ若シ之ヲ等閑ニ附シタルトキハ爲ニ收穫ヲ減スルモ小作料ヲ減免セサルモノトス

第二十五條 害蟲豫防驅除ニ要スル經費ニシテ個人ノ支辨ニ屬スルトキハ其ノ事由ヲ當部ニ申出ヘシ

第二十六條 悪水排除ノ見込アルモ其ノ經費ノ堪ヘ難キ場合ハ其ノ實況ヲ申出テ補助ヲ乞フヘシ

第二十七條 洪水ニ際シ河川堤防又ハ用悪水路等ノ欠壞ノ虞アルトキハ直ニ小作地先ヲ巡視シ防禦ヲ施スヘシ其ノ防禦費多額ニシテ自己ノ負擔ニ耐ヘ難キ時ハ當部ニ申出テ検査ヲ請求スヘシ

第二十八條 旱魃或ハ地勢異動ノ爲メ挿秧シ能ハサルカ或ハ移植後ニ於テ出水等ノ爲メ従前ノ水路ニ障害ヲ生シ他ヨリ用水ヲ引入レ又ハ機械ヲ利用セントスルモ自己ノ負擔ニ耐ヘ難キ場合ハ當部ノ助力ヲ請求スヘシ

第二十九條 天災其ノ他ノ事情ニ依リ小作地ニ欠損ヲ生スルカ或ハ川縁ニシテ欠壞等ノ虞アリタルトキハ急速ニ修繕ヲ加フヘシ若シモ經費ノ多額ヲ要シ自己ノ負擔ニ耐ヘサルトキハ當部ニ申出テ材料又ハ經費ノ補助ヲ請求スヘシ

第三十條 用水堰浚深等ハ在來ノ慣習ニ據ルヘク打修繕等ハ凡テ關係小作人ノ負擔ナリト雖モ若シ新調ヲ要スル場合ハ當部ノ検査ヲ請求スヘシ

第五章 稻作検査ニ關スル件

第三十一條 天災若クハ氣候ノ不良等ニ依リ收穫ヲ減シ既定ノ小作料ヲ完納シ能ハサルコトヲ豫知セシトキハ其ノ刈取期十五日前ニ被害地ノ名稱及見積リ收量ヲ書面又ハ口頭ニテ當部ニ申出テ實地検査ヲ請求スヘシ

第三十二條 前條ノ手續ヲ怠リ無斷ニテ其ノ收穫ヲ引取リタル場合ハ減收ノ多少ニ關セス小作料ノ減免ヲ要求スルコトヲ得ス

第三十三條 稻作ノ實地検査ヲ受ケ小作料減免ヲ請求セント欲スルモノハ他人ニ依頼セス各自直接當部ニ申請セラルヘシ

第三十四條 稻作検査トシテ當部員出張ノ節ハ誠實ヲ守リ決シテ虚構ノ意見ヲ述ヘ不正ノ行動ヲ爲スヘカラス若シ之ニ反スル行爲アルトキハ検査ヲ停止シ小作料ノ全額ヲ請求セラルヘシ

第三十五條 稻作検査ノ案内ハ各自ノ小作地ニ限ルヘシ他人ノ小作地ニ同行スヘカラス若シ多人數連立チ他人ノ引方ニ付私語紛議シ出張員ノ制止ヲ肯セサルトキハ検査ヲ中止シ要求ヲ拒絶スルコトアルヘシ

第六章 小作料徴收ニ關スル件

第三十六條 田畑ニシテ普通農作物ヲ耕種シ得ラルヘキ土地ニ雜草ヲ繁茂セシメ又ハ懈怠ニ依リ收穫ヲ減少シタル場合ハ凡テ其ノ隣地ノ標準ニ依リ小作料ヲ請求ス

第三十七條 天災若クハ疾病ノ爲メ小作地ヲ耕耘シ能ハスシテ其ノ當時届出ヲ怠リタルモノハ凡テ其ノ隣地ノ標準ニ依リ小作料ヲ請求ス

第三十八條 小作期間満了後契約ノ更改ヲ怠リ尙引續キ小作地ヲ使用シタル場合ハ前契約ヲ續行シタルモノト看做シ小作料ヲ要求スルモノトス

第三十九條 小作料減免ニ對シ多衆合同シ若クハ相互結約シ行動不穩ト認ムルトキハ其ノ要求ヲ拒絶スルモノトス

第四十條 小作料ハ小作契約書事項ヲ遵守シ當部徴收員ノ指揮ニ從ヒ指定ノ場所ニ納附スルモノトス但シ在來慣習アリシ場合ハ此限リニ在ラス

第四十一條 害蟲豫防驅除又ハ水旱害ニ際シ衆ニ超ヘテ盡力シタルモノハ爲ニ增收ヲ得ルモ其ノ隣地ノ標準ニ依リテ小作料ヲ減免シ猶殊ニ其ノ成績著シキモノハ相當ノ報酬ヲ贈與スルコトアルヘシ

第四十二條 小作料量立ノ場合ハ必ス當部徴收員ノ立會ヲ求メラルヘシ若シモ立會ヲ要セス隨意ニ量立テ又俵裝等ヲナシタルモノニハ更ニ仕立直シヲ命スルコトアルヘシ

第四十三條 小作地ヲ分割轉貸スルモ小作料納付ノ場合ハ相互ノ便宜ヲ以テ可成同時ニ完納スル様名義者ニ於テ注意スヘシ

第四十四條 小作量立ニ際シ徴收員ノ指揮ニ從ハサルカ若クハ立會ヲ得テ小作料ノ量立ヲ了ルト雖モ其ノ後ニ於テ不都合ノ行爲アルヲ發見シタル場合ハ依テ生シタル損害ヲ賠償セシムル事アルヘシ

第四十五條 小作料及玄米ハ凡テ其ノ小作地ノ產出品ヲ納付スヘキモノトス若モ米質疎惡乃至乾燥不充分ニ依リ納付シ得サル場合ハ豫メ當部ニ申出テ指揮ヲ受クヘシ

第七章 雜事ニ關スル件

第四十六條 小作人團結シ當部ノ請求ヲ拒ミ小作料ヲ延滞スル場合ニ於テ自ラ其ノ非ヲ悟リ他ト提携セスシテ小作料ヲ納付セルモノハ當部帳簿ニ記載シテ其ノ善行ヲ稱揚スルモノトス

第四十七條 小作人中ニ於テ不都合ノ行爲ヲ企テ當部ノ收納ヲ害セントスル惡意アルコトヲ豫知シ之ヲ當部ニ報告シタルモノニハ其ノ事件ノ輕重ニ依リ相當ノ報酬ヲ與フルモノトス

第四十八條 衆ニ優リテ農事ニ精勵シ他ノ模範タルヘキ實績アルモノ又ハ農業上便益ノ事ヲ發明シタルモノニハ相當ノ賞與ヲナシ其ノ善行ヲ表彰スルモノトス

第四十九條 小作人中不慮ノ災厄ニ罹リ困難ニ遭遇シタル場合ハ當部ニ申出ヘシ其ノ情狀ヲ斟酌シ之ヲ補助スルコトアルヘシ

第五十條 小作契約書事項及小作人心得ハ固ヨリ相守リ決シテ違背スヘカラス  
若尾小作米品評會規則

名 稱

第一條 本會ハ若尾小作米品評會ト稱ス

區域及組織

第二條 本會ハ縣下甲府市西山梨郡、東山梨郡、東八代郡中巨摩郡、北巨摩郡ノ一市五郡ヲ區域トシ其ノ區域内ニ於ケル當部ノ小作人關係者ヲ以テ組織ス

目 的

第三條 本會ハ農業ノ主タル米穀ノ改良發達ヲ謀ルヲ以テ目的トス

出 品

第四條 本會ノ出品者ハ當地所部小作關係者ニシテ粃五俵玄米四俵以上ヲ納付スルモノシテ各自作ニ係ル本年  
度小作料完納者ニシテ一戸構ヘタルモノニ一人ニ付一點トス

第五條 本會ノ出品物ハ粃若クハ玄米ニシテ各自納付ノ内ヨリ納入ノ際粃五合玄米ハ三合ヲ隨意ニ抜キ取り出品  
セシムルモノトス

第六條 當地所部小作關係者ハ本會へ出品ヲ拒ム事ヲ得サルハ勿論決定シアル小作料納付額ノ外ニ出品物填補ト  
シ第五條ニ掲クル數量ヲ納付スルモノトス

第七條 出品者ハ當地所部ヨリ配布スル目錄書ニ記名調印スルモノトス

第八條 出品セシ粃及玄米ハ審査終了ノ後ハ時價ニ見積リ代金ハ本會經費ノ内へ組込ムヘキモノトス

第九條 出品物ハ一定ノ場所ニ陳列シ小作者一同ニ觀覽セシムルモノトス

事 務

第十條 本會ハ會長總理ノ下ニ若尾地所部之ヲ經營シ左ノ役員ヲ置ク

事務長 一名

審査長 一名

審査員 若干名

事務員 若干名

第十一條 事務長ハ會長之ヲ選定シ本會一切ノ事務ヲ管理ス

第十二條 審査長ハ斯業ニ最學識經驗アル技師ノ派遣ヲ本縣ニ申請シ審査ニ關スル一切ノ事ヲ處理ス

第十三條 審査員ハ審査長ノ指揮ヲ受ケ審査ニ從事スルモノトス

第十四條 事務員ハ會長之ヲ選任シ事務長ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス

審査及褒賞

第十五條 本會出品物ハ凡テ審査ニ付スルモノトス

第十六條 審査長ハ審査終了ノ上ハ速ニ其ノ成績ヲ會長ニ報告スルモノトス

第十七條 審査ノ結果優等ノモノニ對シテハ左ノ等級ニ從ヒ褒賞ヲ贈與ス

優等 一等 二等 三等 四等 五等

第十八條 出品人ハ出品ノ再審査ヲ請求シ褒賞ノ贈與ヲ拒ミ審査ニ對シ異議ノ申立ヲナスコトヲ得ス

審査規則

第一條 審査ハ本會規則ニ依リ產地、種類、品質、乾燥、調製ノ良否、俵裝及納附俵數ノ多寡其ノ他平素ノ成績  
ノ七項目ニ區分シテ審査擬賞スルモノトス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- 第二條 審査方法ハ審査長之ヲ定ム
- 第三條 審査ハ勉メテ公平ヲ旨トシ苟モ偏頗ノ所爲ナキハ勿論一切之ヲ漏洩スヘカラス
- 第四條 審査長審査員ノ評點ヲ不當ト認メタルトキハ其ノ理由ヲ説明シテ再審査ヲ爲サシムルモノトス
- 第五條 審査員ハ自己出品ノ審査ニ參與スルコトヲ得ス

### 藤本健次郎氏ノ施設

北都留郡富濱村

氏ハ農業ニ頗ル熱心ニシテ常ニ斯業ノ發達ヲ期シ且地主小作人間ノ圓滿ヲ計ランカ爲明治四十一年ヨリ小作料一割乃至二割ノ引下ヲ斷行シ其ノ小作料徵收期日ヲ毎年十一月二十五日トシテ當日悉ク其ノ小作料ヲ持參セシメ且其ノ日ヲ小作會ト稱シ各小作人ヲ自宅ニ招集シ郡長其ノ他郡農業技術者及篤農家ヲ招聘シ産業ニ關スル講話ヲ請ヒ且談話會ヲ催シ餘興トシテ福引景品(農具)ヲ授與シ酒食ヲ饗スル等最モ趣味アル家族の會合ヲナシ又之ヲ以テ將來ノ家法ト定メタリ其ノ結果同村ニ於ケル他ノ地主カ小作料ノ徵收ニ最モ困難ヲ感スルニ反シ容易ニ其ノ徵收ヲ完了スルノミナラス地主ト小作人間ニ於ケル親密ヲ大ニ深カラシムルヲ得タリ

### 滋賀縣

### 野坂家ト小作米品評會

東淺井郡虎姫村

▲野坂家小作米品評會 同郡内ニテ特ニ小作人ノ保護獎勵ニ盡力スル者ハ虎姫村大字田村野坂小右衛門野坂助右衛門野坂猶吉

ノ一門ナリ此ノ三氏ハ本分家ノ間柄ニシテ共同シテ明治三十九年近江米同業組合カ輸出米ノ検査法ヲ改正セシ際ヨリ野坂家小作米品評會ヲ設ケ三家ノ小作者ハ納米ノ多寡ニ不拘近江米同業組合出張所員及村内老農ニ審査ヲ囑託シテ毎年納米期ニ小作米品評會ヲ開催シ等級ニ應シ農具其ノ他ノ賞品ヲ與ヘ又當日小作人一同ヲ饗應シ以テ一日ノ歡ヲ共ニスルヲ例トセリ右野坂家ノ耕地ハ十數町歩ニシテ大地主ナラサルモ小作者ハ附近部落七ヶ字ニ亘リ四十八名アリ常ニ小作人ヲ遇スルコト懇切ナルヲ以テ地方ニ於テ爭ウテ其ノ小作者タラント欲シ郷人ノ尊敬厚ク名望アリテ他ノ模範タリ

### 吉川治良左衛門氏ノ施設

野洲郡中洲村大字吉川

氏ハ細農ノ多クカ米麥收穫前ニ於テ飯米ニ窮スルヲ想ヒ毎年阜月飯米(五月中田耕作ノ飯米)及取付飯米(秋季稻取入中ノ飯米)ヲ小作人中ノ貧困者ニ貸與セリ其ノ額ハ家族ノ多寡ニヨリ異レトモ大低五人以下ノ家族ニ對シテハ毎回一俵トセリ其ノ他肥料資金不足ノモノニ對シ資金ヲ貸與シ又毎年一回適當ノ時期ヲ見計ヒテ小作人ヲ集メ農談會ヲ兼ネ慰安會ヲ開キ且又獎勵ノ爲メ小作人中熱心ニシテ他ノ模範トナルヘキ者ヲ選抜シテ金品ヲ與ヘ表彰セリ

### 田中源治氏ノ施設

愛知郡愛知川町

氏ハ夙ニ公共ノ志厚ク同大字小作人ノ團體タル農議社ニ對シ明治四十四年以來(自己小作人ノミニ止ラス)肥料購入資金トシテ年々三百圓宛無利子貸付ヲ行ヘリ其ノ方法ハ稻收穫後返済スヘキ約束ニテ申出ニヨリ何時テモ貸付クルコト、セリ又米作獎勵ノ爲メ年々小作米品評會ヲ開キ獎勵金トシテ二十圓ツ、ヲ交付シツ、アリ小作人ハ此ノ恩惠ニ浴シ近時著シク共同心ヲ増進シ農事改良事項ニ付テモ漸次良好ナル成績ヲ收ムルニ至レリ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

岐 阜 縣

佐野猪之助氏ノ施設

海 津 郡 西 江 村

佐野猪之助氏ハ地價金一萬五千餘圓ヲ有シ信用購買販賣組合ヲ設置シテ小作人ニ勤儉貯蓄ヲ勸メ牝牛ヲ購入シテ之ヲ貸與飼養セシメ農閑ノ季節ニ於テ土地改良ノ土功ヲ起シ小作人ヲ使役シテ其ノ賃金ヲ蓄積セシメ或ハ稻ノ收穫期ニ於テ稻架ノ材料ヲ給與スル等保護獎勵ニカメ居レリ

安田彦八郎氏ノ施設

安 八 郡 淺 草 村

安田彦八郎氏ハ地價金二萬圓其ノ反別五十餘町歩ヲ所有スル地主ニシテ土地控米ハ地租改正以前ヨリ嘗テ増徴セシコトナク(同地方一反歩當收穫ハ五俵乃至七俵ナルニ控米ハ二俵乃至三俵ナリ)且小作人中不幸ニ遭遇シ家計困難ナル者アルトキハ陰カニ農耕資金ヲ貸與シ或ハ精勵ニシテ良米ヲ納ムル者ニハ特ニ賞與ヲ行フ等保護獎勵至ラサルナキヲ以テ同家小作人ハ一般ニ有福ニシテ皆其ノ德ニ懐キ地主小作人間ノ關係極メテ親善ニシテ昔時ノ君臣ノ如キ觀アリ其ノ一例ヲ舉クレハ同家ニ要スル薪ハ小作人共同ニテ之ヲ調製シ又草屋根葺換ノ場合ニハ是亦小作人總出無料ニテ之ヲ行フ等其ノ他苟モ同家ノ事トシ言ヘハ皆喜ンテ之ヲ爲スノ風アリ

長 野 縣

福澤泰江氏ト報德基金制

上 伊 那 郡 赤 穂 村

氏カ小作者ノ保護獎勵ニ着想セシハ明治三十二年ニシテ具體的ニ其ノ方法ヲ定メテ實施セルハ明治三十三年三月ニシテ同月三日小作人ヲ招集シテ地主小作者間ノ關係ニ就キ所見ヲ述ヘ小作談話會及小作米品評會ヲ開設スルコトヲ約シ爾來繼續施行セリ

▲小作談話會 ハ毎年春季ヲ以テ開設シ上伊那農學校職員又ハ郡農會技手ヲ聘シ農業上ノ心得ニ付講演ヲ求メ自ラモ亦小作人ノ家庭及農場ノ實見ニ付談話スルヲ常トス

▲小作米品評會 明治三十三年度ヨリ開設シ自ラ苗代及本田ヲ踏査シテ其ノ作業ノ勤怠巧拙ヲ視察シ小作米納付ノ際其ノ品質俵裝ヲ審査シ翌年ノ小作談話會ノトキニ褒賞授與式ヲ行フヲ例トセリ其ノ賞品ハ始メ農具或ハ桑苗等ヲ用ヒタリシカ明治三十九年ノ小作米品評會ヨリ金員ヲ以テセリ其ノ金額ハ一等五拾錢二等二十錢三等十錢ニシテ各擬賞人ノ名義ヲ以テ銀行預金トシ通帳ヲ授與シ之ヲ地主ニ於テ保管スルコト、セリ、又タ小作米ノ品質又ハ耕作方法ノ特ニ衆ニ擢シタルモノニハ授賞ヲナシ或ハ耕地ノ改良等ニ付自費ヲ投シテ施工セル小作者ニハ賞狀及金員ヲ賞與スルコト、セリ

▲報德小作組合 明治三十五年小作談話會ノ時更ニ報德小作組合ヲ組織センコトヲ發表セリ本組合ハ小作者ノ勤儉貯蓄ヲ獎勵シ且農業資金融通ノ便ヲ與ヘンカ爲ノ計劃ニシテ爾來組合ノ成立シ勤儉貯蓄ノ實ヲ舉ケツ、アリ明治四十一年三月末日現在ノ積立金額ハ左ノ如シ

- 第一組合 積立金 金六十三圓五十五錢一厘
- 第二組合 同 金七十一圓八十五錢七厘
- 第三組合 同 金五十二圓五十一錢一厘

地主ノ農事ニ關スル施設事例



第四組合	積立金	金二十六圓九十九錢六厘
第五組合	同	金十圓二十五錢九厘
第七組合	同	金十七圓七十七錢八厘
計金		二百九十五圓九十五錢一厘也

各組合員積立高ハ毎月五錢乃至二十五錢ニシテ現在ニ於テハ肥料農具ノ購入土地開墾資金ニ運用セラレツ、アリ、然レトモ本組合ハ組合員ノ平和團練吉凶禍福ヲ共ニスル趣旨ナルニ其ノ積立金ハ單ニ農業資金ニノミ其ノ用ヲナシ組合員ノ不時天災ニ際シ之カ救済ヲ爲ス能ハサルヤノ憾アリシヲ以テ更ニ明治四十一年四月ノ小作談話會ニ於テ左記報德基金制ヲ發表シ實施スルコト、ナリタリ

▲報德基金制 其ノ趣旨書ニ曰ク國家ノ恩德ト祖先ノ惠福トニヨリ平和ノ家庭ニ子孫團練ノ樂ヲ享クルコトヲ得ルハ實ニ過分ノ幸慶ナリ吾深ク此ノ洪恩ヲ顧念シ聊カ報德ノ微衷ヲ致サンカ爲ニ茲ニ報德基金制ヲ定ム子孫永久ニ遵守實行シテ寸毫モ違背スルコト勿ルヘシ

- 第一條 報德基金ハ報本反始ノ心ヲ以テ累積スルモノナレハ後代子孫タルモノ私有ノ心得アル可カラズ
- 第二條 報德基金トシテ積立ツル定額ハ其ノ年額金十圓ト定メ毎年一月二十一日ヲ以テ之ヲ積立ツルモノトス但シ時宜ニヨリ本條定額ノ外臨時積立ヲ爲スコトアル可シ
- 第三條 報德基金ハ當家小作人(年額一俵以上ヲ納付スル者)ニシテ左ノ事項ニ該當スルモノニ限り無利子貸付ヲナスヘシ
  - 一 貸付農地ノ災害ヲ受ケタルトキ
  - 二 家族勞働者ノ死亡又ハ疾病傷疾ニ罹リタルトキ
  - 三 家屋農舍ノ火災又ハ風水害ニ罹リタルトキ

- 四 農用牛馬ノ斃死シタルトキ
- 五 家族ノ軍隊ニ召集セラレタルトキ

第四條 報德基金ハ左ノ事項ニ該當スルモノニ對シテハ貸付スルコトナシ

- 一 素行修ラサル者
- 二 公費ノ滯納處分ヲ受ケタル後滿一ケ年ヲ經過セサル者
- 三 現ニ小作料ヲ滯納セルモノ(凶作其ノ他ノ事項ニヨリ合意ノ上小作料納付ヲ延期セル場合ヲ除ク)及小作料トシテ粗惡品ヲ納付スル者
- 四 現ニ報德基金貸付金償還ヲ怠ル者
- 五 當家報德小作組合ノ組合員ニ非サル者

第五條 報德基金貸付方法ハ月賦又ハ年賦トシ其ノ期限ハ五箇年以内トス

第六條 報德基金巨額ニ達シタルトキハ左ノ各項ニヨリ處分スルコトヲ得

- 一 國家ニ獻納スルコト
- 二 小作人ヲ賑恤スルコト
- 三 社會公共ノ爲ニ輸出スルコト

前項ニヨリ報德基金ヲ處理スル場合ニ於テハ戶主又ハ家族ノ名義ヲ以テス

第七條 報德基金ハ毎年十二月ヲ以テ決算ヲナシ新年式ノ日其ノ狀況ヲ祖先ノ靈前ニ奉告シ且毎年當家小作談話會ノ時ニ於テ詳細ナル報告ヲナスモノトス

第八條 此ノ規程實行ノ責任ハ戶主ノ務ニシテ若シ他日變更ノ必要ヲ認ムルトキハ家族一同ノ同意ニ依リ祖先ノ認許ヲ請フ心得ヲ以テ處理スヘキモノトス

### 北原阿智之助氏ト立毛品評會

下伊那郡上郷村

明治四十二年ヨリ年々小作者ノ耕作セル稻田ニツキ立毛品評會ヲ開設シツ、アリ其ノ方法ハ苗代當時及本田當時各々一回及納米ニ就キ一回審査ヲ行ヒ其ノ審査員ハ郡農業技手ノ出張ヲ乞ヒ本人及小作人案内シテ審査ヲ爲スモノニシテ一面小作者集合ヲ好機トシ耕耘肥培上ノ指導ヲ受ケ之カ改良ヲ計リツ、アリ審査後ハ苗代、本田及納米ノ審査點及納入ノ良否平素ノ勤惰等ニ付附點シ合計點ノ多少ニヨリ其ノ優劣ヲ決定ス賞品授與當日ニハ小作人一同ヲ自宅ヘ招キ納入米ヲ陳列シテ觀覽センメ農業技手ヨリ農業上ノ講話ヲ請ヒ優等者ニハ銀、三ツ又、湯釜、鎌等ノ類ヲ賞與シ一同ニ酒肴ヲ饗應ス爲ニ小作者ハ肥培等競ヒ努メ大ニ其ノ效果ヲ奏シツ、アリ

其他戊申詔書御下賜紀念トシテ明治四十一年十一月十三日小作者ヲ以テ黒田報徳社ヲ結社スルコト、ナシ毎月自宅ニ例會ヲ開キ道徳經濟上進ヲ圖リ又肥料購入時期ニ入りテハ各小作人ヨリ希望ヲ取纏メ獨力金策ヲ講シテ農業資金ノ貸與ヲナシツ、アリ

### 神津 猛氏ノ施設

北佐久郡志賀村

氏ハ自家ノ小作人保護獎勵ノ爲家憲トシテ左ノ方法ヲ實施シツ、アリ

▲資金ノ貸與 小作人ノ肥料資金窮乏ヲ憂ヒ毎年所有田畑ニ要スル金肥ヲ購入シ小作人ノ希望ニ應シ之ヲ低利ニ貸附スルコト、セリ又稻作挿秧ノ際代掻キ馬借入賃ノ如キ自己ノ小作人ノ希望ニ應シ無利息ニテ貸與スル事

▲表彰 小作人ヲ獎勵スル爲メ農事ニ勉勵シ拔群ノ成績ヲ顯ハシタル小作人ニ對シ年々農具若クハ反物ヲ與ヘテ其ノ功勞ヲ表彰セリ

▲講話會開催 農業智識ノ普及ヲ圖リ農事改良ヲ圖ランカ爲稻作改良方法等ニ付時々専門家ヲ招聘シ小作人ハ勿論一般農家ニ聽講セシム

▲米麥ノ寄贈 小作人ノ子弟ニシテ徴兵トシテ入營スルトキハ米麥一俵以上ヲ寄贈スルヲ例トセリ

▲農村ノ娛樂的施設 毎歲春秋二期ノ村社祭ノ當日ヲ利用シ自費ヲ以テ講師又ハ演藝者ヲ招キ忠孝義士ノ事跡ヲ講演セシメ小作人ヲシテ忠孝ノ念ヲ喚起セシメ且農村娛樂ヲ提供スル等ノ施設ヲ爲スヲ以テ地主小作ノ間頗ル圓滿ナルモノアリ

### 關 慶作小林萬治郎兩氏ト耕作獎勵會

下高井郡平穩村

兩氏ハ其ノ所有地ヲ耕作スル二十餘名ノ小作人ト共同シ明治四十年耕作獎勵規約ナルモノヲ設ケ地主ト小作人トノ共同團體ヲ設置シ専ラ地主ト小作人トノ親和ヲ計リ一方ニハ低利ナル肥料資金ヲ融通シ稻作ノ立手審査及年貢米審査會等ヲ開設シ其ノ成績ノ良好ナルモノ一、二、三等ニ別チ行賞シ以テ産米ノ改良ヲ計リ一方ニハ年度内少クモ二回以上總會ヲ開キ耕種法ノ研究、報徳講話等ヲナシ以テ農事ノ改良ヲ促シ風紀ノ改善ヲ計リツ、アリ

明治四十年以來實行ノ結果地主ト小作人トノ關係益々親密ヲ加ヘツ、アリ其ノ結果種子ノ撰擇、施肥、手入及年貢米ノ品質等一般ニ比シ良好ノ成績ヲ收メツ、アリ其ノ規約左ノ如シ

#### 耕作獎勵會規約

第一條 本會ハ耕作獎勵會ト稱シ地主某々ト同人所有ノ耕地ヲ借り受ケ耕作スル者ヲ以テ組織シ其ノ目的左ノ如シ

一 地主ト小作人トノ調和親密ヲ計ルコト

二 小作人ノ希望ニヨリ小作年貢ノ多寡ニ依リ定額ノ範圍内ニ於テ肥料資金ヲ貸與スルコト

但シ貸付定額ハ一俵納ニ對シ金三十錢ヲ限度トス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- 三 耕作ヲ獎勵シ年貢米ヲ精選納付スルコト
  - 四 小作人ノ互選ニ依リ委員數名ヲ設ケ地主ト共ニ毎年二回夏期及秋期ニ於テ稻作地ヲ巡回規察シ審査ノ結果等級ヲ付シ精農者ニ相當ノ賞與ヲ給與スルコト  
但シ賞與ハ郵便貯金通帳ニ各金額ヲ記入シ交付スヘキコト
  - 五 毎年十二月十日前後ニ於テ年貢ヲ差出タル粃及米ニツキ審査會ヲ開キ優等者ニ對シ地主ヨリ相當賞與ヲ給與スルコト
  - 六 地主及小作人ハ毎年々貢納付額ニ據リ粃及米一石ニ對シ地主五升小作人五升宛ノ割合ヲ以テ必ラス積立テ之ヲ時價ニヨリ賣却シ其ノ代金ヲ地主ニ於テ保管シ凶年不作ノ年ニ際シ小作人ニ相當ノ歩合ヲ定メ支給スルコト  
但シ小作人ノ都合ニ依リ小作地ヲ返納スル時ハ小作人ノ積立金ハ證文ニ添ヘ還付スルモノトス
  - 七 本會々員ハ種子交換、農蠶研究及報德講話會ヲ冬期ニ於テ開會出席スルコト
  - 第二條 本會ニ於テ地主ヨリ支給スル賞與ハ地主ノ積立金ノ中ヨリ支出スルモノトス
  - 第三條 本會ニ於テ設クル委員ハ名譽職トシ別ニ日當手當ヲ給セサルコト  
但シ實費ハ地主ノ積立金中ヨリ支出スルコトアル可シ
  - 第四條 地主ヨリ貸渡シタル金額ハ毎年十二月二十五日限り元利取揃ヘ返納スルモノトス
  - 第五條 地主ニ於テ保管スル積立金利子ハ年八歩トシ又地主ヨリ肥料資金トシテ貸渡金利子ハ年八歩トス
- 附 則
- 第一條 本規定施行上ノ稻作立毛審査會並ニ年貢粃米審査會等ニ關スル規程ハ地主及委員ニ於テ設定ス  
前記各條項規定ヲ將來互ニ實行スルコトヲ證スル爲記名捺印スルコト如件

### 小林直治郎氏ト農事共勵會

更 級 郡 信 田 村

其ノ所有地更級、埴科兩郡ニ涉リ田畑反別約四十町歩ヲ有シ其ノ小作人三百人ニ及フ之ヲ四區ニ分チ屋代屋、抗瀬下村、五加村方面ヲ一區トシ川柳村、鹽崎村ハ二區布施村、共和村ヲ三區トシ信田村、信里村ヲ四區トシ一區五十人乃至百人ヲ一團トシテ農事共勵會ヲ設ケ毎年注意書ヲ配付シテ小作人ヲ獎勵ス注意ノ要項左ノ如シ

- 一 晚稻ヲ作ラサルコト
  - 二 田植ヲ急クヘキコト
  - 三 追肥ヲ爲サ、ル事
- 其ノ他種子ノ選定肥料等ニ付時宜ニ依リ注意ヲ與フ右ノ指示ニ依ルモ不作ヲ被リタル者ニ對シテハ相當ノ輕減ヲ行フ、又右ノ區域ニヨリ小作粃品評會ヲ開キ一人ヨリ一合ツ、出品セシメ其ノ優劣ヲ審査シ等級ヲ付シ之ヲ藏人ノ當日一場ニ陳列シテ小作人一同ニ示シ品質優良ノ者ニ對シテハ夫々賞與ヲ行フ尙當日ハ小作人一同ニ茶菓ヲ饗ス以上ノ施設ハ明治三十八年ヨリ實行シ小作人ヲ保護獎勵セルヲ以テ漸次小作粃ノ收納ノ狀況良好ニシテ品質又佳良トナレリ

宮 城 縣

### 高橋熊太郎氏ト農事懇話會

宮 城 郡 利 府 村

毎年小作米ノ收納期ニ其ノ小作人ヲ自宅ニ招集シ農事懇談會ヲ開催シ傍ラ小作米ヲ展覽ニ供シ且良好ノ小作米ヲ納付シタルモ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

ノニ對シ金品ヲ賞與スル等之カ獎勵ニ努メタル結果漸次良成績ヲ收メツ、アリ

### 阿部郁之助氏ノ施設

桃生郡二俣村

小作人ノ保護獎勵ノ爲田一反歩ニ對シ金一圓乃至二圓ヲ無利子ニテ貸付シ又小作米品評會ヲ開催シテ夫々賞狀及賞品ヲ授與ス且同日ハ小作者ヲ饗應シテ其ノ勞苦ヲ慰藉シ居レリ

### 吉川子爵代人高田直三郎氏ト農業資金ノ融通

牡鹿郡石巻町

小作人保護ノ目的ヲ以テ左ノ各事項ヲ實行シツ、アリ

- ▲農業資金ノ貸與 小作人ノ資金困窮ヲ救ヒ農事改良ヲ獎ムル爲一町歩以上ノ耕作者ニ對シテハ堆肥舎建設費用トシテ七ケ年賦ノ年利五朱ニテ貸與シ又一町歩以上ノ小作人ニシテ肥料購入ノ資力ナキ者ニハ現品ヲ貸與ス
- ▲種子ノ無償配付 優良種子ノ普及ヲ圖ル爲採種田ヲ設ケ一町歩以上ノ小作人ニ種子ヲ無償ニテ交付ス
- ▲小作米品評會 毎年小作米品評會ヲ開催シ米質ノ改良ヲ圖リツ、アリ其ノ品評會ノ賞與ハ現金ニシテ半額ハ即時交付シ残り半額ハ地主ニ於テ保管シ置キ貯金通帳ヲ與ヘ不慮ノ天災ニ備ヘシメ尙當時ハ小作人ヲ慰藉スル爲メ園遊會ヲ催スヲ例トス

### 岩淵良太夫氏ノ施設

登米郡淺水村

氏ハ篤農家トシテ郡内ニ名アリ常ニ農事改良ニ意ヲ傾ケ直接間接斯業ニ貢献シツ、アリ今氏ノ施設セル事項ヲ舉クレハ左ノ如

シ

- ▲品評會ノ開催 種類統一品質ノ改良ヲ圖ランカ爲小作米外二種ノ品評會ヲ開催シ農事ノ改良ニ盡シツ、アリ
  - ▲良品種ノ普及 晚稻種ノ不利ナルヲ憂ヘ早、中生ノ良品種ヲ他郡他縣ヨリ購入シテ之ヲ小作人其ノ他一般農家ニ貸與耕作セシメ優良品種ノ普及ヲ圖リツ、アリ
  - ▲貯金ノ獎勵 明治四十一年ヨリ收受シタル小作米ノ五分即チ一石ニ對シ五升ノ割合ヲ以テ時價ニ換算各小作人ニ貯蓄セシメ自己保管シ利殖ヲ圖リツ、アリ其ノ小作人員二十二名ニシテ金額百三十六圓餘ニ及フ而シテ不測ノ災害アル場合給與スルノ方法ヲ探レリ
- 其ノ他施肥、耕耘及農具ノ改良等克ク指導獎勵ヲ加ヘツ、アリ

### 齋藤宗三氏ト小作共同試作田

桃生郡小野村

同氏ハ小作人ヲ各部落毎ニ共同セシメ同團體ニ試作田ヲ設置シ種々ノ試驗ヲ施行セシメ小作人ヲシテ農事ノ自發的研究心ヲ喚起セシメ該試作田ノ生産物ハ其ノ團體ノ爲ニ貯蓄シ水害其ノ他ノ災害ニ際シ之ヲ細民ニ分配シツ、アリ

福 嶋 縣

### 渡邊森次郎氏ノ施設

南會津郡田島町

同郡ノ大地主ニシテ明治三十六年四月小作人保護獎勵會ナルモノヲ組織シ規則ヲ定メ明治三十七年ヨリ實行シ個人ノ事業トシ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

テ成績顯著ナリトス同會創立ノ當時ハ小作人等ハ單ニ地主ノ利益行爲ト誤信シ同會ヲ嫌忌スル者アリシカ自然ノ大勢ニ連レ相  
互緩和シ一ノ共進機關トナリ模範ヲ以テ目セラル、ニ至レリ同會事業ノ方法及事業成績等ハ左ノ如シ

一 沿革 同會ハ明治三十六年ノ秋創立ノ發會ヲ爲シタルモ各小作人ノ集會スル運ニ至ラス明治三十七年四月二十三日第一  
回小作米品評會ヲ開催シ同時ニ小作人總會ヲ開キテ肥料貸與方法、勤勉貯蓄ノ實行及米作改良方法等ヲ決定セリ次テ明治  
三十八年五月十日第二回品評會ヲ開キ併セテ小作人總會ヲ開催シ同年十一月初メテ小作人總代ヲ集メテ農事改良上ノ  
講話并ニ協議會ヲ開キ各區域ノ小作米納付期限ヲ實施スルコト、セリ明治三十九年ハ凶作ノ翌年ニ相當シタルヲ以テ品評  
會ニ代フル農事講話會ヲ開キ同郡技手ニ講話ヲ請ヒ十一月三日小作人總會ヲ開キテ講話及協議ヲ爲シ凶作後ノ經營策ヲ講  
シ不作後ノ心得項目ヲ印刷物トシテ地方一般ニ配布シ注意ヲ促シ大ニ惰民ヲ醒サシメタリ越エテ明治四十年四月十四日第  
三回小作米品評會ヲ開キ漸次歩ヲ進メテ規模ヲ擴張シ着々其ノ効ヲ奏シ大ニ見ル可キモノアリ同日ハ殊ニ福島縣農事試驗  
場長ノ臨席ヲ乞ヒ農事講話會ヲ開キタリ而シテ同年十一月三日小作人總代會ヲ開催シテ改良實施方法及民家心得等ヲ協議  
シテ大ニ斯業ノ發展ヲ期セン事ヲ計畫セリ

二 諸規程 小作人保護獎勵會ニ關スル諸規程次ノ如シ

農事改良小作人保護獎勵會規程

第一章 目的

第一條 本規程ハ地主ト小作人トノ關係ヲ親密ニシ小作人ヲ保護シテ農事改良ヲ圖リ地主及小作人相互ノ  
利益ヲ増進スルヲ以テ目的トス

第二章 名稱

第二條 本會ハ小作人保護獎勵會ト稱シ事務所ヲ田島町大字永田六百三番地ニ置ク

第三章 事業

(一) 農事改良

第三條 小作人ハ地主ト協議ヲ遂ケ漸次左ノ事項ヲ實施シ農事ノ改良ヲ企圖スルモノトス

- 一 農具ノ改良ヲ圖ルコト
- 二 種子ノ鹽水撰ヲ實行スルコト
- 三 肥料ノ配合ニ注意シ石灰ヲ施行セサルコト
- 四 耕耘除草ハ最モ懇切ヲ主トシ培養ヲ怠ラサルコト
- 五 定規植ヲ爲スコト
- 六 馬耕ヲ行ヒ勞力ノ經濟ヲ圖ルコト
- 七 堆肥小屋ノ建設ヲナシ其ノ取扱ニ注意スルコト
- 八 早稻ノ作付ヲ獎勵スルコト
- 九 二毛作ヲ可成行フコト
- 十 其ノ他農事改良ニ關シ必要ナル事項

(二) 肥料ノ貸與

第四條 小作地ニ施ス肥料ノ貸與法ヲ設定スルコト  
但シ貸與法ハ別ニ設ケタル規程ニ依ル

第五條 肥料代價ハ年ノ豐凶ヲ論セス一定ノ期限ニ返還スルモノトス

(三) 品評會

第六條 品質ノ改良進步ヲ圖ル爲メ小作米品評會ヲ開ク

第七條 出品ハ地主ニ納入シタル小作米ノ内ヨリ一人一種ニ付一合ヲ撰出ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第八條 出品ハ品位ノ優劣ヲ定ムル爲審査ヲ行フ審査員ハ五名トシ地主ニ於テ小作人中ヨリ選出ス

審査長ハ學識及經驗アル人ニ委嘱ス

第九條 優等出品者ニハ賞狀又ハ物品ヲ賞與ス

第十條 審査方法ハ別ニ之ヲ定ム

(四) 貯蓄

第十一條 小作人ノ保護救済ノ爲毎年幾分ノ貯蓄ヲナスコト

但シ貯蓄方法ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 貯蓄米ハ凶作又ハ天災ノ爲自活シ能ハサル小作人ニ貸與ス

貸與方法ハ契約ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

(五) 講話會

第十三條 斯道ノ改良及發達ヲ期スル爲講話會ヲ開催シ農業上ノ智識ヲ交換シ或ハ德義心ヲ養成シ相互ノ和親ヲ

圖ルコト

第十四條 講話會ハ春秋ノ二期ニ於テ毎年開催スルコト

第十五條 斯道ノ學識經驗アル者若クハ知名ノ士ニシテ來郡セラレタルトキハ臨時講話會ヲ開クコトアルヘシ

第十六條 講話會開催ノ通知ヲ受ケタルトキハ會員ハ必ス定時ニ出席スル事

(六) 獎勵

第十七條 平素順良ニシテ小作米ノ遲納ナク農事ノ改良ニ熱心ニシテ小作人ノ模範タルヘキ者ハ獎勵法ヲ設ケテ

之ヲ獎勵スルコト

但シ獎勵法ハ別ニ之ヲ定ム

小作人勤勉貯蓄方法

第一條 小作人保護獎勵會規程ニ依リ毎年小作料ノ百分ノ一ニ相當スル米又ハ金錢ヲ蓄積スルコト

第二條 蓄積米ハ金ニ換算シ年五分利付トシテ地主ニ保管ヲ一任スルコト

第三條 地主ハ小作料皆納者ノ分ニ對シテ前蓄積額ノ二分ノ一以內ノ補助ヲ與ヘ増蓄積ヲナスコトアルヘシ

第四條 蓄積金ハ規定第十二條ニ依リ小作人ニ限リ貸與ス

小作人肥料貸與方法

第一條 小作地ニ施用ノ肥料ハ小作人保護獎勵規程ニ依リ其ノ需用高ヲ地主ニ申出テ貸與ヲ受クル事ヲ得

第二條 地主ハ前條申出アリタルトキハ左記各項ヲ調査シ共同購入ノ方法ヲ講シ實費ヲ以テ貸與ス

一 肥料需用高カ小作地ニ對シ相當ト認メタル者

二 貸借ノ契約ヲ締結シ信用確實ナル者

三 組合ヲ設ケ連帶責任若クハ保證人ヲ立テタル者

第三條 肥料代價ハ年ノ豊凶ヲ論セス契約ニ基キ期限内ニハ必ス償還スルモノトス

第四條 地主ハ小作料滞納者及肥料代價償還ノ義務ヲ盡サ、ル者ニ對シテハ翌年度ヨリ小作地及肥料ノ貸與ヲ謝

絶スルコトアルヘシ

小作米品評會審査例規

第一條 小作米品評會出品物ハ左記方法ニ依リ審査決定スルモノトス

第二條 審査員ハ豫テ受領シタル附點表ノ項目ノ調査ヲ遂ケ第五條ニ準據シテ附點シ之ヲ審査長ニ差出スモノト

ス

第三條 審査長ハ審査員ヨリ收受シタル附點表ノ當否ヲ調査シ褒賞ノ等級ヲ擬案シ其ノ申告ヲ會長ニ報告スルモ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

ノトス

第四條 審査長ニ於テ審査員ノ附點ヲ不當ト認ムルトキハ各審査員ト共ニ討議ノ上之ヲ鑑別スルモノトス  
第五條 審査ノ方法左ノ如シ

(一) 鑑定法

第一項 品質 二十點

堅硬豊肥ニシテ量重ク皮薄ク美味ナルヲ佳トシ之カ鑑別ヲナシ點數ヲ定ム

第二項 色澤 二十點

色澤單純ニシテ光輝アルヲ佳トシ濁色光澤ナキヲ否トシ之カ鑑別ヲナシ點數ヲ定ム

第三項 形狀 二十點

長形ニシテ丸味ヲ含ミ堅筋淺ク細大均一ナルヲ佳トシ之カ鑑別ヲナシ點數ヲ定ム

第四項 乾燥 二十點

乾燥良好ニシテ濕氣ナク保存久敷ニ耐ユルヲ佳トシ之カ鑑別ヲナシテ附點ス

第五項 調製 三十點

粃米碎米土石等ヲ混入セサルヲ佳トシ之カ鑑別ヲナシ點數ヲ定ム

(二) 調査法

第一項 收穫

解説書ニ就キ及現品ノ鑑定ニヨリ其ノ確否ヲ查數シテ以テ點數ヲ定ム

第二項 風土

産出地ノ風土如何ヲ斟酌シ其ノ等級ヲ定メ以テ點數ヲ定ム

附記

同點數ノ場合ニハ小作米ノ多寡ニヨリ斟酌スルモノトス

小作地

本會主ノ所有スル全土地ノ内小作地ノ四十年年度ニ於ケル反別ハ左表ノ如シ  
但シ同年ノ四月末日現在調ニ依ル

田島町	三一・八一二四
檜澤村	五〇・一四二〇
荒海村	三・六五二五
旭田村	一四・六〇〇六
檜原村	二・四八二四
計	一〇二・七一〇九

備考

本表以外ノ小作地ニシテ他府縣及他郡ニ涉リ或ハ郡内ニアリテモ西部及長江二川村ノ如キ遠距離ニアリテ本會ヨリ直接ニ統一困難ナル個所ハ除外シタルヲ以テ茲ニ示サス

役員

本會ノ會務ヲ處理スルタメ左ノ役員ヲ置ク

會長	一名
副會長	一名
事務員	一名

地主ノ農事ニ關スル施設事例

但シ會期毎ニ本會ヨリ委囑ス

以上ノ外ニ小作人惣代十名小作地域内ニ置ク

三 實、施、事、業、ノ、項、目、之、カ、項、目、ヲ、記、セ、ハ、次、ノ、如、シ

- (一) 小作米品評會 毎年一回小作米品評會ヲ開催シ小作人自作米ノ精粗優劣ヲ鑑別シ優等品ニハ夫々賞品ヲ授與シ以テ米作調製ノ改良心ヲ奮起セシメテ獎勵セントス
- (二) 農事講話會 毎年春秋二回講話會ヲ開催シ當事者一同集會シ互ニ胸襟ヲ開キ實務上ノ意見ヲ發表シ共ニ研鑽シ且縣郡技手ヲ聘シ農蠶一般ニ關スル講話等ヲ乞ヒ以テ小作人ノ農事改良ノ資ニ供スルヲ以テ目的トセリ
- (三) 貯蓄獎勵 勤儉貯蓄ハ是レ國民一般ニ獎勵スヘキ要項ニシテ本會ハ殊ニ此ノ美風ヲ養成センカ爲メ規定ニ定ムル方法ニ依リ毎年小作米ノ幾分ヲ貯蓄シ之ニ對シ地主ハ特別ニ補助貯蓄ヲ加ヘ相當利子ヲ附シ地主ニ保護預ヲナシ以テ天災事變ノ不時ニ應スル實ヲ履マシメン目的ヲ以テ着々實行シツ、アリ
- (四) 篤農者ノ獎勵 小作米品評會開催ノ際小作人中平素勤勉且ツ農事改良ニ熱心ニシテ德ヲ修メ道ヲ行ヒ信用厚ク一般小作者ノ模範トナル者數名ヲ選抜シ功勞者トシテ特ニ待遇シ且賞ヲ與ヘテ表彰ス
- (五) 肥料ノ貸與 小作人中自費ヲ以テ肥料ヲ購入シ得サル者往々ニシテアリ本會ハ是等ノタメ毎歲春期ニ於テ各小作人ノ需用ニ應シ得ル肥料ヲ撰ヒ其ノ量ヲ取調各地味ニ應シ酒粕粉糠粕等數種ノ肥料ヲ共同ニ購求シ實費計算ヲ以テ價格ヲ定メ各小作人ニ貸與シ以テ施肥ノ便ヲ計ル而シテ該代金ハ小作米納付期ニ至リ納米ト共ニ返濟セシム此ノ年々ノ貸與額ハ七八百圓ニ達セリ
- (六) 仕附米ノ貸與 數多ノ小作人中貧困ニシテ養蠶及田植等繁忙ノ時期ニ際シ飯米ノ供給ニ苦シム者有リ是等ニハ本人ノ申出ニ依リ仕付米ト稱シテ貸與シ以テ農蠶ノ期中後顧ノ憂ナカラシメ専心斯業ノ進涉ノ便ヲ助ク而シテ貸付米ニハ百分ノ

一ノ利息ヲ附シ秋期小作米納入ノ時期ニ合セテ償還セシム

(七) 小作人惣、代、會 小作区域内ノ小作人中ヨリ選抜シテ惣代ヲ囑託シ置キ農事改良及小作人米納付事務並ニ諸般ノ設備ニ就

キテ小作人ヲ代表シ地主ニ建議スル等彼我ノ間ニアリテハ連絡ヲ簡便ニ通セシメ且毎秋一回集會シテ諸協議ヲ爲スモノトス

(八) 本會設立ノ効果 本會ハ設立以來將ニ四星霜ヲ經タリ創立當時ハ微々トシテ振ハサリシカ本會ノ性質及効用ヲ會得セシ

メタル結果各小作人モ大ニ覺知スル所アリテ今ヤ欣然トシテ歡迎ノ意ヲ表ハシ指示獎勵ノ下ニ米作改良ヲ行ヒ收穫ヲ増シ品質ヲ高メ以テ相互ノ利益ヲ増進センコトニ努ム而シテ其ノ効果トシテ之ヲ具體的ニ表示スルハ至難ノ業ナレトモ其ノ著シキモノヲ記述スレハ左ノ如シ

- 一 小作人中生計中等以下ノ者ハ肥料購入ノ資力ニ乏シク需肥ノ困難ヲ極メツ、アリシカ肥料ノ貸與法ヲ設ケテ以來小作人ハ從前ノ如ク購入ノ困難ナクシテ容易ニ施肥スルノ便宜ヲ開キタルコト
- 二 從前ニ比シ田植時期ヲ早メ肥培手入ヲ懇篤ナラシメタル結果收穫増加シ品質亦良好ニシテ相互ノ利益ヲ増サシメタルコト
- 三 從前ノ如ク地主ト小作人トノ氣脈ノ疎通ヲ缺カス圓滿ニ且親密ナル關係ヲ有セルヲ以テ信用ヲ保チ仕付米及養蠶資金等ノ融通ヲ行ヒ保護ヲ加フルヲ以テ家政不如意ノ故障ナク延イテ小作米滯納者皆無ノ姿トナレリ
- 四 勤勉貯蓄ノ獎勵ヲ爲シタルヲ以テ業務ヲ勵ミ從來ノ弊風ヲ矯正シ德義ヲ重ンスルヲ以テ勤儉ノ美風漸ク行ハレ遊惰ニ流ル、者ノ數著シク減シタリ
- 五 小作米品評會ヲ開催シ出品物ヲ一堂ニ陳列シ公平ノ審査ヲ施シテ精粗良否ヲ鑑別シ等級ヲ付シ之ヲ一般小作人ニ比較觀覽セシムルヲ以テ品ノ精粗ヲ覺リ改良心ヲ喚起セシメタリ

地主ノ農事ニ關スル施設事例



### 相馬子爵ノ舊領地ニ於ケル施設

▲小作料低減 舊領地ノ緣故上恩惠的ニ地方普通ノ小作料ヨリ低減シテ舊誼ヲ永久ニ保タシムル趣旨ニテ低減セラレタル割合左ノ如シ

地目	相馬家小作料	地方普通小作料	地方普通小作料ニ比シ減少高
田	六斗二升五合	九斗六升	三斗三升五合
畑	三斗四升五合	六斗四升	二斗九升六合
郡村宅地	四圓五十錢	十八圓	十八圓五十錢
準市街宅地	四圓五十錢	二十八圓	

備考 田畑小作米ハ等級ニ依リ高低アリ該等級ハ土地肥瘠耕作ノ便否ヲ參酌シテ之ヲ定ム宅地ハ準市街郡村ヲ區別セス實際ノ狀況ニ依リ等差ヲ附シ一反歩ニ付一等金六圓二等金五圓三等金四圓四等金三圓ヲ徵收ス之レカ平均ハ前表ノ通り宅地減少高ハ地方普通小作欄郡村準市街宅地料ノ平均額ヨリ相馬家ノ分ヲ引キ去リタルモノナリ

#### ▲小作人獎勵方法 又同家カ施設セル小作人獎勵方法ハ下ノ如シ

- 一 小作地ハ可成個人制ヲ廢シ團體小作ヲ獎勵スルコト
- 二 團體ハ一大字ヲ以テ一區域ト爲スト雖モ一大字内一町歩以內ノ個所ハ二三大字合併スルモ差支ナキコト
- 三 團體ニハ團長ヲ置キ團體内總テノ事務ヲ管理セシム
- 四 團體ハ小作人撰擇ノ權利ヲ有スルコト
- 五 團體ハ地主ニ對シ小作料連帶責任ノ義務ヲ有スルコト
- 六 地主ハ小作人ニ對シ其ノ休戚ヲ監視親切ノ措置ヲ旨トスルコト

七 地主ハ小作團體ノ小作米完納ノ遲速ニ依リ等差ヲ附シ小作米一俵ニ付一等金五錢二等金四錢三等金三錢四等金二錢五等

八 金一錢ノ獎勵手當金ヲ給與ス

八 地主ハ小作團體ニ對シ肥料代ヲ貸與ス但シ月八朱ノ利子ヲ附ス

九 前項肥料代ハ前年小作料完納ノ遲速ニ依リ之ヲ五等ニ分チ一反歩ニ付金五圓乃至三圓ノ等差アリ尙將來ハ米質俵裝等ノ良否ヲモ審査シテ獎勵セントス

### 堀切良平氏ノ施設

信 夫 郡 飯 坂 町

同氏ハ自家ノ小作人ノミナラス一般小作人ヲ保護獎勵スルノ目的ヲ以テ安政三年以來玄米四斗入七十五俵宛毎年舊二月ニ於テ開作扶食ト唱ヘ細農者ニ貸付ケ米一俵ニ對シ初二升ノ利子ヲ添ヘ同十月中之ヲ收納シ凶年ニシテ米價騰貴ノ際前記ノ利子ヲ計算シ各納付人ニ分與シ萬延元年ヨリ更ニ五十俵ヲ増加シ之ヲ毎年四月中植付扶食トシテ無利子貸付ヲ例トシ今尙繼續實行シ居レリ近頃同氏ノ意向ヲ聞クニ借受人ハ舊來同一ノ者ニシテ中ニハ相當資産ヲ有スル者アリ又ハ怠惰ニシテ獎勵ノ効ナキモノ等アリテ此ノ繼續行スルニ於テハ却テ弊害ヲ増長セシムル憂アルヲ以テ其ノ方法ヲ更正シ自家ノ小作人ニノミ貸付獎勵保護ノ實ヲ完全ナラシメント目下考案中ノ由ナリ小作ノ方法ハ通常五ヶ年ノ期間ヲ以テ契約シアリト雖モ其ノ實殆ント永小作ノ如キ有様ニシテ從來ノ小作人ニ變更ヲ來シタルモノ稀ナリ目今相當ノ田畑ヲ有スルモ自己ノ田畑ヲ他人ニ貸付シテ同家ノ田畑ヲ其ノ儘耕耘シ居ル者スラアリ又業ヲ轉シテ耕作ヲ爲サ、ル小作人モ自己ノ名義ヲ以テ他人ニ小作セシメ居ル有様ナリ如斯小作人ハ恰モ一種ノ地上權ヲ獲得シアルモノ、如ク一定不動ナルハ相互ノ信義厚キ顯證ト云フヘシ尤モ同家ノ小作料ハ普通ノモノニ比シ二三割方低廉ナリシカ兩三年前ニ於テ一般小作料ニ對シ甚シキ權衡ヲ失スルカ爲メ多少更正ヲ行ヒタルモ尙一割以上ハ輕減シアルヘシ其ノ他勤勉實直ナル者ニ對シテハ資金ヲ貸與シテ獎勵シ作柄ノ惡シキ年ニ於テハ立毛ヲ實査シテ自ら其ノ歩合ヲ定

地主ノ農事ニ關スル施設事例

メ小作米ノ割引ヲ言渡シ小作人ヲ取扱フ等慈愛厚キヲ以テ何レモ其ノ恩義ニ感シ報恩ノ念ヲ有セサル者ナシ

### 白石義男氏ト耕作貯蓄

東白川郡笹原村

▲耕作貯蓄 氏ハ小作人保護細農救済ノ目的ヲ以テ同家小作人ノ最多キ同村大字板庭在住ノ小作人全部ニ對シ田二反歩ヲ無料耕作セシメ其ノ收穫物全部ヲ貯蓄セシメ小作人中ノ赤貧者ニ種々給シ又ハ不時ノ罹災アリタル場合ニ救済ノ資トセリ現在ノ貯穀高二百俵餘ニ達セリ

### 渡邊彌七氏ト小作米品評會

伊達郡川俣町

氏ハ地方ノ大地主ニシテ平素能ク小作人ノ愛撫ニ努メ德望家トシテ一郷ニ重セラル其ノ施設事項ノ主ナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

- ▲小作米品評會 明治四十一年九月鶴賀行啓ヲ紀念トシ毎年一回小作米品評會ヲ催フシ小作米ノ品質乾燥調製俵裝等ノ優劣ヲ審査シ等ヲ五級ニ分チ肥料、農具、反物等ヲ賞品トシテ贈與シ其ノ授與式ニ當リ小作人ヲ招集シ農事ニ關スル講話ヲ聴取セシメ智識ノ啓發ヲ促シ且相互ノ和親ヲ謀ランカ爲酒肴ヲ饗應スルヲ例トセリ
- ▲小作人ノ表彰 小作人中誠實勤勉能ク其ノ分限ヲ守リ公私ノ義務ヲ遂行シ他ノ模範トナルヘキモノヲ選抜シ賞品ヲ與ヘテ之ヲ表彰セリ
- ▲小作人肥料貸付 各村部落ヲ區分シ惣代ノ連署ニテ小作米一俵納付者ニ對シ金一圓ノ割合ニ低利貸付ヲ爲シ一ヶ年八百五十圓ニ及ヘリ

## 岩手縣

### 佐々木休次郎氏ト産米品評會

岩手郡太田村

▲小作人ノ視察旅行 小作米品評會ニテ授與セルモノ及表彰セシモノニ對シ四十四年四月四十名ヲ引卒シ縣立農事試驗場其ノ他ノ個所ヲ視察セシメ専ラ小作人ノ智識啓發ニ資スル所アリ

氏ハ先代和一郎氏ノ志ヲ繼キテ水稻ニ關スル各種ノ試驗ヲ行ヒテ進歩セル學術的ノ農作法ヲ實地ニ指導シ又産米品評會ヲ開キテ米作ノ改良ヲ獎勵シ且小作人ノ經濟ヲ豊ナラシメンカ爲ニ小作人ト共ニ宰郷信用組合ヲ設ケ自ラ其ノ經營ノ任ニ當リ小作人保護ニ努ム

### 佐藤清右衛門氏ノ施設

岩手郡本宮村

産米改良獎勵トシテ小作米品評會ヲ開催シ又優良ナル小作人ヲ表彰シテ他ノ模範タラシメ陸稻栽培獎勵トシテハ自ラ優良種子ヲ購入配付セリ

### 佐藤喜次郎氏ノ施設

稗貫郡新堀村

小作米品評會ヲ開キテ優良米納入者ニ賞與シ精勤ニシテ模範的小作人ヲ表彰シ又貧困ニシテ肥料購入ノ資力ナキモノニ對シテ

ハ自ラ之ヲ購入シテ貸與シ又農業智識ヲ進メンカ爲ニ時々農業技術者ヲ聘シテ講習會ヲ開キ小作人ヲシテ聽講セシム

### 中澤良助氏ノ施設

東盤井郡興田村

小作人保護獎勵規定ヲ設ケテ之ヲ實行シ肥料ヲ貸付シ農作改良ノ爲良品種ヲ育成配付シ時々農事講話會ヲ開キテ小作人ニ聽講セシム

### 横山久太郎氏ノ施設

上閉伊郡釜石町

小作米品評會又ハ立毛品評會ヲ開キ小作積立石會及報德社ヲ組織シ共同小作田ヲ設ケ其ノ收益ヲ貯蓄シ農業資金トシテ低利ニ貸付ケツ、アリ

青森縣

### 金枝吉五郎氏ト共救貯蓄組合

南津輕郡光田寺村

同氏ハ明治四十一年三月二十五日地主小作人間ノ意志疏通ヲ圖リ、貯蓄心並ニ共同心ノ養成及生計上ニ必要ナル資金ノ融通等ヲ目的トシテ共救貯蓄組合ヲ組織セリ現在會員(小作人)四十九名貯蓄金高六百八十九圓餘ヲ有シ其ノ成績見ルヘキモノアリ今其ノ狀況ヲ述フレハ次ノ如シ

▲耕作資金ノ運用 會則第二十二條ニ依リ小作者へ運用シタル大正四年度ノ金額及種別左ノ如シ

肥料資金四百二十二圓

飯料供給資金七十六圓

當座融通金五十圓

農具購入資金三十四圓

備荒積立金九十一圓

共同購買販賣ニ關シテハ別途會計トシテ明治四十三年ヨリ實施セシモ會員全部ニ強ヒス希望者十六名ニ留メタリ今開始以來ノ成績ヲ舉クレハ次ノ如クニシテ製產品ニ對スル假渡金ニ充テ一箇年二萬枚ノ莖ヲ製出セリ

金百二十六圓六錢二厘

出資金(農工品貯蓄場器具  
人夫賃換算充當)

金五十圓

積立金(共同販賣ノ利益)

金百圓

地主貸出ノ分

計金二百七十六圓

▲貯蓄獎勵法ノ實行 會則第十四條ニ依リ貯蓄獎勵トシテ地主ヨリ玄米四十二俵ヲ提供セリ

▲小作米品評會 產米改良指導及小作人慰安ノ目的ヲ以テ明治四十一年ヨリ開催シ米商小作人二名ヲ以テ審査員トシ品質、乾燥及ヒ調整等ヲ審査シ小作人一同ヲ集メ現品ヲ縱覽セシメ一等(二圓)ヨリ四等(五十錢)マテ賞品ヲ與ヘ饗宴ヲ張リ福引法ニヨリ全小作人ニ物品ヲ與ヘテ歡談ノ内ニ耕作ノ巧拙ヲ語り又郡農會技術員其ノ他ノ米作改良談ヲ聽カシムルヲ例トス

▲試作田ノ設置 試作田ヲ設ケ諸種ノ試驗ヲ行ヒ良種ノ普及改良ノ參考ニ供シ居レリ

### 共救貯蓄組合規則

#### 第一章 總則

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第一條 本會ハ地主小作人間ノ意志ノ疏通精神上ノ結合ヲ圖リ貯蓄心共同心ノ養成及生計上ニ必要ナル資金ノ融通ヲ計ルヲ目的トス

第二條 本會ヲ共救貯蓄組合ト稱ス

第三條 本會ノ事務所ヲ大字東光寺前田七十番地ニ置ク

第四條 本會員ハ本會長ノ所有地ヲ借用小作シ居ル人ニ限ル

第五條 本會長ノ所有地ヲ借用小作人ハ是非其本會ニ加入スル義務ヲ有ス

第六條 本會長ノ土地購求ニヨリ新ニ小作人トナリタル人ハ直ニ本會則ニヨル義務ヲ生シ同時ニ義務ノ承諾ノ印トシテ記名捺押スルモノトス

第七條 本會長ニ於テ其ノ所有地ノ所有權ヲ失フトキ又ハ土地ノ引上ヲ行フトキハ該地小作者ニ其ノ貯蓄ニ掛ル持分ノ全額ヲ拂戻スモノトス

第八條 本會員ニシテ自己ノ都合上借用地ヲ返却スル場合ハ其ノ貯蓄金ニ利子ヲ附セス元金ノミヲ拂戻スモノトス前二項ノ拂戻シ期ハ其ノ年ノ事業年度末トス

第九條 第七條第八條及本會解散ノ場合ニ於テ土地小作者ハ本會長ニ對シ斗代米ノ不納アルトキハ當然其ノ貯蓄金ヨリ引去リ殘分ヲ貯蓄者ニ引渡スモノトス

第十條 本會ノ財産ニ對スル本會員ノ權利ハ其ノ貯蓄高ニ應スルモノトス

第十一條 本會ノ貯蓄金ヲ會員ニ貸附クルモ尙餘リアルトキハ確實ナル銀行又ハ個人ニ預ケ入ルモノトス

第十二條 本會ノ存立期間ハ無限トス

第十三條 如何ナル場合ト雖モ本會長ノ承諾ヲ得シテ本會ヲ解散スルコトヲ得ス

### 第二章 貯蓄方法及積立金

第十四條 本會長ハ一ヶ年玄米七俵ツ、十ヶ年間貯蓄スルモノトス

但シ本會ノ存立期限ハ該貯蓄ヲ引出スコトヲ得ス

第十五條 本會員ハ各自小作田地ニ對シ一人役ニ付キ玄米二升五合ノ割合ニヨリ貯蓄スルモノトス田地以外ノ土地ト雖モ斗代米一俵以上ニ達スルモノハ一俵ニ付一升ノ割合ニヨリ貯蓄スルモノトス

第十六條 貯蓄米ノ持參期間ハ田地小作證ニヨル斗代米ノ納期ニヨルモノトス

第十七條 本會ノ貯蓄金高五百圓以上ニ達スルトキハ毎年其ノ貯蓄高ノ三割ヲ積立金トシテ積立ツルモノトス積立金ハ確實ナル銀行ニ預入レ又ハ是ヲ以テ國債證券ヲ買入ルノ外他ニ流用スルコトヲ得ス

### 第三章 貯蓄米處分法及貸出法

第十八條 貯蓄米ノ直段ハ評議員會ニ於テ當時ノ相場ヲ標準トシ決定スルモノトス

前項ノ決定直段ヲ以テ貯蓄元金トス

第十九條 貯蓄金ノ貸出歩合ハ評議員會ニ於テ決定シタル信用標準簿ニヨリ決定スルモノトス

第二十條 貯蓄金ノ貸出シ利子ハ年利一割二分トス貯蓄金高五百圓以上ニ達スルトキハ年利一割ニ減シ一千圓以上ニ達スル場合ハ利子ヲ年利八分ニ減スルモノトス

第二十一條 貯蓄金借用者ハ本會員二名ノ證人又ハ本會役員ノ承諾アル證人連署ノ上借用證ヲ出スヘキモノトス

### 第四章 施設事業

第二十二條 本會ノ施設事業左ノ如シ

但シ各項ノ事業施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

一 肥料購求貸出

二 口米供給

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- 三 當座金ノ融通
- 四 共同購買販賣
- 五 農具購買貸出

其ノ他總會ノ請求ニヨルモノ

第五章 貯蓄券

第二十三條 本會ハ本會員ノ貯蓄金ヲ證明スル爲貯蓄券ヲ配付スルモノトス

第二十四條 貯蓄券一葉ノ金額ヲ元金十圓トス金額貯蓄券ノ上ハ貯蓄券ニ配當サレタル配當金ノ二分ノ一ヲ拂戻スモノトス

但シ加算貯蓄シ居ルモ差支ナシ

第二十五條 第七條第八條及本會解散ノ場合ハ貯蓄券引替ニ其ノ貯蓄金ヲ拂戻スモノトス

第二十六條 會員一名ニシテ貯蓄元金六十圓ニ達スルトキハ新貯蓄券ヲ配付スル毎ニ最舊貯蓄券ノ金額ヲ拂戻スモノトス

第二十七條 貯蓄券ハ記名者ノ所有ニヨリ効力ヲ有シ賣却又ハ讓與スルコトヲ得ス

但シ死亡ニヨル相續ハ此ノ限リニアラス

第二十八條 貯蓄券ニ對シ質權抵當權ヲ設定スルコトヲ得ス

第二十九條 第二十七條第二十八條ニ違反ノ行爲アリタルトキハ貯蓄券其ノ効力ヲ失フモノトス

第六章 本會ノ機關及帳簿

第三十條 本會ニ會長一名評議員五名ヲ置ク會長ハ地主之ニ當リ評議員ハ會員ヨリ互選スルモノトス但シ評議員ノ任期ハ三ケ年トシ重任ヲ妨ケス

第三十一條 會長ハ會務ヲ總理シ貯蓄ノ管理及本會ノ施設事業ヲ司ルモノトス

評議員ハ會長ヲ輔佐シ施設事業其ノ他會長ノ諮問ニ應ジテ會務ヲ評決スルモノトス

第三十二條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備付スルモノトス

一 會則簿

二 會員名簿

三 貯蓄金臺帳

四 貯蓄金運用簿

五 會議錄

六 信用標準簿

前項ノ信用標準簿ヲ除クノ外各帳簿ハ何時ニテモ閲覧スルコトヲ得

第三十三條 會議錄ハ會長之ヲ作リ評議員記名捺印スルモノトス

第七章 會議及事業年度

第三十四條 會議ヲ分ツテ評議員會及總會トス

評議員會ハ會長及評議員ノ必要ト認ムル場合ニ開設スルモノトス

總會ハ各年ノ一月二十五日ニ於テ開設シ其ノ年度ニ於ケル會務ノ報告及翌年ニ於ケル施設事業ニ對スル會員ノ意見ヲ求ムルコト

第三十五條 本會事業年度ヲ一月二十五日ヨリ翌年一月二十四日迄トス

第八章 剩餘金處分法

第三十六條 剩餘金ハ其ノ事業年度末ニ於テ貯蓄券ニ配當加算スルモノトス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第三十七條 第二十四條ニ該當スル貯蓄券ニ對シテハ其ノ拂戻シタル殘分ヲ新貯蓄券ニ加算スルモノトス

第九章 解 散

第三十八條 本會解散ノ場合ハ本會長及評議員其ノ精算人トナル

田澤周助氏ト實踐會

南津輕郡 田舎館村

氏ハ明治四十一年十二月自家小作人ヲ以テ實踐會ナルモノヲ組織シ勤勉力行貯蓄心ノ養成ニ努メ現在會員百七十二名貯蓄現在高六百一十一圓十三錢ヲ有シ其ノ成績甚タ見ルヘキモノアリ今其ノ事業ノ概要ヲ示セハ次ノ如シ

▲農事改良 氏ハ實踐躬行ヲ旨トシ自ラ其ノ範ヲ示シ毎年二回小作地ヲ巡回シテ經營方法ノ巧拙ヲ視察シ改良法ノ實施ヲ指導督勵スルヲ例トセリ又自作田ノ内ニ試作地ヲ設ケ其ノ成績ヲ小作人ニ示シ且良種ノ分配及耕作法改良ノ參考資料ヲ供スルニ努メ居レリ

▲小作米品評會 産米改良、小作人ノ指導獎勵及慰安ノ目的ヲ以テ明治四十一年以來毎年開催シ郡農會技術員及小作人中ノ老農ヲ審査員ニ囑託シ米質、乾燥及調製等ニツキ審査ノ結果一等ヨリ三等マテ二圓ヨリ五十錢迄ノ賞品ヲ與ヘ更ニ其ノ年ノ成績並次年ノ改良事項ニ關シ講話ヲ聽カシメ饗宴ヲ催シ以テ小作人中ノ勞ヲ慰セシム

▲耕作資金ノ融通及獎勵費ノ支出 共同購入ノ普及ヲ計ランカタメ適當ナル肥料ノ購入斡旋ニ努メ毎歲五百圓乃至千二百圓ヲ無利子ヲ以テ貸與セリ明治四十一年來實踐會ヲ組織シ貯金ヲ獎勵シ且其ノ會ノ資金トシテ寄附シタル總額ハ玄米九十六俵ニシテ悉ク會ノ基本財産トシテ積立テタリ

實踐會々々則

第一條 本會ハ實踐會ト名ケ勤勞ヲ尊重シ愛土心ヲ鼓舞シ因テ以テ作業法ノ隆進ヲ計リ小農ノ價值ヲ完全ニ發揮

スルヲ主意目的トス

第二條 本會員ハ小作人及家族等總テ本會ノ主旨ニ賛同シタル男子ヲ以テ組織シソレ等生活ニ必要ナル物件ノ外總テ之ヲ貯金材料ニ充テ以テ農事上萬般ノ改良事項ニ資金ヲ供給スルノ便ヲ圖ルモノトス

第三條 本會員ハ改良事項トシテ左ノ數件ヲ決行スルモノトス

一 普通農作ハソノ前期ニ於テ不況ナルニ於テハ後期ニ於テ挽回スル能ハサル業務ナルヲ以テ先ツ以テ主カラ其ノ先期ニ盡シ而シテ後々期ニ勉ムヘキコト

但シ撰種、苗代管理、本田整地、施肥、植付迄ヲ前期トシ除草驅虫灌排水及臨時手當等ハ後期ニ屬ス

二 副業ノ發達普及ヲ圖ルコト

三 農事上必要ナル物件ヲ購買シ及生産物件ヲ販賣スルコト

四 雜誌、新聞、其ノ他農事一般ノ智識ヲ研鑽シ併セテ斯道ノ識者ヲ聘シ講話及實地指導ヲ乞フコト

第四條 本會員ハ時間ヲ重シ健康ヲ保全シ一定ノ農服ヲ製シ事業ニ勇ニシテ虛榮ニ怯ナルノ實ヲ舉ケ且冠婚式儀ノ雜費ヲ節約シ一致共同ノ動作ニヨリ地方ノ氣風ヲ改善シ部落ノ冗費ヲ省キ常ニ資金ノ若干ヲ貯蓄スルノ慣習ヲ作ルコトヲ要ス

第五條 本會ノ貯金ハ總會(年ノ十ニ撰定セラレタル取扱人ニ於テ之ヲ整理シ更ニ之ヲ他(信用組合又ハ指定銀行)ニ貯蓄スルモノトス但シ貯金取扱人ハ貯金臺帳ヲ備ヘ受拂通帳ヲ各自ニ配付スルモノトス

第六條 本會ノ經費ハ豫算ヲ作り之ヲ總會ニ提出シ其ノ決定高ニ據リ施行スルモノトス

第七條 本會員ニシテ疾病又ハ難事ニ遭遇シタルモノアルトキハ本會ヨリ若干ノ慰問金ヲ呈スヘシ

第八條 本會員ニシテ精勵ノ効績ヲ舉ケタルモノ及ヒ怠惰ニシテ會ノ體面ヲ毀損スルノ憂アルモノアルトキハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ賞罰ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第九條 本會ハ資金ノ充實ヲ待ツテ之ヲ財團法人ニ打立ツルモノトス  
第十條 本會ノ一切ノ事務ハ發起人ニ於テ之ヲ整理スルモノトス

附 則

一 本會ハ東宮殿下行啓紀念事業トシテ設立シ永遠ニ持續スルモノトス  
二 創立總會ハ明治四十一年十二月トス

澁澤農場ト報徳會

上 北 郡 三 本 木 町

本農場ノ小作人獎勵方法トシテハ小作人ヲ一團トセル報徳會ナルモノヲ組織シ勤儉貯蓄ノ美風ヲ養成センカ爲ニ各戸毎月緡二把ツ、ヲ鞠ハシメ月末ニ之ヲ收集シテ賣却シ其ノ代金ヲ貯蓄セシメテ肥料農具等購入ノ資ニ充テ尙本會員タルモノハ三ヶ年間會長ノ許可ナクシテ飲酒スルコトヲ禁シ其ノ他水稻多穫就作會ヲ催シテ其ノ收量多キモノニ金品ヲ賞與セリ

盛田喜平次氏ト盛田家農會

上 北 郡 七 戸 町

氏ハ常ニ小作人ノ保護農事ノ改良發達ニ意ヲ致シ左ノ事業ヲ施設シツ、アリ

▲小作米品評會 毎年適當ナル場所ニ自費ヲ投シテ品評會ヲ開催シ自家小作人カ從來改良法ニ依リテ生産シタル農産物ヲ蒐集シテ比較審査ヲナシ其ノ等級ニ從ヒ相當ノ賞品ヲ附與シ之カ栽培ヲ獎勵シタル結果近來漸次改良ノ歩ヲ進メ來レリ  
▲盛田家農會 該地方ハ元來畑地多シト雖モ之カ栽培法ハ一般粗放の農業ナルカ故ニ其ノ得ル所モ比較的寡少ニシテ收支相償ハサル状態ニ在リシヲ以テ同氏ニ奮起セシムルノ動機ヲ與ヘ本會ヲ設立セシムルニ至レリ本會ニハ數町歩ノ模範農場ヲ置キ

之カ擔當教師ヲ聘シ自ラ實行セシメテ改良法ノ成績ヲ示シ一面ニ於テハ教師ヲ派遣シテ各所ノ小作人ヲ指導獎勵シ新舊兩法ノ利否ヲ示シタル結果現今ニ至リテハ其ノ過半ハ改良法ノ利益ヲ知リ競フテ實行スルノ機運ニ向ヘリ

菊地健雄氏ノ施設

南 津 輕 郡 大 光 寺 村

同氏ハ小作人ヲ保護スルノ目的ヲ以テ左記作人取扱規定ヲ設ケ明治四十二年小作米品評會ヲ開キ爾來繼續シ來リシカ四十三年度ニ於テハ米穀ノ出品點數百四十點受賞者二十人ニシテ木綿類總額三十圓ノ賞品ヲ授與セリ

作 人 取 扱 規 定

第一條 作人ヲ大作人小作人ト大別シ更ニ小作人ヲ直作人又作人ト區別ス  
第二條 大作人ハ田畑及又作人ヲ監督シ地主ヲ助クルヲ以テ常ニ之ヲ特待ス  
但シ小作人ト雖トモ功勞者ハ之ニ準由ス

第三條 儀式及宴會ノ席次ハ大作人直作人又作人トシ此ノ順序ノ中ニ於テ功勞者ト年長者ヲ上席トス  
第四條 地主ハ作人ニ招待狀ヲ發シテ毎年舊正月十一日ニ新年宴會ヲ兼ネ小作米品評會ヲ開ク  
但シ小作米未納者及失態ノ行爲アルモノハ招待ヲ爲サス

第五條 地主ハ作人中ノ功勞アルモノニ賞狀ト賞品ヲ與フ  
第六條 地主ト作人トハ親和ヲ主トシ義理ヲ重シ禮義ヲ正フスヘキコト  
第七條 小作米ハ十一月中ニ半額ヲ納メ十二月中ニ皆納セシムルコト  
第八條 小作米收入日ヲ毎旬一、五、八ノ日ト定ム  
第九條 小作米ハ乾燥ヲ十分ニシ能ク粗、稗等ヲ除キ俵裝完全ニ調製セシム

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第十條 小作米納付ノ際品評會ノ出品トシテ米一俵ニ付一合ヲ、提供セシムルコト

第十一條 地主カ選任シタル作人ヲ以テ品評會ノ審査委員ト爲ス尙學識經驗アルモノヲシテ之ニ參加セシムルコトヲ得

第十二條 審査ノ上ニ等ヨリ三等マテ賞品ヲ與フ

第十三條 二十俵以上皆納スルモノニアラサレハ一等賞十俵以上皆納スルモノニアラサレハ二等賞五俵以上皆納スルニアラサレハ三等賞ヲ與フルコトヲ得ス

### 山内傳三郎氏ノ施設

南津輕郡浪岡村

同氏ハ明治三十三年ニ於テ別記小作人獎勵規程ヲ設ケ五年毎ニ其ノ成績ヲ調査シ規定ノ各項ニ適合シタル者ヲ特等トシ以下順次ニ等級ヲ定メ夫々賞品ヲ與ヘ斯業獎勵ノ方針ヲ採レリ之カ實行以來ノ概況ヲ叙センニ三十三年ニ於テハ特等ヨリ三等迄トシ受賞者三十名之カ賞品ハ一般陶器類ニシテ總價格金三十圓三十七年ニハ特等ヨリ三等迄トシ受賞者三十五名賞品ノ種類ハ前年ニ同シク其ノ總價格金三十四圓四十年ニ於テモ等級及賞品種類ハ前年ノ轍ヲ踏ミ受賞者四十一名總價格四十二圓ノ賞品ヲ授與セリ

#### 小作人獎勵規定

- 一 品質良好ニシテ米質ヲ改良セルモノ
- 二 稗拔取ヲ勵行セルモノ
- 三 堆肥製造者及製造ニ着手セルモノ
- 四 田畑耕作上ニ付テハ諸事丁重ニシテ粗漏ノ取扱ヲ爲サ、レモノ

五 傳德米ヲ期間内ニ完納セルモノ

右ノ各項ヲ實行シテ其ノ成績ヲ舉ケタルモノヲ以テ特等トシ以下順次各項目ノ成績ニヨリ等級ヲ定ム

### 工藤善太郎氏ト小作米品評會

南津輕郡大杉村

同氏ハ夙ニ地主對小作人間ノ圓滑ナラサルヲ憂ヒ之カ弊風ヲ矯正セントスルノ趣旨ヲ以テ明治三十五年左記規定ニ依リ小作米品評會ヲ開設シ爾來年々實行シ來リタリシカ四十三年度ノ成績ヲ舉クレハ出品點數七十點受賞者三十三名ニシテ之カ賞品ノ種類ハ清酒及農具等ヲ以テシ總價格ニ於テ金四十圓以上ヲ授賞セリ而シテ同氏ハ更ニ信用組合ヲ組織シテ資金ノ融通ヲ圖リ或ハ貧困者ヲ救恤スル等極力之カ愛撫ニ努メツ、アルカ故ニ村落ノ弊風ハ漸次一新セントスル狀況ナリ

#### 小作米品評會規定

- 一 本會ハ小作米ノ改良並ニ農事ノ獎勵ヲ以テ目的トス
- 二 前條ノ目的ヲ達センカ爲各大字毎ニ若干ノ委員ヲ設置スルコト
- 三 毎年小作米ノ收納終リタル後耕作上ノ勤惰ニ週リ地主ハ各委員共ニ之カ品質並耕作上ノ狀況ヲ審査シテ一、二、三等ニ區別シ之カ褒賞ノ典ヲ舉行スルコト
- 四 前條ノ褒賞ヲ受クルコト三回以上ニ及ヒタル一等賞ヘハ特ニ小作人ノ模範トナルヘキコトヲ表彰センカタメ地主ハ委員會ニ諮問シテ特別ノ褒賞ヲ與フル事アルヘシ

### 松井七兵衛氏ノ施設

南津輕郡黒石町

地主ノ農事ニ關スル施設事例



同氏ハ明治三十五年冬期ヨリ左ノ事項ヲ實行シ居レリ

- 一 明治三十六年度ヨリ田地打斬一人役(反別約八畝十五歩ヲ一人役ト云フ)ニ付小作米五升ツ、ヲ増徴スルコト但シ劣作凶作ノ年ハ増徴セズ
- 二 増徴米ハ代金ニ換ヘ確實ナル利殖ヲ圖ルコト
- 三 貯蓄金ハ平年ニハ一切之ヲ消費セサルコト
- 四 劣作凶作ノ場合ハ小作人ノ作柄ニ應ジ小作米ヲ減シ地主ハ其ノ減量ヲ貯蓄金ヨリ引取ルコト
- 五 劣凶作ノ場合ニ限リ貯蓄金ノ内ヲ以テ小作人ノ貧窮者ニ貸與シ漸次回收ヲ圖ルコト
- 六 明治三十六年ニ限リ地主ハ一人役五升ニ相當スル代金ヲ出捐シ貯蓄金ノ基本トスルコト

### 山形縣

#### 本間光輝氏ノ施設

飽海郡酒田町

同氏ハ本邦有數ノ大地主ニシテ農業ニ熱心ナルノミナラス又小作人ヲ愛護スルコトニ於テモ他ニ匹儔稀ニシテ是等ニ關スル施設ハ優ニ他ノ模範トナスニ足ルヘキヲ以テ次ノ各項ニ分チテ詳記スヘシ

- 第一 代家、支配人、五人組、其ノ相互間ノ規約及心得書
- 第二 小作米等級區劃平均法
- 第三 粃貯蓄法
- 第四 濟急貸、臨時給與及贈遺

#### 第五 耕作法ノ指導獎勵

##### 第一 代家、支配人、五人組其ノ相互間ノ規約及心得書

▲代家及支配人 代家ハ地主ヨリ土地管理ノ爲ニ必要ノ場所ニ配置シタルモノニシテ其ノ居住スル宅地、家屋總テ地主ノ所有ニカ、リ且若干ノ耕田ヲ代家附トシテ小作セシムルモノナリ隨テ地主ノ都合ニヨリテハ其ノ住居ヲ移動セシムルコトアリ支配人トハ單ニ土地管理ノ任ヲ其ノ土地常任ノ人ニ依頼シ置クモノナリ右兩者トモ所有地ノ管理小作人ノ監督小作米ノ取立保管其ノ他耕作上ノ諸般ニ對シ地主ヨリノ指示ヲ小作人ニ傳達スルモノナリ兩者職トスル所相等シキヲ以テ通稱シテ單ニ支配人ト稱スルコトアリ手當額ハ兩者共ニ支配給ト稱シテ小作米一石ニ對シ一升五合ノ割合ヲ以テ支給シテ外ニ諸費トシテ米若干ヲ給ス

▲五人組 耕作上ノ研究及疾病災厄ニ際シ相互扶助セシメンカ爲小作人五名ツ、ノ組合ヲ設ケシメ組長ヲ立テ之ヲ指導セシム

▲支配地預リ證書 支配地預リ證書ノ様式左ノ如シ

支配地預リ證書

- 一 米何俵何合何勺 何村俵田高
- 一 同 同

總ル米何俵何斗何合何勺

但シ作德米納期毎年舊曆十月二十日限リ三分通リ同十一月二十日限リ五分通リ同十二月二十日限リ二分通リ三期ニ相納可申候

右者御所持ノ地所何ヶ村分本年ヨリ明治何年何月マテ五ヶ年間支配預リ申候處實正也然ル上ハ支配下小作人中ヲ引立テ精々農事ニ勉勵爲致候ハ勿論御家例堅ク爲相守可申候萬一取立米穀ヲ私用仕ルカ若クハ平常ノ仕振リ思召

地主ノ農事ニ關スル施設事例

ニ不叶義モ有之候ハ、事ノ善惡ニ關セス年期中ト雖支配御引揚又ハ御都合ニヨリ他ニ支配替等被成候節ハ被仰付  
次第早速受渡可申候爲後日親族保證人相立テ支配地預リ證書仍如件

年 月 日

郡村 大字村 番地

支配地預リ主 何 某

親族保證人 何 某

同 何 某

地 主 宛

▲小作仲間申合規約 今左ニ小作仲間申合規約ヲ掲ケン

第一條 本規約ハ小作地ノ多少ヲ問ハス地主本間家ノ小作人間規約ニシテ小作仲間ノ規定トス

第二條 本規約者ハ家内睦シク農事ニ勉勵シ乾田耕作ノ改良ヲ計リ萬一心得違ヘノ人アル時ハ遠慮ナク忠告スル  
コト

第三條 本規約者ニ疾病火災其ノ他不慮ノ災害ニ罹リタルモノアルトキハ親族同様互ニ親切ヲ盡スヘキ事

第四條 本規約者ハ地主ノ成規ヲ遵守スヘシ若シ違犯スルモノアルトキハ支配人ニ申出テ其ノ指揮ニ服従スルコ  
ト

第五條 本規約者ハ事故アリテ小作致シ難キ場合又ハ小作ヲ他ニ讓渡サントスル意アルトキハ必ス支配人ニ願出  
ツヘク決シテ自己一人ヲ以テ内々小作讓リ等ナスヘカラサルコト

第六條 違作ノ爲檢見ヲ請ハントスル年ニハ稻ヲ刈リトラサル前支配人ニ願ヒ出テ地主開濟ミノ上ニアラスハ一  
歩ノ場所タリトモ鎌入スヘカラス萬一違犯アルニ於テハ支配人ヨリ小作地引揚ケラル、モ聊カ苦情アルヘカラ  
サルコト

第七條 今回五人組合ヲ定メ組長ヲ定メタル上ハ組長ハ殊ニ組内ノ農事ニ注意シ肥料ノ施用法稻ノ種類其ノ他耕  
作上諸般ノ改良ヲ計ルヘキ事隨テ組合農事ノ不進歩ハ組長ノ落度タルヘキ事

第八條 組合者ハ組長ノ意見ニ從ヒ農事ノ改良ヲ計リ假リニモ怠慢アルヘカラサル事

第九條 乾田改良苗代ハ明治三十三年ノ縣令第八十七號ニ基キ改良スル事

第十條 本規約ノ期間ハ明治何年ヨリ同何年マテ(五ケ年)トス其ノ期間中ト雖仲間一同集會ノ上三分ノ二以上ノ  
同意ヲ得タルトキハ變更スルコトヲ得ルモノトス

右十ヶ條ノ規約堅ク相守リ可申爲後日小作仲間一同捺印シ置ノ者也

年 月 日

小作人連名

代 家 支 配 人 宛

▲代家心得書 代家心得書ナルモノ下ノ如シ

一 忠孝ヲ勵ミ家内親睦シ精勤ヲ抽テ御奉公ノ廉大切ニ心得ヘキ事

二 萬事ニ就キ代家タルヘキノ辨ヘ可有之事

三 御取立ヲ蒙リ御代様ノ御恩ハ申迄モ無之忘却不致様相心得當々報恩ヲ心懸可申事

四 御名義御紋章等猥リニ相用キ申間敷ハ勿論御家ノ權勢ヲ以テ他人ハ申迄モナク小作人へモ驕慢ナル舉動致間敷萬事親切  
ヲ旨トシ謙遜公平ヲ心懸可申事

五 諸事分限ヲ守リ勤儉ヲ主トシ平常ノ事ハ勿論吉凶ニツキテモ農家ニ不似合ナル奢ケ間敷事決シテ致間敷事

六 投機業並ニ本業ノ妨ケト可成事ハ勿論猥リニ事業ヲ計劃致間敷其ノ他總テ主ナル事ハ可成朋輩中へ相談ヲ遂ケ可申事

七 假令懇意ノ間柄ト雖猥リニ保證等致間敷若シ不得止場合ハ親屬相談ノ上取計ラヒ後日ノ煩累ヲ及ホシ萬一ニモ御主人へ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

御迷惑相懸候様ノ儀無之様可心得事

- 八 御預リノ土地ハ申迄モ無之家屋其ノ他一切ノ物品ニ至ルマテ大切ニ取扱可申事
- 九 農事專一ニ率先勉勵シ作人ヲ引立テ倍々改良進歩ヲ計リ職務上ニツキテモ怠リナク總テ支配人ノ模範タルヘキ様可心懸事

十 代家ハ互ニ相助ケ協力親睦シ御爲筋專一ニ出精可仕事

第二 小作米等級區劃平均法

一 區域ヲ一字(場合ニヨリ二三字)トナシ該字從來ノ小作料割引平均歩合ヲ假リニ二割、二割五分、三割ノ三區劃アルモノトスレハ二割引ノ地ヲ一等地次ヲ二等地トシ其ノ各等級地ヲ一區域トシ各區毎ニ數ケ所ノ坪刈ヲナシ其ノ平均數ヲ以テ作合歩合ヲ定メ其ノ歩合ニ從ヒ一區域ノ納米割引ヲ行フナリ

但シ天災地變ノ爲メ劣作セル場所ハ臨機特別區域ヲ定メ其ノ區域内ノ歩刈平均ニヨリ割引歩合ヲ定ムルコトアリ  
右等級區劃平均法ニヨリ小作納米ノ割引ヲ行ヒテヨリ怠慢ニヨリテ隣地ヨリ不良ノ作合ヲ見ルモ何等特別ノ割引ヲ得ルコト能ハス之ニ反シテ自己ノ丹精ニヨリ拔群ノ收穫ヲナスモ小作納米ハ依然組合區域様ノ割引ヲ受クル利アルヲ以テ各小作人ハ競フテ耕作ニ勉勵シ農事改良上著シキ効果ヲ顯ハセリ

第三 粃貯蓄法

明治三十四年ノ豊作ヲ機トシ地主ヨリ小作人ニ與フル上作手當米(上作手當米ノ事ハ後出)ヲ粃ニ替ヘテ貯蓄セシメ更ニソレト同額ノ粃ヲ地主ヨリモ貯蓄シ共ニ不慮ノ備ニ供シ豊稔毎ニ追加貯藏スルノ計劃ヲ立テタリ其ノ契約書左ノ如シ

- 一 酒田町本町一丁目日本間家御所有地ノ小作人及其ノ支配人間ニ於テ貯蓄粃ヲ設置スルモノトス
- 二 貯蓄粃ハ合同シテ是ヲ地主ニ預ケ置キ其ノ證トシテ支配人ヨリ銘々小作人ハ貯蓄粃差引帳ヲ渡シ置ク事
- 三 貯蓄粃ハ不慮ノ饑饉ニ供センカ爲豊年ニ於テ小作地渡口米額ノ多少ニ準シ漸次蓄積スル事

但シ貯蓄ノ歩合ハ其ノ年ノ作柄ニヨリ地主ノ指圖ニヨリ之ヲ定ムルモノトス

四 貯蓄粃ハ不慮ノ饑饉ニ供スルモノナリト雖時宜ニヨリ一村五分以下ノ凶作ニ於テハ一同相談ノ上地主ノ許可ヲ得テ預人ノ内引出シヲ請フコトアルヘシ

五 貯蓄粃トシテ納ムルモノハ種類ノ混同ハ問ハサルモ無毫種ノ良粃ニシテ殊ニ充分乾燥シタルモノヲ撰ブ事

六 小作人ノ都合ニヨリ耕作地ヲ他ヘ譲リ渡シタルトキハ貯蓄粃ノ返戻ヲ請ハス差引帳名義書替又ハ分割ヲ請ヒ其ノ耕作地附屬物トシテ後繼小作人ニ讓渡スヘキ事

七 地主ノ都合ニヨリ土地ヲ他ヘ賣却若クハ讓與セラレタル際ハ支配人ハ差引帳提出ノ上貯蓄粃ノ返戻ヲ請フ事  
但シ右ニ際シ作徳米不納及該小作地ニ關スル借米等アルトキハ摺米ニ換算ノ上差引勘定可致事

八 支配人ヨリ渡シ置カレタル貯蓄粃差引帳ハ丁寧ニ保存シ決シテ他ニ賣却若クハ貸借物ノ擔保等ニ供セサル事

九 貯蓄粃萬一天災地變其ノ他人力ノ拒クヘカラサル事變ニ際シ滅失シタルトキハ貯蓄人ハ其ノ貯蓄高ニ比例シ一同其ノ損害ヲ分擔スヘキ事

但シ地主ヨリ萬一右事變ノ通知ヲ受ケタルトキハ支配人ハ直ニ小作人ニ通知シ差引帳ニ其ノ損失粃ノ記入ヲナスコト  
十 時宜ニヨリ右契約條項附加若クハ減刪スル場合ハ地主ノ許可ヲ得ヘキ事

第四 濟急貸、臨時給與及贈遺

(一) 夫喰貸 凶年ニシテ小作納米ノ割引ヲナスモ猶且翌年マテノ食料ニ不足ヲ告グルカ如キ場合ニハ、夫喰貸ト稱シテ小作納米定額ノ一割ヲ度トシ年利五分五ヶ年賦ヲ以テ貸附スルコトアリ

(二) 火災貸 小作人カ小作納米期ニ先タチ火災ニ罹リタルトキハ小作人ノ希望ニヨリ其ノ年ノ納米ハ年利五分十ヶ年賦ヲ以テ貸附シ又罹災ノ時期ニ關セズ別ニ同利同期限ヲ以テ小屋掛料(普通十圓場合ニヨリ二十圓)ヲ貸附ス

(三) 震災貸 明治二十七年十月庄内地方震災ニ罹リ被害多大ナルヲ以テ特ニ視察員ヲ派出シ代家支配人及小作人被害ノ狀況ヲ戸

々ニ調査セシメ三分利十ヶ年賦ヲ以テ左記ノ金員ヲ貸附シタリ

- 支配人 全潰 百圓、半潰 二十五圓、大破 十五圓
  - 小作人 全潰 十圓、半潰 五圓、大破 三圓
- 但シ代家ハ其ノ住宅地主ノ所有ナルヲ以テ所有者ノ營繕ニ屬ス
- (四) 上作手當米 豐稔ニシテ一般小作納米ノ割引ヲ行ハサルトキハ上作手當米ト稱シ小作納米一俵(五斗一升入)ニ對シ一升ツ、給與ス
- (五) 戰時贈遺 明治三十七八年戰役中代家支配人、小作人家族出征ニ對シ左記ノ標準ニヨリ贈遺ヲ行ヒ又時々慰問狀ヲ發シ平和克復後凱旋軍人及遺族ヲ酒田町濱畑ノ別宅ニ招待シタリ

小作人ノ生計最下等ト認メシ者へ

小作納米一俵ニ對シ 手傳人夫一人分(金卅錢) 給與白米一升五合

同下等ト認メシ者へ

同 手傳人夫一人分

同中等ト認メシ者へ

同 二俵ニ對シ

代家支配人家族戰死者へ香奠

同 十圓

同病死者へ

同 七圓

同負傷者へ

見舞 重傷五圓 輕傷三圓

小作人家族戰死者へ

香奠 五圓

同病死者へ

同 三圓

同負傷者へ

見舞 二圓

第五 耕作法ノ指導獎勵

▲獎勵金交付 明治四十五年ヨリ大正三年マテ飽海郡農會ニ馬耕競犂會及苗代品評會ノ費用トシテ年額金二百圓ヲ寄附セリ

又同年飽海郡耕地整理組合ニ工事費ヲ供シ同郡上田村大字吉田新田ノ一部ニ暗渠排水ヲ試行セシメ他ニ範ヲ示セリ

▲種籾配付 明治四十三年良種籾三十六石ヲ小作人ニ配付セリ翌四十四年ハ稻熱病ノ爲未會有ノ凶作ニ遇ヒ小作人中良種籾ヲ得難キモノアリシヲ以テ無害地ヨリ良種籾百二十二石六斗四升ヲ求メ之ヲ被害小作人ニ配付セリ其ノ他毎年希望ニ應ジ良種籾ノ配付ヲ計レリ

▲大麥二毛作ノ獎勵 明治三十年以來新井田農場ニ於テ毎年繼續試作シ略確信ヲ得タルヲ以テ明治四十一年有志者ト圖リ二毛作共勵團ヲ組織シ毎年其ノ成績ヲ審査シテ優等者ニ賞ヲ與ヘ繼續シ大正二年ニ及ヘリ而シテ右ノ獎勵ハ未タ顯著ノ成績ヲ見ルニ至ラスト雖最近小作人ニシテ二毛作ヲ試ムルモノ漸ク多キヲ加ヘ附近農民亦之ニ倣フ者頗ニ増加スルニ至レリ

▲試作田ノ設置 同家ノ設置ノ新井田農場ニ於テハ稻作ノ試驗及耕作ノ模範ヲ示シ稻作ノ改良ヲ企圖シ居レリト雖之ヲ汎ク小作人ニ示スニハ猶不充分ナルヲ免レス且土性其ノ他ノ事情ヲ異ニスル各方面ノ小作人等ニハ標準ヲ示シ難キモノアルヲ以テ代家支配人及農事ニ熱心ナル小作人ヲシテ諸方面一箇所一反歩以上ノ試作田ヲ設ケシメ以テ一般ニ範ヲ示サンコトヲ期セリ而シテ現今ノ試作者總數百五十餘名ニシテ尙漸次増加ノ見込ナリ

▲殺蟲油ノ貸付 明治三十二年以來害蟲驅除勵行ノ爲常ニ殺蟲油ヲ準備シ置キ萬一ニ備ヘ之ヲ小作人ニ貸付シ來リシニ明治四十一年以後ニ於ケル貸付ノ數量ハ明治四十三年十九箱同四十四年五十箱大正元年六百一箱ニ達セリ

▲俵裝改良 小作米ノ俵裝貯藏法及米質ノ改善ヲ圖ラムカ爲明治三十四年以來年々試驗米ヲ東京深川ニ輸出シ彼地ノ米穀商ニ託シテ其ノ成績ヲ徵シ漸次改良ヲ加ヘ明治三十六年一部小作人ヲシテ從來ノ五斗一升入ノ小作米ヲ四斗入ニ改メシメ同四十四年ヨリ全部四斗俵ヲ以テ納入セシメタリ

▲稻耕作ノ獎勵 大正元年以來新井田農場ノ稻作審査規定ヲ設ケ小作人ノ稻作ヲ苗代期ヨリ成熟期ニ至ルマテ之ヲ五期ニ分チ代家支配人ヲシテ一々審査セシメ審査員ノ耕作田ハ新井田農場係員ヲシテ審査セシメ成績佳良ナル者ニ毎年賞與セリ

### 安孫子傳四郎氏ノ施設

西村 山 郡 柴 橋 村

▲稻作實地指導教師設置 明治四十五年以來縣下莊内地方ヨリ稻作實地指導教師ヲ聘シ年々三百圓ヲ給シ稻作上ノ栽培管理ハ勿論馬耕堆肥改良等ヲ懇篤指導ノ結果此ノ地方一帶農作振興ノ機運ヲ喚起スルニ至レリ

▲獎勵金交付 大正元年以來小作納米ノ輸出検査ヲ受ケ等級ニ應シテ一俵毎ニ左ノ賞與金ヲ與ヘ以テ産米改良ニ努メツ、アリ

一等米 二十五錢 二等米 十五錢 三等米 八錢

而シテ右賞金授與ノ際ハ小作人ヲ一堂ニ會シ縣及郡技術者ヲ聘シテ農事講話會ヲ開キ後一同ニ酒肴ヲ饗シテ相互ノ親睦ヲ圖レリ

▲馬耕競犁會 大正二年五月馬耕競犁會ヲ開催シテ其ノ獎勵ニ努メ同年以降毎年稻立毛品評會ヲ開キ成績ニ應シテ相當ノ賞ヲ與フ

### 半澤久次郎氏ノ施設

東村 山 郡 出 羽 村

▲開墾 明治三十三年五月窮民救済ノ目的ヲ以テ北海道石狩國上川郡美瑛村ベ、ツ太ニ於テ百三十四萬七千坪ノ貸下ケ許可ヲ受ケ之カ開墾ヲ計ルト共ニ傍牧牛ヲ經營シ明治四十二年十二月全部無償附與ノ許可ヲ得タリ現在成墾地田畑約百町歩小作者二十九戸牧牛六十一頭ニシテ投資金額約四萬圓ニ至ル

▲小作米品評會 地方農民ノ耕作方法拙劣産米又頗ル粗惡ニシテ市場ニ於テ聲價ナキヲ憂ヒ之カ改良ヲ計ランカタメ明治三十年ヨリ連年小作米品評會ヲ開催シ優等ナルモノニ賞品ヲ授與シ銳意産米ノ改良ヲ計リタル結果今日ニ於テハ市場ノ聲價ヲ

高ムルニ至レリ

▲農業教師聘置 斯道ノ技術者ヲ時々招聘シ銳意農事ノ改良ヲ計ルト雖其ノ進歩ノ遅々タルヲ慨シ明治四十二年六月西田川郡上郷村ヨリ自費ヲ以テ農業技師ヲ招聘シ小作者及自村農家ノ實地指導ヲナサシメタルニ其ノ成績顯著ナルヲ以テ教ヲ請フモノ續イテ到リ現今ニ於テハ自村ハ勿論附近ノ村落一般ニ亘リ改良ノ實跡明ニシテ郡内屈指ノ農村トナルニ至レリ

▲馬耕練習會 從來當地方ハ人耕ノミナルニヨリ耕土淺ク到底豫期ノ收穫ヲ得ル能ハサルヲ以テ深耕獎勵及勞力經濟ノ目的ヲ以テ明治四十二年八月馬耕練習會ヲ開催シ耕馬及器具等ヲ貸與シ自家招聘ノ農業教師ヲシテ教導ノ任ニ當ラシムト雖更ニ應募者ナキヲ以テ練習ヲ受クルモノニハ日給十五錢ツ、ヲ給シ銳意勸誘シ漸ク二十七名ノ練習生ヲ募集シテ懇切之ヲ指導シ成績良好ナルモノニ賞品ヲ授與シテ之ヲ獎勵シ自後本年ニ至ル迄繼續シ其ノ結果自村ハ勿論附近村落ニ於テ馬耕著シク普及シ今日ニ至リテハ皆其ノ効果ノ顯著ナルヲ喜ヒ居レリ

▲堆肥舎建設ノ獎勵 地方一般金肥ノ施用逐年増加シ堆肥ヲ製造スル者殆トナク年々地方消耗シテ收穫ヲ減シ農家ノ疲弊スルヲ憂ヒ農業教師ヲシテ懇篤ニ其ノ製造法ヲ講話セシムルト共ニ自ラ堆肥舎ヲ建設シ之ヲ使用シテ其ノ効果ノ著シキヲ知得セシメタルヲ以テ明治四十二年ヨリ今日ニ至ルマテ二百有餘ノ堆肥舎ノ建設ヲ見ルニ至レリ素ヨリ郡農會ニ於テ堆肥舎建設補助ヲ與ヘ獎勵シタルニ依ルト雖同氏カ資金ノ貸與指導ノ空シキヲ得タルモノト云フヘシ

▲試作農園ノ設置 講習講話ニ力ヲ盡スト雖農家ノ頑迷ナル容易ニ改善ノ實ヲ舉クルコト能ハサルヲ以テ明治四十二年元山形縣立農事試鑿場跡ニ田畑二町六反歩ノ試作農園ヲ設ケ水稻、桑樹、蔬菜ヲ栽培シ改良耕作ノ有利ナルヲ實地ニ示シ廣ク參觀者ヲ歡迎シ一々農業教師ヲシテ懇篤説明セシメタル結果地方耕作上ニ大進歩ヲ來シ從來ニ比シ一石四斗ノ增收ヲ見ルニ至レリ

▲興農會ノ組織及模範田ノ設置 明治四十三年興農會ナル團體ヲ組織シ出羽村ニ八ヶ所明治治村ニ一ヶ所ノ模範田ヲ設置シ其ノ後明治治村ニ更ニ二箇所増設シ農業教師ヲシテ巡回指導ノ任ニ當ラシメ翌年ニ至リ更ニ區域ヲ擴張シ千歲村ニ二箇所大郷村ニ二箇所明治治村ニ二ヶ所合計十四箇所ノ模範田ヲ設置セシムルニ至レリ

▲實業補習學校生徒試作田設置及堆肥舎建設 實業補習學校生徒ヲシテ實地練習ヲナサ、シメンカ爲自己ノ稻田一反三畝歩ヲ貸與シ農業教師ヲシテ指導セシメ耕作方法ヲ實習セシム更ニ進ンテ木材ヲ寄附シ堆肥舎ヲ建設セシメ以テ堆肥製造ヲ實地ニ練習セシメタリ

▲講習會及講話會並ニ傳習會開催 農業智識ノ普及ヲ圖ランカ爲冬季ノ夜間ヲ利用シ農業教師ヲシテ講話セシムルト共ニ四十年以後四回ハ農事講習會ヲ開催シタリ又明治四十二年以來蟹瓜傳習會ヲ開キ蟹瓜打ノ稲作ニ有益ナルコトヲ知ラシメ而シテ其ノ技術ノ練磨ニ努メタリ

▲共同苗代ノ設置獎勵 從來苗代ハ各所ニ散在シ爲ニ管理充分ナラス從テ稻苗亦不同ヲ免レス延テ秋收ニ影響スルノミナラス努力又不經濟ナルヲ以テ共同苗代ノ設置ヲ獎勵シ明治四十三年自村ニ於テ九十八人ノ同意ヲ得テ三ヶ所ニ共同苗代ヲ設ケ優良ナル成績ヲ示セリ

▲農馬購入ノ獎勵 從來地方一般農馬ノ飼養頭數少ク耕作上ノ不便利少カラス是ヲ以テ低利資金ヲ給シテ農馬ノ飼養ヲ勸誘シ明治四十三、四年ノ兩度青森縣ヨリ共同購入セシ頭數六十二頭ニ達シ金額二千五百圓ニ及ヘリ

▲稻作品評會開催 明治四十四年以來稻作品評會ヲ催シ小作地全部ヲ出品セシメ苗代及本田ニ於テ精細ナル審査ヲ遂ケ收穫米ハ縣規定ノ輸出米標準俵裝ニ依リ各三俵ツ、ヲ出品セシメ成績優等ナルモノニ賞品ヲ與ヘ栽培上ノ技術ヲ練磨セシムルト共ニ乾燥調製ノ改善ニ力ヲ注キ以テ産米改良上少カラサル効果ヲ收メタリ

▲稻乾燥及調製法ノ改良 地方ノ習慣トシテ稻ハ單ニ畔立乾燥ヲナスノミナルヲ以テ乾燥頗ル不良ナル爲ニ翌年ノ暑中ニ至リ變質スルモノ少カラス常ニ市場ニ於テ劣等ノ位置ニアルヲ以テ之カ改良ヲ計ラムカ爲明治四十一年、二ノ兩年稻杭六千五百本ヲ小作人ニ與ヘ杭掛乾燥ヲ實施セシムルト共ニ調製法ノ改良ヲ計リ各地ヨリ種々ノ改良農具ヲ購入シ自己ノ農場ニ於テ比較使用シ其ノ優良ナルモノ、効果ヲ實地ニ示セリ

▲種籾ノ配付 地方栽培ノ稻種類ル雜駁産米亦異品種ノ混淆ナルヲ以テ之カ統一ヲ計ルト共ニ良種ノ普及ヲ圖ランカ爲各地ヨ

リ良種ヲ購入栽培シ適否及品質栽培上ノ難易ヲ考究シ優良ナルモノヲ小作人及地方希望者ニ配付セリ

### 仲野半四郎氏ノ施設

東村山郡天童町

氏ハ農事ノ改良及小作人保護ニ志シ常ニ指導誘掖ヲ怠ラサリシモ明治三十九年以來豐作ナク小作人ハ益々困憊シ負債漸ク嵩ミ破産ニ陥ルモノ尠カラス從ツテ充分ナル肥料ヲ施スノ資力ナク漸次肥料商人ヨリ高利ニ借入ル、ニ至ル從テ肥料ノ種類ヲ選擇スルコト能ハサルノミナラス商人ノ言ニ盲從セサルヘカラサル悲境ニ陥リ收穫亦豐ナラサル爲小作人中ニハ小作米ノ割引ヲ請フモノ續出スルニ至レリ此ノ時ニ當リ氏ハ思ヘラク方今ノ如ク小作人日ニ疲弊シ地力減退シテ底止スル所ヲ知ラサランニハ唯小作人ノ破滅ヲ見ルニ至ルノミナラス地主モ亦破産ヲ免レサルヘシ今ヤ根本的改良ヲ爲スノ秋ナリトナシ進ンテ町村農會ニ意見ヲ陳述シ或ハ郡農會評議員トシテ盡力シ或ハ地主會評議員トシテ郡内ノ農事改良ニ畫策シ自ラ多額ノ私費ヲ投シテ各種ノ改良事業ヲ獎勵シテ三百人餘ノ小作人ハ勿論、天童町津山村干布村藏増村成生村高機村等ノ農事改良ニ貢獻シタルコト多大ナリ

▲肥料資金ノ貸付 前述ノ如ク小作人困憊ヲ極メタル爲明治四十四年ヨリ大正三年ニ至ル四年間小作人ニ融通シタル低利肥料資金額四千九百圓ニシテ利率ハ年七分乃至八分トセリ

▲青年試作場ノ獎勵 稻作ノ改良ハ青年者ニ試作ヲ爲サシメ秩序的經驗ヲ得サシムルニアリトナシ自費二十圓ヲ與ヘテ明治四十四年ヨリ天童町大字北目ノ青年者及同町元中町一日町青年者ニ各試驗場ヲ設ケシメタリ

▲稻優良品種ノ配付 良種子ハ農家ノ最必要トスル所ナルヲ以テ明治四十四年ヨリ大正二年迄三ヶ年間稻優良品種ヲ莊内ヨリ購入シ之ヲ小作人ニ分配セリ

▲稻乾燥杭ノ配付 當地産米ハ品質劣悪ナラサルモ乾燥著シク劣ルヲ以テ之カ改良ヲ爲サントシ明治四十四年ヨリ毎年稻乾燥



ヒテ模範田ヲ設置シ其ノ他試作地ヲ三十四ヶ所ニ設ケ郡技術者ト自村ノ農業技術者トヲシテ其ノ指導ノ任ニ當ラシメ優劣ニヨリ賞ヲ與フ  
以上ノ外堆肥舎建設者ニハ補助金ヲ與ヘ馬耕ヲ爲サントスルモ耕馬購入ノ資ナキモノニハ低利資金ヲ貸付クルカ又ハ自ラ馬ヲ購入シテ貸付セリ

### 國井門三郎氏ト豊安會

西村山郡高松村

氏ハ明治四十二年二月自家小作人ヲ保護獎勵シテ他日獨立ノ農家タラシメンタメ小作納米十俵以上ノモノヲ會員トシテ豊安會ナルモノヲ組織シ農事ノ改良貯蓄心ノ養成ニ務メ其ノ他農業資金ノ融通堆肥舎建設資金ヲ給與スル等見ルヘキモノ尠シトセス今其ノ組織及事業ノ大要ヲ示セハ左ノ如シ

▲豊安會 本會ノ目的ヲ達センカ爲メ地主ハ年々米百俵ニ相當スル金員ヲ支出シ其ノ三分ノ一以上ハ備荒基金三分ノ一以内ヲ保護基金トシテ備付ケ他ノ三分ノ一以上ハ年々ノ獎勵事業費ニ當テ會員タル小作人ヨリハ會費ヲ徴收セス而シテ會員タル小作人ハ各自非常用貯金トシテ毎年小作米一俵ニ付米一升以上ヲ時價ニ換算シ高松信用組合ニ各自名義ニテ貯金ス又地主ヨリ賞與トシテ金穀ヲ小作人ニ贈ルトキハ多クハ前項ノ貯金ニ積立テシム今大正四年三月五日現在ニ於ケル豊安會貯金總額ヲ舉ククレハ次ノ如シ

金五千七百七十三圓二十四錢九厘  
內 金千二百七十九圓十六錢  
備荒基金  
金千七百七十九圓九十三錢六厘  
保護基金  
內 千九百圓ヲ會員中火災ニ罹リタル六名ニ對シ無利子年賦償還ニテ明治四十二年ヨリ貸付ケ住宅並農耕用具

ヲ整備セシム

金三百八十圓七十一錢

獎勵金

本金ハ備荒基金ト殆同額ナルモ年々獎勵事業ニ支出シ其ノ殘餘ノ現金ナリ

金二千九百三十三圓四十四錢三厘

會員貯金

貯金人員百九十六名内七十五名ハ會員外小作人ノ特種貯金

本貯金勸誘ノ當初ハ小作人中疑懼ノ念ヲ懷ケル者多カリシモ貯金通帳ハ無論各自ノ名義ニテ高松信用組合ニ預金シ只引出金ノ用途ニ對シ地主ニ於テ相當監督スルノミニテ一方地主ハ年々賞與金ヲ増シ小作人ヲシテ貯金ニ加ヘシムルノミナラス大正元年凶作ノ際救助の貸付米ヲ返済シタル會員ニハ其ノ金額ヲ直ニ會員貯金ニ加ヘシメタル等ニ依リ漸ク本貯金ノ性質ヲ悟リ喜ヒテ貯蓄スルニ至レリ

▲良米納入者表彰 米質改良ヲ進メ其ノ努力ニ報ヒン爲豊安會創立總會ノ際明治三十八年以來五ケ年間良米納入者五名ヲ表彰シ爾後年々優良米納入者ニ賞與ヲ與ヘ表彰シツ、アリ

▲撰種獎勵 優良種子ヲ得セシメンカ爲鹽水撰ヲ獎勵シ年々撰種用變性鹽約六石ツ、ヲ無代配付ス

▲農業智識ノ開發 豊安會總會ニハ必ス知名ノ士ヲ聘シテ講話會ヲ開催シ之ヲ聽講セシムルト共ニ又肥料成分及農業周知等ノ印刷物ヲ配付シ或ハ旅費ヲ支給シテ農業先進地ヲ視察セシメ農業智識ノ普及開發ニ努ム

▲小作者督勵 自ラ縣農業技術者及組頭ト共ニ小作地ヲ巡視シ必要ト認メタル點ニ對シテハ事毎ニ注意ヲ與ヘ小作人ノ督勵ニ勵ム

▲採種田設置 明治四十四年以來稻採種田二反歩ヲ設ケ採收セシ種子ヲ小作人ニ配付シ良種子ノ普及ニ努ム

▲堆肥舎建設資金給與 小作人ニシテ堆肥舎ヲ建設セントスル者ニハ明治四十四年以來約二十名ニ金二百二十八圓ヲ給與シ又

金肥購入資金ハ高松信用組合ト連絡シテ潤澤ニ貸付ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例



▲馬耕競習會獎勵 大正四年春西村山郡馬耕競習會開催ニ際シ金二十六圓二十錢ヲ寄附シテ會員ヲ此ノ會ニ參加セシメタリ  
▲小作人慰勞 明治四十二年以來毎春一回豊安會總會開催ヲ期トシテ農事講話會ヲ開キ且晝餐酒肴ヲ饗シ亦種々ノ餘興ヲ催シテ小作人ヲ慰勞ス

### 佐藤莊右衛門氏ノ施設

東村山郡高橋村

氏ハ小作人ノ年々貧困ニ傾クヲ憂ヒ之カ挽回ヲ圖ラムトシテ先ツ農業教師ヲ招聘シ常ニ小作地ヲ巡回セシメ專ラ指導ノ任ニ當ラシムル外事業資金ヲ貸付シ堆肥舍ヲ建築セシメタルモノ六十餘棟、農馬ヲ購入セシメタルモノ六十餘頭ニ達セリ又馬耕傳習所及蟹爪競技會等ヲ開キ農業教師ヲシテ親シク之ヲ指導セシメ尙又試作田一町歩ヲ設ケテ模範ヲ小作人ニ示シ併テ種苗ノ配付ヲ爲シ改良農具ヲ小作人ニ給與スル等小作人ノ獎勵ニ努メ居レリ

### 小松常次氏ト報徳會

西置賜郡添川村

▲報徳會 明治四十二年報徳會ヲ組織シ小作人ニ貯蓄ヲ獎勵ス其ノ方法ハ小作納米一俵ニ付地主及小作人互ニ一升宛ノ米ヲ醸出シ地主監督ノ下ニ之ヲ貯蓄シ置キ八名ノ評議員ト評議ノ上此ノ貯蓄米ヲ賣却シ其ノ代金ヲ銀行預金トナシ之ヲ肥料購入資金トシテ低利ニ貸付スルモノトス而シテ十ヶ年目ニハ之ヲ各小作人ニ割戻ヲ爲ス  
▲農事視察 小作人中篤農者ヲ選ヒ農業先進地ヲ視察セシメ以テ其ノ長ヲ採ラシムルニ努メツ、アリ

### 秋野光江氏ト農業資金融通

西田川郡加茂町

▲小作人品評會 十ヶ年ヲ一期トシテ開催シ稻作ノ巧拙、家庭ノ狀況及勤惰等ヲ精細ニ考查シ成績優良ナルモノニハ金品ヲ賞與ス  
▲堆肥舍建設資金ノ貸付 八段歩以上ヲ小作スルモノニシテ堆肥舍ヲ建設セムントスル者ニハ其ノ費用ノ全部若クハ一部ヲ五箇年々賦七朱ノ利子ヲ以テ貸付ス  
▲貯金ノ獎勵及耕馬購入資金貸付 農業資金ノ借入ヲナシタルモノニハ毎年三反歩ニ付金一圓ツ、ノ割合ヲ以テ貯金ヲ爲サシメ又耕馬購入者ニハ其ノ資金ヲ貸付ス

### 秋田縣

### 立山弟四郎氏ノ施設

鹿角郡毛馬内町

▲小作人組合 農事ノ改良ト農家經濟ノ發達安固ヲ計ラム爲ニハ地主小作人間ノ親善ニアルヲ想ヒ去ル明治四十二年一月自家ノ小作人約百名ヲ以テ小作人組合組織シ毎年春冬ノ農閑期ニ於テ二回ノ農事講習又ハ年四回位ツ、ノ講話會ヲ開キ以テ農業智識ノ普及進歩ヲ計リ又翌四十二年二月自費ヲ投シ農事教師ヲ雇入レ常ニ小作農民ニ接シテ改良耕作法ノ實地指導ニ當ラシムルノミナラス四反歩ノ模範耕作田ヲ設ケ模範耕作ヲ行フト共ニ一部ヲ採種地トシ適種ヲ採種シテ小作人及篤農家ニ無償配付ヲ行フ等今日ニ至ル迄繼續實施以テ小作人ハ勿論郡農業界ニ對シ多大ノ効驗ヲ擧ケツ、アリ  
▲小作人ノ救荒貯蓄 小作料一駄(四斗俵二俵)ニ付玄米三升ノ割合ヲ以テ小作料ノ高ニ應シ毎年小作料ト同時ニ立山家倉庫ニ納入セシメ金納入石數ト同一數量ヲ地主ヨリモ補助トシテ提供シ之ヲ適期ニ賣却シ其ノ代金ヲ救荒貯蓄金ト稱シテ立山家ノ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

管理ノ下ニ貯蓄シテ小作人ノ危急ヲ救済スルノ資ニ充當スルモノトス小作人中農事改善農具購入等ノ爲貯蓄金ヲ借入レン  
トスル者ニハ五箇年賦償還法又ハ限月返還法ニテ年利一割以内ニテ貸與スルカ或ハ貯蓄高ヲ超ヘサル範圍内ニ於テ其ノ信用  
程度ニヨリ擔保ヲ徵シ貸付スルノ途ヲモ講シ今ヤ其ノ貯蓄金高總計八百有餘圓ニ達セリ

▲女子農業視察團ノ組織、菜園ノ設置 農事改良事業ノ進捗セサル事由固ヨリ多クアルヘシト雖蓋シ農村婦女子ノ農業上ニ於  
ケル智識ノ低級ナルニ起因スルコト亦不尠ヲ想ヒ去ル大正元年九月ノ農閑期ヲ利用シ小作人中ノ婦女子ヨリ女子農業視察團  
ナルモノヲ組織シ自家ノ農業教師ヲシテ未タ殆ト他出セシコトナキ女子二十三名ヲ引率セシメ二日間ノ豫定ヲ以テ他郡先進  
地ニ於ケル農業上ノ進歩セル状態ヲ視察セシメ其ノ知見ヲ高カラシメタルノミナラス蔬菜栽培ノ忽略ニ附スヘカラサルヲ一  
般ニ普及及知得セシムル爲右視察後一箇所一反歩ツ、二箇所ニ蔬菜指導團ヲ設ケ之カ改良ヲ促セリ

▲馬鈴薯栽培獎勵 大正二年ニハ稀有ノ凶歉ヲ呈シ其ノ善後策ニ付テハ縣郡最善ノ方法ニ出テ些ノ遺憾ナキヲ期セリ此ノ時ニ  
當リ立山家ハ私費ヲ投シ馬鈴薯二百四十俵ヲ購入シ之ヲ自家小作人全部ニ配布栽培セシメ得タルモノヲ以テ馬鈴薯品評會ヲ  
開催シテ植栽上ノ改善ヲ企圖セルノミナラス食用加工法等ヲ併セシタルヲ以テ從來其ノ栽培ニ重キヲ置カサリ小作人  
及其ノ他一般農家モ銳意之カ栽培ニ努メタル爲經濟上不尠好結果ヲ得タリ

▲小作米品評會ト優良小作人表彰 數年來年々小作米品評會ヲ開催シ成績優良ナルモノニ對シテハ等級ニ應ジテ賞品ヲ授與ス  
又同時ニ模範トナルヘキ優良小作人ヲ表彰スル等苟モ斯業啓發上遺憾ナキヲ期セリ

### 河田與惣左衛門氏ノ施設

北秋田郡鷹巢町

氏ハ小作人保護獎勵ニ意ヲ用ユルコト篤ク從テ其ノ施設スル所少ナカラサルモ其ノ主ナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

▲小作獎勵會 去ル明治四十四年ノ創始ニシテ毎年五月水稻播種終了後ニ於ケル一時ノ農閑期ヲ利用シ小作人約五百名ヲ集メ

左記方法ニヨリ優良者ニ授賞シ且出席者ニ對シ酒肴ヲ饗ス

一 篤農賞 農事改良上ノ實蹟顯著ニシテ他ノ模範トナスニ足ル者ニ對シ授賞スルモノニシテ從來ノ例ニ依レハ自家小作人中  
縣ヨリ模範小作人又ハ模範耕作者トシテ表彰セラレタル者ヲ更ニ表彰スルモノナリ若シ其ノ年ニ自家小作人中縣ヨリ表彰  
セラレタル者無キ場合ニ於テハ自家ニ於テ特ニ調査シ表彰スルモノニシテ賞品トシテハ價格五圓以内ノ紋付羽織地一反ヲ  
與フ

二 永年賞 永年小作米ヲ皆納繼續セル者ヲ五ヶ年又ハ七ヶ年毎ニ表彰スルモノニシテ左ノ六等ニ分ツモノトス  
特等賞 大銀盃一個

三十年以上二十石以上ノ小作米ヲ納入セシ者

一等賞 三圓以内ノ瓦斯反物一反(裏付)

二十年以上十五石以上同上ノ者

二等賞 二圓以内ノ木綿一反

十五年以上十石未滿同上ノ者

三等賞 一圓五十錢以内ノ木綿一反

十年以上十石未滿同上ノ者

四等賞 一圓以内ノ裏地一反

七年以上五石未滿同上ノ者

五等賞 五十錢以内ニテ裏地一反

五年以上三石未滿一石以上同上ノ者

地主ノ農事ニ關スル施設事例

三管納賞 其ノ年限ノ小作米納入狀況ニ依リ表彰スルモノニシテ左ノ六等ニ分チ其ノ採點ハ一定ノ内規ニ依ル即チ小作反別、小作納入米ノ石數、小作期間、納入米ノ等級別俵數及農事ノ勤惰ノ五項ニ依リ決定スルモノナルヲ以テ假令小作反別並ニ小作納米多キ者ト雖其ノ小作期間ノ短キ者ハ小作反別及小作納米少ナキモ其ノ小作期間ノ長期ニ亘リタル者ニ比シ賞品ノ少キ場合決シテ尠カラス斯ル點カ保護獎勵上公平ノ措置トシテ小作人一同ヨリ好感ヲ以テ迎ヘラレツ、アリ

- 特等賞 一五〇點以上 五圓以内ノ紋付羽織地一反裏付
- 一等賞 一〇〇點以上
- 二等賞 八〇點以上
- 二等賞 六五點以上 賞品ハ永年賞ノ時ト同一
- 四等賞 五五點以上
- 五等賞 四〇點以上

但シ一等賞五ケ年間繼續セル者ニハ銀盃ヲ呈ス

前記授賞ハ各々相關聯セサルヲ以テ第二永年賞ノ何レカニ相當スル者カ若シ又第三管納賞ノ何レカニ相當スルトキハ同一人ニシテ兩者ノ賞品ヲ授與セラル、モノトス

▲小作人家族高齢者慰安 前記大集會ノ際亦年々小作人家族中八十歳以上ノ高齢者ヲ調査シ價格二圓以内ノ木綿一反ヲ贈與シ以テ之カ慰安ニ努ム其ノ年別人員次ノ如シ

明治四十四年	大正元年	大正二年	大正三年	大正四年	計
二六	二二	一六	一八	一七	九八

▲小作人家族ノ就學兒童ニ對スル獎勵 小作人ノ家族中十五歳未滿ノ兒童五名以上アリテ其ノ内通學兒童ヲ有スルトキハ其ノ

通學兒童一名毎ニ價格二十錢内外ノ學用品(白紙五帖及雜記帖或ハ紙製石盤)ヲ與フ

▲貧困者救助 小作人ノ貧窮者ニシテ左記事項ニ該當スル者ニハ隨時米贈其ノ他ノ金品ヲ與フ

- 一 痲疾不具者ヲ有スル者
- 二 災害若クハ長病ニシテ死亡シタルモノアルトキ
- 三 天災若クハ火災等ニ罹リ住宅ニ損害ヲ蒙リタルトキ
- 四 兵役ニ從事セルモノアルトキ

▲獎勵米交付 小作納入米ノ等級ニヨリ皆納ノ際左記ノ如キ賞與米ヲ給ス

- 生産米検査一等ノ合格米ヲ納入シタルトキ 一石ニ付 米七升五合
- 同上 二等ノ合格米ヲ納入シタルトキ 米五升
- 同上 三等ノ合格米ヲ納入シタルトキ 米三升五合
- 同上 四等ノ合格米ヲ納入シタルトキ 米二升

上述ノ如キ獎勵法ヲ採レルニヨリ大集會當日ハ平素勤勉力行良ク農事ノ改良ニ留意スル小作人ハ一人ニテ各般ノ榮譽ヲ擔ヒ得ルヲ以テ小作人ハ殆ント全家ヲ擧ケテ出席シ此ノ一日ヲ以テ年内ノ勞苦ヲ忘ル、ノ狀況ニシテ地主小作者ノ關係圓滿ニシテ成績頗ル顯著ナリ

### 東海林重太郎氏ト品評會

平鹿郡増田村

同氏外四氏ハ個人トシテ毎歲小作米ノ品評會ヲ開催シテ縣郡ヨリ審査長ノ派遣ヲ得優等者ニハ手織木綿、手拭又ハ農具等ヲ賞

地主ノ農事ニ關スル施設事例

與シ其ノ他斯道ニ關スル講話會等ヲ開キ其ノ改善ヲ圖レリ

福井縣

山田敏氏ト興農會

坂井郡高椋村

氏ハ夙ニ意ヲ勸農ニ注キ農業ノ進歩發達ヲ圖リ農村ニ於ケル幾多ノ弊風ヲ一掃スルハ地主ノ責任ナリト信シ常ニ小作人ヲ慰撫獎勵シ其ノ施設スル所甚タ多シ特ニ明治四十二年興農會ヲ起シ或ハ信用組合ヲ設立シ又ハ興農共濟會ヲ組織シ農業技術ノ改善ヲ計ルト共ニ農家經濟ヲ圓滿ナラシメ農家ノ隣保相助ノ美風ヲ養成スル爲其ノ施設到ラサルナシ爲ニ嘗テ紛擾多ク村治困難ナリシ部落モ今ヤ醇良ナル農村ト化シ實ニ小作人保護獎勵上ノ模範タリ其ノ施設事項大要左ノ如シ

▲精良米納入者へ特別賞與 産米改良ハ目下ノ急務ナリ然レトモ優等米ハ其ノ乾燥調製ニ於テ多大ノ注意ト勞苦トヲ要スルヲ以テ是等優良米納入者ニ對シ特別ノ賞ヲ與へ慰勞スルト共ニ獎勵ヲ計ルハ當然ノ事タリサレハ明治四十二年度以降輸出二等米以上ノ品ヲ納入シタル者ニ對シテハ次ノ標準ニヨリ之ニ授賞セリ

- 一等賞 輸出二等米以上 二十一俵以上納入者
- 二等賞 同 十八俵以上納入者
- 三等賞 同 十五俵以上納入者
- 四等賞 同 十二俵以上納入者
- 五等賞 同 九俵以上納入者

- 六等賞 同 六俵以上納入者
- 七等賞 同 三俵以上納入者
- 賞狀 同 一俵以上納入者

而シテ獎勵法施行ノ結果ハ漸次成績良好ニ赴キ近來競フテ優良米納入ヲ計ルニ至レリ

▲小作米納付方獎勵法 小作米納付獎勵法トシテ小作地所ヲ十六部ニ分チ小作米納付成績善良ナル者ニ對シテハ其ノ部内ニ於テ一等ヨリ五等迄ノ賞ヲ授ケ又一部悉ク成績善良ナルニ於テハ其ノ部全體ニ對シテ更ニ賞ヲ授ケ其ノ多寡ハ部ノ大小ニ應スルモノトス又運送手當トシテ里程遠近ニ應シテ小作米一俵ニ對シテ一升乃至二升ノ手當ヲ支給シ産米取締規則ノ發布アルヤ右各種ノ手當賞與ノ外ニ一俵ニ付米三合宛獎勵米ヲ支給ス是等ノ爲支出シタル米額毎年五六十石ニ達ス

部内各人ニ對スル小作米完納賞與表

小作米額	完納額	番	番	番	番	番	番
四斗六升以上	一斗	二升五合	二番	一升五合	四番	五升	五番
一石	二斗	四升	二番	二升	一升五合	一升	五合
二石	三斗	五升	二番	三升	二升	一升	五合
三石	四斗	四升	三番	二升	一升	一升	五合
六石	六斗	七升	四番	三升	二升	一升	五合
十石	一石	八斗	五番	六升	三升	二升	一升
以上	以上	九斗	六番	八升	四升	三升	二升

一部完納賞與表

部等差	完納	番	番	番	番
四等部	一斗	二升	六升	三升	三升

地主ノ農事ニ關スル施設事例

三 等 部	二 斗	三 升	一 斗	二 升	六 升	三 斗	二 升	三 升
二 等 部	四 斗	六 升	二 斗	二 升	一 斗	一 升	二 升	二 升
一 等 部	九 斗	二 升	四 斗	六 升	二 升	二 斗	三 升	三 升

三百十四

▲小作人資金融通 小作人ニ於テ資金ノ融通ニ困難スル者アルトキハ素行善良勤勉顯著ナル者ニ對シテ現米ニテ貸付スルコトトシ無利子ニテ秋期ニ於テ返済セシメ十數年以前ヨリ繼續シツ、アリ

之多く肥料買入資金又ハ食料ニ使用スルモノナルカ小作人中ニ於テ土地買入ノ爲融通ヲ申込ムモノアル場合ニハ事情ヲ精査シ最低利ヲ以テ資本ヲ貸付シ而シテ其ノ多クハ年賦償還セシムルモノナリ

▲小作人貯金獎勵 小作人ノ貯金獎勵ノ爲明治三十七年二月一日貯金會ヲ設ケ名ケテ興農貯金組合トス凡農業ヲ完全ニ經營セシニハ土地、資本、勞力ノ三者ヲ要ス而シテ小作人ヲ見ルニ土地ト勞力トハ自他ノ供給ニヨリテ之ヲ得ルモ資本ハ之ヲ求ムルノ道乏シク從テ肥料等ノ購入ヲ爲スニ商人ヨリ高歩ノ借入ヲ爲スヲ以テ收穫期ニ至リテハ猶豫ナク辨濟ヲ迫ラル、ヲ以テ收穫米ノ大部分ハ之ニ引去ラレ小作人ノ苦痛ハ勿論地主ノ損害ヲ蒙ルコト亦少ナカラス是彼我ノ不利益ノ甚大ナル點ナリトス故ニ之ヲ救済スルニ前項ノ無利子ノ資本ノ融通ヲ擴張スルニアリト雖モ漫リニ資金ノ融通ヲナスハ彼等ノ獨立心ヲ害スル恐アルヲ以テ熱慮ノ末貯金ノ方法ヲ定メ毎月一定ノ金額ヲ貯金セシメ五ヶ年ヲ一期トシテ其ノ年期間ハ斷シテ引出シヲ禁スルコト、ナシ又一方ニ於テハ獎勵ノ方法ヲ規定シ毎年連滞ナク貯金シタル者ニハ納付小作米一俵ニ對シテ金五錢宛ノ獎勵金ヲ交付シ貯金通帳ニ記入スルコト、シタリ而シテ現在ノ組合員ハ百六十二人ニケ村十一大字ニ涉ルヲ以テ各大字ニ世話役ヲ置キ集會セシメ毎月下旬ヲ派シテ之ヲ取纏メ株式會社福井銀行ニ預ケ入レ各人ニハ別ニ貯金假通ヲ渡シ本通帳ハ山田氏ニ於テ保管シ記帳等ノ整理ハ同氏及同氏妻璋子ニテ擔當シ組合ニ要スル諸費ハ同氏之ヲ支辨シ居リ現在ノ貯金總額二千七百六十五錢ニシテ前述獎勵規定ニヨリ私財ヲ交付シタル總額金三百三十七圓七十五錢ニ達セリ

▲興農信用組合ノ設置 明治四十三年興農銀行貯金組合ノ滿期ニナルヤ更ニ興農信用組合ニ組織ヲ更メ之カ擴張ヲ圖リ一目、

磯部、長畝ノ三ヶ村ヲ區域トシテ農業ニ必要ナル資金ヲ貸與シ或ハ貯金ノ便宜ヲ得セシムルヲ以テ目的トセリ大正四年二月末日ノ貯金額ハ九千七百餘圓ニ達シタリ

▲組々表彰紀念貯金 興農信用組合カ大正三年十一月六日產業組合中央會ヨリ表彰セラレタルヲ紀念トスル爲組合員全部申合セノ上表彰紀念貯金ナルモノヲ起セリ此ノ表彰紀念貯金ハ組合員各自ノ貯金額ヲ二十五圓、二十圓、十五圓、十圓、五圓、三圓、二圓、一圓ノ八種トシ大正四年三月ヨリ預入ヲ開始シ大正五年十二月ヲ以テ完結スルモノトシ其ノ間ヲ八期ニ區別シ左記順序ニヨリ預入ヲ行フモノトス

年	正	大	貯金總額					
			預入期日	每期預入高				
年	正	大	第一期	三月十日	十圓	貯蓄總額	十圓	
			第二期	六月十日	十圓	貯蓄總額	二十圓	
			第三期	九月十日	十圓	貯蓄總額	三十圓	
			第四期	十二月十日	十圓	貯蓄總額	四十圓	
	年	正	大	第一期	三月十日	二十圓	貯蓄總額	六十圓
				第二期	六月十日	二十圓	貯蓄總額	八十圓
				第三期	九月十日	二十圓	貯蓄總額	一百圓
				第四期	十二月十日	二十圓	貯蓄總額	一百二十圓
年	正	大	第一期	三月十日	三十圓	貯蓄總額	九十圓	
			第二期	六月十日	三十圓	貯蓄總額	一百二十圓	
			第三期	九月十日	三十圓	貯蓄總額	一百五十圓	
			第四期	十二月十日	三十圓	貯蓄總額	一百八十圓	
	年	正	大	第一期	三月十日	四十圓	貯蓄總額	一百二十圓
				第二期	六月十日	四十圓	貯蓄總額	一百六十圓
				第三期	九月十日	四十圓	貯蓄總額	二百圓
				第四期	十二月十日	四十圓	貯蓄總額	二百四十圓
年	正	大	第一期	三月十日	五十圓	貯蓄總額	二百五十圓	
			第二期	六月十日	五十圓	貯蓄總額	三百圓	
			第三期	九月十日	五十圓	貯蓄總額	三百五十圓	
			第四期	十二月十日	五十圓	貯蓄總額	四百圓	
年	正	大	第一期	三月十日	六十圓	貯蓄總額	三百十圓	
			第二期	六月十日	六十圓	貯蓄總額	三百七十圓	
			第三期	九月十日	六十圓	貯蓄總額	四百三十圓	
			第四期	十二月十日	六十圓	貯蓄總額	四百九十圓	
年	正	大	第一期	三月十日	七十圓	貯蓄總額	四百圓	
			第二期	六月十日	七十圓	貯蓄總額	四百七十圓	
			第三期	九月十日	七十圓	貯蓄總額	五百三十圓	
			第四期	十二月十日	七十圓	貯蓄總額	六百圓	
年	正	大	第一期	三月十日	八十圓	貯蓄總額	五百圓	
			第二期	六月十日	八十圓	貯蓄總額	五百八十圓	
			第三期	九月十日	八十圓	貯蓄總額	六百六十圓	
			第四期	十二月十日	八十圓	貯蓄總額	七百圓	
年	正	大	第一期	三月十日	九十圓	貯蓄總額	六百十圓	
			第二期	六月十日	九十圓	貯蓄總額	七百十圓	
			第三期	九月十日	九十圓	貯蓄總額	八百十圓	
			第四期	十二月十日	九十圓	貯蓄總額	九百圓	
年	正	大	第一期	三月十日	一百圓	貯蓄總額	七百十圓	
			第二期	六月十日	一百圓	貯蓄總額	八百十圓	
			第三期	九月十日	一百圓	貯蓄總額	九百十圓	
			第四期	十二月十日	一百圓	貯蓄總額	一千圓	

本貯金ハ大正四年三月ヨリ起算シ十ヶ年間之ヲ据置クモノニシテ滿期ノ後元利金ヲ拂戻シ其ノ間天災其ノ他正當ノ事由アリテ理事ニ於テ止ムヲ得スト認メタルモノ、外一切拂戻サス大正四年二月各組合員ノ預入額ヲ決定シタルニ其ノ金額實ニ三千八百十三圓ノ巨額ニ達セリト云フ

▲興農共濟會 隣保ノ情誼甚タ厚ク災厄相救ヒ吉凶慶吊ヲ共ニスルノ良風ハ我農家ノ最美點トスル所ナレトモ現時物質の文明ノ進歩ニ伴ヒ是等ノ習慣モ漸次退歩ノ傾向アルヲ憂ヒ此ノ美風ノ維持及地主小作ノ親和ヲ計ル爲ニ小作人ヲ以テ興農共濟會

地主ノ農事ニ關スル施設事例

ヲ組織シ會員及家族ノ疾病死亡罹災等ノ場合ハ別記細則ノ定ムル所ニヨリ慰問救済ス而シテ其ノ財源ニツキテハ會員ハ毎年十一月迄米一升宛ヲ醸出シ山田家ハ是等總額ト同額ノ玄米ヲ寄附ス

▲牛馬及畜舎貸與 耕耘上畜力ヲ應用セシムルト共ニ堆肥原料ヲ豊富ナラシムルノ目的ヲ以テ但馬種畜牛一頭ヲ購入シ最新農具ヲ備エ又畜舎ヲ新築シ小作人中農學校別科修了生ノ優等者ヲ選抜シテ右一切ノ物件ヲ無償貸與シ一般畜力應用ノ模範ヲ示シツ、アリ

▲種苗ノ配付 水稻種子ノ良否カ稻作上多大ノ影響アルヲ思ヒ他府縣又ハ縣立農事試驗場等ヨリ良種ヲ取り寄セ小作人中篤志家ニ分配シ之ヲ試作セシム

▲農事視察 明治四十二年以來毎年一、二回宛農閑ヲ利用シ小作人中ノ篤志家ヲ選抜シ旅費ヲ支給シ農事試驗場、農林學校模範農林業等ヲ視察セシメ其ノ見聞ヲ廣メ農業智識ノ啓發ニ努ム而シテ其ノ數既ニ百五十名ニ及ヘリ

▲講話會 毎年信用組合ノ總會又ハ其ノ他ノ集會ニハ知名ノ學者又ハ縣當局者及有德ナル僧侶ヲ聘シ講話會ヲ催シ精神修養及農業智識ノ發達ニ資セシム

▲其ノ他事項 農事講習會ニハ小作人中相當ナルモノニ對シテハ專ラ勸誘シ又小作人ノ一家ノ大事起ルトキハ協議ニ參加シ又子弟ノ不心得者ヲ生シタルトキハ親父ニ代リ之ニ訓戒ヲ與ヘ又小作人間ニ紛擾アルトキハ勞費ヲ厭ハス調停融和ニ盡力ス

興農會々々則

第一章 總則

第一條 本會ハ興農會ト稱ス

第二條 本會ノ事務所ハ福井縣坂井郡高椋村一本田第二十三號一番地ニ設置ス

第三條 本會ハ山田家所有ノ土地ヲ支配シ又ハ管理スル者及小作スル者ヲ以テ組織ス

第四條 本會員ヲ分ツテ左ノ二種トス

一 正會員 二 賛助員

正會員ハ第三條ノ規定ニ該當シ且興農信用組合及興農共濟會ニ加入シ居ル者ヲ以テシ賛成會員ハ第三條ノ規定ニ該當スルト雖モ未タ信用組合及共濟會ニ加入セサル者ヲ云フ信用組合ノ加入豫約者ハ組合員ト見做ス

第五條 第三條ノ規定ニ該當セサル者ト雖モ山田家ノ所有地アル部落ニ住居シ且信用組合及共濟會ニ加入シ居ル者ハ山田家ノ承認ヲ經テ賛成會員タルコトヲ得

第六條 本會ハ農業ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トシ左ノ事業ヲ行フ

- (一) 農業技術ノ進歩改善ニ關スル諸事業
- (二) 農家經濟ノ發達ニ關スル諸事業
- (三) 農家隣保ノ親睦ニ關スル諸事業

第二章 役員

第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 顧問 若干名 幹事 若干名

第八條 本會々長ハ山田家主人之ニ當ル

第九條 會長ハ學識經驗アル者ヲ顧問ニ推薦ス

第十條 幹事ハ土地管理人中ニ就キ會長之ヲ囑託ス

但シ會長ニ於テ特ニ必要ト認メタル場合ニハ會員中ニ就キ前項以外ノ者ニモ之ヲ囑託スルコトヲ得

第十一條 幹事ハ會長ノ命ヲ受ケ會務ヲ處理ス

第十二條 幹事ノ任期ハ三箇年トス

但シ滿期再選ヲ妨ケス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第十三條 幹事ニシテ山田家土地管理人ノ囑託ヲ解キタルトキハ同時ニ其ノ資格ヲ失フモノトス  
第十四條 會長ハ農事上ノ設計調査ノ爲メ技術員ヲ選任又ハ囑託シ事務處理ノ爲事務員ヲ置クコトアルヘシ  
第十五條 本會ノ役員ハ凡テ名譽職トス

第三章 會議

第十六條 本會々議ヲ分ツテ役員會及總會ノ二種トス  
第十七條 役員會ハ會長ニ於テ必要ト認メタルトキ隨時ニ之ヲ開ク  
第十九條 總會ハ通常總會臨時總會ノ二種トシ通常總會ハ毎年春期ニ於テ開會シ臨時總會ハ會長ニ於テ必要ト認メタル時之ヲ開ク

第二十條 總會ニ於テ議決スヘキ事項左ノ如シ

- 一 前年度ノ事業及決算報告
- 二 本年度ノ事業經營方針及經費豫算
- 三 會則ノ改正加除
- 四 其ノ他重要ト認ムル事項

第二十一條 會議ノ招集ハ三日前ニ通知スルモノトス  
但シ緊急ノ場合ハ此ノ限ニアラス

第二十二條 會議ノ議案ハ會長之ヲ發ス

第二十三條 會議ノ議長ハ會長之ニ當リ會長事故アルトキハ出席員中ヨリ假議長ヲ互選スルモノトス

第二十四條 會議ノ決議ハ出席員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス  
但シ會議方法ハ普通議事法ニヨル

第二十五條 會議ハ凡テ全員ノ三分ノ一以上出席スルニアラサレハ開會スルコトヲ得ス

第二十六條 本會々議ニテ議決シタル事項ニシテ會員ニ周知セシムル必要アルモノハ會議後速ニ各幹事ニ通知スルモノトス各幹事ハ又遲滯ナク各部落ノ會員ニ傳達シ之ヲ實行セシムルモノトス

第四章 會計

第二十七條 本會事業及事務ニ關スル一切ノ經費ハ山田家ノ負擔トス

第二十八條 本會ニハ基本財産ヲ蓄積スルモノトス其ノ蓄積方法ハ別ニ之ヲ定ム

第二十九條 特定ノ目的ナキ寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ編入ス

第三十條 剰餘金ハ凡テ基本財産ニ編入ス

第三十一條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ初リ翌年三月三十一日ニ終ル

第五章 入會及退會

第三十二條 新タニ山田家所有地ノ支配人及管理人又ハ小作人トナリタル者ハ本會ニ入會スル義務アルモノトス

第三十三條 現ニ山田家所有地ノ支配人及管理人又ハ小作人トナリタル者ハ本會ニ入會スル義務アルモノトス

第三十四條 現ニ山田家所有地ノ支配人又ハ管理人ニシテ其ノ囑託ヲ解カレ又小作人ニシテ其ノ小作契約解除トナリタル場合ニハ何レモ當然退會シタルモノト見做ス

第三十五條 左記事項ノ一ニ當ル者ハ之ヲ除名ス

- 一 頑迷ニシテ事理ヲ辯セス農事改良ノ妨害ヲナスモノ
- 二 業務怠惰ニシテ農家タルノ資格ナキ者
- 三 本會事業ノ進歩ニ對シテ妨害ノ行爲アル者
- 四 前各項外ニ於テモ特ニ役員會ニ於テ除名ノ必要ヲ認メテ其ノ決議ヲナシ且會長ニ於テ之ヲ承認シタル者

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第六章 附 則

第三十六條 本會々則ノ更正加除ハ總會ノ決議ニヨル  
第三十七條 本會事業執行ニ關スル諸規程ハ會長コレヲ定ム

興農共濟會々則

第一章 總 則

第一條 本會ハ興農共濟會ト稱ス  
第二條 本會ノ事務所ハ福井縣坂井郡高椋村一本田二十三號一番地ニ設置ス  
第三條 本會ハ山田家所有ノ土地ヲ支配シ又ハ管理スル者及小作スル者ヲ以テ組織ス  
第四條 本會々員ヲ分ツテ左ノ二種トス

一 正 會 員

二 賛成會員

正會員ハ第三條ノ規定ニ該當シ且興農信用組合ニ加入シ居ル者ヲ以テシ賛成會員ハ第三條ノ規定ニ該當スルト雖未タ信用組合ニ加入セサルモノヲ云フ  
信用組合ノ加入豫約者ハ組合員ト見做ス

第五條 第三條ノ規定以外ノ者ト雖山田家ノ所有地アル部落ニ住居スル者ニシテ本會ノ主旨ヲ賛シ加盟ヲ申込ムトキハ賛成會員タラシムルコトアルヘシ

第六條 本會ハ會員及其家族ノ疾病死亡罹災等ニ對シテ慰問救濟ヲ爲シ相互ノ親睦ヲ圖ルヲ目的トナス

第二章 事 業

第七條 本會ノ施行ス可キ事業概目左ノ如シ

一 會員及其ノ家族ノ疾病ニ對シテ慰問ヲナスコト

二 會員及其ノ家族ノ死亡ヲ吊フコト

三 會員住戸ノ火水災其ノ他ノ罹災ニ對シテ救濟ヲ爲スコト

第八條 前條事業ノ執行ニ關スル規程ハ別ニコレヲ定ム

第三章 役 員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會 長 一 名 幹 事 若干名

第十條 會長ハ山田家主人コレニ當ル

第十一條 幹事ハ興農會幹事ヲ以テコレニ當ツ

第十二條 本會ハ囑託醫ヲ置クコトアルヘシ

第十三條 本會ノ役員ハ總テ名譽職トス

第四章 會 議

第十四條 本會々議ヲ分ツテ役員會及總會ノ二種トス

第十五條 役員會ハ會長ニ於テ必要ト認メタルトキ隨時ニコレヲ開キ本會諸般ノ事ヲ協議シ且實行ノ任ニ當ルモノトス

第十六條 總會ハ正會員ヲ以テ組織ス

但シ賛成會員ノ傍聴ヲ妨ケス

第十七條 總會ハ左記事項ノ議決ヲ要スル場合ニコレヲ開ク

一 會則ノ改正加除ヲ要スル場合

地主ノ農事ニ關スル施設事例



二 役員會ニ於テ總會ノ招集ヲ必要ト認メタル場合

第十八條 前年度ノ事業及決算報告其ノ他事業ノ方針經費豫算等ニ關シテハ興農會總會ノ場合ニ報告スルモノトス

第五章 會費及會計

第十九條 本會々員ハ會費トシテ前年十一月三十日限り玄米一升宛ヲ納付スルモノトス

但シ新加入者ハ金二十錢ヲ融出スルモノトス

第二十一條 山田家ニ於テハ會員全般ヨリ融出シタル總額ト同額ヲ本會ニ寄附スルモノトス

第二十二條 特定ノ目的ナキ寄附ハコレヲ準備金ニ蓄積スルモノトス

第二十三條 剩餘金ハ其ノ半額ヲ準備金ニ蓄積シ半額ヲ翌年度ニ繰越スモノトス

第二十四條 本會ノ會計年度ハ曆年度ニヨル

第六章 入會及退會

第二十五條 入會及退會除名ニ關スル規定ハ縣農會則ニ準據ス

第二十六條 退會者ハ本會ノ財産ニ對シテ何等ノ權利ヲ有セス又新入會者ハ從來ヨリノ會員ノ同様ナル權利ヲ得

ルモノトス

第二十七條 本會々則ニ關シテ疑議ヲ生シタル場合ハ會長コレニ決定ス

但シ役員會ノ意見ヲ徵スルヲ妨ケス

興農共濟會事業施行細則

本會々則第七條ニ基キ事業施行ノ細則ヲ定ムル左ノ如シ

第一條 會員及家族ノ疾病慰問ノ場合及方法ハ左ノ如シ

一 丁年以上六十五歳以下ノ勞働者ニシテ三十日以上ノ疾病ニ罹リ就褥シテ業務ニ就事シ能ハサル者ニハ金三圓以内ノ慰問金ヲ贈與スルコト

二 十五歳以上丁年以下及六十五歳以上ノ者ニシテ前項ノ條項ニ該當スル者ニハ金一圓以内ヲ贈與スルコト

第二條 死亡ノ際ノ弔慰金ハ左ノ如シ

一 戸主及配偶者ノ死亡ニハ弔慰金二圓(戸主幼年ナル時ハ親權者ヲ戸主ト見做ス)

二 其ノ家族ハ金壹圓但シ二歳以上十歳以下ノ者ニハ三十錢トス

第三條 前條ノ規定ハ戸籍上家族ト雖現ニ會員ト住居ヲ問フスルモノニアラサレハ適用セス

第四條 水火災其ノ他ノ罹災ノ場合ニ於ケル見舞金ヲ定ムル左ノ如シ

一 火災ノ場合ニハ全燒者ニ金五圓以内半燒者ニハ金二圓五十錢以内ノ見舞金ヲ贈與スルコト

本項ノ場合ニハ出火ノ原因ヲ調査シ其ノ事情ノ如何ト類燒者ノ有無トヲ斟酌シテ贈與金額ヲ定ムルモノトス

若シ出火ノ原因カ惡意又ハ重大ナル過失ナル場合ニハ全然見舞金ヲ贈與セサルモノトス

二 自己所有ノ家屋ニアラサル場合ハ前項ノ半額以内トス

三 水災ノ場合ニ全戸浸水シタル場合ニハ金一圓以内半浸水ノ場合ニハ金五十錢以内ノ見舞金ヲ贈ルコト

四 震災風災ノ場合ニハ前三項ノ事例ヲ適用ス

第五條 第一條及第四條ノ規定ハ一家ノ貧富家屋ノ大小ニヨリ斟酌ヲナスモノトス

第六條 第一條及第四條該當ノ事項執行ニ際シ會長ニ於テ必要ト認メタル場合ハ幹事ニ於テ二名以上五名以下

ノ査定委員ヲ指名シコレニ諮詢シ其ノ金額ヲ決定ス

但シ會長ニ於テ事重大ト認メタル場合ニハ役員會ヲ開會シテコレヲ諮詢スルモノトス

第七條 本則ニ疑義ヲ生シタル場合ニハ會長コレヲ決定ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

### 上田虫七郎氏ノ施設

今立郡服間村折飯

氏ハ小作人ヲ勸奨シ其ノ發奮ヲ促スヲ以テ米作改良業中最モ必要ノコト、認メ明治二十年來小作米審査ヲ行ヒタリ其ノ方法ハ米質、光澤、乾燥、稻種及調製等ニ就キ其ノ等級ヲ甄別シ各等級ニ應ジテ獎勵金ヲ交付ス其ノ額ハ一等米一俵ニ付米二升、二等米同一升五合、三等米同一升、四等米同五合ニシテ尙十一月十五日迄ニ皆納シタル者ニハ更ニ每五合ツ、ヲ支給ス又明治四十年ヨリ小作人積立金ノ方法ヲ設ケ小作人ヨリ卸米一俵ニ付金三錢ヲ出金セシメ之ヲ積立ツルコト、セリ而シテ小作米納入ノ際一等米ニ該當シタル者ニハ一俵ニ付金二錢(積立金ノ七分)二等米ニ該當スル者ニハ金一錢(積立金ノ三分)ヲ與ヘ之ヲ特別賞與トシテ小作人ヲシテ益々米質改良ヲ實行セシムル所アラシメントセリ明治四十年ニ於ケル積立金ノ總額ハ金二十六圓二十二錢ニ達セリ

同氏ハ前記小作人ニ對シ獎勵金ヲ與フルノ外總テ農事ニ對シ最モ熱心ニシテ苗代田ノ検査ヲ始メトシ毎年所有ノ耕地ヲ巡回シ以テ小作人ヲ獎勵シ害虫發生ノ際ノ如キ特ニ其ノ驅除ニ盡力スルノミナラス同氏ハ害虫發生ノ兆候アルト否トニ拘ハラヌ毎年耕作人ニ對シ石油ヲ給與シ必ス數回之ヲ撒布スルヲ以テ行事ト爲サシメ居レリ同氏ノ言フ所ニ依レハ浮塵子ノ如キ比年多少ノ發生ヲ見サルハナク其ノ發生ノ著シキニ際シ始メテ驅除ニ着手スルカ如キハ時已ニ後ル、ヲ常トス故ニ發生ノ如何ニ拘ハラヌ石油ヲ撒布セシムルコト、爲シ居ルモ其ノ利益ハ失費ヲ補フテ餘リアルハ年來ノ經驗ニ徴シテ明ナル所ナリト又同氏ハ郡内四ヶ所ニ試作所ヲ設ケ肥料及種類試驗ヲ爲シ其ノ成績ヲ公衆ニ示スカ如キハ最モ著シキ事績ニシテ其ノ他毎年一回小作人ヲ集メ一夕ノ響應ヲ爲シ耕作上ノ勞ヲ慰スルト同時ニ講師ヲ他ヨリ聘シテ農事上ノ講話ヲ聽カシムル等地主小作人間ノ圓滿ヲ圖ル上ニ於テ盡力淺カラス是ヲ以テ同人ハ藍綬褒章ヲ下賜セラレタリ

### 富山縣

#### 陸田九左衛門氏ト信用組合

氷見郡窪村

氏ハ小作人ヲ保護スル爲明治四十一年以來湖光組合ナルモノヲ設ケ毎月金三十錢宛ノ不動貯金ヲ蓄積セシメ自己モ亦多額ノ資金ヲ醸出シテ之ヲ低利ニ貸付シ以テ肥料購入資金、舊債償還等ニ充テシメ其ノ功績見ルヘキモノアルニ至レリ而シテ該組合ハ明治四十四年其ノ組織ヲ信用組合ニ革メ同時ニ内容ヲ擴張シテ組合員ハ自己ノ小作人ノミニ限ラス村内小農者ヲ悉ク加入セシムルコト、シ現ニ其ノ積立金ハ二千有餘圓ニ達シ目下肥料共同購入ヲ爲シツ、アリ

### 鳥取縣

#### 石原以波保、山根治平兩氏ノ施設

西伯郡日吉津村

石原波保氏ハ明治三十九年度ヨリ小作人ノ一部タル大和村大字佐陀村ニ小作組合ヲ設置シ肥料トシテ田一反歩ニ付金二圓ノ當リヲ以テ毎年五月ニ貸付ケ十一月迄無利子トシテ金融ヲ助ケ又四十年度ヨリ小作人一同ニ對シ農事獎勵ノ爲小作米品評會ヲ自邸ニ開設シテ品位ヲ評シ賞品ヲ與ヘテ獎勵シ爾後毎年之ヲ開クノ計劃ヲ立テタリ

山根治平氏ハ明治三十五年度ヨリ小作人中薄資力ノ者三十名内外(年ニヨリテ差アリ)ニ一名ニ付金十圓ツ、毎年五月ヨリ十二月迄無利息ニシテ貸與シ肥料又ハ農具ノ購入耕牛借費等ニ當テシメツ、アリ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

### 近藤喜兵衛氏ノ施設

日野郡根雨村

同郡米澤村大字宮市村字宮市原ニ田約十五町歩ヲ有シ住宅ヲ貸與シテ小作人ヲ移住セシメ目下小作人十戸ニ及フ而シテ是等小作人ノ保護トシテ小作人カ要スル人造肥料ハ插秧當時之ヲ貸與シ秋期小作米納付ノ際其ノ代價ヲ返還セシメ尙ホ一昨年四十二年ヨリ小作米品評會ヲ開設シ優良ナルモノニ對シ授賞シ來レリ其ノ結果該部落ノ産米ハ大ニ改良セラレタリ

### 川上精祐氏ト小作米品評會

日野郡江尾村

氏ハ該地方ニ於ケル大地主ニシテ明治四十二年來同村大字江尾宿ノ小作人四十名ノ納入セシ小作米ニ付品評會ヲ開設シ小作米納入高ニ依リ四級ニ(即チ)一十石以上ヲ納ムルモノ(二)十石未滿六石以上ヲ納ムルモノ(三)六石未滿四石以上ヲ納ムルモノ(四)四石未滿ノモノ)區別シ各級ヨリ最優良米ヲ納メタル者一名(四石未滿ニツキテハ二名)ヲ選ミ授賞ヲ行フ而シテ舉式ハ地主宅ニ小作人全部ヲ集メ酒食ヲ饗シ且ツ審査長ヲシテ審査成績改良スヘキ要點等ヲ説明セシム之カ爲地主小作人間ノ關係ハ益々圓滿トナリ且ツ米質モ大ニ改良セラレタリ

### 島根縣

### 長谷川定十氏ト小作米品評會

八東郡玉湯村大字玉造

米穀改良ト小作人保護獎勵ノ目的ヲ以テ明治二十三年始メテ小作米品評會ヲ開設シ審査員ハ小作人中ヨリ指名シ或ハ他ヨリ農事熟練ノ者ヲ招聘シ審査ノ上階級のニ賞品ヲ與ヘ爾後年々繼續シ來リ稍改良ノ緒ニ就キタリ而シテ明治廿八年日清戰捷ノ紀念事業トシテ更ニ方法ヲ確立シ普通品評會ノ如ク最良品ノミヲ撰ハスシテ全體ノ實効ヲ所期シ品評米ハ小作人毎ニ其ノ納米品位ノ平均ヲ得ルタメ毎俵ニ就キ出品セシメ尙審査員ハ專ラ獎勵的ニ小作人中ヨリ互選ヲ以テ選出セシメ納米額ノ多少ニ依リ品評米ヲ數組ニ區別シ一組毎ニ審査シ總數ノ折半數以上ノ等級ニ當ルモノヲ以テ普通米以上ノ勉勵ト見做シ之ヲ各受賞者ト定メ賞品ハ勤儉貯蓄ノ趣旨ニ基キ農具ヲ改メテ郵便貯金通帳ト爲シ爾後毎年實行シツ、アリ故ヲ以テ大ニ小作人ノ獎勵トナリ漸次米穀ノ品位ヲ改良スルコトヲ得近年松江ノ市場ニ於テ米商間ニ好評ヲ博シタルニ由リ現米品位ノ調ヲ要セスシテ毎年一等米ノ價格ニ買收セララルニ至レリ

### 横井啓之助氏ノ施設

八東郡法吉村大字比津

各小作人ニ對シテ其ノ小作地一反歩ハ必ス試作地トナサシメ之ニ要スル過磷酸ヲ無代配付シ又稻種モ農會技手ノ出張ヲ乞ヒ其ノ指導監督ヲ以テ精撰シタルモノヲ配付シ栽培法ヨリ病蟲害ノ驅除豫防等ニ至ル迄凡テ指示ニ從ハシメ時々其ノ試作地ヲ巡視シ秋收後ハ一々其ノ成績ヲ報告セシメ善良ナル結果ハ之ヲ小作人ニ示シテ農事改良ノ必要ヲ喚起セシム又同區青年者農友會員ヲシテ田一反歩畑七畝歩ヲ模範試作地トナサシメ特ニ小作料ヲ輕減シ堆肥場ヲ建設シ堆肥製造普及ノ指導獎勵ノ任ニ當リ其ノ他二毛作ヲナサシメ又資金ヲ無利息ニテ貸與スル等大ニ保護ヲ與フ尙大字比津ノ田地ハ大概濕潤ニシテ深田ト稱シ畦畔ノ維持サヘ困難ナル個所モアリキ殊ニ完全ナル河川ナキ爲メ降雨ニ際シ浸水數日ニ及ヒ稻ノ生育ヲ害シ收穫ヲ減スルノミナラス二毛作ノ如キハ殆ント見ルコトヲ得サルヲ遺憾トシ一大決心ヲ以テ之カ整理ヲ爲サンコトヲ欲シ自ラ發起者トナリ各地主ニ就キ戸毎ニ説キ或ハ集會ニ談シ遂ニ地主全體ノ同意ヲ得テ之カ議ヲ決スルニ至リ工事施行中ハ委員長トナリテ一意専心其任ニ當リ此

地主ノ農事ニ關スル施設事例

ノ大工事ヲ圓滿ニ竣工セシメタリ其ノ効果ハ一々枚舉ニ遑アラスト雖モ耕作ノ便利土質ノ改良作物ノ增收及二毛作ノ栽培等其ノ主ナルモノニシテ大ニ小作人ニ利益ヲ與フルニ至レリ

### 並河理二郎氏ト小作青年會

能義郡安來町

同氏ハ農事ノ改良發達ヲ圖ラシメカ爲個人トシテ自己ノ小作人中ノ子弟ヲ以テ小作青年會ヲ組織シ米穀俵裝ノ改良害虫ノ驅除其ノ他農事ノ改良ヲ獎勵シツ、アリ其ノ會則左ノ如シ

#### 並河家小作青年會々則

##### 第一章 名稱、目的、事業

第一條 本會ハ並河家小作青年會ト稱シ本部ヲ安來町本並河店ニ設ケ支部ヲ各村支配人ノ許ニ設ケ

第二條 本會ハ並河小作人ヲ以テ組織ス

第三條 本會ハ並河小作人ノ共同一致心ヲ養成シ地主トノ和合ヲ計リ農事ノ改良普及發達ヲナシ善良ノ農民ヲ求ムルヲ以テ目的トス

第四條 本會ハ第三條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ施行ス

一 毎月一回集合シテ會員相互ノ智識ヲ交換シ或ハ先輩ノ意見ヲ聞ク事

二 農事ニ關スル講話共進會品評會競技會及稻苗交換會ニ關スル事

三 種苗種畜蠶種肥料農具等ノ改良及交換分配ニ關スル事

四 農事ニ關スル試驗調査及農事ノ模範ニ關スル事

五 動植物ノ除害及保護ニ關スル事

六 農地ノ整理、開墾、耕耘、澆灌、排水及農産、畜産、蠶業、林業ニ關スル事  
七 農家ノ貯蓄及副業ニ關スル事  
八 農家青年ノ風紀改善ニ關スル事

九 毎月一回會報ヲ發行シ會ノ狀況及農事ニ關スル名家ノ講話及雜誌ノ摘録ヲ掲載シ配布スル事

一〇 農事及農政ニ關スル書籍雜誌ヲ購讀スルコト

一一 各農會ト聯絡ヲ取り農事ノ改良ヲ勉ムルコト

一二 前各項ノ外農事ノ改良發達上必要ナル事項

##### 第二章 會員

第五條 本會々員ハ左ノ如シ

一 通常會員 並河小作人及其ノ家族ニシテ滿三十歳以下十七歳以上ノ青年タルコト

一 名譽會員 並河家ニ關係アル人、並河家番頭、各村支配人、學識アルモノ又ハ老練ナル知名ノ人

一 特別會員 三十歳以上ノ小作人

##### 第三章 會費

第六條 本會ハ通常會員ヨリ毎月金五錢宛會費トシテ徴收スルコト

第七條 本會ノ會費及寄附金ハ總裁ニ預ケ總裁ヨリ銀行預金トナシ必要ノ場合引出スモノトス

##### 第四章 役員

第八條 本會役員左ノ如シ

總裁 一名 會長 一名 副會長 一名

幹事 二名 支部長 數名 支部幹事 數名

地主ノ農事ニ關スル施設事例

評議員 數名 世話係 數名

第九條 役員ノ年限ハ二ヶ年トス但シ重任スルコトヲ得

第五章 雜 則

第十條 本會々員ニシテ不正ノ行爲アルトキハ集會ノ際之ヲ矯正ス

第十一條 會則ノ變更本會ノ解散等ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

### 澤田潤一氏ノ施設

能義郡山佐村

同氏ハ小作人ニ對シ左記ノ方法ヲ以テ保護獎勵ヲ爲セリ

▲土地ノ改良 小作田(濕田)ニ對シ單獨排水ヲ施行セリ其ノ方法ハ斯業ノ經驗者ヲシテ巡視セシメ之カ設計ヲ爲シ其ノ工事ハ冬季農閑ニ於テ小作人ヲ使役セルヲ以テ婦女子モ應分ノ賃金ヲ得自己ノ生計ヲ扶ケ一面土地ノ生産力ヲ増ス等其ノ利益尠カラス

▲資金ノ融通 大字西谷勉益會ヲ與シ小農ノ肥料購入ニ對シ其ノ部落共有金ヲ低歩ヲ以テ貸與シ小農者ノ最モ困難ナル施肥上ニ於ケル金融ノ便ヲ圖レリ

### 田部長右衛門氏ト稻穂品評會

飯石郡吉田村

同氏ハ郡内ノ大地主ニシテ所有耕地郡ノ内外二十六ヶ村ニ跨リ小作戸數九百四十二戸耕地反別三百九十九町餘步地價八萬三千四百餘圓有セリ而シテ自己ト小作人トノ圓滿ヲ圖リ併セテ小作人獎勵ノ目的ヲ以テ明治二十二年田部私立稻穂品評會ナルモノヲ創設セリ既往十九年間ニ於テ二十七、八ノ兩年ハ不得止支障アリテ休會セルヲ以テ昨四十年ニ於テ第十七回ニ及ヘリ同會

ハ小作人ヨリ稻株ヲ出品セシメ縣郡技術者及地方老農ニ審査ヲ托シ其ノ優劣ヲ判シ授賞スルコト、セリ尙當日ハ各種ノ畑作物モ出品セシメ之ヲ參考ニ供シ農談會ヲ催シテ智識ノ啓發ヲ努メ交換ヲナサシムル等數多ノ施設ヲナセリ其ノ結果ハ當初本施設ヲ以テ小作料ヲ増徴セラル、ノ材料ニ供セラル、モノナラントノ疑惑ヲ抱クモノ往々アリシモ漸次星霜ヲ經ルニ從ヒ其ノ趣旨ノ存スル處ヲ會得シ近年ニ至リテハ進ンテ出品スルニ至レルノミナラス相互親密ノ度ヲ高ムルト同時ニ漸次耕作種類ノ統一ニ傾ケルト米質ノ良好ニ赴ケルトハ共ニ納米ニ一段ノ進歩ヲ致シツ、アリ是主トシテ品評會ノ効果ニ外ナラスト察セラル品評會ノ出品手續並ニ審査方法ハ左ノ如シ

(一)出品手續 小作人ハ自己ノ耕作セシ稻一種類ニ對シ四株ヲ採取リ乾燥セシメ之ヲ其ノ年十一月一日ヨリ同月十五日頃迄ニ出品セシム

但シ一人ニシテ數種ヲ出品スルモ妨ケナシ

#### (二)審査ノ方法

一 前項ニヨリ出品シタルモノヲ一室ニ聚集メテ專門ノ技師若クハ技手ヲ備聘シテ審査委員長ト爲シ委員ニハ斯道ノ老練家ヲ擧ケ以テ丁寧ニ比較審査ヲ爲シ等級ヲ付セシム

二 四株ノ内一株ハ米ト爲シテ米質審査ノ資ニ供シ餘ノ三株ハ草丈分蘗ノ整合收量ノ査定等即チ外貌ノ審査ニ供シ併セテ出品人ノ住所氏名等級ヲ記載シ之ヲ式場ニ陳列シ衆庶ノ縦覽ニ供スルモノトス

三 出品物ニハ出品臺帳ニ記セル番號ヲ付シタル木札ノミヲ付セシメ置キ審査委員ニハ其ノ何某ノ出品物ナルヤハ知了セシメサルコト

四 草丈穗ノ整合分蘗ノ多少ヲ合セテ六十點米質收量ヲ合セテ四十點トシ合計百點ヲ以テ滿點トス而シテ總點數八十五點以上ヲ一等六十五點以上ヲ二等四十點以上ヲ三等二十一點以上ヲ四等其ノ以下ヲ等外トス

(三) 賞品ハ一等賞鎌二枚二等賞鎌一枚三等賞盃一個四等賞袋狀トス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

### 齋藤勝廣氏ノ施設

美濃郡豊田村大字梅月

同氏カ小作人保護其ノ他ニ就キテ施設セル事業ノ顯著ナルモノハ左ノ如シ

▲小作米品評會 小作人獎勵ノ一手段トシテ毎年小作人ヨリ納付シ來ル掛米ノ内幾分ヲ拔キ取り置キ左記ニ依リ小作米品評會ヲ開ク

- (一) 審査方法 各一定量ヨリ屑米ヲ選出シ屑米ノ量目ヲ秤リ歩合ノ多少ニ依リ等級ヲ附ス而シテ審査員ハ小作人中ヨリ選定ス
- (二) 賞品 一等玄米一斗乃至一斗五升二等鎌三等手拭四等マツチ五等褒狀トス
- (三) 審査ノ結果 一等トナルモ其ノ掛米高少キモノハ一斗以内ノ賞品ヲ授與スルコトアリ
- (四) 賞品授與ノ方法 審査了リタル後日ヲ定メ(凡毎年一月二日)陳列シ之ヲ小作人ニ縦覽セシメ併セテ賞品ノ授與ヲ行ヒ實業家及學術經驗アル人士ヲ聘シテ講話ヲ請ヒ最後ニ左ノ標準ニヨリ小作人ヲ響應ス

小作人一人ニ付酒ニ合酢飯ニ合其ノ他蔬菜料理凡三品

▲耕牛ノ貸與 平素農業ニ勉勵スルモノニシテ耕牛ヲ購フ力ナキモノ及田畑ヲ開拓セントスルニ當リ夫食ナキモノニハ耕牛或ハ米穀ヲ貸與シ又赤貧者ニシテ農事ヲ勉勵スルモノニハ米穀ヲ給與ス

▲小作條件 小作人ニシテ左ノ條件ヲ遵守シ實行セサルトキハ如何ナル凶年ニ遭フモ掛米ヲ減少セス

- 一 稻種ヲ立毛ニテ採種シ後鹽水撰ヲ行フコト
- 二 苗代ハ三尺巾ノ短冊形ニ施設スルコト
- 三 插秧ノ距離及一株ノ本數ハ其ノ土地ニ付試作ノ上定ムルコト
- 四 肥料ハ一反歩ニ付厩肥三百貫燒土五十貫若クハ木灰二十貫ノ割合ニ施スコト

▲肥料ノ獎勵 燒土肥料ノ施用ヲ勸メ燒土小舎ヲ建築スルモノニハ材木及瓦代トシテ小作人一户ニ付金七圓ヲ補助シ尙ホ磷酸肥料ノ効能ヲ説キ其ノ施用ヲ獎勵シ耕地整理地ニ對シテ毎年一反歩ニ付五貫匁ツ、ノ磷酸肥料ヲ給與ス

▲地主及小作人ノ共同造林 凶荒豫備ニ供シ傍ラ地主小作人間ノ親密ヲ永遠ニ保持センカ爲明治三十七年着手左記方法ニ依リ地主及小作人共同造林ヲ爲セリ

- 一 造林反別ハ左記ノ通りニシテ該山地ハ掛米ヲ徵セス公租ハ一切地主ニ於テ負擔ス
  - 反別七反二十九步豊田村大字梅月、同五反歩同村本保賀、同四反歩同村左ヶ山
  - 二 造林樹木ノ種類ハ杉檜トス而シテ造林ニ關スル監督ハ主トシテ地主ニ於テスルモ各大字ヨリ世話係二名宛小作人中ヨリ抽籤ヲ以テ選定シ其ノ取締ヲ爲サシム世話人ニハ執務日當一日金二十五錢ヲ給シ該費ハ小作人ヨリ之ヲ徵收ス又苗木費ハ小作人ノ負擔トシ各出夫シテ植付ヲナセリ
  - 三 全反別ノ五分ヲ五十年目殘部ヲ六十ヶ年目ニ伐採シ其ノ跡地ハ前記方法ニヨリ直ニ植付ヲナスモノトス但シ五十年以内ト雖モ非常ノ凶年ニシテ種穀皆無ノ如キ場合ニ於テハ協議ノ上幾分伐採ス又一個人トシテ他ニ轉住スルカ一家病氣或ハ不時ノ災難ニ罹リ生計ノ目途立チ難キ場合ハ協議ノ上現在ノ立木總數ヲ平均ニ分配シ其ノ得分ノ内上木三本ヲ地主ニ納メ其ノ他ヲ伐採セシム
  - 四 五十年若クハ六十年ニシテ伐採樹木ヲ賣拂タルトキハ代金ノ内ヨリ地主ニ公租ヲ支拂ヒ其ノ殘部ハ全部共同資金トシ利倍増殖ヲ計ルタメ地主ヨリ確實ナル銀行へ預ケ入レ地主ハ世話人ニ預リ證ヲ入レ置ク爾後五十年及六十年目毎ニ伐採シ前記ノ方法ニ依リ造林スルモノトス
- ▲俵裝改良ノ獎勵 米俵裝ノ改良ハ縣令ヲ以テ制定サレアルモ多年ノ習慣上一時ニ之ヲ改ムルハ困難トスルモノアリ故ニ其ノ普及ノ一策トシテ各小作人ニ納米一俵ニ付金三錢ツ、俵調製費ノ補助ヲ爲ス

## 渡邊新太郎氏ノ施設

三百三十四

海士郡海士村

同氏カ小作人保護其ノ他ニ就テ施設スル事業ノ顯著ナルモノ左ノ如シ

▲農事ノ改良獎勵 明治十三年畑五畝歩ニ麥ノ試作ヲ開始シタル當時一般農業上ニ智識ナク種類耕耘肥培共ニ粗放ヲ極メ種子ノ如キハ一反歩殆ト貳斗ヲ播下スル状態ナリシヲ以テ専ラ種類ノ改良薄蒔ノ方法等ヲ試作指導シ新種ヲ配付シテ之カ栽培ヲ獎メタリ而シテ明治二十六年ヨリ更ニ試作場ヲ擴張シテ畑一反歩田一反歩ヲ之ニ充テ技能アル農夫ヲ出雲國八束郡ニ索メ農事試驗場ノ成績ニ基キテ試作ヲナシ其ノ成績ヲ示シ嶄新ナル農具ヲ購入シテ使用ヲ促シ又堆肥場水肥貯藏所ヲ作リテ模範ヲ示シ孜々トシテ機マズ約三十年間繼續シテ今日ニ及ヘリ爲ニ本部落ハ隱岐島ニ於テ最モ農法ノ進歩發達ヲ見ルニ至レリ

▲農家弊風ノ矯正 本部落ハ農業兼漁業者ニシテ只管大漁ヲ夢想シテ遊惰ニ耽リ勤儉ノ風ニ乏シキヲ憂ヘ明治二十六年出雲國八束郡ヨリ農事ニ熱心篤實ナル模範農夫ヲ備ヒ一面試作場ヲ管理セシムルト共ニ勤勞ノ仕振農閑ノ作業ヲ實見セシメ之ヲ以テ反省改善ヲ促シ爾來十五年間繼續セシカ勤勉ノ風ヲ養成シ大ニ實力ノ程度ヲ高メタリ

▲其他ノ施設 地主ト小作人トハ其ノ情誼圓滿ニシテ主從親子ノ美風ヲ保テ命令能ク行ハレ恰モ一家庭ノ如ク小作人ノ子弟ニシテ學術優秀ナル者ニハ學資ヲ與ヘテ更ニ高等小學校或ハ地方農學校ニ入學セシメ人物養成ヲ圖レリ又明治三十年以來貧民ニシテ耕牛ヲ有セサル者ニハ之ヲ貸與飼育セシメ尙ノ其四分ノ一即足一本ヲ與ヘテ牛ヲ愛スルノ念慮ヲ増サシムルト共ニ其ノ收入ヲ助ケ或ハ米麥立毛品評會ヲ開キテ競作ヲ獎メ篤農ヲ表彰シテ勤勞ヲ促シ德風ヲ涵養スルノ目的ヲ以テ養德會ヲ起シテ専ラ風俗ノ改善ニ務メ華ヲ去リ實ニ就キ以テ平和淳朴ナル農村ヲラシメンコトヲ期ス

## 古和同族米作改良會

那賀郡波佐村

同會ハ明治三十八年七月那賀郡波佐村古和文一氏ノ發起ニヨリ同族佐田謙三、古和忠生、古和右吉郎ノ四氏共同組織セルモノニシテ德義ヲ重レシ節儉ヲ守リ實踐ヲ主トシ形式ニ流レズ忠實ニ米作ノ改良ヲ爲スルヲ以テ主眼トナセルモノナリ其ノ小作人保護等ノ狀況ハ左ノ如シ

### ▲小作人ノ保護獎勵

- 一 小作人ハ數十年間一日ノ如ク農事ニ從事シ品行善良他ノ模範トナル可キ者ハ之ヲ賞與ス
- 二 農作不良ノ年ニ檢見ヲ受ケシテ掛米ヲ皆濟シタル者ハ凡ソ納米一石ニ付金十錢以上ノ割合ニ依リ酒肴料トシテ金員ヲ惠與セリ
- 三 凶年ノ場合ニハ檢見等ノ如何ニ關セズ米麥食鹽甘藷其ノ他飲食物ヲ施與セリ明治二年同三十五年同三十六年同三十八年ニ施肥セシハ其ノ一例ナリ
- 四 米作不作ノ時ハ小作人鎌入前檢見申出ノ時ニ限り實地檢査ノ上ハ相互ノ契約ニ平均ノ場所トアレトモ其ノ小作地ニ依リシ一家ノ生計ヲナスモノナレハ平均以下ノ場所ヲ見計ヒ一坪ノ蒔試ミヲナシ生糶ヲ得是ヲ干糶ニ換算ス(干欠ハ蒔試ミノ時期早晚及蒔試日ノ晴雨ノ模様ニ依リ百分ノ五ヨリ百分ノ二十迄ノ干欠ヲ引去リ殘干糶ヲ得)干糶百分ノ二十ヲ小作人ノ收益トシテ引去リ殘百分ノ八十ヲ地主ノ收納トシ右百分ノ八十中ニテ翌年ニ其ノ土地ニ必要ナル種糶ヲ引去リ殘額ヲ五割引トナシ之ニ總反別ヲ乘シ取立ツルモノトス例ヘハ年ニ一坪ニ生糶一升アリトシ内ニ合ヲ干欠トシ殘八合ヲ干糶トス其ノ内一合六勺ハ小作人ノ收益米トシ殘糶六合四勺ハ地主ニ收納スルモノトス是ヲ三二ノ法ト云フ
- 五 耕牛ハ無償ニテ貸與シ地主ニ於テハ更ニ所得スル所ナシ
- 六 郡村宅地及家屋ノ大部分ハ無料ニテ之ヲ貸與シ家屋新築ノ場合ハ其ノ費用ヲ地主ニ於テ負擔スト雖モ其ノ修繕等ハ小作人ノ負擔トセリ
- 七 小作人不幸ニシテ病災其ノ他災害ニ罹リタルトキハ可成救濟ノ方法ヲ講シ永續セシムルヲ以テ主眼トナシ數世其ノ地ニ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

三百三十五

住居セシムルノ方針ヲ探レリ

- 八 小作人一戸ニ粃六斗ヨリ一石六斗迄小作地ノ多少ニ應シ無利息ニテ每年半額宛交代ヲナシ其ノ取立置キタル粃ハ凶年ノ時是ヲ支出シ一時ノ急ヲ救フノ用トセリ
- 九 小作地ニ果樹ヲ栽培セシメ之ヲ小作人ノ所得タラシム
- 十 數年來ノ小作者ニ限リ米五升以下ノ飯料米ハ年ノ豐凶ニ依リ米一石ニ付平年作ナレハ金一圓凶年作ナレハ金二圓位安價ニ賣却シ來リシカ近年ハ小作人ニ限ラス波佐村住民ニ限リ一般ニ之ヲ實施セリ
- 十一 山林肥草山ハ田畑ノ附屬トシテ無料掛ケ渡シ其ノ生産物ハ田畑掛米金ヲ年々完納セシトキハ小作人ノ自由トナシ既ニ數世住居スル小作人中ニハ右掛地ノ山林ヨリ生産スル松杉其ノ他ノ材木ヲ以テ數十百餘圓ノ金ヲ得タルモノアリ或小作人ハ自己ノ掛地山林ニ數千本ノ杉ヲ植付ケ利益ヲ圖ルモノアリ假令地主ニ於テ入用ノ材木在リト雖モ相當代價ニテ買入レ取テ無代使用スルカ如キ事ヲナサス以テ小作人ヲ保護獎勵シツ、アリ
- 十二 凶年ニ備ヘ平常ハ夏草茹入肥料ヲ普及センカ爲豫備糧ナルモノヲ設ケ小作人耕作地ノ多少ニ依リ一戸粃三斗ヨリ八斗迄ヲ程度トシ無利息ニテ貸附ケ秋ニ際シ之ヲ返納セシメ置キ翌年草刈入ノ時期ニ至リ返納セシメ其ノ粃ヲ貸渡シ肥料取入レノ飯料ニ供ス

▲農事ノ獎勵 明治三十八年十二月戰後經營トシテ種粃ノ精撰及米質改良ヲ圖リ米收穫ノ増加ヲ圖ランカ爲波佐村内二十四箇所ノ簡易試作場ヲ設ケ地主ニ於テ農業ニ熱心ナル小作者十四名ヲ選定シ以テ其ノ試作ヲ爲サシメ傍ラ小作米品評會ヲ開設シ斯業ヲ獎勵セシカ明治四十一年ヨリ右試作ヲ中止シ更ニ一般小作ノ獎勵トシテ稻立毛品評會ヲ開設セリ

小作米品評會ノ出品ハ小作人ヨリ出品セシムルニ非スシテ掛米取立ノ際毎回約一合宛ヲ各別ニ取リ置キ小作米全部完納セシ時各自ニ番號ヲ附シ豫メ番號ニ依リ小作人出品名簿ヲ作り置キ其ノ番號ヲ記載セシ箱ニ入レ陳列シ小作人ヲシテ善良ト認ムル品ノ番號ヲ投票セシメ之ヲ完了セシトキ小作人總代立會ノ上開票シ投票ノ多數ヲ得タル其ノ番號ヲ以テ前記帳簿ニ依リ小作人氏名ヲ發表シ前表ノ賞品ヲ交附セリ賞品ニ反物類ヲ用フルハ米質改良ノ發達ヲ圖ルニハ婦女子ノ奮發ニヨラサルヘカラ

ス依テ女子ニ必要ナルモノヲ主トシテ之ヲ賞品トナセルナリ

- 二 戰後ノ經營トシテ居村持地内各所ニ散在シテ十數箇所ニ試作場ヲ設置シ稻作改良ヲ圖リ其ノ結果ノ良好ナルモノニハ賞品ヲ交付シ其ノ耕作方法ヲ小作人ニ普及セシムル方針ヲ探レリ
- 三 鹽水撰用鹽十俵ヲ買入レ小作人ニ(種粃ニ割當)配當シ地主及地所世話人ト共ニ出張シテ不殘鹽水撰ノ實行ヲナサシム其ノ小作地ハ波佐村高城村雲城村ノ三ヶ村ニシテ小作者百十九名ニ達ス而シテ此ノ鹽代金ハ十五圓八十錢ヲ要セリ
- 四 明治四十一年度稻立毛品評會ヲ開設シ那賀郡農會技手ノ出張ヲ請ヒ審査人七名ニテ實地ノ審査ヲ決了シ同郡波佐村永品寺ニ於テ褒賞ヲ授與セリ其ノ出品者ハ十三名ニシテ賞與ノ點數等左ノ如シ

等級	員數	金額	合計
一	一	一・二五〇	一・二五〇
二	二	一・〇〇〇	二・〇〇〇
三	一四	七五〇	一〇・五〇〇
四	一二	五〇〇	六・〇〇〇
五	一六	二五〇	四・〇〇〇
計	四五	一	二三・七五〇

前立毛品評會開催ノ紀念トシテ小作人八十六名へ苹果苗八十六本ヲ分配栽植セシム此ノ金額四圓七十三錢ナリ

五 排水及田區整理費トシテ左記ノ如ク金額及ヒ米穀等ヲ支出セシカ之カ成功ヲ告タルモ小作米ハ更ニ增收セス

年 度	金 額	米
明治四十年 度	一六七・〇〇〇	六・一二二
同 四十一年 度	八〇四・〇	九・〇五三

地主ノ農事ニ關スル施設事例



合 計

一七五・〇四〇

一五・一七五

六 邑智郡市木村ニ至リ小作人ヲ召集シ米作改良收穫増加ノ必要ヲ諭シ特農者ヘ金一圓外小作人ヘ酒肴料金一圓ヲ賞與シ又那賀郡高城、長安、黒澤、芦谷ノ各村ヲ巡回シ米作改良收穫増加勤勉貯蓄ノ必要ヲ諭シ黒澤村小作人ノ内農業出精者ヘ酒肴料金二圓五十錢ヲ賞與シタリ

七 毎年試作田苗代ノ成育挿秧ノ良否除草ノ精粗及試作地稻ノ歩刈等實地ニ就キ視察ヲナシ稻作ノ改良ノ獎勵指導ニ盡力セリ

八 試作者十四名ヲ集メ前年秋試作ニ關スル演說ヲナシ又試作者ニ於テハ三十九年米作上必要ナル事項ヲ相談シ終リテ酒肴ヲ饗シテ退散セシム

九 毎年一月元日小作人年頭祝賀ニ來リタル時小作米品評會并ニ試作ノ結果良好ナルモノニ賞狀及ヒ賞與ヲ授與シ終リテ年頭ノ祝賀トシテ酒肴ヲ饗シ八十八歳ノ高齢者ニ養老金ヲ贈リ各款ヲ盡シテ退散セシム

十 明治四十一年小作農會ヲ波佐村永昌寺ニ開設シ當日參集者百十二名、地主古和文一氏各地主ノ總代トシテ開會ニ先タチ左ノ通り賞狀及賞金ヲ授與ス

賞 狀

松 川 榮 吉

夙ニ耕地整理ノ事業ヲ經營シ其ノ功績顯著ナリトス依テ金一圓ヲ賞與ス

明治四十一年二月二十日

私立古和同族米作改良會

之ニ次テ上山近藏、一町權八郎、和田貞治、大野松藏、小林半兵衛、大野十吉、小谷重吉、和田寅藏ノ八名ヘモ賞狀及金一圓宛ヲ賞與セリ

次テ古和文一氏起テ開會ノ趣旨及米作改良ノ必要ヲ述ヘ左記ノ各項ヲ實行セシムルコト、ナセリ

一 種粳穗引ヲナシ稻ノ品質ヲ精撰スル事

二 粳種ヲ悉皆鹽水撰ニナス事

三 稻ヲ善良ニ仕立ツル事

四 本田ニ適當ナル燒土ヲ施ス事

五 田植ハ株張リノ良否ニ依リ苗ノ本數ト株間ノ適度ヲ得ル事

六 除草ハ二回以上ナス事

七 害虫發生セシトキハ其ノ驅除ヲナス事

八 立毛審査ハ山間ノ下田ニハ補助點ヲ與ヘ郷田ト權衡ヲ失セサル様ナキ事

右終テ閉會小作人ヘ茶菓一併ヲ饗シ散會シタリ

前記品評會々則ハ左ノ如シ

米質改良品評會々則

第一條 本會ハ米質改良ノ目的ヲ以テ組織ス

第二條 本會ノ出品米ハ左ノ第一項第二項ノ土地ヨリ生産スルモノ及第三項ニ該當スルモノヲ以テス

一 古和、佐田、古和三家ノ所有地

二 同上三家質取地

三 同上波佐村内ニ於ケル各種ノ取引米

但シ當分ノ内波佐村内ノ生産米ノミトス

第三條 出品米ハ小作人若クハ其ノ他ノ人々カ三家ヘ納入スル米其ノ品質調製ノ善惡ニ拘ラス納米ノ時約一合宛

地主ノ農事ニ關スル施設事例

取リ紙袋ニ入レ其ノ儘第四條ノ場所ニ出品スルヲ要ス

第四條 會場ハ三家中最モ多數ノ米員出品點數多數ヲ有スル土地ノ邸ニ於テシ毎年十二月開設ス

第五條 審査ノ方法ハ各自出品人ヲシテ陳列セル出品米中品質並ニ調製ノ善良ト各自カ認ムルモノ十一個宛投票セシム投票ハ記名投票ニヨル

第六條 前條ノ投票ハ同族各地主及土地世話人立會ノ上開票シ投票多數ヲ以テ優等若クハ一等ト定メ以下何レモ投票ノ結果ニ依ル

第七條 第六條ノ投票點數同點アルトキハ更ニ現品ニ付キ審査決定ス

第八條 第六條ノ方法ニ依リ米質調製ノ優劣ヲ定ムト雖モ一應地主ニ於テ審査ノ上不當ト認ムルトキハ地主等聯合協議ノ上土地世話人ニ諮問シテ之ヲ取消シ更ニ他ノ良好ナルモノヲ撰定スルコトアルヘシ

第九條 第六條第七條ノ審査ヲ終ハリ投票ヲ終ハリ投票多數ナルモノヨリ順次左ノ賞狀並ニ賞品ヲ授與ス

一等賞一人 二等賞二人 三等賞三人 四等賞四人 五等賞五人 六等賞六人 七等賞七人

第十條 左記ニ該當スルモノハ更ニ優等賞ヲ授與ス

一 一等賞ヲ繼續スル三箇年

二 二等賞ヲ繼續スル五箇年

三 三等賞ヲ繼續スル十箇年

第十一條 第九號並ニ第十條ノ賞品ハ地主協議ノ上之ヲ定ム

第十二條 第九條ノ賞狀左ノ如シ

但シ優等第十條ノ賞狀ハ追テ之ヲ定ム

賞 狀

何等賞

小作人 何

某

右者何年十二月開設米質品評會ニ於テ投票多數ニ由リ何等賞ヲ交附ス

何年一月一日

古和同族米作改良會

第十三條 本會ニ必要ナル諸經費ハ同族地主ニ於テ各自出品點數ノ多少ニ應シ割當負擔スルモノトス

第十四條 各地主ハ勉メテ公平ナルヘシ決シテ自己小作人ノ賞品ヲ得セシメンガ爲メ不正ノ行爲ヲ禁ス

第十五條 本規定以外ノ事項ハ各地主ニ於テ協議ノ上變更追加若クハ新定スルコトヲ得

右決定ス

明治三十八年十二月十七日

私立古和同族米作改良會

稻作立毛品評會々則

第一章 總 則

第一條 本會ハ米作改良會中稻作立毛品評會ト稱ス

第二條 本會ノ目的ハ古和、佐田同族カ所有スル那賀郡波佐村大字波佐、長田、小國ノ土地ニ就テ稻作立毛ノ品評會ヲナシ根本的米作改良ノ實ヲ舉ケ米質品評會ト相待テ其ノ効果ヲ收ムルニ在リ

第二章 審査委員

第三條 立毛上審査ノ便宜ヲ圖リ小作地ヲ龜谷組、土手組、長田組、上組、下組、小國組、徳田組ノ七組ニ分テ各組毎ニ一名宛ノ審査委員ヲ置ク

第四條 審査委員ハ各組毎ニ其ノ組内小作人ノ選舉ヲ以テ選任シ其ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第五條 審査委員ハ常ニ各自受持區内ノ小作人ヲ督勵シ他ノ一區ニ超ヘテ優勝ノ効果ヲ收ムルヲ期スヘシ  
第六條 審査委員ハ地主ニ於テ委員カ審査ノ爲各組ニ各自出張ノ時ニ限リ辨當米ヲ給與スル外無給トス  
但シ其ノ受持區内ノ立毛成績ノ優等ナルトキハ賞與スルコトアルヘシ

第三章 立毛審査

第七條 稻作立毛審査ハ秋期稻田豐熟ノ時實地臨檢各小作耕地ニ於テ之ヲ行フ

第八條 地主審査委員ハ各小作人毎ニ各自其ノ成績ヲ採點スヘシ

但シ採點ハ相談シ其ノ點數ヲ定ムヘカラス

第九條 地主ニ於テ老農、農學者(農學士若クハ農學博士)官衙ノ吏員實業團員又ハ實業學校職員等ヲ招請シ其ノ

審査ヲ受クルトキハ之ヲ採點者ニ加フルコトヲ得

第十條 審査員ト雖モ自己カ耕作スル土地ニ對シテハ審査ニ加ハルコトヲ得ス

第十一條 以上ノ採點ヲ合計シ實地臨檢ノ採點者ノ數ニテ除シタル平均點ヲ以テ各小作人ノ立毛成績ノ得點トス

第四章 行 賞

第十二條 地主ハ審査委員ト共ニ採點シタル平均得點ヲ明記スル採點氏名表ヲ作り其ノ高點者ヨリ一等賞ヲ授ケ  
以下一定ノ範圍ニ於テ之ヲ停ムルコト左ノ如シ

一等 二等 三等 四等 五等

第十三條 引續キ一等賞三ヶ年二等賞以上五ヶ年三等賞以上十ヶ年間斷ナク行賞ヲ受ケタルモノハ特ニ優等賞ヲ授ケ

第五章 雜 則

第十四條 小作人ハ毎年少許宛種籽ヲ穗引且努メテ種籽ノ精撰ヲ行ヒ又必ス適度ノ肥料ヲ田畑ニ施ス可シ肥料ハ

元來作物ノ飯米ナレハ夢々肥料ヲ怠ルヘカラス田畑ニ肥料ナキハ尙人間カ食物ヲ廢メ勞働スルカ如キナリ作人  
ノ肥溜ハ金溜ヨリモ急ナリ路傍ノ馬糞ヲ拾フハ田畑ノ收利ヲ拾フト心得ヘキ也

第十五條 以上各條相定ムト雖モ其ノ時期ニ不適當ト認ムルカ又ハ此ノ會則ノ缺點ヲ發見スルカ若クハ地主ニ於

テ差支ヲ生スルトキハ適宜此ノ會則ヲ改正スルコトアルヘシ

第十六條 審査上ノ細則ハ其ノ都度之ヲ定ム

明治四十一年二月二十二日

秋立古和同族米作改良會

竹下弘氏ノ施設

安濃郡 波根 西村

同氏ハ小作人四百二十餘名ヲ有シ地方屈指ノ資産家ナルカ從來小作人ニ對シ仁慈ノ志極メテ厚ク相互ノ間圓滿ニシテ小作米ノ  
納入ヲ怠ル者極メテ少ク小作人ハ常ニ敬慕ノ念ヲ拂ヒ同氏ノ土地異動ヲ生スル場合ノ如キ競ヒテ之カ耕作ヲ希望スル者多シ然  
レトモ時勢ノ進運ト共ニ一般ノ負擔ハ愈々高マリ細民ノ活計益々困窮ノ状態ニ陥ルヲ以テ此處ニ一層ノ增收ヲ計ルニアラサレ  
ハ百年ノ長計ヲ期スヘカラス小作人ノ保護督勵ハ目下ノ急務ナリト確信シ居リシカ偶々四十一年ノ夏期ニ於テ横井農學博士ノ  
巡回講演セララル、ニ際シ博士ノ意見ヲ聞キ益々其ノ決心ヲ堅クスルニ至リ同村農會長或ハ郡農會技手ニ謀リ又支配人ヲ奔走  
セシメ十月初旬ニ於テ始メテ小作獎勵會ヲ組織スルニ至レリ其ノ事業ノ主ナルモノ左ノ如シ

▲小作人ノ集談會 同會ハ年々少クトモ三四回諸方ニ在住スル小作人ヲ最寄ノ各部落ニ召集シ一般ニ晝餐ヲ給シ農業専門ノ名  
士ヲ聘シテ講演ヲ請ヒ或ハ相互研究ヲナサシメ又ハ地主ヨリ訓諭ヲ施シ若クハ小作人ノ希望申請ヲ聽取スル豫定ニシテ十月  
ニハ立毛品評會一月ニハ小作米品評會ノ各賞授與式當日ニ併セテ之ヲ開會シ其ノ他ハ適當ノ時期ヲ見計ヒ開催スルコト、

地主ノ農事ニ關スル施設事例

▲小作米品評會 四十一年ノ小作納米ヨリ一俵以上ノモノハ總テ收納ノ際少量宛遣シ置キ米穀検査員郡農會技術員等ニ乞ヒ精確ニ之ヲ審査シ一等ヨリ四等迄及等外ニ區分シ一等乃至三等ハ賞品ヲ與ヘ四等ハ合格米トシテ無褒賞等外ハ更米若クハ合格米ニ對スル補償米ヲ追納セシム而シテ審査ハ種類、乾燥、調製ノ三項ニ付標準ヲ定メテ施行セリ右褒賞授與式ハ一月中旬ニ集談會ニ併セ之ヲ行フモノトス

▲立毛品評會 地主ハ小作人ノ耕作スル田地ヲ苗代ニ於テ一回插秧後刈リ取り期間ニ於テ二回若クハ三回巡回シ肥培法ノ如何作業ノ勤惰等ヲ評シテ審査シ其ノ優良ナルモノヲ撰ヒ十月中ニ於テ褒賞授與式ヲ行フ此ノ際精情ノ批評ヲ集談會上ニテ公表スル事トス

▲良種ノ配布普及 地主ニ於テ種類試驗田ヲ設ケ普ク有望ノ種類ヲ集メ試驗成績良好ナルモノハ少量宛各小作人ニ無代配付ス  
▲改良農具無代貸與 諸種農具中秀逸實用的ノモノニシテ高價ナルモノハ交代貸與ノ法ヲ取り其ノ廉ナルモノハ見本トシテ之ヲ購入シ一般ニ之ヲ購求セシム

### 高見臺次郎氏ト小作米品評會

篠川郡布智村大字下古志

毎自家ノ小作納米ヲ集メ品評會ヲ開催シ左記ノ區別ニヨリ授賞シ以テ産米ノ改良ヲ圖リ以テ仍ホ豫テ小作人ヲ以テ組合ヲ組織セシメ各組合ニ組合長ヲ置キ小作人ノ監督又ハ小作人ニシテ肥料ノ補給ヲ要スルカ如キ場合ニ於テ専ラ之カ利便ヲ與フルニ努メシム又明治四十年ヨリ擬井田ナル試驗田ヲ設ケ組合長ヲシテ耕作セシメ其ノ成績ヲ示スト共ニ其ノ收利ヲ割キテ毎年小作人ヲ集メ慰勞費ニ充ツル等極力獎勵指導ニ努ムルヲ以テ地主小作人間頗ル圓滿ニシテ同人ノ小作者ニハ小作米忌納者ナシ  
一等納米一俵ニ付玄米一升、二等納米一俵ニ付玄米七合五勺、三等納米一俵ニ付玄米五合

### 勝部金一郎氏ノ施設

篠川郡朝山村

小作人ニシテ村農會主催小作米品評會ニ於テ褒賞ヲ得タル者及平素勤勉他ノ模範タルニ足ルヘキ者ニ對シテ自費ヲ以テ賞狀ト賞品ヲ與ヘ同時ニ小作米完納者ニ籤札ヲ配布シ一番當籤者ニ玄米一斗五番目毎ニ玄米五升末番ニ玄米一斗五升ヲ授賞シ其ノ他ニハ手拭一枚ツ、ヲ授クル等獎勵ニ努ムルヲ以テ小作人ハ其ノ恩義ニ感シ小作米ヲ忌納スルカ如キコトナシ

### 荒川秀三郎氏ノ施設

能義郡比田村

同氏ハ夙ニ農事ノ改良ニ志厚ク殊ニ小作人ノ保護獎勵ニ至リテハ主力ヲ盡セシニ依リ小作者ハ一般ニ善良ニ向ヒツ、アリ其ノ實行事項トシテハ土地改良補肥ノ無利子貸與作付米及ヒ作付金ノ無利子貸與種苗ノ配布牛馬購入金ノ無利子貸與納米祝不慮災害救済等ニシテ年々同一事業ヲ獎勵スルニアラサルヲ以テ規程等ハ設定セス只タ臨機ノ處置ヲ取リツ、アルノミ然レ共前述事業ニ關シ半額若シクハ一部ノ補助金ヲ支給シ或ハ肥料ノ購入作付米金ノ無利子貸與ハ大ニ小農者ノ資本ヲ潤澤ナラシメ事業ノ改良上効績ヲ顯シツ、アリ

### 濱田忠之助氏ノ施設

能義郡布部村

同氏ハ該村ノ豪農ニシテ多數ノ田畑ヲ所有シ常ニ小作人保護獎勵ニ意ヲ注キシカ其ノ從來施行セシ事項ハ種苗配布、小作米品評會、耕地整理、精農者表彰、講話會、單區排水、補肥ノ貸與、紫雲英種子ノ貸與、納米終了祝、二反歩以上ノ小作人ニ向ツ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

テハ一畝歩當リノ肥料ヲ與ヘ模範作ヲ行ハシメ天災ノ救済私立試作田設置等ニシテ各施設ニ屬セル規定類ハ左ノ如シ之カ爲大ニ小作者ノ發奮ヲ視ルニ至リ從ツテ職ヲ商業方面或ハ運送業ニ歸シ又ハ米子松江等ノ地方ヘ移ル者減少セリ

親睦日規程

- 一 地主小作人相互ノ親睦ヲ圖リ併セテ小作人ノ勞ヲ慰スル爲春秋二季ニ響應ヲ行フ
- 二 春季ハ一月中秋季納米終了後トス
- 三 當日ハ農業熟達ノ士ヲ聘シテ農事講話ヲ行フ
- 四 秋季ニ於テハ小作米品評會及ヒ模範作田ノ賞品授與式ヲ併セ行フ
- 五 會日ハ前以テ通知ス

模範田規程

- 一 稻作ノ模範ヲ示シ且種類ノ改良ヲ圖ルタメ模範田ヲ設置ス
- 二 本田ヨリ採收ノ稻粃及紫雲英種子ハ小作人ニ無代配布シ又ハ交換ヲ行フ
- 三 反別ハ一箇所一反歩以上トス
- 四 栽培ハ斯業熟達ノ人ニ委託シ管理ハ本會技手(本會トハ濱田家農會ヲ云フ以下規定同シ同會々則ハ未タ確定セス)之ヲ行フ
- 五 優良ナル種類ト認メタルモノハ本田ニ於テ試作ヲ行フ

講話規程

- 一 本會ハ小作人ノ農業智識ヲ養成シ併セテ道義心發達ヲ圖ル爲毎年三回定期開會ス
- 二 春季ハ一月年賀式ト同時ニ夏季ハ除草後秋季ハ納米終了祝ト同時ニ之ヲ行フ
- 三 害蟲發生其ノ他必要ト認メタル場合ニハ臨時ニ開會ス

講話ハ郡農會技手及本會技手之ヲ行フ

但シ小作人モ講話スルコトヲ得

小作米品評會規程

- 一 小作米ノ改良發達ヲ圖ル爲每年秋季納米終了後小作米品評會ヲ開ク
- 二 二石以上ノ玄米納付者ニアラサレハ出品スルコトヲ得ス
- 三 出品物ハ其ノ年ノ上納米中最モ惡シキモノヨリ二合ヲ地主又ハ管理人ニ於テ選擇ス
- 四 審査ハ郡農會技手又ハ本會技手之ヲ行フ
- 但シ審査規定ハ審査員之ヲ定ム

- 五 審査ノ結果左ノ等級ニヨリ賞品及賞狀ヲ下附ス
  - 一等賞撰種粃一斗
  - 二等賞撰種粃六升
  - 三等賞撰種粃三升
  - 四等賞撰種粃二升
- 六 三年間連續二等賞以上ヲ得タルモノニハ特ニ適當ノ賞品ヲ與フ
- 七 品評會ハ小作米終了祝ト同時ニ行フ

模範田設置規程

- 一 小作人ノ增收ヲ圖ル爲メ二反歩以上ノ田地小作者ニ對シ一畝歩宛ノ模範作田ヲ設ケシム
- 二 本田施用ノ肥料ハ地主ヨリ全部無代ニテ支給ス
- 三 試作田ノ方法ニ關シテハ本會技手之ヲ設計指示ス
- 四 成熟ノ候ニ於テ本會技手之ヲ審査ス
- 但シ審査規定ハ本會技手之ヲ定ム
- 五 審査ノ結果左ノ等級ニヨリ賞狀ヲ附與ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- 一 等賞三十錢以上 二等賞十五錢以上 三等賞十錢以上
- 六 三ヶ年間連續二等賞以上ノミヲ得タルモノニハ特ニ適當ノ賞品ヲ附與ス
- 七 賞品及賞狀授與式ハ納米終了祝ト同時ニ行フ

綠肥栽培獎勵規程

- 一 乾田ノ二分ノ一以上紫雲英ヲ栽培スル者ニハ賞品ヲ附與シ之ニ反對スルモノハ一切ノ保護獎勵事項ヲ中止スルコトアルヘシ
- 但シ氣候寒冷又ハ其ノ他ノ理由ニヨリ栽培ノ見込ミナシト認メタル地ハ此限リニアラス
- 二 紫雲英種子苗蒔及同施用ノ磷酸肥料ノ貸與希望者ニハ無利子ニテ其ノ年ノ十一月末日迄ニ貸與ス
- 三 乾田全部紫雲英ヲ栽培シ又ハ濕田一反歩以上ノ苗蒔ヲ栽培シテ其ノ生育佳良ナルモノニハ特ニ適當ノ賞品ヲ附與ス
- 四 綠肥栽培方法ニ關シテハ本會技手ノ指導ニ從フヘシ

土地改良規程

- 一 小作地ノ改良ヲ圖ルタメ明治五十年迄ヲ一期トシテ田區ノ整理ヲ行フ
- 二 田區整理ハ小作人ノ申出テ及ヒ地主ノ必要ト認メタル場所ニ之ヲ行フ
- 三 田區整理ニ關スル設計ハ本會技手之ヲ行フ
- 四 整理費ハ全部地主ノ負擔トス
- 五 小作人ヨリ申出期間ハ毎年十月末日迄トス

肥料貸與規程

- 一 小作人中肥料ヲ購入スルノ資力ナキモノニハ肥料ヲ貸與ス但シ貸與肥料ハ一反歩ニ付價格一圓内外トス

- 二 貸與肥料ハ小作人ノ申出ニヨリ本會技手實地踏査ノ上設計書ヲ作製シ記名調印ノ上小作人ニ渡スモノトス
- 三 小作人ハ貸與肥料願ニ前項設計書ヲ添付シ地主ニ願出ツヘシ
- 四 貸與肥料ハ其ノ地主ノ田地ニ使用スヘシ
- 五 肥料使用方ニ關シテハ本會技手ノ指導ニ從フヘシ
- 六 貸與肥料ハ月八朱ノ利率ニヨリ利子ヲ付ス
- 但シ組合ニヨリテハ利子ヲ免除スルコトアルヘシ
- 七 肥料代返濟期ハ其ノ年十一月末日限リトス
- 但シ期間内ニ返却スルコトヲ得
- 八 貸與肥料願ハ三名以上ノ連署タルコトヲ要ス
- 九 貸與肥料出願者ハ毎年四月末日限リ申出ツヘシ

模範作(小作人一畝歩ニ栽培セシモノ)審査方法(四十一年施行)審査ハ七種類ニ區別ス

一 土質 最高五點

土質ハ最良ナル壤土ニハ〇點ヲ附シ最悪ナル腐植質粘土ニハ五點ヲ附シ其ノ中間ニアルモノニハ其ノ中庸ヲ附ス

二 乾燥 最高五點

土質乾燥ニシテ二毛作ヲ行フニ適セルモノニハ〇點ヲ付シ其ノ中間ナルモノニハ中庸ヲ附ス

三 位置 最高五點

位置善良ニシテ風通受光共ニ宜キモノハ〇點ヲ附シ位置不良陰地ハ五點トシ其ノ中庸ニアルモノニ中庸ヲ附ス

四 災害 最高五點

病蟲害其ノ他意外ノ災害ノタメ收量ヲ減セシモノハ最高五點ヲ付シ其ノ中間ニアルモノハ其ノ中庸ヲ附點ス

- 五、設備 最高二十點
- 設備ノ完全ナルモノニ滿點ヲ附シ完全ヲ遠カルニ從ヒ其ノ點數ヲ減ス
- 六、收量 最高四十點
- 二石五斗以上 四十點
- 二石以上 三十點
- 一石五斗以上 二十點
- 一石以上 十點
- 二石以下 二十點
- 一石五斗以下 十點
- 七、勤惰 最高四十點

試作田ノ設備成績及農事ニ關シ熱心ノ程度ニヨリ〇點ヨリ四十點迄ヲ付ス

以上ノ項目ニヨリ採點ヲ行ヒ百點以上ヲ一等トシ九十點ヨリ百點マテヲ二等トシ八十點ヨリ九十點マテヲ三等トス

### 平田民之助氏ノ施設

邑 智 郡 三 原 村

同氏カ施設セル小作人保護其ノ他ノ狀況ハ左ノ如シ

#### ▲小作ノ獎勵

- 一 郡内各地共懸作田地ニ畑地ノ附帶セシモノナシ故ニ田地ノ外畑地ヨリモ相當ノ懸米ヲ徵スルハ一般地主ノ狀態ナルモ同氏ハ畑地ヨリハ一切懸米ヲ取ラスシテ小作人ニ耕種セシメツ、アリ
- 二 小作人ヨリ納米スル時ハ其ノ小作人全部ニ賞與米ヲ給スルヲ例トセリ
- 三 年々二回必ス自ラ小作地ヲ巡視シテ小作人勤惰ヲ查察シ及小作上ノ指導ヲナセリ
- 四 本郡ハ田植米トテ插秧ノ際地主ヨリ現米ノ貸與ヲ受ケ納米ノ際年一割五分乃至三割ノ利子ヲ附シ納米ト同時ニ之ヲ返却スルハ一般ノ通例ナルカ同氏ハ小作人ヘ貸附ヲナスモ利子ハ一切之ヲ取ラス又肥料資金ノ貸與方ヲ申出ツルモノニ對シテ

- ハ無利息ニテ之ヲ貸附シ或ハ肥料購入ノ世話ヲナシツ、アリ
- 五 小作人中多少教育アルモノニハ自費ヲ投シテ農事講習會ニ出席セシメツ、アリ

### 三上道太郎氏ノ施設

邑 智 郡 都 賀 村

小作人保護其ノ他ニ付同氏カ施設セル狀況左ノ如シ

#### ▲小作人ノ保護

- 一 小作人ニ賞與米ヲ與ヘ或ハ插秧ノ際貸與ヲナス等ハ前掲平田民之助氏ト同一ナリ
- 二 懸作地ノ附近ニ荒地アリ之ヲ田地ニ開墾シ得ラル、場所ハ小作人ヲ督勵シ田地ニ變換セシメ小作人ヘ無代ニテ永久貸與シ或ハ小作人ノ所有トナサシメタルモノ幾何ナルヲ知ラス
- ▲地主及小作人ノ共同造林 小作人ニ基本財産ヲ造ラシメンカ爲メ自己ノ山林ニ於テ小作人ト共同造林ヲナシ小作人ヘ八歩自己ハ二歩ノ利益配當ノ契約ニテ將來十町歩ノ造林ヲナスノ計劃ヲナシ四十一年ヨリ杉檜ノ造林三極ノ栽培ニ着手シツ、アリ

### 原本大三郎氏ノ施設

能 義 郡 安 來 町

▲種籾品評會開催 小作人農事獎勵ノ爲小作人ヨリ精撰セル種籾各一斗宛ヲ出品セシメ品評會ヲ開催シ郡技術員地方篤農家ヲ審査員ニ囑託シ周密ナル審査ヲ行ヒ優良ナルモノニ賞品ヲ與ヘ以テ種子ノ改良ヲ圖リ其ノ優良ナル種籾ハ之ヲ買取シテ小作人ニ分配試作セシメ更ニ其ノ試作シタル良種子ヲ撰拔シ約四石五斗ヲ買上ケ各小作人ニ無代配布シ優良種子ノ普及ヲ圖レリ

### 民部熙光氏ト小作米品評會

能 義 郡 赤 江 村

民部家小作米品評會ヲ開催シ産米改良ニ努メツ、アリ其ノ方法ハ一人一石以上ヲ納ムル小作人ヲ以テ出品人トシ出品ハ收納米ノ内ヨリ地主ニ於テ任意一握ヲ採取リ之ヲ審査ニ附ス其ノ審査員ハ三人トシ内一人ハ前年一等賞ニ擬セラレタル小作人ヲ以テ之ニ當テ他ハ本縣米穀検査員又ハ經驗アル當業者ヲ以テ之ニ充ツ審査標準ハ乾燥ヲ第一トシ調製ヲ第二トシ品質ヲ第三トス而シテ審査ニ合格シタルモノハ一等ヨリ八等ニ分チ三等以上ニハ賞品トシテ一等賞四本銀一挺及過磷酸石灰一噸、二等賞田打車一挺、三等賞草削一本ヲ與フ

### 吾郷玄太郎氏ノ施設

飯石郡多根村

大正三年六月小作人ノ保護共済ト共ニ地主ト小作人トノ親睦ヲ圖リ兼テ農事ノ改良ヲ圖ル目的ヲ以テ同家及同家ノ小作人ヲ以テ小作擁護會ナルモノヲ組織シ左ノ事業ヲ爲シツ、アリ  
▲基本造林 本會ノ目的ヲ遂行セン爲山林一町九反七畝十九歩ヲ購入シ三箇年繼續事業トシテ大正三年ヨリ年々約六反歩宛ヲ栽植シ伐採シタル代金ハ其ノ五分ヲ會員ニ分配シ殘五分ハ總額五千圓ニ達スル迄利殖ス  
▲其ノ他ノ事業 本會ハ其事業トシテ諸種ノ農事改良、罹災救助負債、救債學費ノ貸與、土地建物購入資金ノ貸與其ノ他産業資金ノ貸與等ヲナス而シテ財産ノ持分ハ地主三分ノ一小作人三分ノ二トシ其ノ持分ハ之ヲ會員外ニ賣買讓渡スコトヲ得ス退會セントスル時ハ地主ニ賣渡スモノトス

### 和田定右衛門氏ト同家農會

簸川郡杵築町

地主ト小作人相互ノ意志ヲ疏通シ親睦ヲ圖リ共同一致農事ノ改良ニ努ムル目的ヲ以テ和田家農會ヲ組織シ之ニ要スル費用ハ全

部和田家ノ負擔トス事業ノ大要左ノ如シ

- ▲講話會ノ開催 毎年一月小作掛定ノ日ニ總會ヲ開キ學識經驗アル名士ヲ招聘シ講話ヲ乞ヒ且ツ必要事項ヲ議定ス又タ必要ニ應シ各區ニ役員ヲ派遣シ農談會ヲ開催ス
- ▲品評會ノ開催 農事ノ改良ヲ圖ル爲時々品評會ヲ開キ優良ノモノニハ賞品ヲ授ク
- ▲表彰 勤儉力行他ノ模範ト爲スニ足ル小作人ヲ表彰ス

### 湯淺慎次郎氏ト小作人共済組合

邑智郡市山村

小作人共済組合ヲ組織シ組合資金一口六圓宛ヲ積立其ノ口數二十二口ニシテ之カ利殖ヲ計リ其ノ金員ヲ以テ組合員家族中災厄ニ罹リ又ハ死亡者アリタル場合弔慰料トシテ金員ヲ贈與セリ尙同組合資本金トシテ別ニ地主ニ於テ積立金ヲナシ其ノ利子ヲ以テ前記ノ費用ヲ補足セリ

### 佐々田 懋氏ノ施設

那賀郡木田村

小作人ニ其ノ住家ヲ無償或ハ年貢米一斗乃至二斗位ノ低利ニテ貸付ケ而シテ住家及附屬建物改築修繕ノ際ニハ總工費ノ十分ノ六ヲ地主ヨリ補助シ排水工事ヲ行フモノニハ一反歩ニ對シ米一斗ヲ補助シ又楮杉等ノ栽培ヲ企ツル者ニ苗木ヲ無償配付ス小作米完納者ニハ幾分ノ賞ヲ與フ

### 石田順治氏ト貯金組合

邇摩郡福光村

地主ノ農事ニ關スル施設事例



明治四十三年地主ト小作人ト貯金組合ヲ設立シ左ノ方法ニ依リ貯蓄ヲナシ其ノ貯金ハ

- 一 國家大事變ノ際ノ献金
  - 二 肥料ノ購入
  - 三 組合員ニ於テ著シキ災害ヲ受ケタル際ノ弔慰金
  - 四 組合員ニ對スル祝賀金ニ充ツルコト
- 右ノ如キ場合ヲ除キテハ一切引出サ、ルコト、セルカ創設後日尙ホ淺ク貯金額モ未タ少額ニ過キサルモ將來相當ノ成績ヲ見ルヲ得ヘシ

▲貯金ノ方法

- 一 從來地頭職(世話人)及小作人ヨリ一月、八月ノ兩度野菜物ヲ地主ヘ持參スル例ナリシヲ各小作人ヨリ五錢宛地頭職ヨリハ二十錢ヲ持參スルコトニ改メ地主ニアリテハ小作人ヨリ持參セシ合計額(十三人分)ヲ郵便貯金トス
- 二 毎年一月ヨリ八月迄ノ間及九月ヨリ十二月迄ノ間ノ二回ニ毎回葉製品價格十錢宛ノモノヲ世話係ニ於テ取纏メ小作人ヨリ地主ヘ納付セシメ地主ハ前記同様郵便貯金トシテ預入ス
- 三 從來地主ヨリ小作人ヘ肥料用トシテ各戸ヘ少々ツ、草山ヲ無料ニテ掛渡シ居リシヲ改メテ其ノ草山ニ點々立木ヲナシ之ヲ賣却シテ貯金ス
- 四 從來納米ノ際地主ヨリ小作人ニ對シ賄料トシテ米一俵ニ付一合宛(合計二斗六七升)ヲ渡スヲ例トセシカ之ヲ廢シ地主ハ更ニ之ニ相當ノ米ヲ加ヘ代金ニ換ヘ貯金トシテ預ケ入ル

三浦啓助氏ト自彊組合

那賀郡西隅村

左ノ規約ヲ設ケ小作人保護獎勵ニ努メツ、アリ

地作自彊組合同約

- 一 自彊組合ハ地主ト小作人トヲ以テ組織シ共同一致農業ヲ獎勵シ相互ニ補佐シ農業ノ發展ニ勉メ各自彊ナラン事ヲ期ス
- 一 本組合ハ組合ノ目的ヲ遂行スル爲左記積立金ヲナスモノトス
  - 一 本組合ハ各自一ケ年金三十六錢(一日一厘ツ、)地主ハ總作人一ケ年積立金總額ト同額ナル金員ヲ毎年一回積立ス
  - 一 本組合員各作人ハ年貢米審査ノ資料トシテハ年貢米ノ外更ニ米二合ツ、ヲ地主ヘ納付スルモノトス
  - 一 地主ハ作人ノ内(又ハ其ノ他ノ農業者)適任者ト認ムル者ヲ審査人ニ選定シ審査ヲ囑託シ優良品ニ對シテハ賞品ヲ贈與シ以テ年貢米調製方ノ善良ヲ圖ルモノトス尙俵製ヲ完全優美ナラシムル爲地主ハ俵裝ニ必要ナル繩(縱横繩共)ヲ給與スルモノトス
- 一 地主ハ年貢米ノ審査ヲ終リタル時ハ審査資料米ハ毎年必要ナル講話會農業、林業、製糸及ヒ蠶業講話等ニ來會聽講スル者ニ對シ一日米一升宛辨當料トシテ給與スルモノトス
- 一 本組合員地主ハ土地ヲ賣却シ作人ハ土地ヲ返還シタル時ニ於テ組合員タルコトヲ解除シ同時ニ積立金ハ元利拂渡スモノトス
- 一 本組合員作人ニ於テ左ノ行爲アル時ハ地主ハ土地ノ返還ヲナサシメ組合ヲ除退セシムルコトアルヘシ此ノ場合ハ積立金ハ元利拂渡スモノトス
  - イ 土地ヲ粗作シ地界ヲ變動シ無斷山林ヲ伐採シ原野ヲ燒失セシメ或ハ濫リニ開墾ヲ爲スモノ
  - ロ 土地耕作上自己ノ利益ニミ執着シ組合ノ内外ヲ不問他人ニ迷惑ヲ掛ル行動ヲナスモノ
  - ハ 故意怠慢ヲ以テ公私ノ職務執行ヲ妨ケ又ハ人道無視ノ作業アルモノ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- 一 本組合積立金ハ組合員ノ生産事業ニ必要ナル總テノ資本ニ貸與スルモノニシテ借用人ハ組合員二名以上ノ保證人ヲ立テ借借證書ヲ差出スヘシ貸借期間ハ一ケ年以内トス
- 一 本組合積立金ノ保管出納ハ當分地主之ヲ專行ス
- 一 本組合ハ毎年一回(春季)總會ヲ開キ賞品授與積立金會計報告生産事業ニ付意見ヲ交換シ發展ヲ促スモノトス
- 一 本組合總會ニ要スル費用ハ全部地主ニ於テ之ヲ負擔支辨スルモノトス
- 一 本組合ハ明治四十四年一月ヨリ同四十八年十二月迄滿五ケ年ヲ一期トス

### 岡山縣

#### 大原孫三郎氏ノ施設

都窪郡倉敷町

氏ハ同縣下有數ノ大地主ニシテ有名ナル倉敷日曜講演ハ氏ノ經營ニ係リ地方民ノ智識啓發ニ貢獻スル所尠カラス又常ニ小作人ノ保護及農事ノ獎勵ヲ圖リ明治四十年ニハ初メテ大原家小作俵米品評會ヲ開催シ爾來農事ノ改良發達米質並ニ俵裝ノ改善ニ盡瘁セシカ更ニ明治四十三年ニハ大原家及其ノ小作人ヲ以テ大原家獎農會ヲ組織シ大ニ小作人ノ保護並ニ農事獎勵ヲ爲シタリシカ氏ハ之ヲ以テ足レリトセス進テ深遠ナル學理ノ研究並ニ之カ實際的應用ニ依ル農事ノ改善ヲ圖ランカ爲大正三年七月氏ノ所有地百町歩ヲ提供シ新タニ財團法人大原獎農會ヲ組織シ大規模ノ農事研究所ヲ創設シ種藝、化學、園藝、農具、農政、種子ノ檢定等ノ部門ヲ分チ専門家ヲ聘シテ研究ニ從事セシメツ、アリ

▲小作俵米品評會 明治三十九年以來毎年小作俵米品評會ヲ開催シ產米ノ改良ニ努ムルト同時ニ地主小作間ノ親睦連絡ヲ圖リツ、アリ而シテ其ノ方法ハ小作人ヨリ納付シタル玄米一俵宛ヲ出陳シ嚴密ナル審査ト出品人ノ平素勤怠ノ狀況ヲ斟酌シ其ノ

成績優良ナルモノニ賞狀及左ノ賞品ヲ授與ス

正米	特等	賞品	玄米二俵
同	一等	同	同一俵
同	二等	同	木綿糸一九
同	三等	同	木綿三反
同	四等	同	鐵一挺
同	五等	同	木綿一反
俵裝	一等	同	木綿二反
同	二等	同	同一反
同	三等	同	鎌三挺

▲農事講話會 明治四十四年以來各小作地ニ於テ開催シ技術員ヲシテ實地調査ノ結果ニ基キ其ノ土地ニ適切ナル改良方法ヲ講話セシムルト同時ニ一面ニハ精神的並ニ經濟的方面ヨリ種々有益ナル講話ヲナシ以テ小作者ノ向上進歩ヲ圖ルニ努ム

▲試作田並ニ指導田ノ設置 約一町歩ノ試作地ヲ設ケ技術員ノ設計ニヨリ各種試驗ヲ施行シ指導獎勵ノ資ニ供シ一面ニハ明治四十四年ヨリ九ヶ所ノ指導田ヲ設ケ一ヶ所ノ面積約二反歩トシ一切ノ設計ハ技術員之ヲ行ヒ又小作人ヨリ適當ノ者ヲ選抜シテ擔當人トシ各地所ノ土質ニ適應セル耕種法ヲ研究セシメ以テ小作人ニ對シ實際的價值アル指導ヲナス資料ニ供セシム

▲肥料資金ノ貸與 小作人中金融全カラサルモノニハ連帶責任ニテ小作反別ニ應シ年七分乃至八分ノ低利ノ資金ヲ貸與シ其ノ償還方法ハ適當期限ヲ定メ或ハ收穫物賣却ニヨリ收入アリシ場合債務者ノ便宜ニ依リ償還セシム

▲小作者救濟 小作者ノ内罹災、疾病、死亡等ノ爲家政ノ困難ニ陥リタル場合ニハ其ノ救濟ノ要否ヲ査定シ救護ノ必要アルモノニハ金員又ハ物品ヲ贈與シ慰安ヲ圖レリ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

▲報恩貯蓄會 大正元年以來報恩貯蓄會ヲ組織シ小作者ヲシテ土地、家屋ノ購入資金ヲ蓄積セシメ他日自作農タル地位ヲ獲得セシムルヲ目的トシ其ノ方法ハ小作一反歩ニ對シ玄米三升乃至五升ノ二種トシ小作者カ此中一種ヲ選ヒ其ノ割合ヲ以テ貯蓄スルトキハ地主モ亦同量ノ玄米又ハ同額ノ金員ヲ醸出シ貯蓄米ハ適當ノ時期ニ之ヲ販賣シ確實ナル銀行ニ預金ス而シテ此等貯金ハ自作農トナル目的ニ使用スル以外ニ引出サシメサルコト、シ若シ土地購入ノ如キ場合ニ各自ノ貯金ニテ足ラサルトキハ地主ニ於テ低利資金ヲ融通ス

大原家獎農會規則

- 第一條 本會ハ大原家及自作小作者ヲ以テ組織シ大原獎農會ト稱ス
- 第二條 本會ハ農業ノ發達及農民ノ幸福増進ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 第四條 會長ニハ大原家々長ヲ以テ之ニ充テ他ノ役員ハ會長之ヲ任免ス
- 第五條 本會ノ事業ヲ分チテ左ノ五種トス
  - 一 農事改良
  - 二 農業金融
  - 三 小作者救済
  - 四 貯蓄獎勵
  - 五 自作農育成

- 第六條 本會ハ農事改良事業ニ於テ農業ノ技術ノ改良進歩ヲ企圖ス
- 第七條 本會ハ農業金融事業ニ於テ小作者ニ農業資金ヲ貸與シ或ハ金融上必要ナル方法ヲ講ス
- 第八條 本會ハ小作者救済事業ニ於テ罹災死亡其ノ他止ムヲ得サル事故ノ爲ニ困難ナル小作者ニ對シ金品ヲ貸與

又ハ贈與ス

第九條 本會ハ貯蓄獎勵事業ニ於テ小作者ノ勤勉貯蓄獎勵ノ爲必要ナル方法ヲ講ス

附 則

第十一條 各事業施行細則ハ別ニ之ヲ定ム

報恩貯蓄會々則

第一章 總 則

- 第一條 本會ハ大原家及小作人ヲ以テ組織シ會員ヲシテ自作農タル地位ヲ得セシメン爲ニ土地購入ノ資金ヲ蓄積セシムルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ報恩貯蓄會ト稱ス
- 第三條 本會ハ事務所ヲ大原家獎農會事務所内ニ設置ス
- 第四條 本會ニ小作人ト稱スルハ大原家所有地上ニ直接ノ貸貸權ヲ有スル者ヲ指シ單ニ之ヲ會員ト稱ス
- 第五條 毎年三月一日ヨリ翌年二月末日迄ヲ一會計年度トス

第二章 會 員

- 第六條 小作人ハ本會々員タルコトヲ要ス
- 第七條 會員其ノ小作セル大原ノ耕地ヲ全部返還シタルトキハ會員タル資格消滅シ當然退會者トス
- 第八條 會員死亡シタルトキハ其ノ相續人其ノ資格ヲ繼承スルモノトス

第三章 貯蓄及管理

- 第九條 會員ハ毎年稻作期毎ニ左記二種中ノ一ヲ選ヒ積立貯蓄ヲ行フヘキモノトス  
但シ畑地ニ對シテハ之ヲ行ハサルコトヲ得

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第一種 小作反別一反歩毎ニ

玄米五升

第二種 同

同 三升

若シ會員中途ニ於テ其ノ種類ヲ變更セントスルトキハ會長ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

第十條 大原家ハ前條ノ貯蓄ニ對シ別ニ之ト同額ノ玄米金額ヲ積立テ之ニ歸屬スヘキ利子ヲ以テ會員ノ貯蓄利益ヲ増加スルモノトス

第十一條 天災又ハ耕地整理施行ノ爲耕作ノ妨ケラレタル結果小作料ノ減額若クハ免除ヲ受ケタル場合ニ於テハ當該年度分ニ限リ其ノ耕地ニ對スル貯蓄ヲ行ハサルコトヲ得

第十二條 會員ノ貯蓄米ハ小作人ノ納入ト同時ニ之ヲ本會ニ拂込ムヘシ

第十條ニ依ル大原家積立米ハ適宜取纏メ大原家ヨリ交付ヲ受クルモノトス

第十三條 貯蓄米ハ理事會ニ於テ適當ト認メタル時機ニ之ヲ賣却シ確實ナル銀行ニ預入レ保管スルモノトス但シ預入銀行ハ役員會ニ於テ之ヲ定ム

第十四條 貯金ノ利子中大原家積立金ニ對スルモノハ本人ノ貯蓄分ニ對スルモノト共ニ會員ノ元本ニ繰入ル、モノトス

第十五條 本章ニヨル會員ノ貯蓄金ハ滿十箇年ヲ一期トシ精算ヲ行フモノトス

前項ノ場合ニ於テ第十條ニ基ク大原家積立金ハ之ヲ大原家ニ返付スルモノトス

第四章 貯金ノ拂戻

第十六條 會員貯蓄金ノ拂戻ハ凡テ本章ノ規定ニ依ル

第十七條 會員耕地ノ購入又ハ住宅又ハ農業用家屋ノ建築買入ヲ行ハントスルトキハ之ニ要スル金額ノ限度内ニ於テ貯蓄金中本人拂込額及該元加利子ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ受クルコトヲ得

第十八條 前條ノ場合ニ於テ土地家屋ノ購入ヲ爲サントスルトキハ購買契約ノ成立ヲ證明スヘキ書類ハ家屋建築等ノ場合ニハ其ノ構造及費用ノ概算ヲ示スヘキ書類並ニ所屬委員ノ證明書ヲ添ヘ之ヲ請求スヘシ

第十九條 前條ノ請求アリタル場合ニ於テ請求金額カ實際ノ必要ヲ超過スト認メタルトキハ本人ノ同意ヲ得テ其ノ一部ヲ削減スルコトヲ得

第二十條 前三ヶ條ノ規定ニヨリ貯蓄金ノ拂戻ヲ行ヒタルトキハ拂戻額ニ比例スル大原積立金ハ之ヲ大原家ニ拂戻スモノトス

第二十一條 會員退會シタルトキハ其ノ貯蓄金一切ノ拂戻ヲナスモノトス

但シ大原家積立金ハ大原家ニ返附スルモノトス

第五章 役員

第二十二條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名

理事 若干名

委員 若干名

會長ハ大原家々長之ニ任シ理事及委員ハ會長之ヲ囑託ス

第二十三條 會長ハ會務ヲ總裁シ理事ハ諸般ノ事務ヲ掌理シ會長不在ノトキハ大原家々長ヲ代理ス

委員ハ會長及理事ノ指圖ヲ受ケ分擔區域内ニ於ケル會務ニ從事ス

但シ分擔區域ハ會長之ヲ定ム

第二十四條 會長理事及委員ヲ以テ役員會ヲ組織ス役員會ハ重要ナル會務ヲ評決ス役員會ハ必要ニ應シ會長之ヲ招集ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

第二十五條 理事ハ會計年度終リ後一ヶ月以内ニ於テ收支ノ状態ヲ明瞭ナラシムヘキ書類ヲ調製シ役員會ノ承認ヲ受クヘシ

前項ノ書類ハ本會事務所及各地方委員ノ手許ニ備付ケ會員ノ請求ニヨリ何時ニテモ之カ閱覽ニ供フヘキモノトス

第二十六條 本會ノ事務ニ要スル諸經費ハ大原家ノ寄附金ヲ以テ之ヲ支辨ス

第二十七條 本會役員ハ無給トス  
但シ地方委員ニシテ本會用務ノ爲費用ヲ要シタル者ニ對シテハ實費ヲ辨償スルコトヲ得

第六章 雜 則

第二十八條 本會則ノ改正ハ役員會ノ多數決ヲ經大原家ノ同意ヲ得ルニアラサレハ其ノ効力ヲ生セス

第二十九條 本會事務取扱ノ手續ハ理事會議ノ上會長之ヲ決定ス

第三十條 本會ハ役員會四分ノ三以上ノ多數決ヲ經タル上大原家及會員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ解散スルコトヲ得ス

大原家ハ解散ニ關スル役員會ノ開會ヲ請求スルコトヲ得

第三十一條 役員會ニ於テ可決スルモ會員ノ同意定數ニ達セサルニ依リ若シクハ大原家ノ請求ニヨリ開會セラレタル役員會ニ於テ解散賛成者定數ニ達セサルニ依リ本會ヲ存続スル場合ニハ大原家ハ大原家積立金穀ノ全部返還ヲ求メ且將來ニ向フテ貸與ヲ廢止スルコトヲ得

第三十二條 本會解散シタルトキハ解散當時ノ役員中ヨリ大原家々長ノ指定シタル精算人精算事務ヲ行フ

附屬 大原家農會種子検査規程

一 本會ハ善良種子普及ノ目的ヲ以テ種子検査ノ委託ニ應ス

二 本會ノ種子検査ニ於テハ種類、清潔歩合及發芽歩合ニツキ検査ヲ行フ

三 本會ニ於テ検査シタル種子ニハ検査成績表ヲ交附ス

四 本會ノ種子検査ハ其ノ取扱ヒタル種子以外ニハ責任ナキモノトス

五 本會ニ種子検査ヲ依頼セントスルモノハ其ノ種子ノ上層、中層、下層ノ三部ヨリ抽出シ之ヲ混合シテ布又ハ強韌ナル紙ニ包ミ種類名、産地又ハ購入先ヲ記入シ検査料金を添ヘテ申込ムヘシ

一 種子検査定額

イ 胡蘿蔔、葱、分葱、玉葱、蒿苣、胡麻、紫蘇、除蟲菊、野蜀葵、罌粟、煙草及各種牧草等……………二十匁

ロ 漬菜類、大根、蕪菁、甘藍、花椰菜、菠薐草、茄子、蕃茄、牛蒡、蕎麥、粟、紫雲英、大麻、亞麻、草花類

針葉樹等……………三十匁

ハ 瓜類、西瓜、南瓜、夕顔、石刀柏……………七十匁

ニ 稻、麥、黍及豆類……………九十匁

二 検査料金

▲附屬 十種迄 一種ニ付金五十錢

十一種ヨリ二十種迄 十種ヲ超過スル分ニ對シテハ一種ニ付金四十五錢

二十一種ヨリ三十種迄 二十種ヲ超過スル分ニ對シテハ一種ニ付金四十錢

三十一種以上 三十種ヲ超過スル分ニ對シテハ一種ニ付金三十錢

備考

一 農家ニシテ本規定ヲ利用セントスルモノハ農會、組合、各種團體ニヨリテ種子ノ共同購入ヲナシ共同シテ

検査ヲ依頼セラル、ヲ便ナリトス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- 一 檢査料金ハ振替貯金ニテ拂込マル、ヲ便トス
- 一 種子販賣業者ハ豫メ種子ノ檢査ヲ爲シ善其ナルモノヲ販賣スルコトハ德義ニシテ而モ自己商店ノ信用ヲ高ムル方法ナリ

### 島村甚吉、石原富太郎兩氏ノ施設

邑 久郡 國 府 村

▲預託米共同販賣 前年來米價暴落シ農民ノ窮狀觀ルニ忍ヒサルモノアルヲ以テ之カ救濟策トシテ大正三年十二月左記ノ如キ預託米共同販賣規定ヲ設ケ小作人ノ生産米ヲ保管シ焦眉ノ金融ヲ得セシメ米價昂騰ノ機ヲ待チ共同販賣ノ方法ヲ講シツ、アリテ其ノ効果頗ル良好ナリ

#### 島村家農會預託米共同販賣規程要項

- 一 本規程ハ相當時價ニ達スル迄自家收穫米ノ賣却ヲ欲セサル者ノ需ニ應シ一時金融ヲ得セシムルカ爲ニ設ク
- 一 金融ヲ得ント欲スル者ハ左ノ各項ヲ承認シテ預託米申込書ヲ差出スヘシ
- (一) 預託米ハ一俵以上二十俵以内ニシテ何回ニテモ何時ニテモ藏入藏出ヲナスコトヲ得
- (二) 預託期限ハ八ヶ月以内トス
- (三) 借用金額ハ時價八割以内トス利息ハ月 朱 厘以内トス
- (四) 預託米ヲ隨意賣却セントスルモノハ會主ノ承諾ヲ得前項ノ計算ヲ完了シ藏出ヲナスヘシ
- (五) 會主共同販賣ヲ爲サントスルトキハ販賣當日ヨリ二日以前ニ預託者ニ豫告ス
- (六) 前項期日迄ニ計算ヲ完了セス回答ヲ爲ササルモノハ會主代理權ヲ委託シテ共同販賣ニ異議ナキモノト推定シ會主ニ於テ賣却處分ヲナスコトアルヘシ

- 一 預託ノ承諾ヲ得タルモノハ會主指定ノ倉庫ニ搬入シ預米藏入證ヲ受取ルヘシ
- 一 米價カ預託ノ當時ヨリ下落シ又ハ會主ノナシタル共同販賣價格騰貴スルコトアルモ約束ノ遂行ニ異議ヲ唱フルコトヲ得ス
- 一 萬一非常災變ノ爲ニ預託米ニ損害アリタルトキハ會主ハ其ノ責ニ任セス

▲農事督勵ト貯蓄獎勵 島村氏ハ自家小作地ノ作人ヲ同行シテ實地ヲ踏査シ調査書ヲ作製シ調査地ニハ建札ヲシテ批評ヲ加ヘ諸般ノ注意ヲ促シ又小作米收納ノ際ニハ米穀檢査員ノ立會ヲ求メ合格米中優劣ニ應シ等級ヲ附シ各獎勵米ヲ交付シ尙納米一俵ニ付金五錢宛ヲ給シ特別貯金ヲナサシメ以テ貯蓄思想ノ養成ニ努メ其ノ收納シタル産米ノ改良上小作米品評會ヲ催シ自家小作人ヲ集メテ褒賞ヲ授與シテ獎勵ノ途ヲ開キ尙當日ハ小作人ニ酒食ヲ饗シテ慰安ヲ與ヘ且又小作人中冠婚葬祭アル場合ニハ必ス金品ヲ贈ル等常ニ小作人ヲ愛撫スルニヨリ小作人モ亦地主ノ好意ヲ德トシ地力増進ヲ計ル等兩者ノ關係極メテ圓滿ナリ

調査書(様式)

村大字	一田反別	番地	何	某	小作人	土質	砂	乾	株數	本數	施	除	灌	病蟲害驅除	生育狀況	收穫	豫	想	
						整地	乾	又	何	何	肥	草	10	8	9	85			
檢査	月	日	記	入	點	評	點	評	點	評	點	評	點	評	點	評	點	評	點

地主ノ農事ニ關スル施設事例

備	地方ノ増進ヲ計ルヘシ 一株ノ本數ヲ減スヘシ 株數ヲ増加スヘシ
考	浮塵子ノ發生ヲ注意セス

### 合名會社藤田組ノ施設

兒島郡藤田村

兒島郡藤田村ニ所有スル田地約千四百町歩ノ内千町歩ハ合名會社藤田組ニ於テ自營シ殘四百町歩ハ小作トナシ何レモ特種ノ經營ニ由リ近年開墾ノ農場ナルモ克ク舊來ノ農耕地ニ比シ米麥豆類等ノ收穫渺カラサルニ至リシハ其ノ施設宜シキヲ得タルモノト言フヘシ今其ノ概要ヲ舉クレハ次ノ如シ

- ▲小作米四六配分納法 年々收穫檢見ヲナシ六、四ノ配分法ヲ以テ收穫米十分ノ六ヲ小作人ヨリ地主ニ納付シ多收穫其ノ他成績良好ナルモノニ對シテ地主ヨリ小作人ニ賞與米ヲ交付ス
- ▲品評會 小作米及耕作獎勵ノ品評會ヲ開キ出品ニ付審査品評ヲ爲シ優等者ニ金品等ヲ賞與セリ
- ▲農事試驗場設置 農事試驗場ヲ設ケ米麥作ノ耕種栽培、種苗肥料ノ試驗選擇、病蟲害ノ驅除豫防等ヲ攻究シ其ノ成績ノ良好ナルモノハ之ヲ自家農場及小作人ニ應用セシム
- ▲農事功勞者ノ表彰 農事ニ精勵シ又ハ性行家事衛生等良好ニシテ他ノ範トナル者ニ金品ヲ賞與シテ其ノ功績ヲ表旌ス
- ▲罹災者救助 小作人中不慮ノ災害ニ罹リタルモノニハ金品ヲ給與又ハ貸與シテ之ヲ慰藉セリ
- ▲共同購買販賣ノ斡旋 小作者ノ利益ヲ増進センカ爲ニ米麥等ノ生産物ノ共同販賣ヲ斡旋シ種苗肥料其ノ他ノ農用品ノ共同購入ノ斡旋ヲ爲セリ

▲農事講話 農事ニ關スル實地指導種苗ノ配付採種田ノ設置副業獎勵ニ關シ小作人ニ專門技術者ノ講話ヲ聽講セシム

## 廣 島 縣

### 岩崎猛二氏ト小作米品評會

高田郡來原村

氏ハ夙ニ意ヲ産米ノ改良ニ致シ明治二十八年十二月日清戰役紀念事業トシテ第一回自家小作米品評會ヲ開キ爾來繼續施行シツ、アリ其ノ成績顯著ニシテ地方ノ産米ノ改良ニ貢獻スル所渺カラス其ノ授賞ノ方法ハ等級ニヨリ一等一割五分二等一割三等七分四等五分五分三分ノ小作米ヲ減額シ納付セシム又明治三十一年以來自家ノ小作人ヲ以テ農談會ヲ組織シテ小作人ノ智識ヲ啓發シ或ハ食鹽ノ無代配付ヲナシテ撰種ヲ獎勵セリ

### 日野洋曹氏ノ施設

高田郡甲立村

明治四十三年本縣米穀檢査規則發布以來縣米穀檢査標準ニヨリ優良米ヲ納附セシ小作人ニ獎勵米ヲ交付シ且俵裝改良ノ目的ヲ以テ自家ノ小作人ヲ集メテ俵裝講習會ヲ開催シ其ノ成績見ルヘキモノアリ授賞標準左ノ如シ

一等	小作米一石ニ付	大粒	一斗	小粒	七升
二等	同	同	八斗	同	五升
三等	同	同	六斗	同	四升
四等	同	同	四斗	同	二升
等外	同	同	一升	同	同

地主ノ農事ニ關スル施設事例

### 長 壽産氏ト曲田農會

世羅郡吉川村

自家小作人農事改良獎勵ノ爲曲田農會(曲田ハ自家ノ家號)ナルモノヲ組織シ自ラ會長トナリ其ノ小作人ヲ以テ會員トナシ毎年冬期ニ於テ總會ヲ開キ農業技術員若クハ篤農家ヲ招聘シテ農事改良講話ヲナシ其ノ他農事上必須ノ問題ヲ評議決定スルコト、セリ尙同時ニ小作米品評會ヲ催シ優等米ニ對シテ賞ヲ與ヘ之カ改良ニ資ス且又會員ニ酒食ヲ饗シテ年中ノ勞苦ヲ慰藉スル等專ラ小作人ノ愛撫ニ務ム

### 山岡儀平、重森一二兩氏ノ施設

甲 双郡矢野村

兩氏ハ數年前ヨリ毎年一定ノ小作米收納日ヲ定メ郡技術員ノ出張ヲ求メテ各人毎ニ小作米ヲ品評審査シ等級ニ應シ賞ヲ與ヘ而シテ後一場ノ籤論ヲ加ヘテ獎勵シ且酒食ヲ饗シテ其ノ勞ヲ慰ム又近年米券倉庫ノ設置セラル、ヤ更ニ進ンテ小作人ニ獎勵米ヲ交附シ米券ヲ以テ納付セシムルノ途ヲ獎メ漸次之ニ赴キツ、アリ此ノ如ク愛撫スルコト多年爲ニ小作人地主ヲ敬慕シ其ノ温情年ト共ニ篤ク地主小作人間頗ル圓滿ニシテ且米質モ大ニ改善セラルルニ至レリ

### 清兼平九郎氏ト小作米品評會

山縣郡大朝村

氏ハ小作人四十名ヲ有スル地主ナルカ左記規定ニ依リ明治四十三年ヨリ毎年小作米品評會及農談會ヲ開催シツ、アリ  
▲清兼家小作米品評會規定

- 一 本會ハ小作米ノ改良ヲ圖リ併テ地主小作人間ノ親睦ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 二 本會ハ一俵以上ノ納米者ニシテ毎年十二月三十一日迄ニ現米ヲ以テ皆納セル小作米ニ就キ審査ノ上四等迄ヲ合格米トシ一、二、三等ニハ褒狀ニ左ノ標準ニ依テ金品ヲ賞與ス  
但シ三等迄ヲ選抜審査シ其ノ餘ヲ全部四等トス

一等	現米一俵ニ付	金 十 錢
二等	同	金 五 錢
三等	同	金 一 錢

- 三 合格者ニハ合格米五俵迄ニ籤一本ヲ交付ス五俵以上ハ五俵ヲ増ス毎ニ一本宛ヲ増加シ品評會授與式當日公開ノ席ニ於テ公平ナル抽籤ノ法ニヨリ景品ヲ贈與ス
- 四 品評會當日ハ式後小作人農談會ヲ開ス

### 黒川久兵衛氏ト小作米品評會

豊田郡川源村

氏ハ小作人保護農事改良獎勵ノ爲四十三年ヨリ小作米品評會ヲ開催ス其ノ概要左ノ如シ

- 一 出品方法 小作米ハ總テ各種類毎ニ審査ヲ行フ
- 一 審査方法 品質ノ良否、納付期日ノ遅速
- 一 擬賞方法 優等一點、一等五點、二等十點、三等二十點、四等四十點トシ各品種別ニ之ヲ定ム
- 賞品ハ玄米トシ左ノ標準ニ據ル
- 優等 納付石數ノ一割五分

地主ノ農事ニ關スル施設事例



一等	同	一	割
二等	同	八	分
三等	同	五	分
四等	褒狀ノミトス		

賞品ハ現品ヲ交付セス翌年度ニ於テ納付スヘキ小作米ノ内ヨリ之ヲ控除シテ納付セシム

### 竹内遠氏ノ施設

賀茂郡吉川村

農業ノ進歩發達ノ遲々ナルヲ慨シ奮然躍起シ明治二十九年村內ニテ所ニ農作物試作場ヲ設ケ連年試作ヲ行ヒ範ヲ一般ニ示シ又三十三年自家庭內ニ氣象觀測所ヲ設置シ三十四年ニハ試作物ノ擴張觀測器ノ増設ヲ斷行シ每時其ノ成績ヲ一般ニ示シ苗代ノ改良且小作綠肥ノ栽培稻正條植ノ如キ率先實行シテ範ヲ一般ニ表示セリ

人ニ對シテハ苗代ノ改良撰種害虫驅除實行ノ補助トシテ連年小作米ノ二歩ヲ與ヘ或ハ岐阜縣ヨリ紫雲英種子ヲ購入シ小作者ニ配付シテ綠肥栽培ヲ奨勵シ或ハ試作場ノ優良ナル米麥種ヲ一般ニ配付シテ種類ノ改良ヲ圖リ更ニ三十九年ヨリハ産米改良ノ目的ヲ以テ小作米品評會ヲ開催シテ優良品ニ授賞スル等誘掖指導ニ力メ其ノ結果成績良好ナリ

### 和歌山縣

#### 奥史郎氏ノ施設

那賀郡安樂川村

氏ハ地方ノ大地主ニシテ代々小作人ノ保護ニ留意シ其ノ施設セル事項左ノ如シ

▲模範小作人ノ設置 小作人中勤勉忠實ニシテ一般小作人ノ模範トナルヘキモノヲ選ヒテ之ニ住宅及納屋其ノ他必要ナル農舍

ヲ無料ニテ貸與シ且家族ニ相當セル耕地(普通一町歩位)ヲ耕作セシム而シテ其ノ小作人ニシテ萬一他ノ模範ト認メ難キ點アル時ハ訓戒ヲ加ヘ二ヶ年ニシテ尙改悛ノ望ミナキ者ニハ住宅ハ勿論耕地ヲモ返還セシム而シテ小作料ハ普通小作料ヨリ反當五分乃至一割ヲ低減シテ作ラシメ現今模範小作人七名ヲ有ス其ノ結果小作人ノ性行善良ニ趣キ成績顯著ナルモノアリ

▲小作米品評會 明治四十四年度ヨリ自家小作米品評會ヲ開催シ之ニ相當ノ賞品ヲ與ヘ尙農閑ヲ利用シテ郡農業技術員ヲ聘シテ小作人ニ農業ニ關スル講話ヲ聽講セシメ專ラ智識ノ啓發ニ努ム其ノ結果地主小作人ノ間頗ル圓滑ニシテ他ノ範トスルニ足ルモノアリ

#### 桑山新太郎氏ノ施設

海草郡安原村大字桑山

氏カ地主トシテ其ノ小作人ノ保護獎勵ニ施設スル最モ顯著ナル事項ヲ叙述セントスルニ當リ先ツ同家興隆ノ素因ヲ記サンニ桑山家ハ現ニ耕地宅地計三十一町五反歩ヲ有シ殊ニ其ノ所有地ノ内面積約二十五町步ニ亘ル大字桑山ノ區域内全面積ハ道路溝渠ノ如キモ悉ク同家ノ私有ニ屬ス是即チ七世ノ祖茂平治氏カ今ノ和歌浦町ニ居住シ大船巨舶ヲ浮ヘテ海運業ヲ營ミ且書ヲ能クシ號ヲ桑嗣山ト稱シ令名ヲ擧ケ屢國主徳川公ニ伺候シツ、アリシカ當時附近ノ朝日、江南、松原、井戸ノ四村(今ノ四大字)ノ農地荒廢シ爲ニ收穫減耗シテ貢租定額ニ足ラス國主深ク之ヲ憂ヒ整理ヲ茂平治氏ニ命ス乃チ君命ヲ奉シ各地ヨリ小農ヲ聚メ資金ヲ投シ肥料ヲ給シ日夜焦心百慮シテ耕地ノ改良ヲ獎勵シタルニ依リ期年ナラスシテ地味肥エ米穀豐穰シ貢米滞リナキニ至ル國主其ノ功ヲ賞シ賜フニ今ノ大字桑山一圓ノ荒蕪地ヲ以テ是ニ於テ其ノ居ヲ此處ニ定メ更ニ小農ヲ集メ爲ニ家屋ヲ營造シ數十名ノ小作人ヲ督勵シ資ヲ給シテ荒蕪地ヲ開墾セシメ專ラ耕地ノ整理ニ努メタリ其ノ傳來ノ地ハ則チ今ノ大字桑山一圓ナリ元桑山村ノ名稱ハ全ク桑山家ノ姓ヲ採リタルモノニシテ斯ル由緒ヲ有シ世々仁慈ヲ以テ小作人ヲ撫育シ小作人モ亦能ク桑山家ト相終始シ以テ今日ニ至レリ故ニ兩者ノ關係極メテ親密ニシテ恰モ一家族如クノ又主從ノ如キ觀アリ

地主ノ農事ニ關スル施設事例

現代戸主新太郎氏亦父祖ノ資性ヲ享ケ温厚篤實ニシテ仁慈ノ心深ク家産裕カナリト雖モ安逸ニ流レス専ラ儉徳ヲ守リ品行頗ル方正ニシテ家祖ノ興農遺訓ヲ繼キ家憲ヲ遵守シ實踐躬行郷地一般ヲ誘導シ其ノ德附近農村ニ及ヒ益々淳朴ノ美風ヲ馴致セシムルニ至リ遂ニ郡内有數ノ大村タル安原村ヲシテ郡内ニ比較ナキ良農村タラシムルモノ蓋シ同家ノ德化ニ由ル鮮少ナラサルヘキヲ信ス今下ニ同家ノ施設カ他ニ模範タリト認ムヘキ事項ヲ列記セン

▲小作料ノ輕減(一般小作料ノ半額ニ滿タス) 同家ニ於テハ小作人ヲ愛撫スルコト最モ深ク往昔ヨリ小作料ヲ破格ニ輕減シ時勢ノ變遷物價ノ騰貴ニ伴ヒ一般地主カ動モスレハ誅求ヲコト、スル弊風ニ陥ラントシ近時爲ニ地主ト小作人トノ間ニ葛藤ヲ惹起セントスルカ如キ傾向アルノ時ニ際シ超然トシテ毫モ其ノ賦課ヲ變セサルコト同家ノ如キハ蓋シ他ニ類例稀少ナルヘシ今左ニ之ヲ詳述セントス

同村ニ於ケル一般ノ小作料ハ一段歩ニ付特等玄米一石八斗、上田一石五斗、下田一石二三斗トス然ルニ同家ノ小作料ハ上中下田平均九斗餘ニシテ其ノ三分ノ二ハ米穀ヲ以テ之ヲ徵シ三分ノ一ハ金納トス而カモ此ノ金納方法コソ最モ歎賞ニ値スヘキ方法ニシテ即チ左ノ如シ

定 小 作 料 三分ノ二 米納  
三分ノ一 金納

往昔總テ正租ハ米納ナリシヲ以テ桑山家ニ於テモ小作料ハ米納ト爲セリ然ルニ明治八年地租改正ト共ニ金納トナルヤ從來ノ徵收方法ヲ改メ前記ノ如ク米納金納ノ二種ヲ以テセリ(尤モ是ハ特ニ小作人ニ諮問ノ上ナリト云フ)當時地租算定ニ用キタル公定石相場五圓二十七錢ナリシヲ以テ從テ其ノ小作者ヨリ徵スル金納換算石相場モ五圓二十七錢トシ爾來時勢ノ推移ニ伴ヒ米價ハ累年騰貴シテ其ノ一倍半乃至二倍三倍ニ及フモ小作料算定相場ハ依然トシテ明治八年以來曾テ之ヲ變更セス只管小作人ノ負擔輕減ヲ旨トセシカ改租以來數十年ヲ經正租以外ノ公課モ逐次増加シ殊ニ明治三十七年地租百分ノ四、三ニ上リシヲ以テ從前ノ小作料ニテハ桑山家ノ收支殆ント債ヒ難キニ至レルニ依リ漸ク換算相場ヲ改メテ七圓(當時米價十二圓五十錢)ト爲セリ其ノ後又三十八年ヨリ地租百分ノ五、五ニ増徴セラレシニ依リ石代七圓ヲ改メテ八圓七十錢ト爲シタリ

但シ這ハ小作人中ノ主位者カ同家慈仁ノ無限ナルニ感スルノ餘リ其ノ公費負擔ノ増嵩ニ對シ其ノ公課ノ幾分ヲ小作人ヘ分課セラレンコトヲ申出タルニ由ルモノト云フ爾來此ノ換算石相場ヲ費用シ今尙渝ハルコトナシ此ノ事タル極メテ平易ナル如キモ仔細ニ之ヲ探究スレハ益々美趣ノ存スルモノアルヲ知ル米價ハ先年ノ如キ二十餘圓ニ及ヒ今日ト雖モ尙一石十三圓内外ナルニ其ノ小作料換算相場ハ僅ニ八圓七十錢ナルカ故ニ殆ント半額強ニ過キヌ即チ

定小作料九斗此 三分ノ二 米六斗  
三分ノ一 米三斗 此代金二圓六十一錢

右金納額二圓六十一錢ヲ目下ノ石相場十四圓トシテ換算セハ一斗八升六合ニシテ九斗ノ小作料ハ事實七斗八升六合ニテ足ル故ニ九斗ノ小作料スラ地方一般ノ小作料平均一石六斗ニ對シ五割六分ニ過キサルニ尙金納換算石相場ノ廉ナルヨリ生スル小作人ノ利得割合ヲ計算セハ實ニ一般小作料ノ四割九分(一石六斗ニ對スル七斗八升六合)ニ過キヌ是洵ニ小作人ノ保護ニ厚キ他ニ多ク類例ヲ聞カサル美事ナリトス今假リニ大字桑山田二十五町步ヲ地方一般ノ小作米反當一石六斗トシ算定セハ實ニ四百石ニシテ此時價五千六百圓(石十四圓ノ割)之ヲ桑山家小作料ノ事實額タル反當七斗八升六合ヲ以テ積算セハ總額百九十六石五斗此ノ時價二千七百五十一圓トナリ其ノ差額二千八百四十九圓八年々同家カ小作人ニ對スル愛撫ノ仁慈額ト見積ルヲ得ヘシ如何特典アル小作地ノコト、テ小作人ハ之ヲ尊重スルコト最モ深ク若シ一家ノ都合上不得止自ラ耕作シ得サルニ至リ之ヲ他人ヘ讓與スル場合ハ地床料(小作權ノ通稱)トシテ一反步金五十圓内外ヲ以テ取引セラル、由又所得稅調査ニ於テモ同家ノ所有地ニ對シテハ一般地主ノ所得率ニ據ラスシテ事實額ニ依リ査定セラル、ノ例トナリ居レリト云フ此ノ二點ヲ以テ見ルモ同家ノ篤行ヲ證スヘキナリ

▲小作人備荒儲蓄 明治二十二年八月九日ノ交紀ノ川大洪水アリ左岸堤防數ヶ所破壞シ郡内平坦地一帶ノ稻田皆大災害ヲ蒙リ桑山家所有地亦同災ヲ免レサリキ當時新太郎氏未タ幼ニシテ父茂平治氏ノ代ナリシカ此ノ災害ノ爲郡内侵害地一帶ハ本縣備荒儲蓄規則ニ依リ舉テ地租ノ補助又ハ貸與ヲ受ケシモ獨リ茂平治氏ハ宗祖カ納租ニ貢獻セシ遺旨ヲ體シ所有地全部ノ被害ハ類地一帶ヨリモ甚シク爲ニ小作人ニ對シテハ全部ノ小作料ヲ免除セシニ不拘納租ノ補助若クハ貸與ノ出願ヲ爲サス泰然トシテ

定額ノ地租ヲ完納シタリ是舉國國民ノ納稅義務ノ本分ヲ盡シタニ外ナラスト雖モ其ノ義務ヲ重シ堅忍不拔ノ態度ハ推賞スルニ足ルモノト謂フヘシ而シテ此ノ凶荒ニ鑑ミ父茂平治氏ハ大ニ備荒儲蓄ノ必要ヲ悟リ非常災害ニ際スル小作人救済ノ方法トシテ日常ノ家費ヲ節約シ三十三年十二月以降年々手許金二十圓ヲ出シテ小作人ノ爲郵便貯金トシテ蓄積シツ、アリ今ヤ積テ三百九十餘圓ニ達シ毎年未各小作人ニ對シ其ノ現在額ヲ披露スルヲ例トセリ其ノ額固ヨリ大ナラスト雖而モ小作人愛撫保護ノ熱誠ニ出テタル勤儉貯蓄ナリトセハ亦頗ル賞揚ニ値スヘキナリ

▲小作人ノ指導誘掖 同家小作人四十餘戸ノ内二十三戸ハ大字桑山ニ於テ皆同家ノ附近ニ同家所有ノ宅地ヲ貸與シテ居住セシメ朝夕小作人等ノ舉措動作ヲ觀察シテ苟モ怠慢奢侈ノ弊端ヲ認メンカ諄々トシテ之ニ説諭戒諭ヲ加フ爲ニ同家ノ小作農家ハ風紀振肅シテ克ク其ノ業務ニ精勵スル結果漸次富裕トナリ現ニ住宅ノ構内ニ倉庫ヲ備ヘ一見自作農家ノ住宅ト異ラサルモノ尠カラス遇々小作人中不慮ノ災害又ハ葬祭アルトキハ桑山家ハ直ニ相當ノ補助又ハ祭禮料等ヲ給スルヲ例トセリ是ヲ以テ小作人ニ對シ恩威並ヒ行ハレ小作人亦深ク其ノ恩顧ニ感激シ本斗納米(小作人カ桑山家ヘ納ムル小作米ノ敬稱)ハ各自競フテ特別ニ精選セシ優良米ヲ以テシ世間ノ普通米ヲ桑山家ニ納ムルハ冥加ニ盡クムト噂シ合フ狀況ナルカ故ニ米穀商モ亦桑山家ノ本斗米ノ名聲ヲ知り普通市價ヨリモ特別高價ニ賣買スト云フ以テ兩者ノ關係カ如何ニ親密ナルカヲ知ルヘキナリ

### 吉村八之助氏ノ施設

那賀郡中貴志村

氏ハ曩ニ小作人獎勵規程ヲ設定シ毎年數回農閑ヲ利用シ小作人ヲ一堂ニ會合セシメ農談會ヲ開キ況ク農事改良ニ關スル智識ヲ交換シ又ハ小作米品評會ヲ開設シ或ハ貯蓄會ヲ設立シテ共同貯金ヲ獎勵シ或ハ善良ナル小作人ヲ表彰シ以テ小作人ノ獎勵ヲ怠ラサリシモ更ニ勤儉貯蓄會及共同組合規約ヲ設ケ地主小作相互ノ福利増進ニ努メタル結果其ノ貯金高左ノ如シ

イ 勤儉貯金高總額

三千二百四圓六十二錢

ロ 共同組合基本金額 二十五圓五十錢五厘  
ハ 共同組合員貯金々額 百八十五圓六十錢

#### 小作人獎勵規程

第一條 本規程ハ自家所有ノ土地ヲ小作セシメタル一般ノ小作人ヲ可及的永續セシメ生産物ヲ一定改良セシムルヲ以テ目的トス

第二條 前條ノ目的ヲ遂行セン爲左ノ事項ノ實行ヲ期スルモノトス

一 地主小作人間ノ和衷圓滿ヲ圖ル爲毎年四季ノ閑日ヲ選ヒ自家ニ於テ各小作人等ヲ會合セシメ時期ニ應スル農談ヲナスコト

二 稻種類ノ改良統一ヲナスコト

三 肥料農具家畜其ノ他小作人ノ農事改良ニ要スル資本ノ融通ヲ圖ル爲貯金會ヲ設立シ共同貯蓄ヲ獎勵スルコト

四 善良ノ小作人ヲ表彰スルコト

五 小作米品評會ヲ開催スルコト

第三條 前條第二項第三項第五項第六項ニ要スル費用ハ總テ地主(自家)ニ於テ支辨ス

第四條 小作米品評會ヲ行フ爲左ノ人々ヲ審査員ニ囑託ス(左記略ス)

第五條 審査員事務ハ總テ自分ニ於テ統理シ審査員ニ關スル事務ヲ執行ス

第六條 審査員ハ左ノ標準ヲ以テ之ヲ行フ

一 品質、乾燥、精撰、俵裝、量目

第七條 前條審査了セルトキハ審査員ノ薦告ニ依リ左ノ規定ニ依リ賞品ヲ授與ス

地主ノ農事ニ關スル施設事例

- イ 一等賞 三 銀三挺
- ロ 二等賞 五 熊手五挺
- ハ 三等賞 三〇 米六斗

第八條 審査ノ結果ニケ年内引續キ粗悪ナル小作米ヲ納出スルモノアルトキハ之ヲ諭示シ尙改メスシテニケ年ニ跨ルトキハ小作地ヲ引揚クルモノトス

第九條 從來家風トシテ小作米納出ノ場合ハ酒食ヲ供スル例ナリシモ本年ヨリ之ヲ廢シ改メテ手拭二筋宛ヲ付與ス

第十條 小作人ニシテ風水旱害等ニシテ納出米ニ負ヲ訴フルモノハ其ノ年ニ限リ該品評會ニ加入スルコトヲ得サルモノトス

第十一條 本規定ハ明治三十五年十月ヨリ執行ス

征露 勸儉貯蓄會 紀念

第一條 本會ヲ稱シテ征露紀念勸儉貯蓄會トス

第二條 本會ハ戦後經營ノ一端ヲ補填スルヲ以テ目的トシ地方人士ノ勸儉ヲ土臺ニ貯蓄心ヲ喚起セシメ一個ノ貯蓄團體ヲ組織シ以テ不慮ノ災害ニ遭遇セシ時用途ニ充ツルニアリ

第三條 本會ハ持株トシ總數二百十三株ヲ以テ組織シ明治三十八年十一月ヨリ同四十八年十月迄滿十ケ年間一株ニ付一ケ月金二十錢蓄積シ利殖ノ方法ヲ講シ滿期終了後ハ元利金ヲ還付ス

第四條 本會員ハ一人ニテ數株ヲ所持スルコトヲ得

第五條 本會員ハ各持主ニ交付シタル貯蓄金通帳ヲ以テ之カ證トス

第六條 會員ハ毎月二十五日持株ニ對スル金額ヲ添ヘ會長ニ差出シ記入ヲ受クヘシ

但シ期限ヲ過キ拂込ヲ爲サ、ル者ハ延滞利子一株ニ付一ケ月金三厘ヲ徵收ス

第七條 本會ノ貯蓄集金ノ度毎ニ信用アル銀行ニ預ケ入レ又ハ志望者アルトキハ相當ノ手續ヲ經テ貸付ス

但シ貸付ノ手續ハ委員會之ヲ定ム

第八條 本會ニ左ノ役員ヲ置キ任期ハ二ケ年トス

會長 一人 委員 六人

第九條 本會ノ役員ハ會員ノ互選トス

但シ滿期再選スルコトヲ得

第十條 會長ハ金錢ヲ受理シ其ノ他一切ノ事務ヲ總理ス

第十一條 本會委員ハ會長ヲ補佐シ及金錢ノ出納ヲ監視ス

第十二條 本會ニ左ノ帳簿ヲ置ク

貯金臺帳 出納計算帳 貸出原簿

第十三條 本會々々長ハ毎年一月總會ヲ開キ出納決算報告ヲ爲ス

但シ必要ノ場合ハ臨時總會ヲ開クコトアルヘシ

第十四條 本會ノ株主ニシテ自己ノ持株ヲ他ニ轉賣若クハ讓渡ヲ爲ス場合ハ會長ニ届出名義書換ヲ受クヘシ

第十五條 貯金通帳ヲ紛失シ又ハ盜難ニ罹リタルトキハ直チニ會長ニ届出ツヘシ會長ハ正當ノ手續ヲ了シ新通帳ヲ交付スヘシ此ノ場合ハ本會貯蓄臺帳ニ基キ精算ス

但シ前項ノ場合ハ當該者ハ新通帳ノ代金ヲ自辨スヘシ

第十六條 本會ノ雜費ハ各株數ニ應シテ負擔ス

第十七條 本會役員ハ實費支辨ノ外報酬ヲ受クルコトナシ